

**NEC**

# **MultiWriter 2400**

**ページプリンタ**

**ユーザーズマニュアル**

このユーザーズマニュアルは、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。

# 安全にかかわる表示について

NECのプリンタは安全性を十分考慮して設計されています。しかし誤った取り扱いをすると人体や家財に被害が及ぶことがあります。安全にお使いいただくために、ユーザーズマニュアルと装置上に貼り付けられた警告ラベルでその内容をお知らせしています。

ユーザーズマニュアルならびに警告ラベルでは、次のような安全にかかわる表示を使っています。これらの表示は本プリンタを扱う上で特に注意を払っていただきたい事柄、行わないでいただきたい事柄、または必ず実行していただきたい事柄に限ってその内容をお知らせするものです。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



**警告**

この警告を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。



**注意**

この注意を無視して誤った取り扱いをすると、火傷やけがの可能性、および物的障害のみの発生のおそれがあることを示します。

## ご注意ください！

誤った取り扱いによって記号内のイラストで示した危険が発生するおそれがあります。



誤った取り扱いによって、毒性の物質による傷害のおそれがあることを示します。



誤った取り扱いによって、レーザー光による失明のおそれがあることを示します。



誤った取り扱いによって、発煙または発火のおそれがあることを示します。



誤った取り扱いによって、感電のおそれがあることを示します。



誤った取り扱いによって、火傷を負うおそれがあることを示します。



誤った取り扱いによって、指などがはさまれるおそれがあることを示します。

## 行わないでください！

⊘記号は行為の禁止を示します。危険が発生する恐れがありますので、記号内や記号横のイラストで示した行為をしないでください。



プリンタを分解・修理・改造しないでください。感電や火災の危険があります。



指示された場所には触らないでください。火傷、感電などの傷害が起こるおそれがあります。

## 必ず実行してください！

危険を避けるために記号内のイラストで示した行為を必ず行ってください。



火災や感電のおそれがあります。プリンタの電源プラグをコンセントから抜いてください。

## 商標について

Microsoft®とそのロゴ、およびWindows®、Windows NT®、MS-DOS®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

i486SX、i386SXは米国Intel Corporationの商標です。

HP 7550は米国ヒューレット・パッカート株式会社の商標です。

ESC/Pはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。

NetWareは米国Novell, Incの登録商標です。

Macintoshは米国Apple Computer, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。

QuickDraw、LocalTalk、TrueTypeは米国Apple Computer, Inc.の米国およびその他の国における商標です。

IBM、PS/V、PS/55、PC/ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

UNIXオペレーティングシステムはX/Openカンパニーリミテッドがライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

## ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
4. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
5. 本プリンタの機能の一部は使用する環境あるいはソフトウェアによってはサポートされない場合があります。
6. 運用した結果の影響については4項および5項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

NECパーソナルコンピュータプリンタシリーズ

# MultiWriter 2400

ページプリンタ

## ユーザーズマニュアル



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

### 高調波ガイドライン適合品

この装置は、通商産業省通知の家電・汎用品  
高調波抑制対策ガイドラインに適合しています。

### 電波障害自主規制について

この装置は、第二種情報装置（住宅地域またはその隣接した地域において使用されるべき情報装置）で住宅地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合しています。しかし、本装置をラジオ、テレビジョン受信機に近接してご使用になると、受信障害の原因となることがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

### 漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しています。

### 電源の瞬時電圧低下対策について

この装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。

（社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

### 海外でのご使用について

この装置は、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

# 本書の読み方

このユーザーズマニュアルは、初めてMultiWriter 2400をお使いになる方が順序どおりお読みになれば理解できるように構成されています。第1章はプリンタを安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。必ずご使用になる前にお読みください。

## 第1章 使用上のご注意

プリンタを安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。

## 第2章 MultiWriterについて

本プリンタをお使いになれるコンピュータやMultiWriter特有の機能など、お使いになる前に知っておきたい情報を紹介しています。

## 第3章 MultiWriterの使い方

用紙のセット方法、操作パネル上のスイッチやランプの機能、ドライバの設定方法について説明しています。

## 第4章 プリンタの設定変更

さまざまな環境、要求にあわせてプリンタの設定を変更する方法 – メニューモードとリモートパネル – について説明しています。

## 第5章 故障かな？と思ったら

プリンタが思うように動作しなかったり、印刷の状態がよくなかったりしたときは、故障を疑う前にまずこの章をお読みください。

## 第6章 オプションの取り扱い

MultiWriter 2400で使用できるオプションの取り付け/取り外し方法、用紙のセット方法、テスト印刷の方法などを説明しています。

## 付 録

プリンタの仕様、用紙の規格と印刷範囲、インターフェースに関する情報、初期状態、使用できる文字の種類などMultiWriterに関する詳しい情報を記載しています。  
なお、巻末には索引がありますので必要に応じてご活用ください。

### セットアップはお済みですか？

MultiWriter 2400にはユーザーズマニュアルのほかに「セットアップマニュアル」が添付されています。「セットアップマニュアル」はプリンタを箱から出して設置し、印刷できるようコンピュータを準備するまでの手順を説明しています。本書をお読みになる前にこの「セットアップマニュアル」を使ってプリンタをセットアップする必要があります。

# 目次

安全にかかわる表示について

本書の読み方 ..... iii

## 1 使用上のご注意 ..... 1

安全にお使いいただくために .....	1
警告ラベルについて .....	1
安全上のご注意 .....	2
装置を正しく動作させるために .....	7
設置場所について .....	7
プリンタを準備する際に .....	8
設置後は .....	9
消耗品について .....	9
アフターサービスについて .....	10
お客様登録カードについて .....	10
保証について .....	10
修理に出される前に .....	11
保守サービスについて .....	11
プリンタの寿命について .....	12
補修用部品について .....	12
ユーザーズマニュアルの再購入について .....	13
消耗品・装置の廃棄について .....	13

## 2 MultiWriterについて ..... 15

ご使用になれるコンピュータ .....	15
NEC PC-9800シリーズ .....	15
IBM PC/AT100%互換機 .....	16
Apple Macintoshシリーズ .....	16
各部の名称 .....	16
別売品 .....	18
オプション .....	18
消耗品 .....	21
MultiWriterの機能 .....	22
NPDL (Level 2) .....	22
201PLエミュレーション .....	22
ESC/Pエミュレーション .....	22
節電機能 .....	22
トナー節約機能 .....	22
SET (Sharp Edge Technology) .....	23
リレー給紙 .....	23
PC-PTOS環境について .....	23
メニューおよびメモリスイッチの設定 .....	23



# 目次 (続き)

プリンタの動作モードについて .....	24
モード切り替えのための条件 .....	24
2つのセントロニクスインタフェースについて .....	24
ユーティリティディスクについて .....	25
プリンタドライバ .....	25
リモートパネルユーティリティ .....	25
用紙について .....	26
情報サービスについて .....	28

## 3 MultiWriterの使い方 ..... 29

給紙と排紙 .....	29
用紙のセット .....	32
ホッパに用紙をセットする .....	32
普通紙のセット .....	32
A5アダプタの取り付け .....	35
はがきのセット .....	36
ホッパの選択 .....	39
手差しガイドに用紙をセットする .....	40
両面印刷/ソータの設定 .....	43
操作パネルの使い方 .....	44
ランプ .....	44
スイッチ .....	45
ディスプレイ .....	55
プリンタドライバの設定 .....	57
Windows 95(日本語版)用ドライバ .....	57
Windows 3.1(日本語版)用ドライバ .....	61
Windows NT (日本語版)用ドライバ .....	63

## 4 プリンタの設定変更 ..... 67

プリンタの設定について .....	67
メニューモード .....	68
リモートパネル .....	68
メニューモード .....	69
メニューモードへの入り方と終わり方 .....	69
メニューツリー .....	70
メニューの内容 .....	75
メモリスイッチの内容 .....	83
Windows 95用リモートパネル .....	89
プログラムのインストール .....	89
MultiWriter 2400リモートパネルをインストールする .....	90
MultiWriter 2200NW2用リモートパネルを削除する .....	93

# 目次 (続き)

ヘルプの起動 .....	96
MS-DOS用リモートパネル .....	98
プログラムのインストール .....	98
書式設定用リモートパネル .....	99
メモリスイッチ設定用リモートパネル .....	106
ESC/PEミュレーションの使い方 .....	115
PC-PTOS環境でのプリンタ設定 .....	117

## 5 故障かな?と思ったら..... 119

安全上のご注意 .....	120
印刷がおかしいときは .....	122
思うように印刷できないとき .....	122
印刷に異常が見られるとき .....	125
印刷できないとき .....	127
アラーム表示が出ているときは .....	128
紙づまりのときは .....	130
紙づまりの発生箇所 .....	130
紙づまりの処理 .....	130
① 給紙部の紙づまり .....	132
② プリンタ内部の紙づまり .....	134
③ 排出部の紙づまり .....	138
④ デュプレックスユニットの紙づまり .....	138
⑤ ソータユニットの紙づまり .....	138
紙づまり処理後の確認 .....	139
清 掃 .....	140
清掃箇所と清掃時期 .....	140
清掃手順 .....	141
EPカートリッジの交換 .....	147
リモートパネルが正しく動作しない .....	147
MS-DOS用リモートパネル .....	152
Windows 95用リモートパネル .....	153

## 6 オプションの取り扱い..... 155

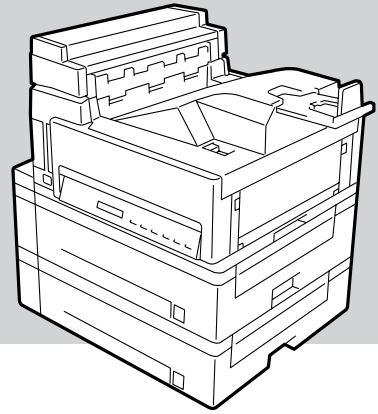
安全上のご注意 .....	156
増設ホッパ(500) .....	159
マルチシートフィーダ .....	164
漢字アウトラインフォントカード .....	172
増設RAMサブボード .....	176
プロッタエミュレーションボード .....	179
マルチプロトコルLANボード .....	183
プリンタテーブル .....	186

# 目次（続き）

付録	MultiWriterの詳細 .....	189
付録A	仕様 .....	190
付録B	用紙の規格と印刷範囲 .....	191
付録C	NPD Lの初期状態 .....	198
付録D	インタフェース .....	202
付録E	制御コード一覧 .....	205
付録F	機能拡張制御コード .....	209
付録G	文字の種類 .....	223
付録H	テスト印刷のプリント結果 .....	225
付録I	文字コード表 .....	228
付録J	ディスプレイ表示一覧 .....	235
付録K	IBM DOS J5.0/Vでの設定 .....	237
	用語解説 .....	238
	索引 .....	240

# 1

# 使用上のご注意



本章ではプリンタを安全に正しくご使用になるために必要な情報を記載しています。

## 安全にお使いいただくために

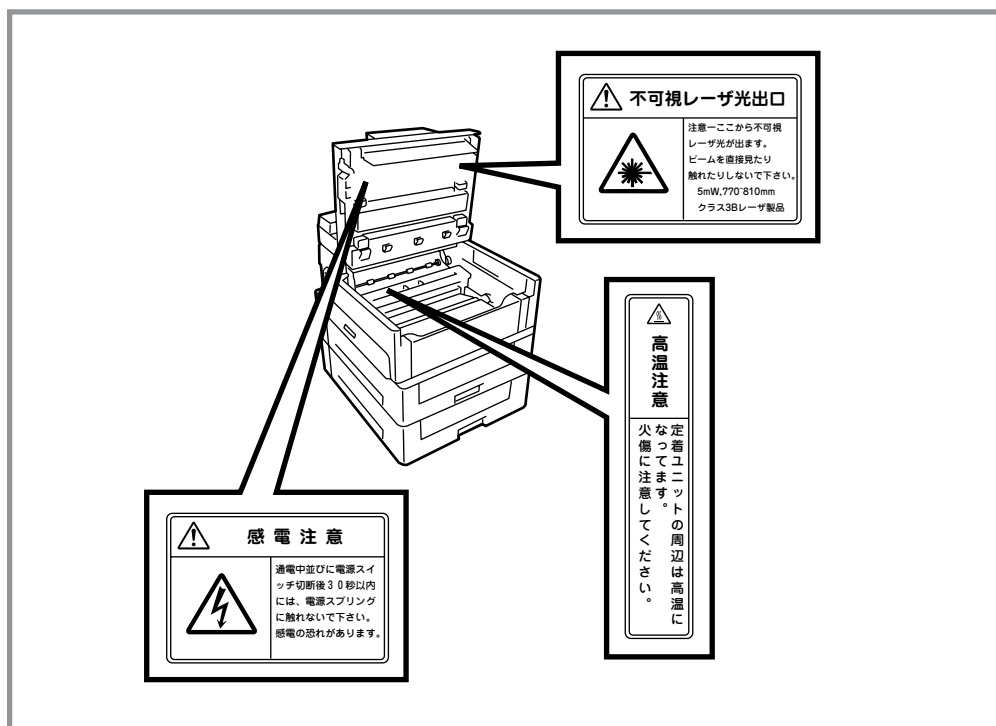
NECのプリンタは安全性を十分考慮して設計されています。しかし誤った取り扱いをすると人体や家財に被害が及ぶことがあります。安全にお使いいただくために、ここで説明する注意事項をよくお読みください。

### 警告ラベルについて

MultiWriter 2400を安全にお使いいただくために、プリンタ内の危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが貼り付けられています(貼り付け位置については次ページのイラストを参照してください)。これはプリンタを操作する際、考えられる危険性を、常にお客様に意識していただくためのものです。

もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして判読不能な状態であったら、販売店にご連絡ください。

これらの警告内容については、次の項目「安全上のご注意」で説明しますが、本書内の該当する操作手順中でも随時説明しています。



警告ラベルの位置

## 安全上のご注意

次ページ以降に示す注意事項は本プリンタを安全にお使いになる上で特に重要なものです。この注意事項の内容をよく読んで、ご理解いただき、プリンタをより安全にご活用ください。記号の説明については表紙の裏の説明を参照してください。



この警告を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷を負うおそれがあります。

### プリンタの内部をのぞかない



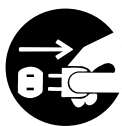
このプリンタはレーザー(レーザーダイオード)を使用しています。電源がONになっているときに内部をのぞいたり、鏡などを差し込んだりしないでください。万一、レーザー光が目に入ると失明する危険があります(レーザー光は目に見えません)。

### 分解・修理・改造はしない



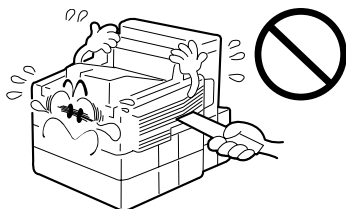
ユーザズマニュアルに記載されている場合を除き、絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。プリンタが正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。

### 煙や異臭、異音がしたら



万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源スイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。

### 針金や金属片を差し込まない



通気孔などのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。



この注意を無視して、誤った取り扱いをすると、有害物質による傷害を負うおそれがあります。

### こわれた液晶ディスプレイには触らない

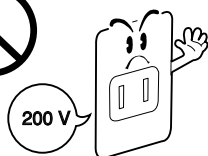


このプリンタは操作パネルに液晶ディスプレイを使用しています。液晶ディスプレイの内部には人体に有害な液体があります。万一、口に入った場合は、すぐにうがいをし、医師に相談してください。また、皮膚に付着したり、目に入った場合は、すぐに流水で15分以上洗浄して、医師に相談してください。



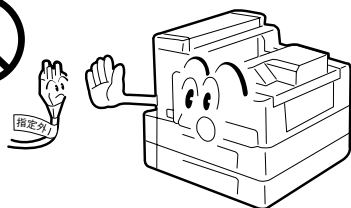
この注意を無視して、誤った取り扱いをすると、火災による火傷や感電のおそれがあります。

### 正しい電圧で



電源は必ず指定された電圧、電流の壁付きコンセントをお使いください。指定外の電源を使うと火災や漏電になることがあります。

### 指定以外の電源コードは使わない



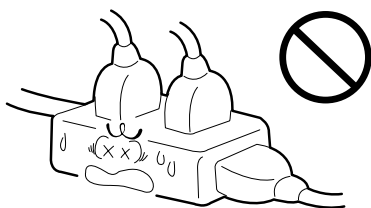
プリンタに添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると、火災になることがあります。

## ⚠️ 注意



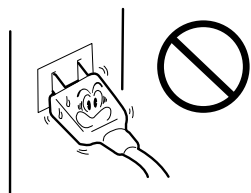
この注意を無視して、誤った取り扱いをすると、火災による火傷や感電のおそれがあります。

### 電源コードをたこ足配線にしない



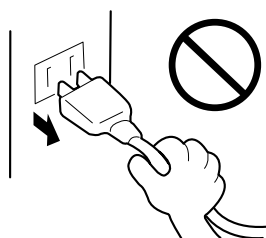
コンセントに定格以上の電流が流れるので、コンセントが過熱して火災の原因となることがあります。

### 電源プラグは根元までしっかりと



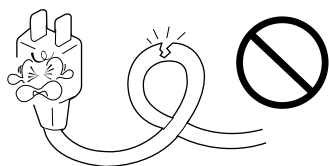
電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。中途半端な差し込みは接触不良の発熱による火災の原因となることがあります。また中途半端な差し込み部にほこりがたまると、水滴などが付いたとき発熱し、火災になることがあります。

### プラグの抜き差しはプラグを持って



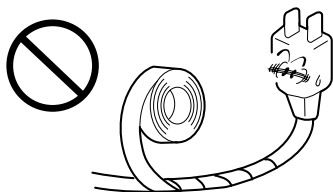
電源プラグを抜くときは必ずプラグ部分を持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが破損し、火災や感電の原因となります。

### 電源コードは大切に



電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、ものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。またステップル等で固定することもおやめください。コードが破損し、火災や感電の原因となります。

### 損傷した電源コードは取り替える



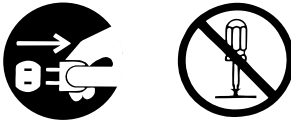
損傷した電源コードはすぐ同じものと取り替えてください。決して損傷部分を補修してお使いにならないでください。ビニルテープなどで補修した部分が加熱し、火災や感電の原因となります。

### 雷が発生しそうなときは



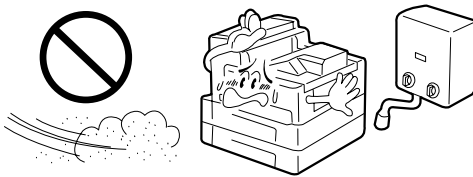
火災・感電の原因となります。雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また雷が鳴りだしたらケーブル類も含めて装置には触らないでください。

### プリンタ内に水や異物を入れない



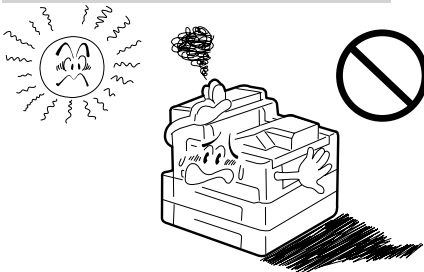
プリンタ内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解したりしないで販売店に連絡してください。

### ほこり・湿気の多い場所を避ける



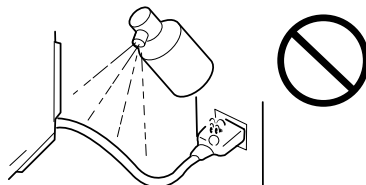
- プリンタをほこりの多い場所、給湯器のそばなど湿気の多い場所には置かないでください。火災になることがあります。
- プラグ部分は時々抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災になることがあります。

### 日の当たるところには置かない



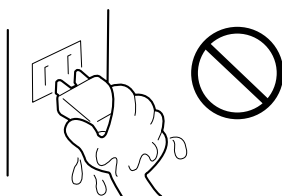
プリンタを窓ぎわなどの直射日光が当たる場所には置かないでください。そのままにすると内部の温度が上がり、プリンタが正常に動作しないばかりか、火災になることがあります。

### 電源コードに薬品類をかけない



電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因になることがあります。

### お手入れは電源プラグを抜いて



お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、ぬれた手で抜き差しをしないでください。感電することがあります。



## ⚠ 注意

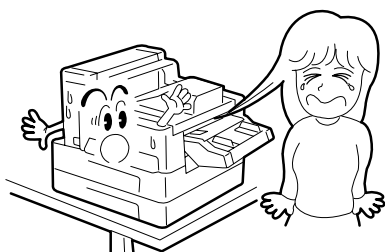
この注意を無視して、誤った取り扱いをすると、けがをしたり周辺の家財に損害を与えるおそれがあります。

### 高温注意



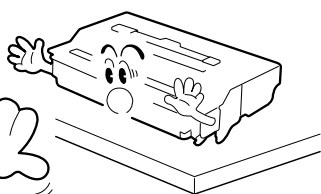
プリンタの内部には、使用中に高温になる定着ユニットという部品があります。カバーを開けて作業する場合は、十分に冷めてから行ってください。

### 巻き込み注意



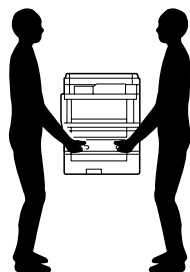
プリンタの動作中は用紙挿入口に手や髪の毛を近づけないでください。髪の毛を巻き込まれたり、指をはさまれたりしてけがをすることがあります。

### お子様に注意



EPカートリッジはお子様の手が届かない所に保管してください。EPカートリッジに入っているトナーが、目や口等に入ったりすると健康を損なうことがあります。

### プリンタを運ぶときは



本プリンタの重量は約35kgです(EPカートリッジ含まず)。必ず二人以上で装置側面の取っ手を持って運んでください(取っ手部の取り付け/取り外しに関しては「セットアップマニュアル」をご覧ください)。取っ手以外の部分に手をかけて持ち運ぶと、バランスがくずれて装置を落とす等の思いがけない事態が発生するおそれがあります。

### 不安定な場所に置かない

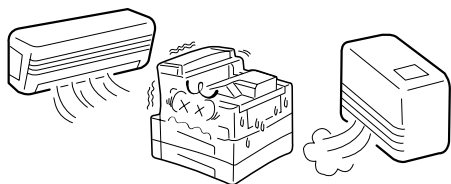


プリンタを不安定な場所には置かないでください。けがや周囲の破損の原因となることがあります。

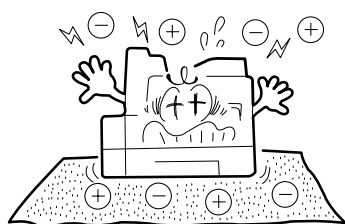
# 装置を正しく動作させるために

MultiWriterを正しく動作させるために、次に示す注意事項を必ず守ってください。

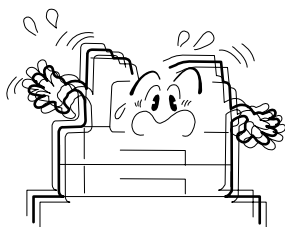
## 設置場所について



- 温度変化の激しい場所(暖房器、エアコン、冷蔵庫などの近く)には設置しないでください。温度変化により結露現象が起こり故障の原因となることがあります。



- じゅうたんを敷いた場所では使用しないでください。静電気による障害で装置が正しく動作しないことがあります。

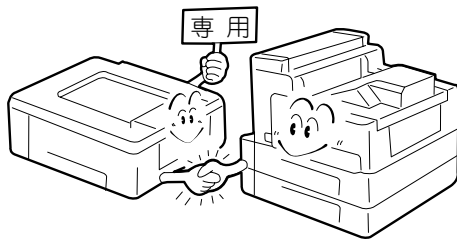


- 強い振動の発生する場所に設置しないでください。装置が正しく動作しないことがあります。

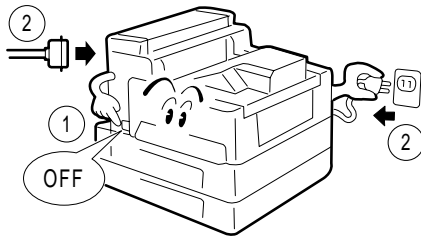


- 腐食性ガスの発生する場所、薬品類がかかる恐れのある場所には設置しないでください。部品が変形したり傷んだりして装置が正しく動作しなくなることがあります。

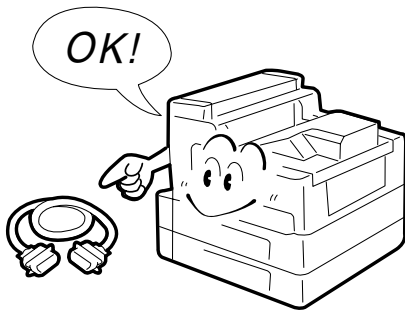
## プリンタを準備する際に



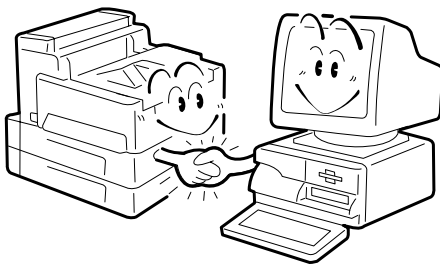
- オプションは本プリンタ専用のものをお使いください。たとえ取り付けることができても正常に動作しないばかりか、プリンタ本体が故障することがあります。(型名等については18ページを参照ください)



- プリンタケーブルやオプションの取り付け、取り外しを行うときは、必ず電源スイッチをOFFにしてから行ってください。電源が入ったまま行うと誤動作するようになったり、故障することがあります。

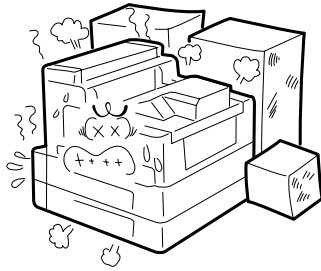


- ご用意いただいたプリンタケーブルがお客様のコンピュータに合っているかよく調べてください。(ケーブルについては「セットアップマニュアル」を参照ください。)

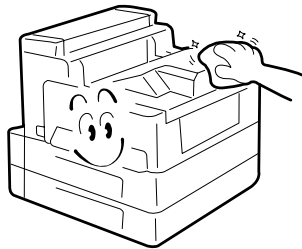


- ご使用になるコンピュータ環境にあった方法でコンピュータ側からプリンタを指定してください。(指定方法については「セットアップマニュアル」を参照ください。)

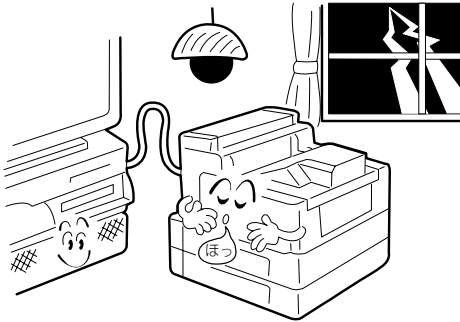
## 設置後は



- 装置背面の排気口をふさがないでください。また排気口の上に物をのせないでください。装置内の温度が異常に高くなると、正しく動作しなくなることがあります。

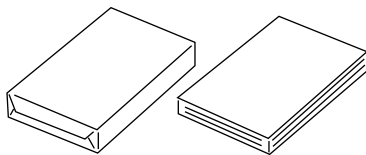


- 定期的にプリンタを清掃してください。(清掃の内容は5章で説明しています。)定期的な清掃は印刷品位を保つだけでなく、さまざまな故障の発生を未然に防ぐ効果もあります。

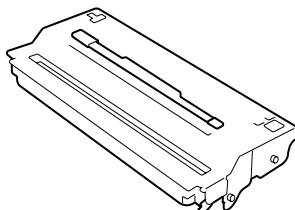


- 落雷等が原因で瞬間的に電圧が低下することがあります。この対策として交流無停電電源装置等を使用することをお勧めします。

## 消耗品について



- 印刷する用紙が規格に合っているかを調べてください。(用紙の種類については2章に、規格については付録Bで説明しています。)規格に合った用紙を使うことは印刷品位を安定させるだけでなく、紙づまりなどの発生を抑える効果もあります。



- 本プリンタは専用のEPカートリッジを使用します。他のカートリッジでは十分性能を発揮できません。指定のEPカートリッジかどうかをよく調べてください。(指定については21ページを参照ください。)

# アフターサービスについて

アフターサービスをお受けになる前に、保証、サービス内容について確認してください。

## お客様登録カードについて

お客様登録カードは所定事項をご記入の上、必ず投函してください。

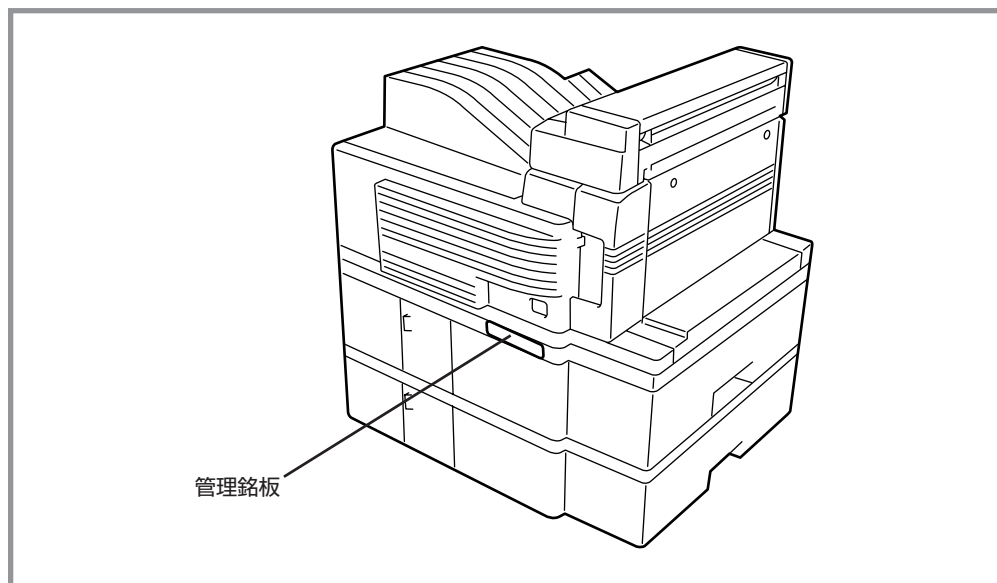
## 保証について

本プリンタには『保証書』が付いています。『保証書』は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認して大切に保管してください。保証期間中に万一故障が発生した場合は、『保証書』の記載内容に基づき、無料修理いたします。詳細については『保証書』をご覧ください。

保証期間後の保守サービスについては、この後の「保守サービスについて」をご覧ください。本プリンタをお買いあげの販売店または、添付の「N E C サービス網一覧表」に記載のサービス窓口へお問い合わせ下さい。



本体の背面に、製品の型式、SERIAL No.(製造番号)、定格、製造業者名、製造国が明記された管理銘板が貼ってあります。販売店またはサービス窓口にお問い合わせする際にこの内容をお伝えください。また管理銘板の製造番号と保証書の保証番号が一致していませんと、万一プリンタが保証期間内に故障した場合でも、保証を受けられないことがあります。お問い合わせの前に必ずご確認ください。



管理銘板の位置

## 修理に出される前に

「故障かな?」と思ったら、修理に出される前に以下の手順を実行してください。

- ① 電源コードおよびプリンタケーブルは正しく接続されているかを確認します。
- ② 定期的な清掃を行っていたか。またEPカートリッジの交換は確実に行われていたか確認します。
- ③ 第5章「故障かな?と思ったら」をご覧ください。該当する症状があれば、記載されている処理を行ってください。

以上の処理を行ってもなお異常があるときは、無理な操作をせず、お近くのサービス窓口にご連絡ください。その際にディスプレイのアラーム表示もお知らせください。故障時のディスプレイによるアラーム表示は修理の際の有用な情報となることがあります。サービス窓口の電話番号、受付時間については「サービス網一覧表」をご覧ください。

なお、保証期間中の修理は、必ず『保証書』を添えてお申し込みください。

またプリンタをお持ち込みいただくときはセットアップマニュアル、梱包箱に表示されている手順を参照して、逆の手順でプリンタを梱包してください。



チェック

弊社パーソナルコンピュータプリンタシリーズは日本国内仕様のため、海外でご使用になる場合NECの海外拠点で修理することはできません。

## 保守サービスについて

保守サービスはNECが指定した保守サービス会社によってのみ実施されます。部品交換は純正部品を使用することはもちろん、技術力においてもご安心いただけます。しかもお客様のご都合に合わせてご利用いただけるように次の4種類をご用意しております。

なお、お客様が保守サービスをお受けになる際のご相談は、お買いあげの販売店または、添付の「NECサービス網一覧表」に記載のサービス窓口へお問い合わせ下さい。

- 契約保守 年間一定料金で契約を結び、サービスマンを派遣するシステムです。
- 出張修理(スポット修理) サービスマンを派遣し、料金はその都度お支払いいただくシステムです。
- 持込修理 お客様に修理品をサービス窓口にお持ち込みいただくシステムです。
- 引取修理 修理品を引き取りにうかがい、修理後お届けするシステムです。

種類	概要	修理料金		お支払い方法	受付窓口
		保証期間内	保証期間外		
契約保守	ご契約いただきますと、修理のご依頼に対しサービスマンを派遣し、修理いたします。(原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、お引き取りして修理する場合がありますのでご了承ください。)保守料は、システム構成に応じた一定料金を前払いしていただくため一部有償部品を除き、修理完了時にその都度お支払いいただく必要はありません。保守費用の予算化が可能になります。	機器構成に応じた 年間一定料金		年間一括前払い	お買い上げ販売店 NEC商品サービス(株) NEC Bit-INN NECマイコンショップ
出張修理 (スポット 修理)	修理のご依頼に対してサービスマンを随時派遣し、修理いたします。(原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、お引き取りして修理する場合がありますのでご了承ください。)ご契約は不要です。	無料*	修理料 + 出張料	修理完了後 そのつど清算	
持込修理	修理を経済的に済ませたい場合の保守サービスです。お客様がご自身で、もよりの修理受付窓口に修理品をお持ち込みください。修理後、修理完了品をお持ち帰りいただきます。	無料	修理料のみ		
引取修理	お客様のご都合で修理品をお持ち込みいただけない場合は、もよりのサービス拠点より修理品を引き取りに参ります。修理完了後お届けいたします。	引き取り料 + 返却料	修理料 + 引き取り料 + 返却料		NEC商品サービス(株) NECマイコンショップ

\* 本プリンタは出張修理対象品につき無料です。出張修理品の対象になっていない製品は出張料のみ有料となります。

## プリンタの寿命について

本プリンタの製品寿命は印刷枚数100万枚、または使用年数5年のいずれか早いほうです。継続使用される場合は、販売店または当社保守部門にご相談ください。

## 補修用部品について

本プリンタの補修用部品の保有期間は製造打ち切り後7年です。

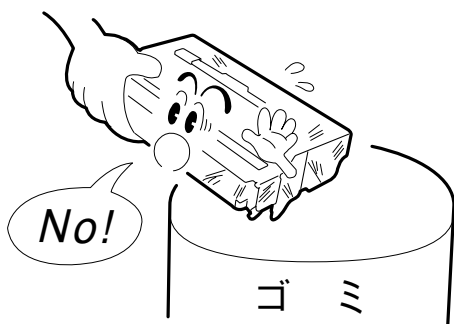
## ユーザーズマニュアルの再購入について

もしユーザーズマニュアルを紛失された場合は、お買い求めの販売店もしくは、お近くの販売店に品名と型名を次のように指定してお申し込みください。ユーザーズマニュアルを再度購入することができます。

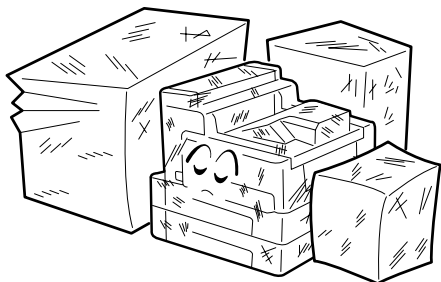
- 品名 MultiWriter 2400ユーザーズマニュアル
- 型名 PR2400 - UM

なお、ユーザーズマニュアルの紛失に備えて、品名と型名をメモしておくようにしてください。

## 消耗品・装置の廃棄について



- NECは使用済みのEPカートリッジの回収を行っています。EPカートリッジはそのまま捨てずに、お求めの販売店にお持ちください。詳しくは販売店またはNECの相談窓口にお問い合わせください。

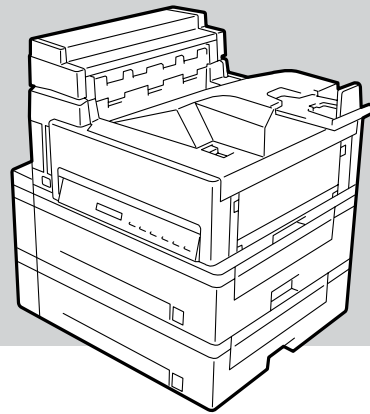


- 装置の廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。

また廃棄の際は必ずEPカートリッジを取り外してお出してください。



# 2 MultiWriterに ついて



本章ではMultiWriter 2400をお使いになれるコンピュータやMultiWriter特有の機能など、お使いになる前に知っておきたい情報を紹介しています。

## ご使用になれるコンピュータ

MultiWriterはさまざまな環境でご利用いただけるように、NPD L、201系プリンタエミュレーション、ESC/Pエミュレーション、HPGLエミュレーション(オプション)の機能を内蔵しており、次のコンピュータに接続して使用することができます。

- NEC PC-9800シリーズ(NEC PC-8800シリーズも可能)
- IBM PC/AT 100%互換機
- Apple Macintoshシリーズ

ここではMultiWriterの機能が十分発揮できるように必要なコンピュータ環境をそれぞれ説明します。なおコンピュータの準備に関しては、別冊の「セットアップマニュアル」の第2部をご覧ください。各環境ごとにプリンタの指定方法を説明しています。

### NEC PC-9800シリーズ

Microsoft Windows 95(日本語版)またはWindows 3.1(日本語版)をインストール済みの機種はもちろんのこと、Microsoft Windows 95(日本語版)またはWindows 3.1が動作する機種をお勧めします。Microsoft Windowsが動作しないPC-9800シリーズはMultiWriterをMS-DOSまたはBASICでお使いになれるます。またPC-8800シリーズでも同様にお使いになれるます。

またMultiWriterは201エミュレーション機能を搭載していますので、PC-PR201系シリアルプリンタ用の印刷データを印刷することができます。さらに別売のエミュレーションボードをプリンタに取り付ければHPGL (HP7550)対応のソフトウェアから印刷することができます。(詳細は6章をご覧ください)

## IBM PC/AT100%互換機

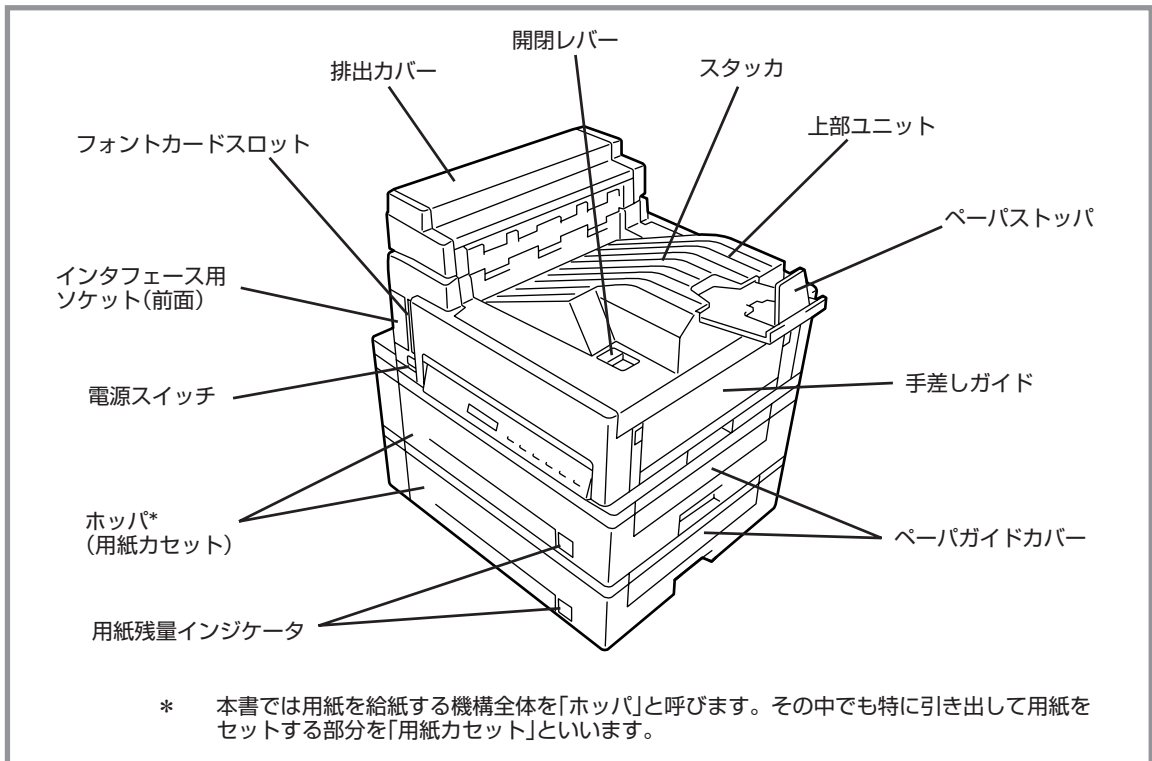
本プリンタはMS-DOS 5.0/V以上またはIBM DOS J5.0/V以上が動作する80286以上のCPUを搭載するIBM PC/AT100%互換機をサポートします。IBM DOS J5.0/V以上とWindows 3.1 (日本語版)の組み合わせで使用する場合、設定によって正常に印刷されないことがあります。「付録K IBM DOS J5.0/Vでの設定」を参照して設定をご確認ください。

## Apple Macintoshシリーズ

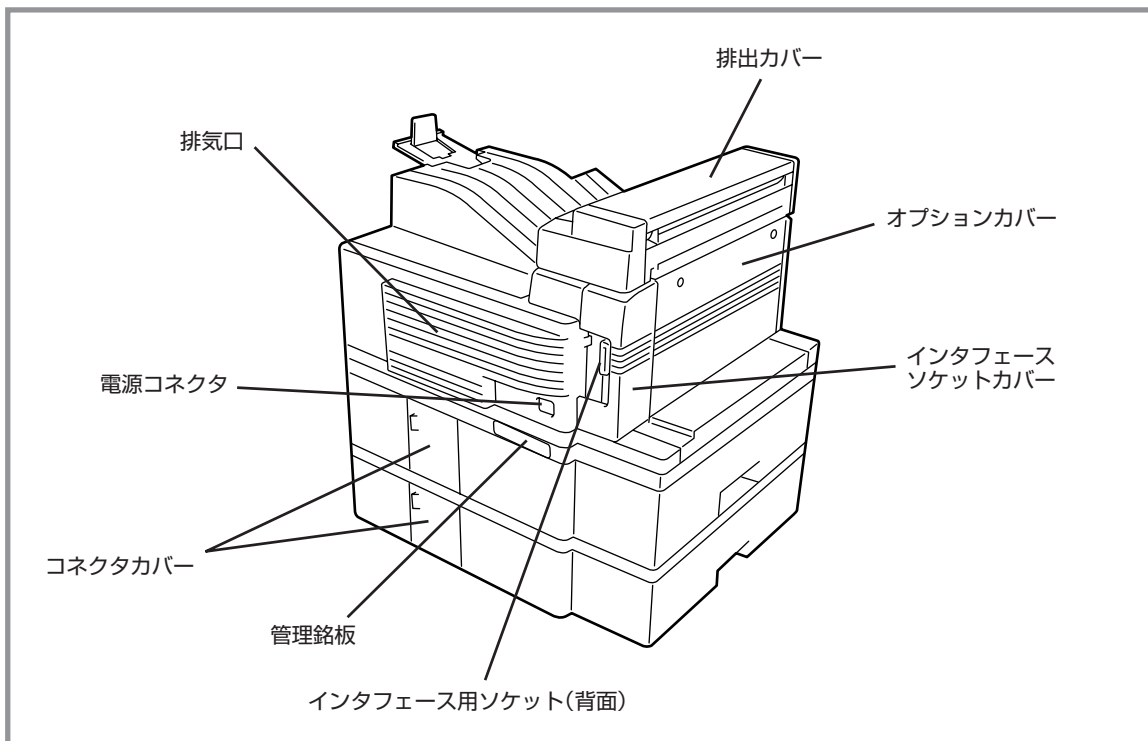
本プリンタは別売のマルチプロトコルLANボード (PR2200NW2-08)かLANアダプタ (PR2000FW-07)を取り付けると、Apple MacintoshシリーズからのデータをMultiWriterで印刷することができます。これらのオプションは、漢字Talk7.1.xまたは漢字Talk7.5、7.5.1、7.5.2が動作するApple Macintoshシリーズをサポートしています。なお、漢字Talk7.5.xのQuickDraw GXには対応しておりません。

# 各部の名称

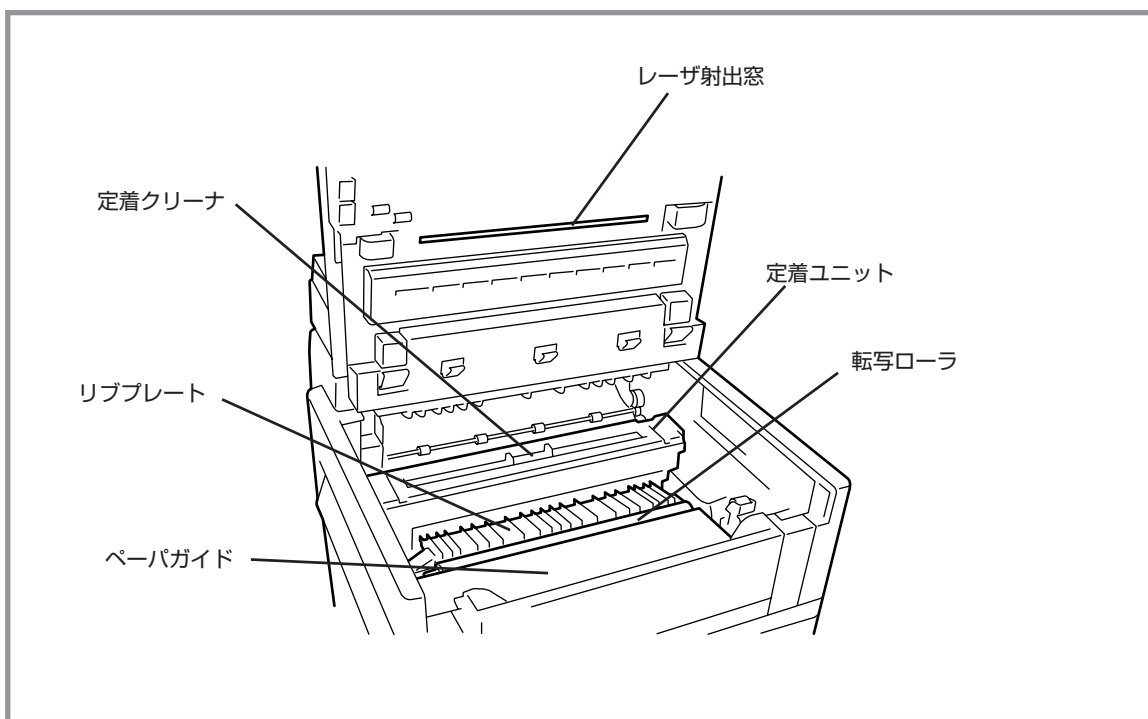
各部の名称を次に示します。それぞれの名称と位置を確認してください。



装置前面



装置背面



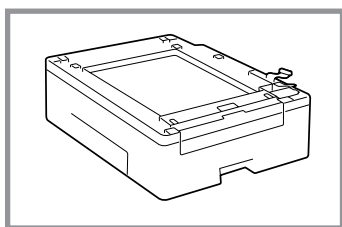
装置内部

# 別売品

ご購入にあたりましては、お買い上げの販売店またはもよりのBit-INN、NECマイコンショップなどにお問い合わせください。

## オプション

### 増設ホッパ(500) (PR2400-03)

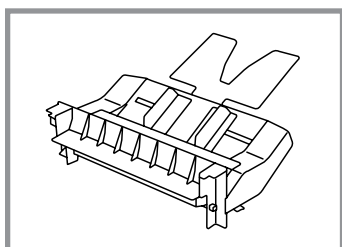


A3、A4、B4、B5、レターサイズ of 用紙を500枚まで(A5サイズの用紙はアダプタを取り付けることにより250枚)セットすることができます。

本プリンタでご使用になれる増設ホッパはPR2400-03のみです。下記の増設ホッパは代用できませんのでご注意ください。

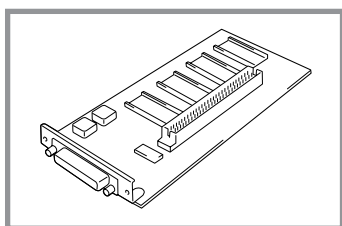
- PR2000/4R-02
- PR2000/4R-03

### マルチシートフィーダ (PR2000/4R-12)



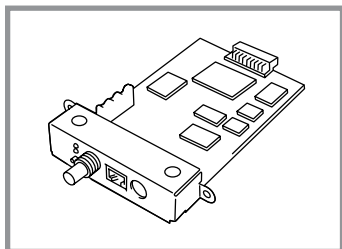
A4、A5、B5、レターサイズの普通紙を80枚、はがき、OHPフィルム、ラベル紙を30枚まで連続給紙することができます。また、手差しガイドによりA3サイズまでの用紙も1枚ずつ給紙できます。

### プロッタエミュレーションボード (PR2200NW2-06R)



横河ヒューレット・パッカード社のプロッタHP 7550のアプリケーションソフトウェアから印刷することができます。RS-232Cインタフェースとしても利用できます。

### マルチプロトコルLANボード (PR2200NW2-08)



10 BASE-2、10 BASE-T、LocalTalkインタフェースを装備しているプリンタ内蔵型のLANボードです。

PR2200NW2-08はNetWare (IPX/SPX)、LANマネージャ (NetBEUI)、Windows NT (TCP/IP、DLC)、UNIX (TCP/IP (ftp、lpr))の各ネットワークに対応したマルチプロトコルLANボードです。

また別売りの拡張プリンタドライバ (PR2200NW2-21) を使うとMacintoshからの印刷が可能になります。



チェック

## マルチプロトコルLANボードが対応しているネットワーク環境

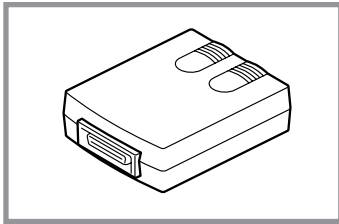
NetWare:	NetWare 3.11J、3.12J、4.1J
Windows NT:	Windows NT3.1、3.5、3.51
LANマネージャ:	OS/2 LANマネージャ2.1bおよびOS/2 LANサーバJ3.0
Windows 95:	添付のソフトウェアにより対応(ただしWPSは使用できません)
Macintosh:	漢字Talk7.1.x、7.5、7.5.1、7.5.2(ただしQuickDraw GXには対応していません)

## ネットワークプリンタユーティリティ

マルチプロトコルLANボード(PR2200NW2-08)使ってプリンタをネットワークに接続するとき、LANボードを設定したりプリンタの状態を表示させるユーティリティです。

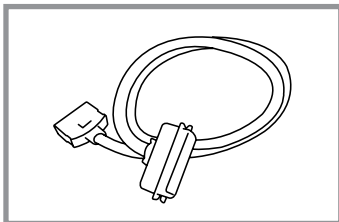
- PR2000/6W-21A (NetWare®版)
- PR2000/6W-22A (Windows®用TCP/IP版)
- PR2000/6W-23 (TCP/IP版)

## LANアダプタ(LocalTalk用) (PR2000FW-07)



MacintoshのLocalTalkネットワークに接続するための外付けアダプタとドライバのセットです。実際にMultiWriterをLocalTalkネットワークに接続するためには、さらにApple製ロッキングコネクタキットDIN-8が必要です。

## プリンタケーブル

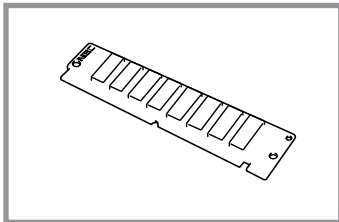


**PC-CA201R、PC-CA202、PC-CA203、PC-CA204**他  
NEC PC-9800シリーズと本プリンタを接続するためのケーブルです。詳しくは、「セットアップマニュアル」をご覧ください。

### PC-PRCA-01

プリンタとIBM PC/AT 100%互換機を接続するためのケーブルです。

## 増設RAMサブボード

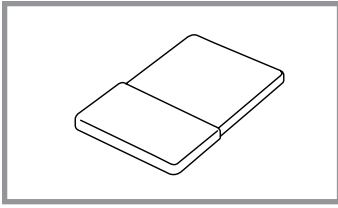


- PC-9821A-B02L (4MB)
- PC-9821XA-B01 (4MB)
- PC-9821A-B03L (8MB)
- PC-9821XA-B02 (8MB)

4MB、8MBのRAMを搭載した拡張メモリボードです。アウトラインフォントを多用した文章や、増設ホッパ、両面印刷ユニット、およびソータユニット装着時の印刷速度を向上させることができます。また、より多くのフォーム登録を可能にしたり、NPDの印刷時におけるメモリ不足を解消することができます。

PR2000/2-03Rは本プリンタでは使用できませんのでお買い求めの際はご注意ください。

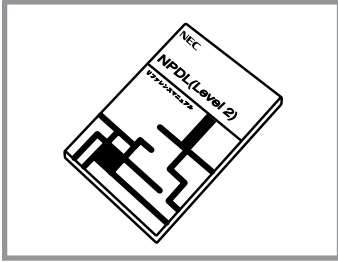
## 漢字アウトラインフォントカード



- 丸ゴシック体-M (PC-PRPF-01)
- 教科書体-M (PC-PRPF-02)
- 瑞筆行書体-M (PC-PRPF-03)

丸ゴシック体、教科書体、瑞筆行書体の各種フォントを使って印刷することができます(ESC/Pモードでは効果がありません)。

## 日本語ページプリンタ言語NPDL(Level 2)リファレンスマニュアル (PC-PRNPDL2-RM)



本プリンタの様々な動作を制御する命令およびプログラミングについての詳しい解説書です。

### ソータユニット(PR2400-05) (発売予定)

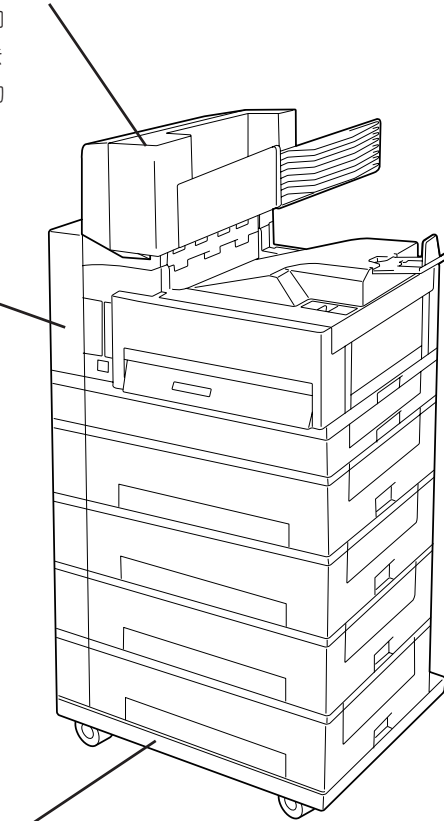
このユニットを装着すると、同じ内容の印刷物を最高10セット用意することができます。印刷物はピンと呼ばれるトレイに自動的に仕分けされて排出されます。

### 両面印刷ユニット(PR2400-04) (発売予定)

このユニットを装着すると、用紙の両面に印刷することができます。片面に印刷した用紙は自動的にプリンタ内で反転され、もう片面に印刷されますので、両面印刷のために用紙をセットし直す必要がありません。

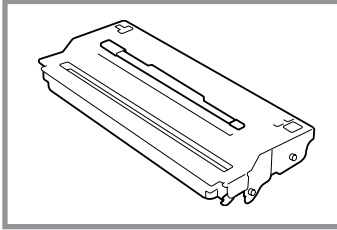
### プリンタテーブル(PR2400-06)

増設ホッパ装着時、プリンタを床置きにするための台です。キャスタが付いているので移動が容易になります。



## 消耗品

### EPカートリッジ (PR2400-11)



印刷が薄くなったら、新しいEPカートリッジと交換します。1個あたり、約10,000ページ\*の印刷が可能です(プリンタに1個添付されています)。

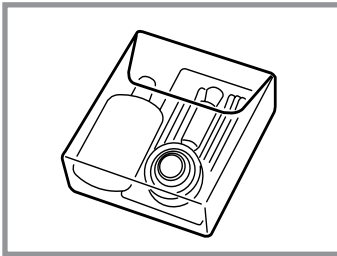
NECは使用済みEPカートリッジの回収を行っています。EPカートリッジはそのまま捨てないで買い求めの販売店にお持ちください。詳しくは販売店またはNECの相談窓口にお問い合わせください。



本プリンタでご使用になれるEPカートリッジはPR2400-11(取っ手の色が灰色のもの)のみです。下記のEPカートリッジでは代用できませんので買い求めの際はご注意ください。

- × PR2000FW-11(取っ手の色：オレンジ)
- × PR2000/6W-11(取っ手の色：青)
- × PR2000/4R-11(取っ手の色：緑)

### クリーニングキット (PC-PR601-14)



プリンタの清掃に便利な用具が一式入っています(プリンタには添付されていません)。

\* A4用紙に画像面積比5%の印刷を行ったとき(151ページ参照)

# MultiWriterの機能

MultiWriterに搭載されている機能に関して説明します。

## NPDL (Level 2)

「NPDL」とはNECプリンタ記述言語 (NEC Printer Description Language) のことで、NECページプリンタの様々な動作を制御する命令 (コマンド) の集まりです。

NPDLはNECのPC-9800シリーズパーソナルコンピュータとともに広く使用されているPC-PR201系シリアルプリンタやPC-PR602/602Rページプリンタのコマンド体系を継承し、機能を拡張強化したプリンタ制御コマンド体系です。NPDLにより様々な印刷スタイルの要求に対応できるばかりでなく、解像度の異なるNECのページプリンタ間でのソフトウェア互換性が実現されます。

NPDL (Level 2)とは従来のNPDLのコマンド体系を拡張・強化したものです。Level 2はより精細で高速な印刷性能を提供するため、特にグラフィック (描画) 関係のコマンドを追加・強化しています。

## 201PLエミュレーション

本プリンタには、201PLエミュレーション機能が搭載されています。これによりPC-PR201系プリンタ用に開発されたソフトウェアの機能をサポートすることができます。

## ESC/Pエミュレーション

本プリンタには、ESC/P言語で記述された印刷データを印刷することができる、ESC/Pエミュレーションが搭載されています。これによりセイコーエプソン社のドットインパクトプリンタ、熱転写プリンタ等用に開発されたソフトウェアからの印刷が可能になります。

## 節電機能

本プリンタは、電源をONにしたまま長時間 (約10分) 印刷を行わないと自動的に消費電力を45W以下の状態にする節電機能を備えています。なお、この機能はメニューの「カンキョウセッテイ」の中の「セツデンキノウ」で、あるいは「メモリスイッチ」により使用する／使用しないを切り替えることができます。詳しくは「4章 プリンタの設定変更」をご覧ください。(工場出荷時は「使用する」になっています。)

## トナー節約機能

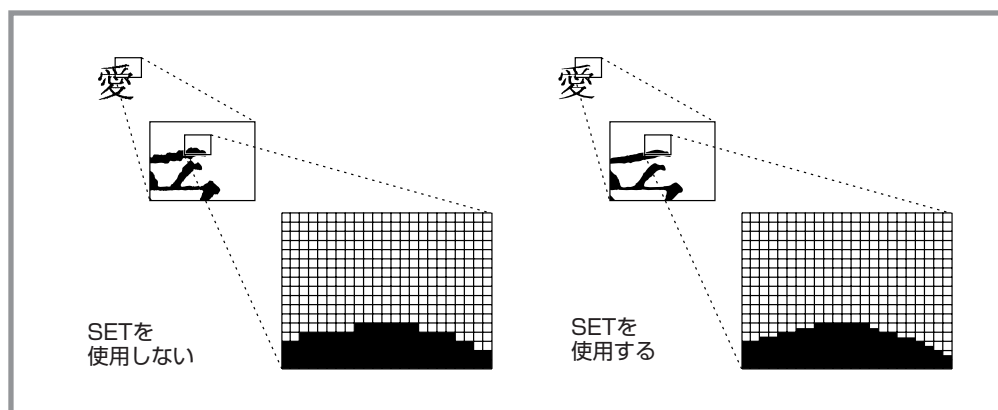
トナー節約機能を使用すると、特に画像面積比が大きい (1ページ中の黒い部分の割合が大きい) 印刷時のトナー消費量を減らし、ランニングコストを向上させることができます。ただし黒い部分を間引いて印刷しますので、OCR文字やバーコードなどの機械読み取り用の印刷には適しません。また図形、イメージデータの印刷では期待どおりの印刷結果が得られない場合があります。あくまで「試し印刷」用としてご使用になることをお勧めします。



機能の設定については「メニューの内容」(75ページ)、「プリンタドライバの設定」(57ページ)、または「メモリスイッチ設定用リモートパネル」(106ページ)をご覧ください。(工場出荷時は「使用しない」になっています。)

## SET (Sharp Edge Technology)

SETとは、印刷画像のエッジ部分をなめらかにする技術です。従来は文字やグラフィックの曲線部や斜線部において、微小なギザギザが見えてしまうことがありましたが、SETを使用することで、印刷画像のエッジ部分を微細にコントロールし、ギザギザをなくした大変なめらかな印刷(1000DPI相当の印刷品質)を実現することができます(当社評価)。



## リレー給紙

リレー給紙機能を使用すると、使用しているホッパの用紙がなくなったとき、自動的に同じサイズの入った別のホッパから用紙を吸入し印刷を継続できます。

機能の設定については「メニューの内容」(75ページ)をご覧ください。(工場出荷時は「使用しない」になっています。)

# PC-PTOS環境について

本プリンタは、PC-9800シリーズのPTOSインストールモデルなどのPC-PTOSに対応しています。ここでは、本プリンタをPC-PTOSから使用する際の注意事項について説明します。なお、制御コード、文字コード、印刷範囲等については「PC-PR PTOS入出力装置説明書」をご覧ください。また、上位装置側の設定については、セットアップマニュアルを参照してください。(PC-PTOS入出力装置説明書の入手については、PTOS関連商品取り扱い店にお問い合わせください。)

## メニューおよびメモリスイッチの設定

PC-PTOSから使用する場合、プリンタのメニューモードでメモリスイッチ5-1「同期コードの有効/無効の切り替え」を「有効(ON)」に設定する必要があります。このスイッチをONにしないとPTOSとの同期がとれないため、ソフトウェアによっては用紙切れ、紙づまり等の処理が正

常に行えない場合があります。なお、このスイッチをONにしたままでもDOS、Windows等の他のOSからの印刷は可能ですが、OFFの場合に比べて性能が若干低下する場合があります。

その他上記以外のメニュー、メモリスイッチの各種設定はすべて出荷時設定のままお使いください。設定の内容によっては印刷結果が不正になる場合があります。詳細については4章「プリンタの設定変更」をご覧ください。

## プリンタの動作モードについて

PC-PTOSから使用する場合、本プリンタはNPDLモードの拡張モードである「PTOS対応モード」で動作します。このモード切り替えは、PTOSが自動的に行いますので切り替えのための操作は必要ありません。

## モード切り替えのための条件

プリンタのモード切り替えは自動的に行われますが、使い方によってこの切り替えが正しく行われないことがあります。PC-PTOSでお使いの場合は下記の点にご注意ください。

- プリンタケーブルは必ず指定のものを使用してください。正しいプリンタケーブルを使用していない場合、モードの切り替えが正しく行われません。
- 上位装置とプリンタの間にプリンタバッファ、プリンタ切り替え器、プリンタネットワーク等を接続していると、モードの切り替えが正しく行われません。上位装置とプリンタは指定のケーブルで直接接続してください。
- 一部の上位装置で本体およびプリンタの電源を入れたままOSの変更を行うとプリンタのモードの切り替えが正しく行われません。この場合はプリンタの電源を入れ直すか、プリンタの操作パネルからリセット操作(シフトを押しながらリセットを2回押す)を行うことで復旧させることができます。
- 本プリンタはNPDL、ESC/P、HPGLの各言語をサポートしています。(一部はオプションによるサポート)このうちNPDL、ESC/Pについては「PTOS対応モード」への自動切り替えが可能ですが、HPGLからの切り替えはできません。PC-PTOSから使用する場合はそのインタフェースにはNPDLを設定しておいてください。詳しくは「プリンタの動作モード切り替えについて」(76ページ)を参照ください。

## 2つのセントロニクスインタフェースについて

本プリンタは2つのセントロニクスインタフェースがありますが、PC-PTOSからの印刷はこのどちらを使っても行うことができます。また一方をPC-PTOSで、他方を他のOSで使用することもできます。その場合の切り替えも自動的に行われます。

また、プリンタのデータ受信の速度が速すぎて、PC-PTOSからのデータ受信が間に合わなくなり、印刷が正常に行われません場合があります。このような場合は、データストロープのデータラッチタイミング(メモリスイッチ7-1、7-2)を後縁ラッチに変更したり、アクノリッジの幅(メモリスイッチ8-3、8-4、8-7、8-8)を広げてください。詳細については4章「プリンタの設定変更」をご覧ください。

# ユーティリティディスクについて

本プリンタに添付されているフロッピーディスクには、PC-9800シリーズとIBM PC/AT 100%互換機で使用できるプリンタドライバとリモートパネルユーティリティが収められています。



チェック

フロッピーディスクはご使用の際、思わぬトラブルによって内容が壊れてしまうことがあります。ご使用になる前に、バックアップを取ることをお勧めします。

## プリンタドライバ

本プリンタはNPDL (Level2)に対応しており、NPDLに対応したソフトウェア、プリンタドライバからの印刷が可能です。しかし、本プリンタ固有の様々な機能、性能を発揮させるために、環境に合わせたプリンタドライバが必要です。ユーティリティディスクには以下のドライバが収められています。

- Windows 95 (日本語版)用
- Windows 3.1 (日本語版)用
- Windows NT 3.5 (日本語版)用
- Windows NT 3.51 (日本語版)用

ドライバのインストールに関しては「セットアップマニュアル」をご覧ください。

## リモートパネルユーティリティ

プリンタの設定で用紙のサイズや縮小/拡大モードを設定するなど、通常のご使用で頻繁に変更が必要なものは直接操作パネルのスイッチを押して行うことができます。

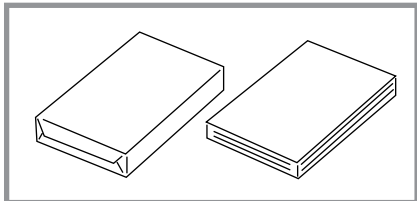
本プリンタではこれ以外のプリンタの設定を、メニューモードかリモートパネルを使って変更することができます。メニューモードでは操作パネルを使って設定を確認・変更しますが、リモートパネルではコンピュータの画面で確認しながらキーボードで直接設定ができます。

ユーティリティディスクにはMS-DOS用およびWindows 95用の2種類のリモートパネルがあります。Windows 95用リモートパネルは、Windows 95のプリンタドライバのインストールの際に同時にインストールできます。各リモートパネルのインストール方法、設定内容など詳細は第4章をご覧ください。

# 用紙について

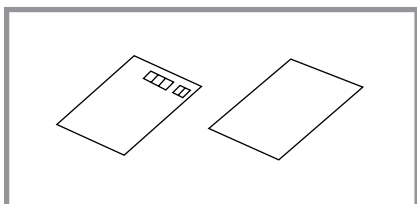
本プリンタで使用できる用紙は次のとおりです。なお、用紙の規格など詳しくは付録B「用紙の規格と印刷範囲」をご覧ください。

## 普通紙



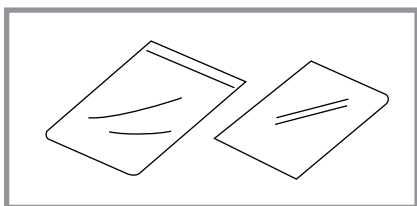
「乾式PPC用紙」が最適です。一般の事務用品店などで市販されています。大きさはA3判、A4判、A5判、B4判、B5判、レターサイズが使用できます。

## はがき



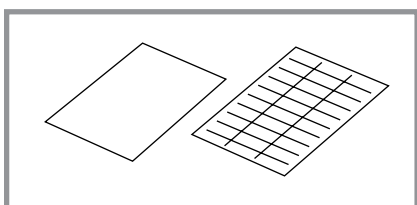
官製はがき、あるいは官製はがきと同等のものを使用してください。

## OHPフィルム



乾式PPC用で厚さ0.1mm±0.025mmで、両面処理されているものを使用してください。大きさはA4判が使えます。

## ラベル紙



台紙全体がラベルで覆われたものを使用してください。大きさはA4判、B4判が使えます。



重要

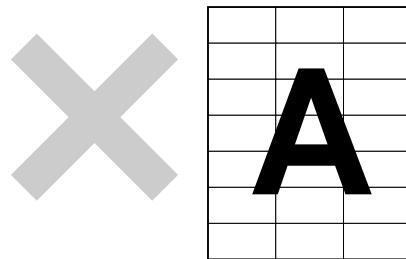
次のような用紙への印刷はおやめください。紙づまりや故障の原因になります。

- ◆ 封筒
- ◆ 無塵紙
- ◆ 裏移り防止用の白粉(マイクロパウダ)が塗布された用紙
- ◆ 熱で変質するインクを使った用紙、変質しやすい用紙
- ◆ 感熱紙
- ◆ カーボン紙、感圧紙
- ◆ ざら紙や繊維質の用紙など、表面が滑らかでない用紙
- ◆ ミシン目のある用紙、穴あき用紙
- ◆ 紙の表面に特殊コーティングした用紙、表面加工したカラー用紙
- ◆ シワがある、折れている、破れている、湿っている、濡れている、長期間放置した、カールしている、静電気で密着している、貼り合わせてある、糊が付いているなどの用紙
- ◆ ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
- ◆ プリンタで一度印刷を行って排出した用紙
- ◆ 次のような状態のラベル紙  
台紙全体がラベルで覆われていないもの、部分的に使用したもの、ラベルがはがれかかっているもの、カールしているもの、表面に糊がしみ出ているもの



チェック

- 再生紙、ラベル紙の使用については、制限があります。お買いあげの販売店または、添付の「NECサービス網一覧表」に記載のサービス窓口へお問い合わせ下さい。
- はがき、OHPフィルムおよびラベル紙の印刷品質は、規格を満たす普通紙の印刷品質より劣る場合があります。
- ラベル紙への印刷は、ラベルの切れ目部分に文字やイラストがかからないようにしてください。



# 情報サービスについて

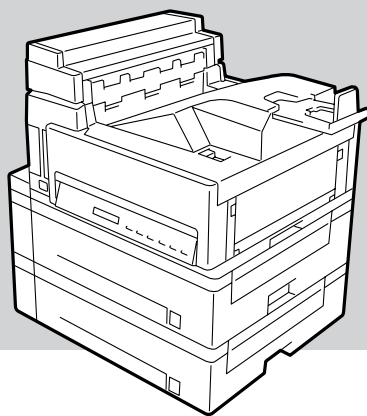
本プリンタに関するご質問・ご相談は、NEC Bit-INNおよび当社指定のサービス窓口でお受けしています。また技術的なご質問・ご相談はNECパソコンインフォメーションセンターにご連絡ください。

上記窓口の電話番号、受付時間については、「NECサービス網一覧表」をご覧ください。

また以下のパソコン情報サービスを使って、MultiWriterに関しての最新情報を入手できます。ご利用ください。

- Faxサービス  
NECパソコン情報FAXサービス  
東京 03-3769-9821  
大阪 06-304-9821
- PC-VAN  
NECパソコン情報 (J NECPC)
- NIFTY-Serve  
NEC Information Center Forum (GO FNEC)
- インターネット  
98インフォメーション (<http://www.nec.co.jp/98/>)

# 3 MultiWriterの 使い方



本章では用紙のセット方法、操作パネル上のスイッチやランプの機能について、ドライバのセット方法を説明しています。

## 給紙と排紙

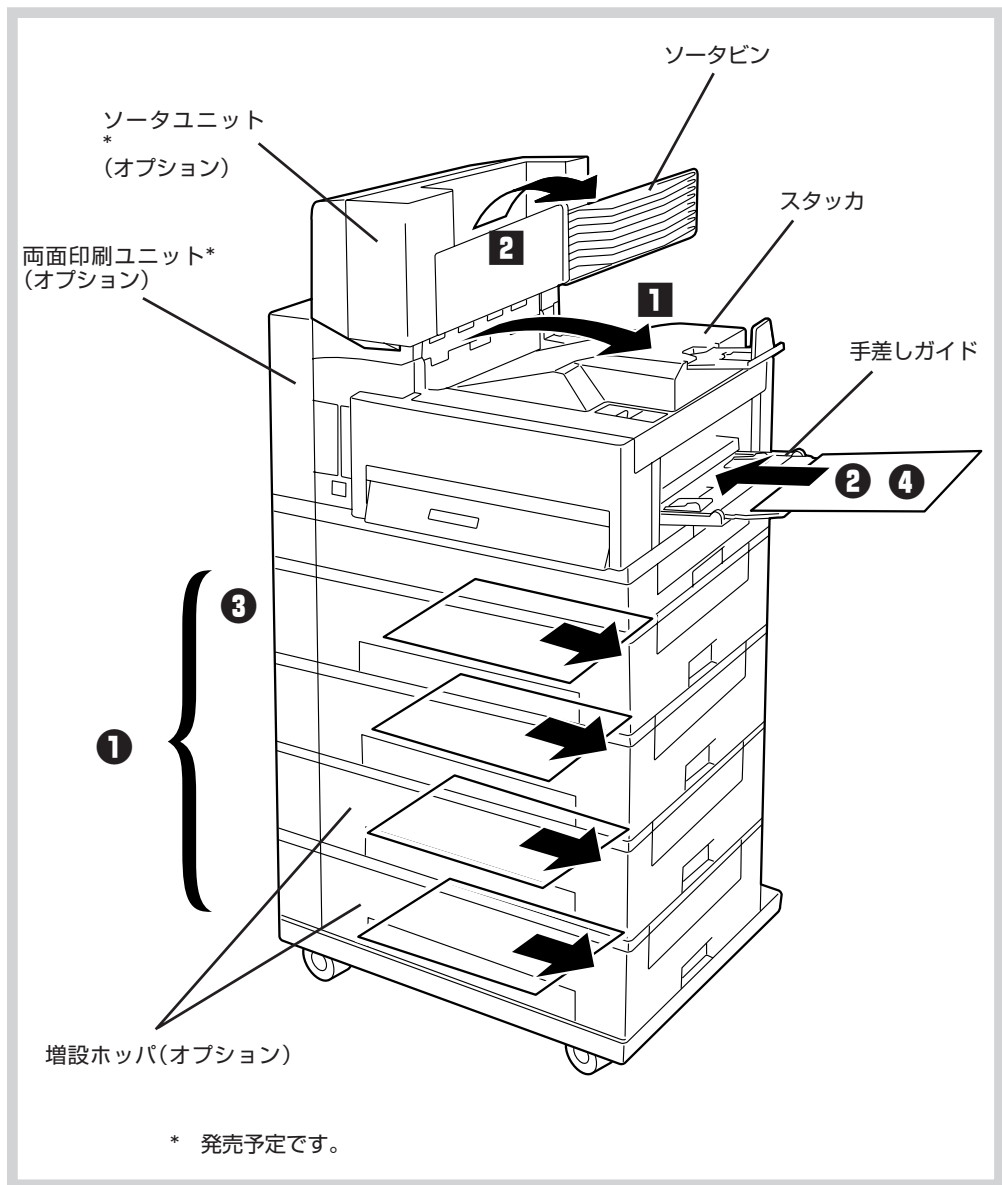
給紙とはプリンタに用紙を送り出すことを言い、排紙とは印刷済み用紙をプリンタから排出することを言います。MultiWriterでは用紙の種類や用途に応じて色々な給紙/排紙方法が選べます(次ページのイラストも参照してください)。

### 給紙方法

- ① ホッパから送る
- ② 手差しガイドから送る
- ③ ホッパ(はがきガイド付き)から送る
- ④ マルチシートフィーダ(オプション)から送る

### 排紙方法

- ① スタックに排出する
- ② ソータユニット(オプション)に排出する



## 給紙と排紙



両面印刷ユニット(オプション)を装着することにより、両面に印刷されたものをスタッカまたはソータビンに排紙することができます。

次の表は用紙の種類による可能な給紙方法と排紙方法を示します。この表をご覧になってお使いになる用紙の給紙方法と排紙方法をご確認ください。



## 給紙と排紙

用紙		給紙方法	給紙容量	排紙方法	両面印刷 <sup>*1</sup>
普通紙	A5 A4 B5 レター	ホッパ	500枚 (A5は 250枚)	スタッカ ソータビン <sup>*4</sup>	可
		手差しガイド <sup>*2</sup>	1枚		
		マルチシート フィーダ <sup>*3</sup>	80枚		
	A3 B4	ホッパ	500枚	スタッカ ソータビン <sup>*4</sup>	
手差しガイド <sup>*2</sup>		1枚			
はがき		ホッパ (1段目) +はがきガイド	30枚	スタッカ	不可
		手差しガイド <sup>*2</sup>	1枚		
		マルチシート フィーダ <sup>*3</sup>	30枚		
OHP ラベル紙		手差しガイド <sup>*2</sup>	1枚	スタッカ	不可
		マルチシート フィーダ <sup>*3</sup>	30枚		

\*1 オプションの両面印刷ユニット (PR2400-04) が必要です。

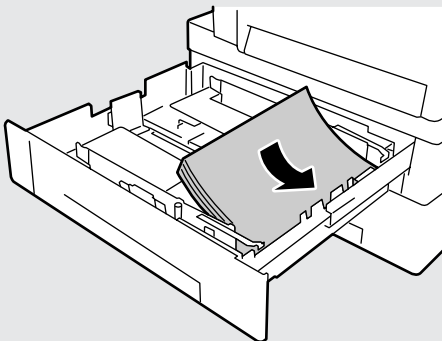
\*2 オプションのマルチシートフィーダ (PR2000/4R-02) の手差しガイドも含まれます。

\*3 オプションのマルチシートフィーダ (PR2000/4R-02) が必要です。

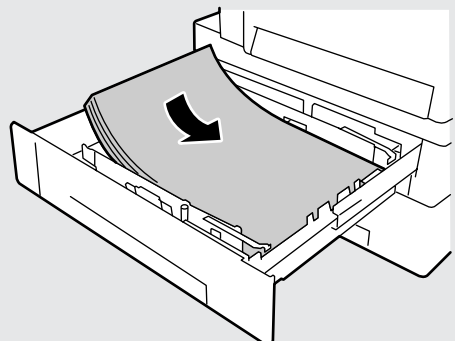
\*4 オプションのソータユニット (PR2400-05) が必要です。

### 用紙の向き

本書では用紙をセットする向きを「縦置き」、「横置き」と表現しています。以下のイラストで用紙の向きをご確認ください。通常MultiWriterではA4、B5、レターサイズ of 用紙は横置きに、A3、B4、A5サイズの用紙は縦置きにセットします。



横置き



縦置き

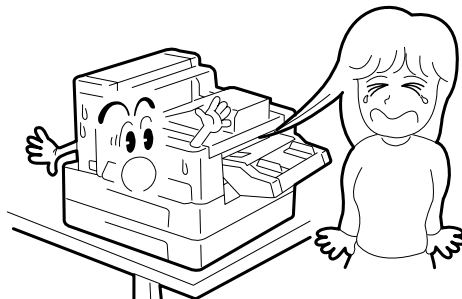
# 用紙のセット

以下の項目でホッパと手差しガイドを使った用紙のセット方法を説明します。マルチシートフィーダに関しては第6章をご覧ください。



## 注意

プリンタの動作中は用紙挿入口に手や髪の毛を近づけないでください。髪の毛を巻き込まれたり、指をはさまれたりしてけがをすることがあります。



## ホッパに用紙をセットする

### 普通紙のセット

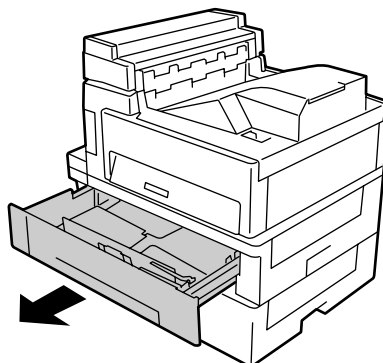
MultiWriterのホッパはA4、A3、B5、B4、レターの普通紙なら500枚まで、A5の普通紙なら250枚セットすることができます。どのようなサイズであっても、何段目のホッパであっても用紙セットの手順は同じです。



チェック

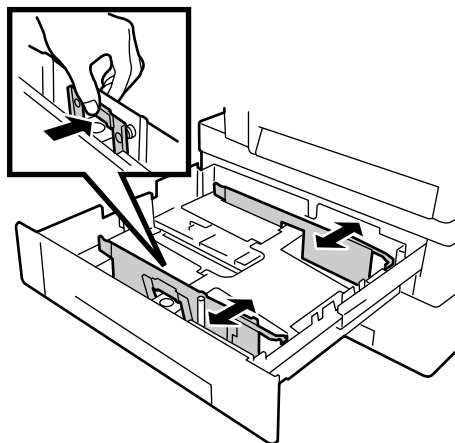
A5の用紙をセットするにはあらかじめA5アダプタをホッパに取り付けておく必要があります。(35ページ参照)

- 1 用紙カセットを静かに引き出します。



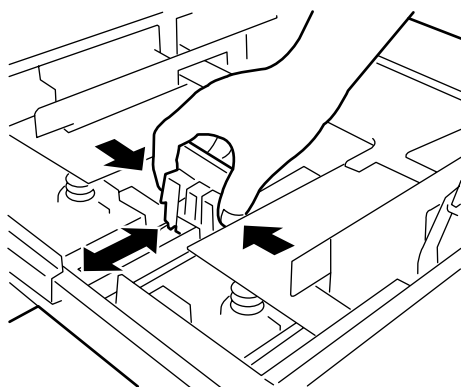
## 2 サイドガイドを用紙のサイズに合わせます。

サイドガイドはストッパを押しながらスライドさせ、使用する用紙サイズの目盛りに合わせます。



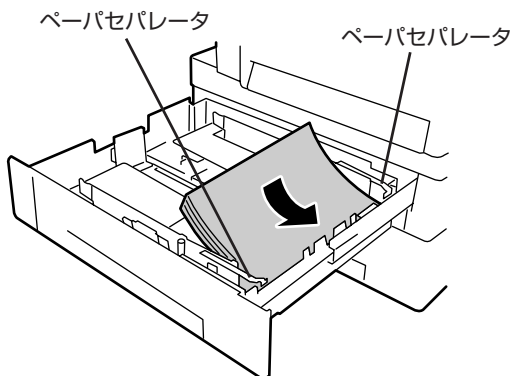
## 3 エンドガイドを用紙サイズに合わせます。

エンドガイドの左右のつまみを押しながらスライドさせ、使用する用紙サイズの目盛りに合わせます。



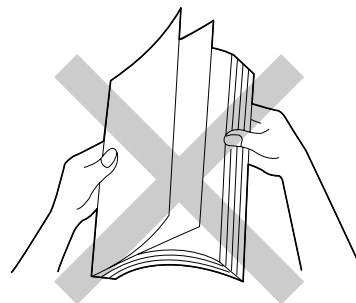
## 4 印刷する面を下にして、用紙をそろえてセットします。

250枚以上セットするときは、3回ぐらいに分けてセットします。まず、250枚程度セットしてください。続いて手順5に進んでください。250枚以下の場合は、用紙をひとまとめにしてセットします。続いて手順6へ進んでください。



用紙は必ずペーパーセパレータの下にセットしてください。

新しく袋から出した用紙はさばかずにそのままセットしてください。紙づまり、重ね送りの原因となることがあります。



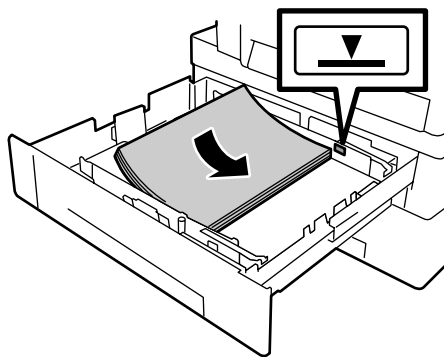
- 5** 残りの用紙を2回に分けて、先にセットした用紙を手で押し下げながらセットします。



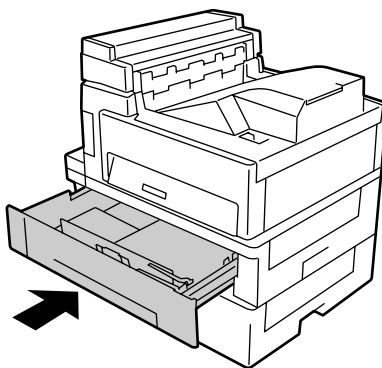
用紙がペーパーセパレータの下にあることを確認してください。

リミットラベルの赤い線を越える量の用紙をセットしないように注意してください。重ね送り、紙づまりの原因になります。

サイドガイドと用紙がすき間なく接していることを確認してください。



- 6** 用紙カセットをプリンタ内に戻します。

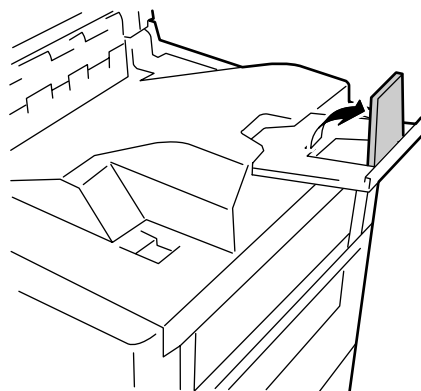
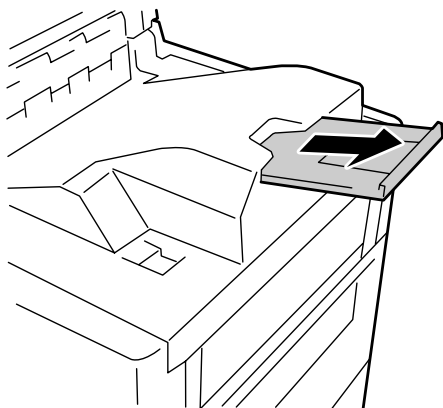


- 7** ディスプレイの表示を確認します。

用紙がセットされるとプリンタはセンサにより用紙サイズを自動的に検知し、ディスプレイに用紙サイズを表示します。右の表示は1段目のホッパにA4の用紙をセットした例です。

ホッパ° 1      A4    ホ° ー ト

- 8** B4以上の大きさの用紙を排出する場合、ペーパーストップを引き出し、ストップを立てておきます。

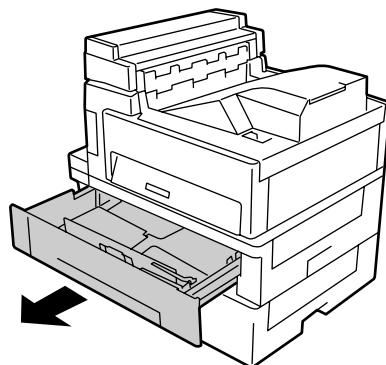


## A5アダプタの取り付け

MultiWriterのホッパはA5アダプタを取り付けて初めてA5の用紙をセットできるようになります。A5アダプタはどのホッパにも取り付けることができます。

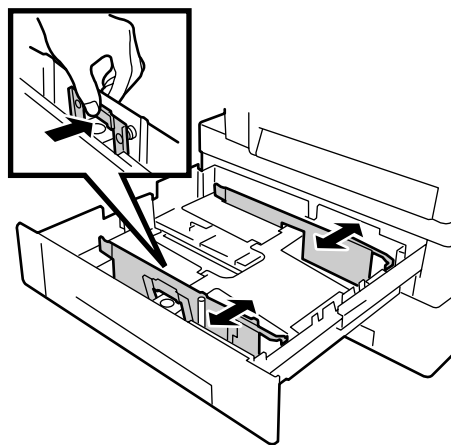
- 1 用紙カセットを静かに引き出します。

カセットに用紙が残っていたら取り除いてください。

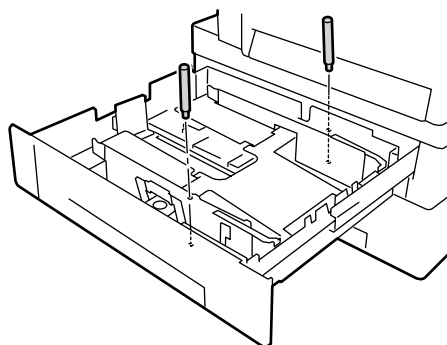


- 2 サイドガイドをA4サイズに合わせます。

サイドガイドはストッパを押しながらスライドさせ、使用する用紙サイズの目盛りに合わせます。

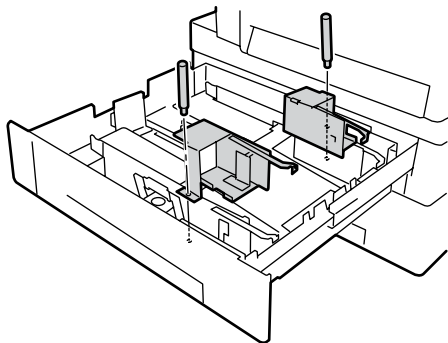


- 3 サイドガイドを固定しているセットねじを外します。



## 4 A5ガイドをセットし、セットねじで固定します。

取り付け後、サイドガイドがスムーズにスライドすることを確認してください。



## はがきのセット

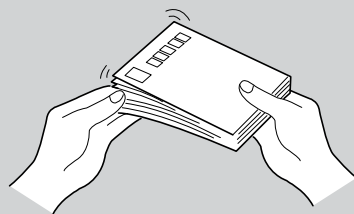
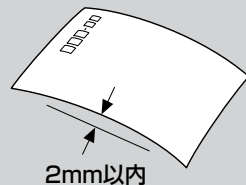
はがきをセットするときは、用紙カセット内にハガキホルダを取り付けてから行います。また、はがきに印刷するときは次のことに注意してください。



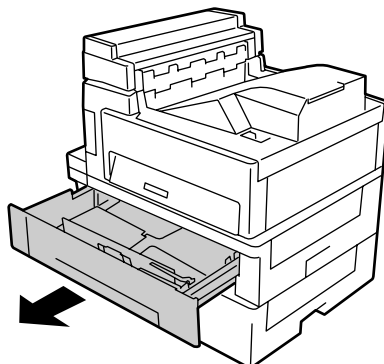
- はがきは反りのないものを使用してください。反りがある場合は、反りの幅が2mm以内になるように直してください。
- 印刷所で印刷を施された官製はがき(年賀状など)には裏移り防止用の白い粉が塗布されていることがあります。本プリンタでこのようなはがきへの印刷を繰り返すと、白い粉によりプリンタ内部のローラの摩擦力が低下し、はがきがうまく送れなくなることがあります。

このようなはがきを使用するときは、印刷の前にはがきの両面を乾いた布などで粉を軽く払ってください。またプリンタ内部のローラを定期的に清掃してください(清掃については140ページ参照)。

- 往復はがきは使用できません。
- 繰り返しはがきが重ね送りする場合は、はがきを十分さばいてからセットしてください。

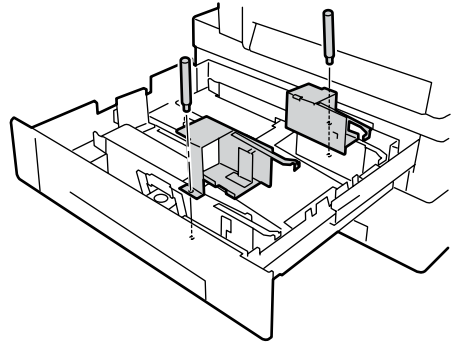


## 1 用紙カセットをプリンタから引き出します。

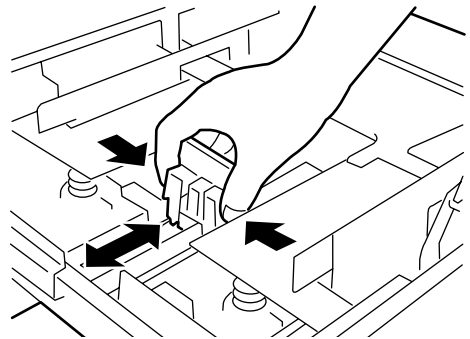


## 2 ホッパにA5アダプタを取り付けます。

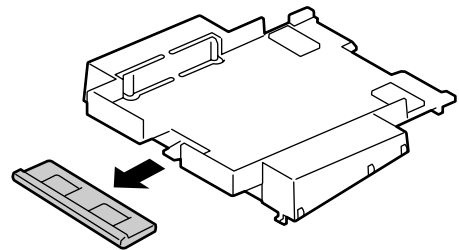
A5アダプタの取り付け方法は35ページを参照してください。



## 3 エンドガイドをB4サイズに合わせます。

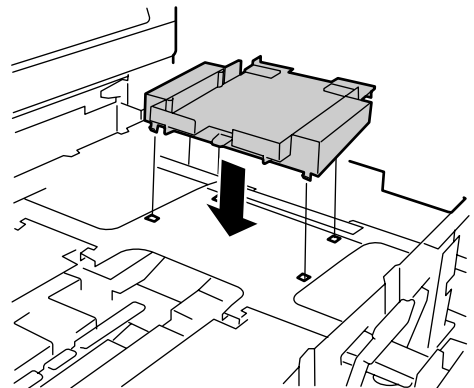


## 4 ハガキホルダに収納されている緑色のハガキリブを取り外します。

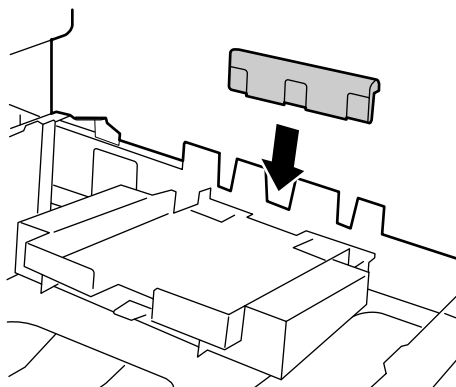


## 5 ハガキホルダを取り付けます。

ハガキホルダの爪をホッププレートに合わせ、ハガキホルダを2つのサイドガイドの間にはめ込みます。

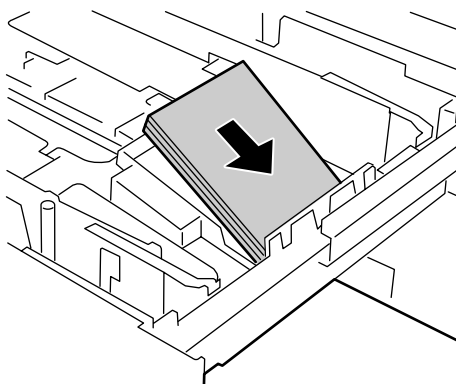


**6** ハガキリブをはがき出口の中央部に差し込みます。



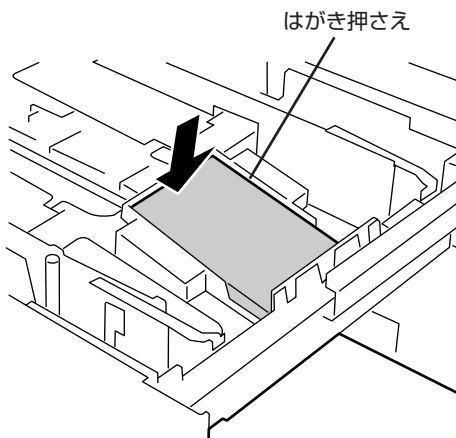
**7** はがきをそろえ、印刷する面を下にして郵便番号枠のある方から先に入れます。

はがきは30枚までセットできます。

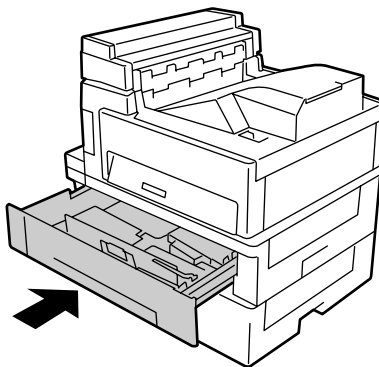


**8** はがきの後ろ側をそろえて、ハガキホルダの中にセットします。

はがきの左側が「はがき押さえ」で押さえられていることを確認してください。



**9** 用紙カセットをプリンタ内に戻します。





## ホッパの選択

MultiWriterは特に設定しなければ1段目のホッパが自動的に選択されます。任意のホッパを選ぶにはアプリケーションか操作パネルのスイッチを使います。ここでは操作パネルでの設定方法を説明します。アプリケーションの設定に関してはそれぞれアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

またMultiWriterはホッパから用紙を以下のように給紙することができます。

- 独占給紙 — 選択されたホッパからのみ給紙します。用紙がなくなったらその都度補給しなければなりません。
- リレー給紙 — 選択されたホッパの用紙がなくなったら自動的に同じサイズの出紙が入った他のホッパから給紙します。



ヒント

自動給紙を可能にするにはメニューモードで該当ホッパの「リレー給紙」の設定を「ON」にしておく必要があります。メニューの設定方法など詳細は4章をご覧ください。

任意のホッパを選択する場合、該当のカセットに用紙がセットされていることを確認し、以下の手順に従ってください。

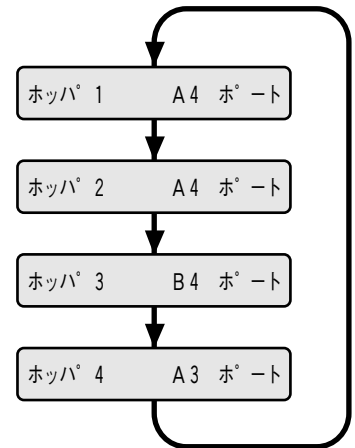
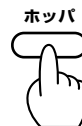
- 1 印刷可スイッチを押して、ディセレクト状態にします。

印刷可ランプが消灯します。



- 2 ホッパスイッチを押して希望のホッパを選びます。

ホッパスイッチを押すたびにディスプレイは選択できるホッパを表示します。右の図はホッパ2段増設した場合の例です。この場合リレー給紙の設定がONになっていれば、ホッパ1の用紙がなくなれば自動的にホッパ2から給紙します。



- 3 印刷可スイッチを押してセレクト状態にします。

印刷可ランプが点灯します。これでコンピュータからデータを送ると選択されたホッパから用紙が送り出され、印刷が開始されます。

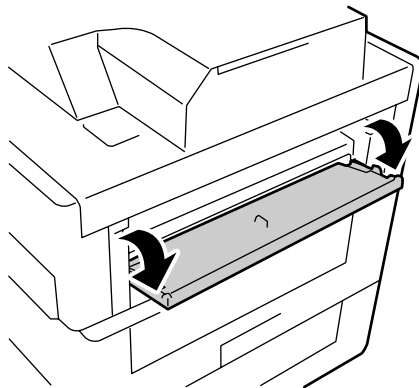


## 手差しガイドに用紙をセットする

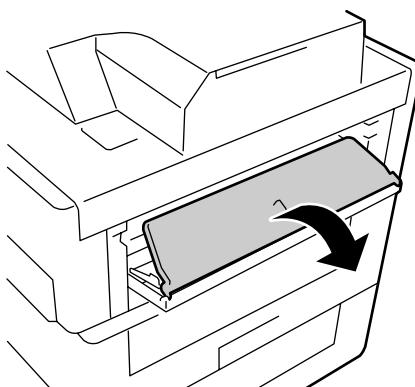
手差しは用紙を1枚ずつ手で送る方法です。

ホッパにセットされている用紙と異なるサイズの内紙に1枚だけ印刷したいとき、OHPフィルム、ラベル紙に印刷するときなどは必ず手差しガイドから用紙を送ります。はがきも1枚ずつ印刷することができます。

**1** 手差しガイドを開きます。



**2** つまみを持ってもう一段開きます。

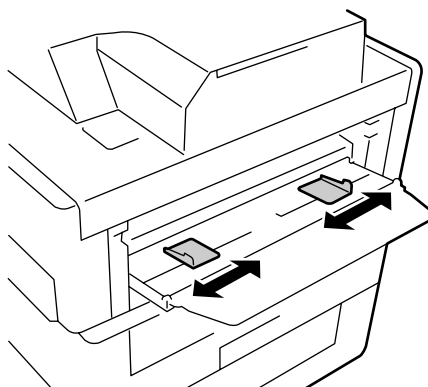


**3** 印刷したい用紙のサイズに用紙ガイドを合わせます。



チェック

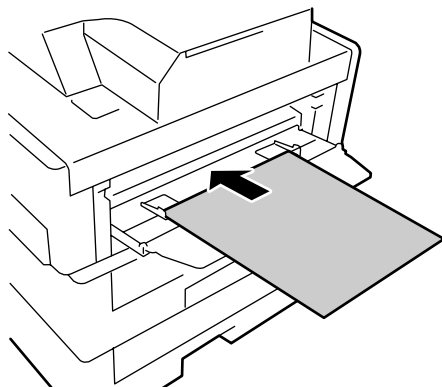
手差しガイドを閉じるときは用紙ガイドを一番外側にしてください。



## 4 印刷したい面を上にして、用紙を用紙ガイドに沿って突き当たるまで挿入します。

手差しの際はどのサイズの内紙も縦置きにセットします。

A4サイズ以上の場合、手差しガイドから用紙がはみ出てしまうので、用紙が吸入される時は用紙がたるまないように手で支えてください。



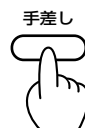
## 5 印刷可スイッチを押して、ディセレクト状態にします。

印刷可ランプが消灯します。



## 6 手差しスイッチを押します。

手差しが選択され、ディスプレイには“テサシ”と表示されます。

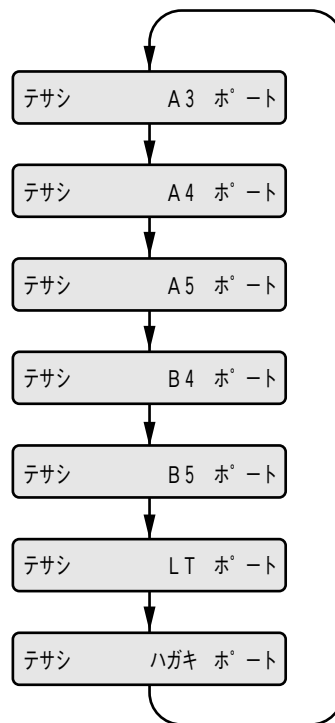


## 7 さらに手差しスイッチを押して、印刷する用紙のサイズを選択します。

手差しスイッチを押すたびにディスプレイの表示が「A3→A4→A5→B4→B5→LT\*→ハガキ→A3…」と変わります。



- 手差しの場合は、自動的に用紙サイズを設定しないので、必ずスイッチで選択してください。
- スイッチで選択した用紙サイズよりも小さい用紙に印刷したり、用紙のセット方向をまちがえて印刷すると、用紙をはみ出して印刷してしまい、プリンタ内部のローラを汚す原因となるので注意してください。ローラが汚れてしまったときは、テスト印刷を数枚行い、汚れを取り除いてください。



\*LT = レターサイズ

## 8 印刷可スイッチを押してセレクト状態にします。

印刷可ランプが点灯します。これでコンピュータからデータを送ると手差しガイドから用紙が送り出され、印刷が開始されます。

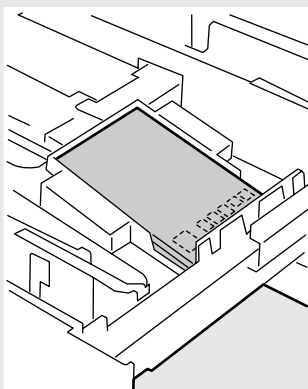


### はがきのセット方向

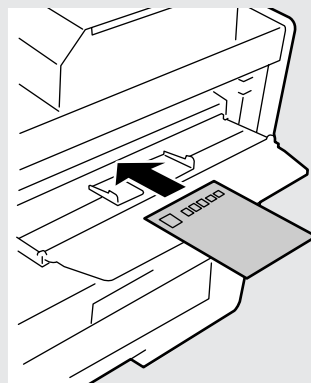
用紙カセット(はがきホルダ)にセットするときは、印刷する面を下にし、郵便番号枠のある方から吸入されるようにセットします。

手差しガイドにセットするときは、印刷する面を上にし、郵便番号枠のある方を先に入れます。(ソフトウェアによっては、ランドスケープでの印刷が逆さまになるものがあります。この場合には、はがきの前後を逆にしてセットしてください。)

#### おもて(宛名)に印刷するとき

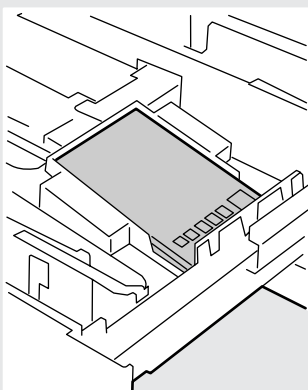


用紙カセット(はがきホルダ)

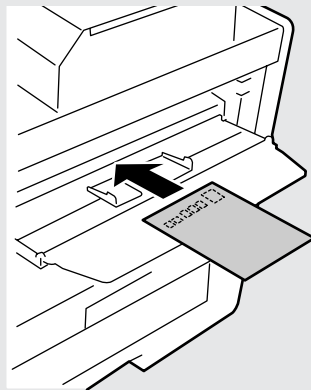


手差しガイド

#### 裏に印刷するとき



用紙カセット(はがきホルダ)



手差しガイド



印刷したはがきをポストに入れるときは、反りが5mm以内になるように直してください。反りが大きいと郵便番号読取機の処理に不都合が生じます。

# 両面印刷/ソータの設定

MultiWriterは特に設定しなければ通常の印刷をスタッカに排出します。オプションの両面印刷ユニット、ソータユニットを装着すると、操作パネルから両面印刷やソータユニットへの排紙を設定できます。

任意のオプションが装着されていることを確認し、以下の手順に従ってください。

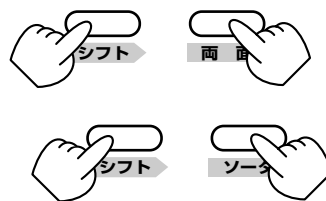
- 1 印刷可スイッチを押して、ディセレクト状態にします。

印刷可ランプが消灯します。



- 2 シフトスイッチを押しながら両面スイッチまたはソータスイッチを押して希望の機能を選びます。

機能が選ばれると両面またはソータランプが点灯します。



- 3 印刷可スイッチを押してセレクト状態にします。

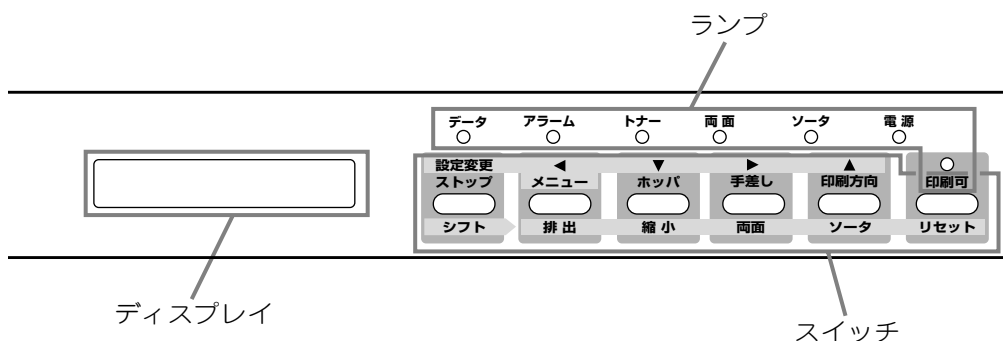
印刷可ランプが点灯します。これで希望のオプションが使用可能になりました。



# 操作パネルの使い方

操作パネル上にあるスイッチは本プリンタの状態や設定を変更するためのものです。状態や設定は、「ランプ」や「ディスプレイ」で表示されます。

ここでは『操作パネル』上の「スイッチ」の使い方と、「ランプ」、「ディスプレイ」の表示の意味について、主にNPDLで使用する場合について説明します。ESC/Pエミュレーションでは一部機能が異なります。詳しくは「ESC/Pエミュレーションの使い方」(115ページ)を参照してください。



操作パネル

## ランプ

本プリンタの操作パネルには7個のランプがあります。それぞれ点灯/消灯あるいは点滅でプリンタの状態を表します。

### 印刷可ランプ

- 点灯 プリンタがセレクト状態 (印刷データを受信できる状態) になっています。
- 消灯 プリンタがディセレクト状態 (印刷データを受信できない状態) になっています。

### 電源ランプ

- 点灯 プリンタの電源がONになっています。

### ソータランプ

- 点灯 ソータユニットに排出可能です。このランプはソータユニットを取り付けたときのみ機能します。

### 両面ランプ

- 点灯 デュプレックスユニットを使って両面印刷が可能です。このランプは両面印刷ユニットを取り付けたときのみ機能します。

## データランプ

- 点灯 プリンタ内に印刷データが残っています。
- 点滅 プリンタが印刷データを受信中です。
- 消灯
- プリンタ内にデータが残っていません。
  - プリンタはデータを受信中ではありません。

## トナーランプ

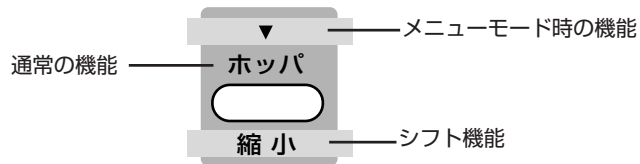
- 点灯 EPカートリッジの寿命が近づいています。新しいEPカートリッジと交換してください。

## アラームランプ

- 点灯 30秒ごとにブザーが6回ずつ鳴ります。
- ホッパまたは手差し給紙口に用紙がありません。用紙を補給し、印刷可スイッチを押してください。
  - プリンタが印刷フォーマット設定コマンド (FS f) を受信しましたが、指定されたサイズ用紙がありません。ディスプレイに表示されているサイズの用紙をセットし、印刷可スイッチを押してください。
- 点滅 30秒ごとにブザーが6回ずつ鳴ります。  
プリンタにエラーが発生しています。詳しくは、第6章の「アラーム表示が出ているときは」(128ページ)をご覧ください。

## スイッチ

本プリンタの操作パネルには6個のスイッチがあり、それぞれのスイッチには2つまたは3つの機能をもたせています。

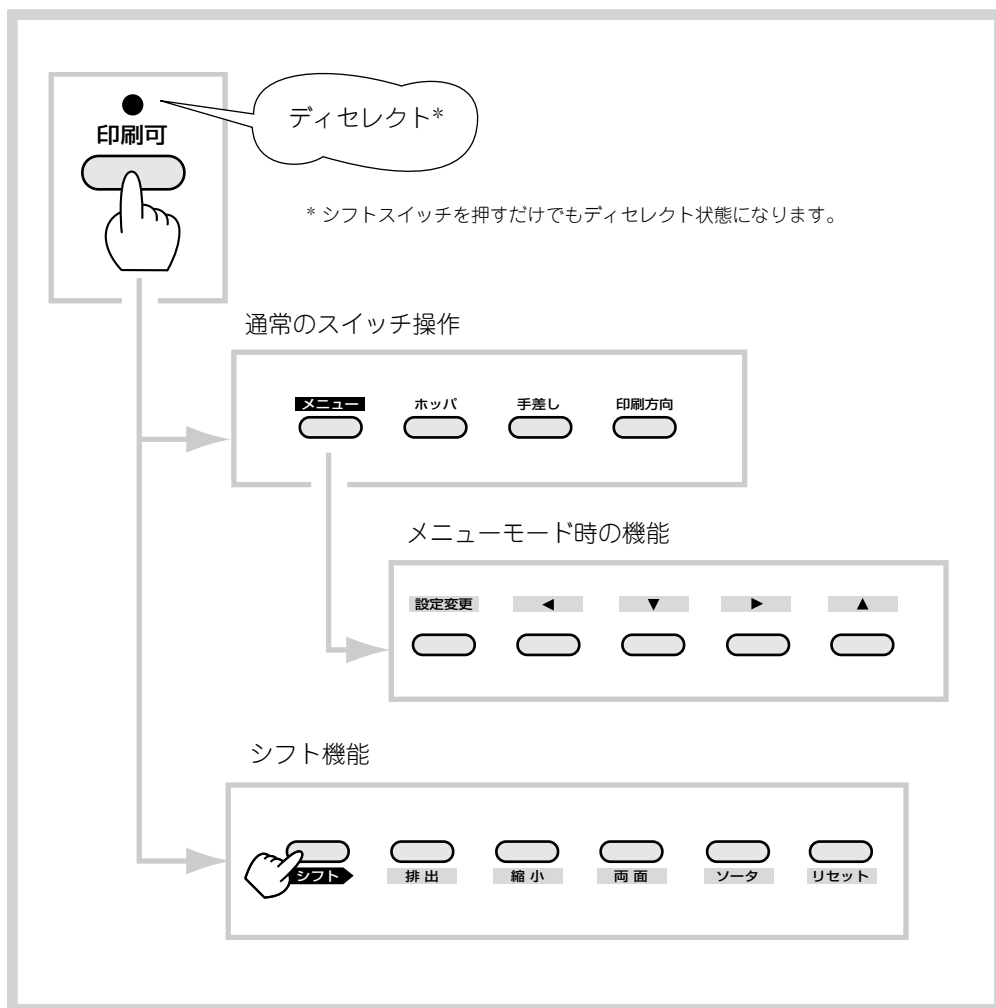


- 通常のスイッチ機能** — 印刷可スイッチを押してディセレクト状態(印刷可ランプが消灯している状態)になって初めて機能します(ストップスイッチを除く)。
- メニューモード時の機能** — メニュースイッチを押してメニューモードに入ると働く機能です。
- シフト機能** — シフトスイッチを押しながら押すと働く機能です。



チェック

アラームランプが点滅している間はどのスイッチも機能しません。アラームの詳細については「アラーム表示が出ているときは」(128ページ)を参照してください。



スイッチのモード

## 印刷可スイッチ



データを受信できる状態(セレクト状態、印刷可ランプ点灯)と受信できない状態(ディセレクト状態、印刷可ランプ消灯)を押すごとに交互に切り替えます。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューモードを終了します。

## 印刷方向スイッチ



このスイッチを押すごとに、ポートレートとランドスケープを交互に選択します。

- 印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。  
もしデータランプが点灯していたら、次のどちらかの方法でプリンタ内にデータが残って



いない状態(データランプ消灯)にしてください。

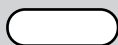
- ◇ 未印刷データを印刷する(シフトスイッチ+排出スイッチ)
- ◇ 未印刷データを消去する(シフトスイッチ+リセットスイッチ2回)
- 用紙の置き方に関係なく、縦長にした内容を印刷するときはポートレートを、横長にした内容を印刷するときはランドスケープを指定します。選択されている印刷方向は、ディスプレイに表示されています。
- ランドスケープで印刷すると、文字や図形を用紙走行に対して反時計回りに90度回転したようになります。時計回りに90度回転したいときはメモリスイッチ4-5をONにします(83ページ参照)。



Windowsおよびその他一部のアプリケーションソフトウェアは、ソフトウェアから印刷方向を設定しています。その場合、印刷方向の切り替えはソフトウェア上で行ってください。

## 手差しスイッチ

手差し



ホッパから用紙を送る状態でこのスイッチを押すと、手差しで用紙を送る状態に切り替わります。

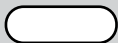
手差しで用紙を送る状態のときは、このスイッチを押すたびに用紙サイズの設定が次のように変わります。

A3→A4→A5→B4→B5→LT→ハガキ→A3・・・(繰り返し)

- 印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。  
もしデータランプが点灯していたら、次のどちらかの方法でプリンタ内にデータが残っていない状態(データランプ消灯)にしてください。
  - ◇ 未印刷データを印刷する(シフトスイッチ+排出スイッチ)
  - ◇ 未印刷データを消去する(シフトスイッチ+リセットスイッチ2回)
- 手差しでの印刷については、「手差しガイドに用紙をセットする」(40ページ)をご覧ください。

## ホッパスイッチ

ホッパ



手差しから用紙を送る状態で、このスイッチを押すと、ホッパから用紙を送る状態に切り替わります。

ホッパを使用しているときは、このスイッチでホッパを選択します。

- 印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。  
もしデータランプが点灯していたら、次のどちらかの方法でプリンタ内にデータが残っていない状態(データランプ消灯)にしてください。

- ◇ 未印刷データを印刷する(シフトスイッチ+排出スイッチ)
- ◇ 未印刷データを消去する(シフトスイッチ+リセットスイッチ2回)

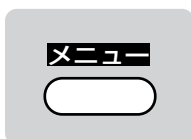
- オプションの増設ホッパ(ホッパ3、ホッパ4)を使用している場合、ホッパからの給紙選択状態でこのスイッチを押すたびに、ディスプレイ上のホッパ表示が変わり、表示されているホッパが選択されます。



Windowsおよびその他一部のアプリケーションソフトウェアはソフトウェアからホッパを設定します。その場合、ホッパの切り替えはソフトウェア上で行ってください。

## メニュースイッチ

メニューモードに入ります。



- 印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。  
もしデータランプが点灯していたら、次のどちらかの方法でプリンタ内にデータが残っていない状態(データランプ消灯)にしてください。
  - ◇ 未印刷データを印刷する(シフトスイッチ+排出スイッチ)
  - ◇ 未印刷データを消去する(シフトスイッチ+リセットスイッチ2回)
- メニューモードについては、「メニューモード」(69ページ)をご覧ください。

## ストップスイッチ

データの受信と印刷を停止し、ディセレクト状態にします。



- 印刷中に押すと、印刷中の用紙を排出した後、一時的に印刷を停止します。受信済みのデータは、プリンタ内に残ったままになります。
- 印刷を再開するときは、印刷可スイッチを押します。

## シフトスイッチ



このスイッチが押されている間、5つのスイッチ(メニュー、ホッパ、手差し、印刷方向、印刷可)はそれぞれスイッチの下に表記された機能(排出、縮小、両面、ソータ、リセット)が有効となります。

このスイッチを押すと、自動的に印刷可ランプが消灯します。

## 排出スイッチ

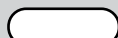


排出

シフトスイッチを押しながらこのスイッチを押すと、プリンタ内に残っている未印刷データをすべて印刷します。

- 印刷可ランプが消灯していて、データランプが点灯している（ディスプレイには“データガノコッテイマス”と表示されている）ときに機能します。
- 再びコンピュータからデータを送って印刷するときは、印刷可スイッチを押してプリンタをセレクト状態（印刷可ランプ点灯）にしてください。
- プリンタ内にデータを残したまま次の印刷を行うと、プリンタは残っているデータと次の印刷データを重ねて印刷する場合があります。

## 両面スイッチ



両面

シフトスイッチを押しながらこのスイッチを押すことにより両面印刷が可能になります。

- 両面印刷が可能になると両面ランプが点灯します。
- オプションの両面印刷ユニットが取り付けられている必要があります。

## ソータスイッチ

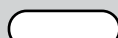


ソータ

シフトスイッチを押しながらこのスイッチを押すことによりソータへの用紙排出が可能になります。

- ソータ排出が可能になるとソータランプが点灯します。
- オプションのソータユニットが取り付けられている必要があります。

## リセットスイッチ



リセット

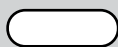
シフトスイッチを押しながらこのスイッチを2回押すと、ディスプレイに“リセットジッコウ”と表示され、プリンタは初期状態（電源スイッチON直後の状態）になります。

- 印刷可ランプが消灯しているときに機能します。
- プリンタ内に残っている未印刷データは消失します。
- リセット後、ブザーが2回鳴ります。



リセットを行うと、スイッチを使って変更したプリンタの設定も、初期状態(電源ON直後の状態)に戻ります。ただし、メニュースイッチを使って変更したメニューモードの内容はリセットされません。

## 縮小スイッチ



縮小

シフトスイッチを押しながらこのスイッチを押すごとに、縮小/拡大モードをディスプレイに表示し、選択します。(51ページをご覧ください。)

- 印刷可ランプおよびデータランプが消灯しているときで、ディスプレイ上の用紙サイズの設定が、A3、A4、B4、B5のときに機能します。  
もしデータランプが点灯していたら、次のどちらかの方法でプリンタ内にデータが残っていない状態(データランプ消灯)にしてください。
  - ◇ 未印刷データを印刷する(シフトスイッチ+排出スイッチ)
  - ◇ 未印刷データを消去する(シフトスイッチ+リセットスイッチ2回)
- 以下の縮小/拡大印刷ができます。(詳細は次ページをご覧ください)
  - A4、B4サイズの印刷データをA3サイズの用紙に
  - B4、B5、帳票、A3、A4で2ページ分の印刷データをA4サイズの用紙に
  - 帳票、A3、A4、B5サイズの印刷データをB4サイズの用紙に
  - A4、B4、B5で2ページ分の印刷データをB5サイズの用紙に

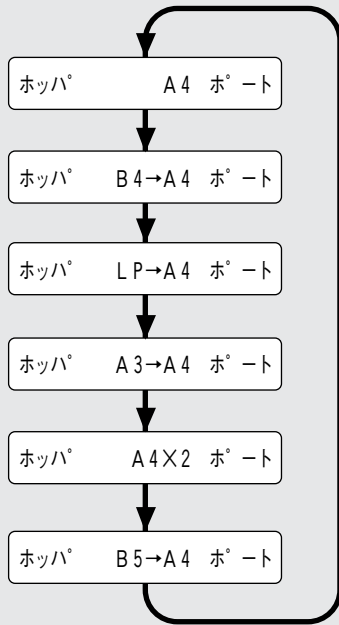


- 印刷データの前に用紙サイズの指定コマンド(FS f c<sub>1</sub>c<sub>2</sub>c<sub>3</sub>)によってA3、B4または帳票サイズが指定されており、ホッパにA4サイズの用紙が入っている場合は自動的に縮小して印刷します。詳しくは別売の『NPD(L Level 2)リファレンスマニュアル』をご覧ください。  
縮小を行った場合、座標などの数値の丸め誤差により、縮小しない場合と印刷結果が異なる場合があります。
- 縮小/拡大モードを選択したあと、用紙カセットを引き出すと、選択された縮小/拡大モードは、解除されますので、再度選択してください。

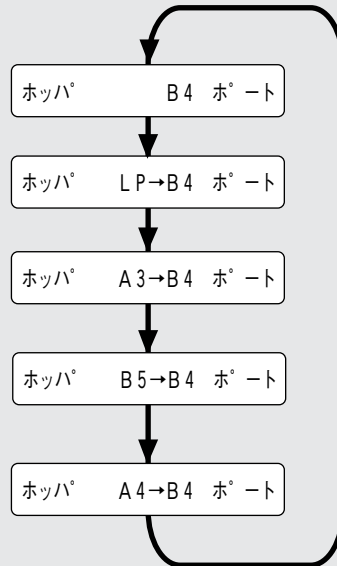
# 縮小／拡大モードについて

## 縮小／拡大モードの選択順

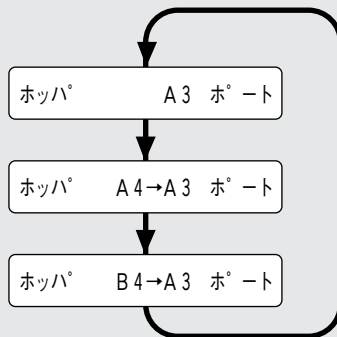
印刷する用紙のサイズ(A3、A4、B4、B5)によって、次の順序で縮小モードが選択されます。



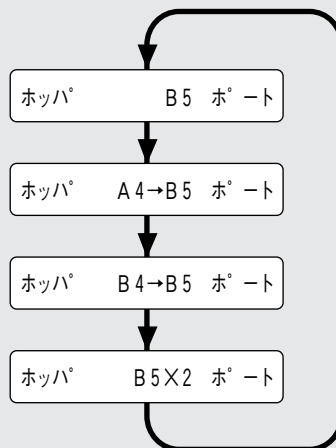
A4サイズに印刷する場合



B4サイズに印刷する場合



A3サイズに印刷する場合



B5サイズに印刷する場合

## 縮小／拡大モードの種類

### A3サイズ用の紙に印刷する場合

- A4→A3

A4サイズの印刷データを141%拡大してA3用紙に印刷します。

A4サイズの  
印刷データ



A3に  
印刷



- B4→A3

B4サイズの印刷データを115%拡大してA3用紙に印刷します。

B4サイズの  
印刷データ



A3に  
印刷



### A4サイズ用の紙に印刷する場合

- B4→A4

B4サイズの印刷データを約4/5に縮小してA4用紙に印刷します。

B4サイズの  
印刷データ



A4に  
印刷



- 帳票→A4(“LP→A4”と表示)

帳票サイズ(136桁×66行)の印刷データを約2/3に縮小してA4用紙に印刷します。  
帳票サイズを縮小印刷するときは、必ず印刷方向をランドスケープに設定してください(46ページ参照)。

帳票サイズの  
印刷データ

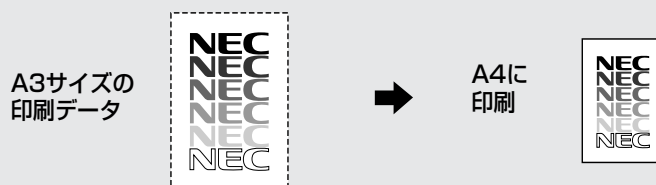


A4横に  
印刷



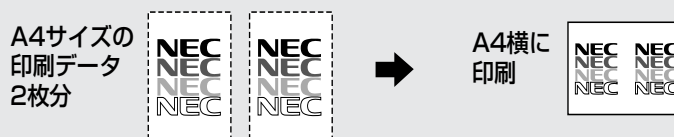
- A3→A4

A3サイズの印刷データを約2/3に縮小してA4用紙に印刷します。



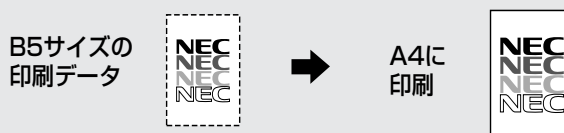
- A4・2ページ→A4・1ページ(“A4×2”と表示)

A4サイズ2ページ分の印刷データを約2/3に縮小してA4用紙1枚に印刷します。



- B5→A4

B5サイズの印刷データを115%拡大してA4用紙に印刷します。

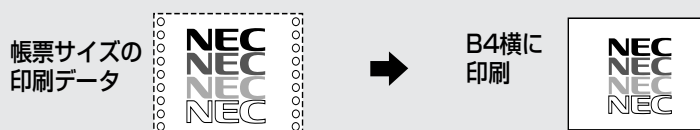


アプリケーションソフトウェアによってはこのモードが正常に機能しない場合もありますので注意してください。

### B4サイズ用紙に印刷する場合

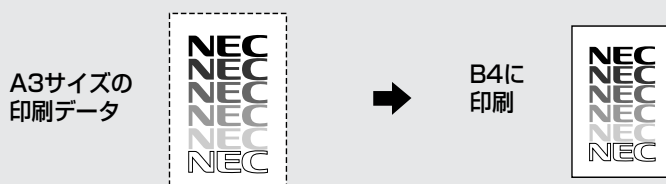
- 帳票→B4(“LP→B4”と表示)

帳票サイズ(136桁×66行)の印刷データを約4/5に縮小してB4用紙に印刷します。帳票サイズを縮小印刷するときは、必ず印刷方向をランドスケープに設定してください(46ページ参照)。



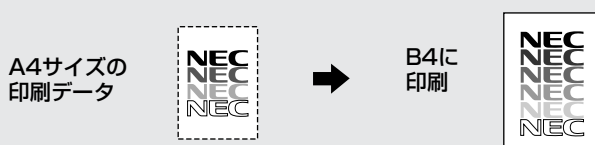
- A3→B4

A3サイズの印刷データを約5/6に縮小してB4用紙に印刷します。



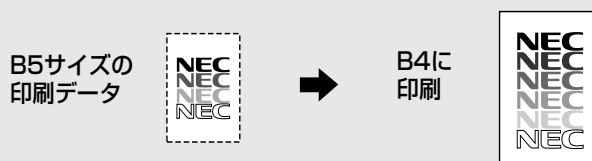
- A4→B4

A4サイズの印刷データを122%拡大してB4用紙に印刷します。



- B5→B4

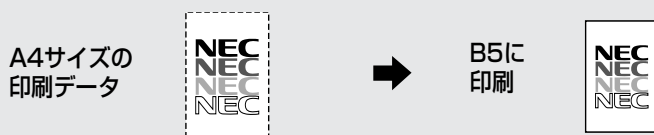
B5サイズの印刷データを141%拡大してB4用紙に印刷します。



### B5サイズの下紙に印刷する場合

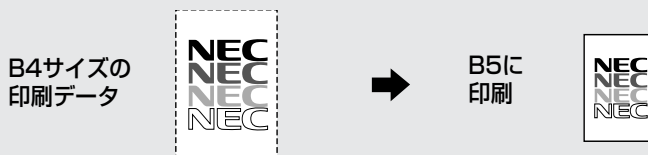
- A4→B5

A4サイズの印刷データを約5/6に縮小してB5用紙に印刷します。



- B4→B5

B4サイズの印刷データを約2/3に縮小してB5用紙に印刷します。





- B5・2ページ→B5・1ページ(“B5×2”と表示)

B5サイズ2ページ分の印刷データを約2/3に縮小してB5用紙1枚に印刷します。

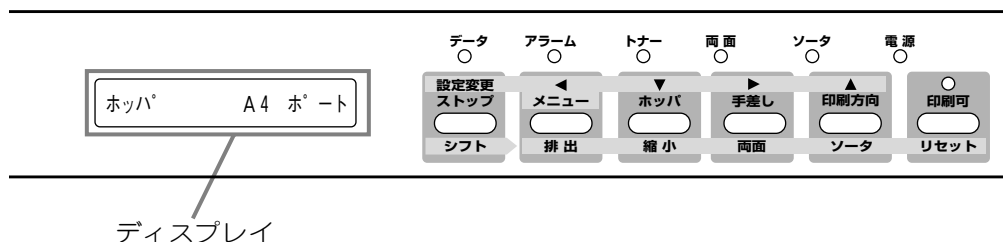


チェック

アプリケーションソフトウェアによっては、このモードが正常に機能しない場合もありますので注意してください。

## ディスプレイ

16桁の液晶ディスプレイです。英数字とカナで、プリンタの状態や操作に関する情報を表示します。



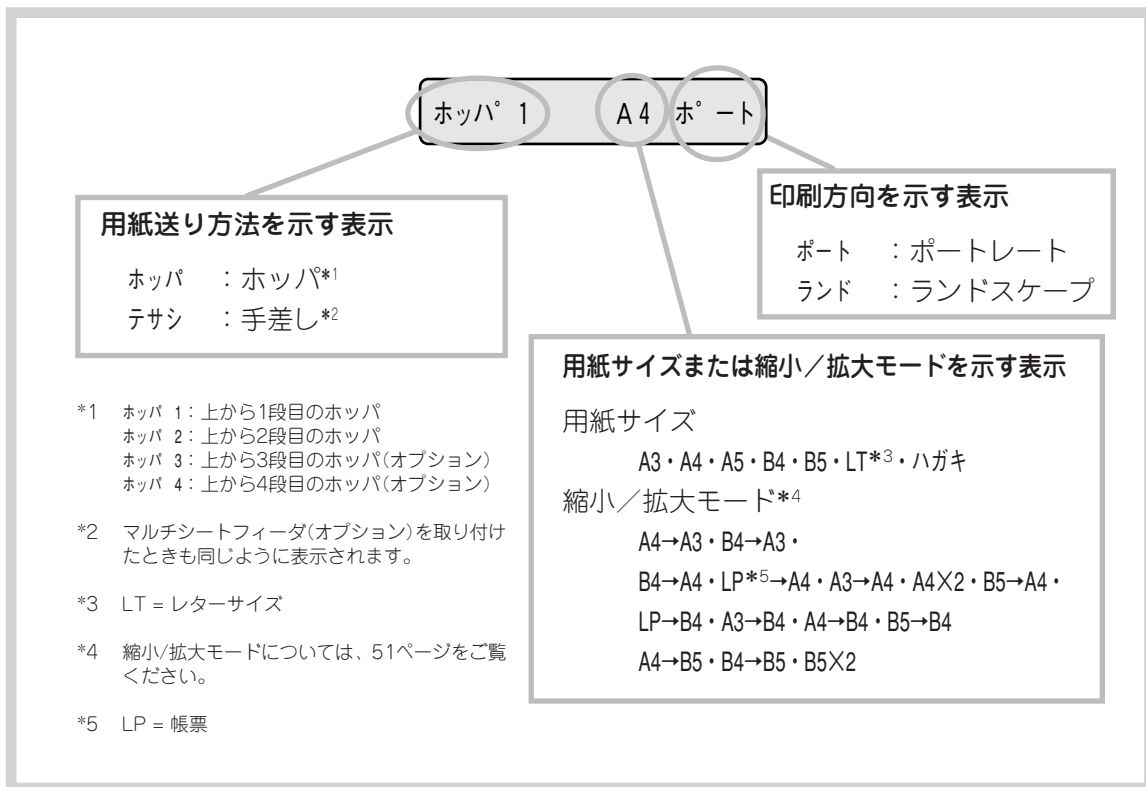
ディスプレイ

通常は、用紙送りの方法、用紙サイズ(または縮小/拡大モード)、印刷方向の3つを表示しています。



チェック

プリンタがESC/PEミュレーションモードになっているときは表示が異なります。詳しくは、「ESC/PEミュレーションの使い方」(115ページ)を参照してください。



## ディスプレイの表示

その他の表示内容については「アラーム表示が出ているときは」(128ページ)、「メニューツリー」(71ページ)あるいは「ディスプレイ表示一覧」(235ページ)をご覧ください。

# プリンタドライバの設定

Windows 95(日本語版)、Windows 3.1(日本語版)、Windows NT 3.5(日本語版)およびWindows NT 3.51(日本語版)環境でお使いの方はコンピュータにインストールしたプリンタドライバのダイアログを使って各種の印刷上の設定を行うことができます。

## Windows 95(日本語版)用ドライバ

インストールしたプリンタドライバを使って印刷するには、一般に各アプリケーションソフトウェアの[ファイル(F)]メニューから[印刷(P)...]を選択します。ただし、複数のプリンタドライバがインストールされている場合には、あらかじめ本プリンタドライバを選択しておく必要があります。

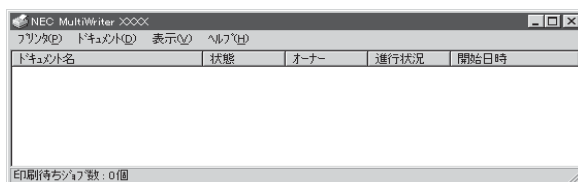
また、印刷の内容によっては、用紙サイズなどプリンタドライバの設定を変更しなければなりません。このような設定変更のためには、各アプリケーションソフトウェアからプリンタ設定を行う手順を実行し(ご使用のアプリケーションソフトウェアのマニュアルを参照)、プリンタのプロパティシートを呼び出す必要があります。

本プリンタドライバのすべてのプロパティシートを開くには次の手順を実行します。

- 1 [プリンタ]フォルダを開きます。
- 2 本プリンタアイコンをダブルクリックします。

次のようなダイアログボックスが表示されます。

本ダイアログボックスで、印刷中のドキュメントに関する詳しい情報を確認することができます。



- 3 [プリンタ(P)]-[プロパティ(R)]をクリックします。

次のようなプロパティシートが表示されます。  
[用紙]、[グラフィックス]等のタブをクリックすることにより、各設定を行うことができます。



プロパティシートはプリンタのプロパティ(属性)を図案化したものです。次の6枚のシートが用意されています。シート上部のタブをクリックすれば希望のプロパティシートが開きます。

- 情報プロパティ
- 詳細プロパティ
- 用紙プロパティ
- グラフィックプロパティ
- フォントプロパティ
- 印刷品質プロパティ

## [情報]プロパティシート

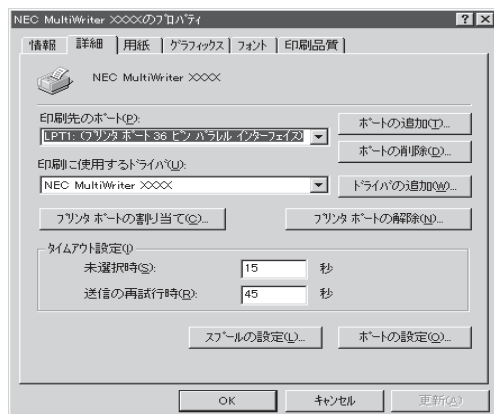
[情報]タブをクリックすると、[情報]プロパティシートが表示されます。



このプロパティシートはWindows 95(日本語版)対応の全プリンタドライバ共通のもです。通常ご使用になっている上では設定の変更の必要はありませんが、詳しくはWindows 95(日本語版)のヘルプをご覧ください。

## [詳細]プロパティシート

[詳細]タブをクリックすると、次のような[詳細]プロパティシートが表示されます。



このプロパティシートはWindows 95(日本語版)対応の全プリンタドライバ共通のもです。通常ご使用になっている上では設定の変更の必要はありませんが、詳しくはWindows 95(日本語版)のヘルプをご覧ください。

## [用紙]プロパティシート

[用紙]タブをクリックすると、次のような[用紙]プロパティシートが表示されます。



### [用紙サイズ (Z)]

印刷する用紙サイズを選択できます。(印刷可能な用紙のサイズについては、プリンタのユーザーズマニュアルをご覧ください。)

### [印刷の向き]

ページを縦長で使用するか横長で使用するかを設定するものです。

[縦]を選択すると縦長方向で、[横]を選択すると横長方向で印刷します。

### [給紙方法 (S)]

印刷時に使用するホッパを選択できます。

### [部数 (C)]

印刷時の部数を指定することができます。1～99枚まで設定可能です。

### [バージョン情報 (B)]

本プリンタドライバのバージョン情報が表示されます。

### [標準に戻す (D)]

[用紙]プロパティシートのすべての項目を標準設定に戻すことができます。

## [グラフィックス]プロパティシート

[グラフィックス]タブをクリックすると、次のような[グラフィックス]プロパティシートが表示されます。



### [解像度 (R)]

本プリンタでは、400 dpi固定です。

### [ディザリング]

ディザリングの方法を設定することができます。それぞれの詳細については、プロパティシート上の[ディザリング]のところでも右クリックをするとヘルプが表示されますので、そこで確認してください。

### [濃度 (I)]

グラフィックスの明暗を設定することができます。

印刷を薄くするときは[明]の方向へ、濃くする

ときは[暗]の方向へスライダで設定してください。

### [フラッシュパターンを拡大する (B)]

網掛けパターンを拡大することができます。

### [すべてビットマップで出力する(S)]

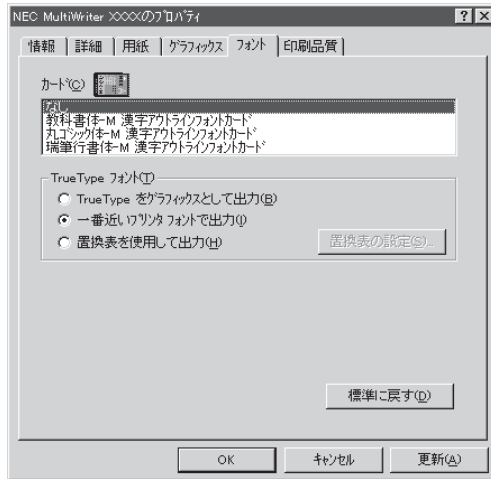
図形などをすべてビットマップで出力することができます。

### [標準に戻す(D)]

[グラフィックス]プロパティシートのすべての設定項目を標準設定に戻すことができます。

## [フォント]プロパティシート

[フォント]タブをクリックすると、次のような[フォント]プロパティシートが表示されます。



### [カード(C)]

プリンタ本体にセットしたオプションのフォントカードを選択します。

### [TrueTypeフォント(T)]

TrueTypeフォントの出力方法を設定することができます。

[置換表を使用して出力]を選択すると、[置換表の設定]によってフォントの置き換え\*がフォントごとに設定できるようになります。

### [標準に戻す(D)]

[フォント]プロパティシートのすべての設定項目を標準設定に戻すことができます。

\* フォントの置き換えについて

文字セットが異なるフォント、デザインが著しく異なるフォントへの置き換えは行わないでください。期待どおりの印刷結果にならない場合があります。またOCR-Bフォントを使用する場合は222ページの「疑似OCR-Bフォントについて」を参照ください。

## [印刷品質]プロパティシート

[印刷品質]タブをクリックすると、次のような[印刷品質]プロパティシートが表示されます。



### [SET機能]

テキストやグラフィックスのエッジのギザギザをなくし、画質を向上させることができます。

### [トナー節約機能]

トナーを節約した印刷ができます。



トナー節約機能を使用すると、細い線、濃度の薄い印刷、網かけおよびグラデーションが不鮮明になることがあります。本機能は試し印刷などにご使用ください。また、本プリンタは内蔵の疑似OCR-Bフォントの印刷もできますが、疑似OCR-Bフォントの印刷を行う場合にはトナー節約機能は使用しないでください。印刷がかすれ、OCR読み取り装置が読み取りエラーを起こすことがあります。

#### [標準に戻す(D)]

[印刷品質]プロパティシートのすべての設定項目を標準設定に戻すことができます。

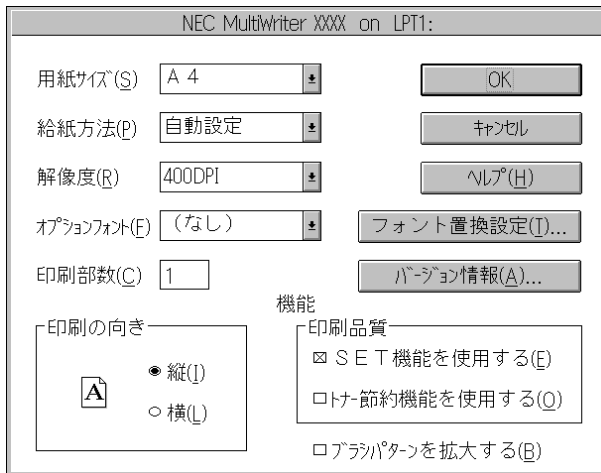


各プロパティシートのそれぞれの項目についての詳細は、プロパティシート上のそれぞれの項目の上で右クリックを行うことによりヘルプが表示されますので、そちらをご覧ください。

## Windows 3.1 (日本語版)用ドライバ

インストールしたプリンタドライバを使って印刷するには、一般に各アプリケーションソフトウェアの[ファイル]メニューから[印刷]を選択します。ただし、複数のプリンタドライバがインストールされている場合には、あらかじめ本プリンタドライバを選択しておく必要があります。

また、印刷の内容によっては、用紙サイズなどプリンタドライバの設定を変更しなければなりません。このような設定変更のためには、例えばWindows標準添付の「ライト」であれば、[ファイル]メニューの[プリンタの設定]で本プリンタを選択して[オプション]ボタンをクリックするなど、各アプリケーションソフトウェアからプリンタ設定を行う手順を実行し(ご使用のアプリケーションソフトウェアのマニュアルを参照)、次のようなダイアログを呼び出す必要があります。



#### [用紙サイズ(S)]

このドロップダウン形式の一覧では、印刷する用紙サイズまたは拡大・縮小の割合を選択します。用紙サイズは以下の設定から選択可能です。

- A3、A4、A5、B4、B5、はがき、LETTER
- A3→A4、A3→B4、A4→A3、A4→B4、A4→B5、A4 x 2→A4、B4→A3、B4→A4、B4→B5、B5→A4、B5→B4、B5 x 2→B5、帳票→A4、帳票→B4”

#### [給紙方法(P)]

このドロップダウン形式の一覧では、給紙する方法を指定します。“自動設定”、“ホッパ1”、“ホッパ2”、“ホッパ3”、“ホッパ4”から選択することができます。



“ホッパ3”、“ホッパ4”はオプションの増設ホッパを取り付けているときのみ選択できます。

### [解像度(R)]

このドロップダウン形式の一覧では、ビットマップやTrueTypeフォント、WIFEフォント(プリンタのICカードのフォントやプリンタが持っているFontAvenueフォントを除く)の解像度を選択します。



解像度の低い設定では、印刷文書に組み込んだビットマップ等の解像度が低下する代わりに、印刷の出力が速くなる場合がありますので、試し刷りとしてご利用ください。通常は最も高い解像度に設定してください。

### [オプションフォント(F)]

このドロップダウン形式の一覧では、プリンタ本体にセットしたフォントカードを設定します。

### [印刷部数(C)]

印刷時の部数を指定することができます。1~99枚まで設定可能です。

### [印刷の向き]

ページを縦長で使用するか横長で使用するかを設定するものです。[縦]に設定すると縦長方向で、[横]に設定すると横長方向で印刷します。

### [ヘルプ(H)]

このボタンをクリックすると、このプリンタ設定に関するヘルプを見ることができます。

### [フォント置換設定(T)]

このボタンをクリックすると、フォントの置き換えを設定するダイアログボックスを表示します。



文字セットが異なるフォント、デザインが著しく異なるフォントへの置き換えは行わないでください。期待どおりの印刷結果にならない場合があります。またOCR-Bフォントを使用する場合は222ページの「疑似OCR-Bフォントについて」を参照ください。

### [SET機能を使用する(E)]

このボックスをチェックすると、テキストやグラフィックのエッジのギザギザをなくし、画質を向上させることができます。

### [トナー節約機能を使用する(O)]

このボックスをチェックすると、トナーを節約した印刷ができます。



トナー節約機能を使用すると、細い線、濃度の薄い印刷、網かけおよびグラデーションが不鮮明になることがあります。本機能は試し印刷などにご使用ください。また、本プリンタは内蔵の疑似OCR-Bフォントの印刷もできますが、疑似OCR-Bフォントの印刷を行う場合にはトナー節約機能は使用しないでください。印刷がかすれ、OCR読み取り装置が読み取りエラーを起こすことがあります。

### [パターンを拡大する(B)]

このボックスをチェックすると、図形の塗りつぶしパターンが拡大されます。パターンが細すぎて見づらい場合はここをチェックしてください。



# Windows NT (日本語版)用ドライバ

ここではWindows NT3.5(日本語版)用またはWindows NT3.51(日本語版)用のドライバの設定について説明しています。

インストールしたプリンタドライバを使って印刷をするには、一般にアプリケーションソフトウェアの[ファイル]メニューから[印刷]を選択します。ただし、複数のプリンタドライバがインストールされている場合には、あらかじめインストールしたプリンタドライバを選択しておく必要があります。

## プリンタドライバを呼び出す

印刷の内容によっては、用紙サイズなどプリンタドライバの設定を変更しなければなりません。このような設定変更のためには、まずプリンタドライバを呼び出さなくてはなりません。

## アプリケーションソフトウェアから

次にアプリケーションソフトウェアからプリンタ設定を行う場合の一例を示します。

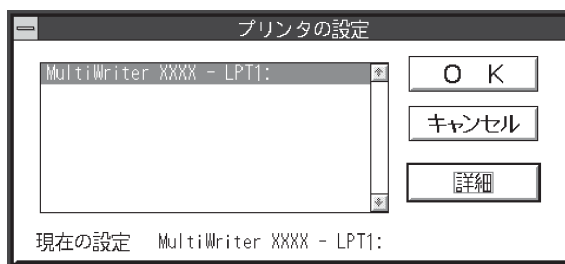


チェック

アプリケーションソフトウェアからプリンタ設定を行う場合は、使用するアプリケーションソフトウェアによって操作方法が異なりますので、必ずアプリケーションソフトウェアのマニュアルに従って操作してください。

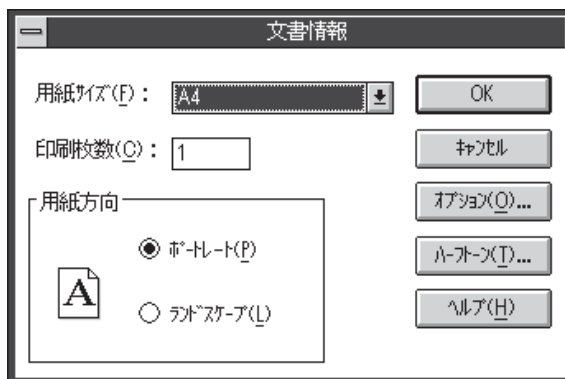
- 1 アプリケーションソフトウェアの[ファイル]メニューから[プリンタ設定]を選択します。

右のような[プリンタの設定]ダイアログボックスが表示されます。



- 2 [詳細]ボタンをクリックします。

[文書情報]ダイアログボックスが表示されます。



## プリントマネージャから呼び出す方法

1 プリントマネージャで[プリンタ]メニューの[プリンタ情報]を選択します。

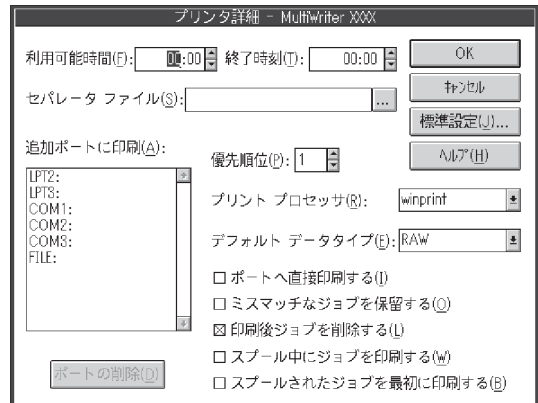
[プリンタ情報]ダイアログボックスが表示されます。



2 [詳細]ボタンをクリックします。

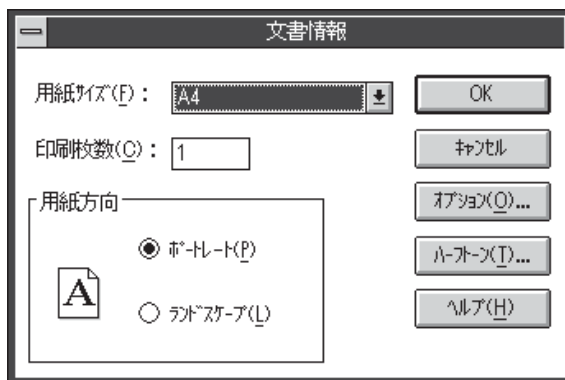
[プリンタ詳細]ダイアログボックスが表示されます。

[標準設定]ボタンをクリックすると、[文書情報]ダイアログボックスが表示され、[オプション]、[ポート]の設定が行えます。



## [文書情報]ダイアログボックス

このダイアログボックスは、プリントマネージャから[プリンタ]メニューの[プリンタ情報]を選択しても呼び出すことができます。



### [用紙サイズ(F):]

このドロップダウン形式の一覧では、各プリンタで印刷可能な用紙サイズが選択できます(印刷が可能な用紙のサイズについては、プリンタのユーザーズマニュアルをご覧ください)。

### [印刷枚数(C):]

ここでは印刷の部数を設定することができます。

アプリケーションソフトウェアによって反映されないものがありますので、

アプリケーションソフトウェアの[印刷]で部数を指定することをお勧めします。

### [用紙方向]

これはページを縦長で使用するか横長で使用するかを設定するためのものです。[ポート]を選択すると縦長方向で、[ランドスケープ]を選択すると横長方向で印刷します。

### [オプション(O)...]

このボタンをクリックすると、[オプション]ダイアログボックスが表示されます。印刷オプションの追加設定ができます(90ページ参照)。

### [ハートン(T)...]

このボタンをクリックすると、[ハートンカラーの調整]ダイアログボックスが表示されます。ハーフトーンの追加設定ができます(66ページ参照)。

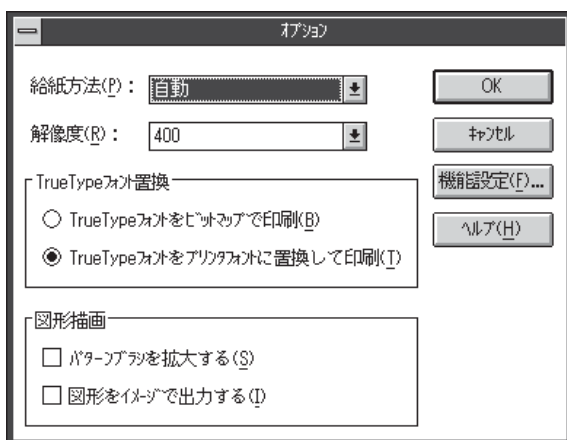
### [ヘルプ(H)]

このボタンをクリックすると、[文書情報]の設定に関するヘルプを見ることができます。

## [オプション]ダイアログボックス

[文書情報]ダイアログボックスを表示しているときに[オプション]ボタンをクリックすると[オプション]ダイアログボックスが表示されます。

WIFEのFAフォント(FA明朝など)がシステムにインストールされている場合、下図と異なるFAフォント置換の設定が行えるダイアログボックスが表示されます。



### [給紙方法(P):]

このドロップダウン形式の一覧では、印刷時に使用するホoppaを選択できません。

### [解像度(R):]

このドロップダウン形式の一覧では、印刷時に使用するデータの解像度を選択できます。(通常は最も高い解像度を設定します。)

### [TrueTypeフォント置換]

[TrueTypeフォントをプリンタフォントに置換して印刷]のオプションボタンを選択す

ると、[プリンタ設定]で設定されたフォント置換テーブルによって、TrueTypeフォントをプリンタフォントに置換して印刷できます。



チェック

文字セットが異なるフォント、デザインが著しく異なるフォントへの置き換えは行わないでください。期待どおりの印刷結果にならない場合があります。またOCR-Bフォントを使用する場合は222ページの「疑似OCR-Bフォントについて」を参照ください。

### [パターンを拡大する(S)]

このボックスをチェックすると、網かけパターンの拡大ができます。

### [図形をイメージで出力する(I)]

このボックスをチェックすると、図形データをイメージデータとして印刷することができます。

### [機能設定(F)...]

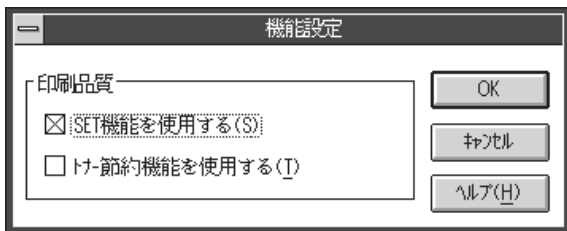
このボタンをクリックすると、[機能設定]ダイアログボックスが表示されます。(詳細については66ページをご覧ください。)

### [ヘルプ(H)]

このボタンをクリックすると、[オプション]の設定に関するヘルプを見ることができます。

## [機能設定]ダイアログボックス

[オプション]ダイアログボックスを表示しているときに[機能設定]ボタンをクリックすると[機能設定]ダイアログボックスが表示されます。



### [SET機能を使用する(S)]

このボックスをチェックすると、SET機能を使用できます。(機能の詳細については23ページをご覧ください。)

### [トナー節約機能を使用する(T)]

このボックスをチェックすると、トナーを節約した印刷ができます。



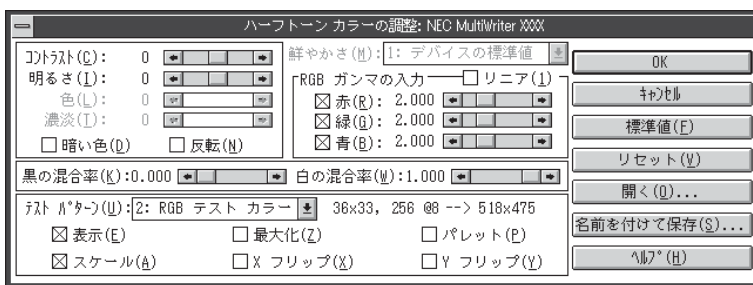
トナー節約機能を使用すると、細かい線、濃度の薄い印刷、網かけおよびグラデーションが不鮮明になることがあります。本機能は試し印刷などにご使用ください。また、本プリンタは内蔵の疑似OCR-Bフォントの印刷もできますが、疑似OCR-Bフォントの印刷を行う場合にはトナー節約機能は使用しないでください。印刷がかすれ、OCR読み取り装置が読み取りエラーを起こすことがあります。

### [ヘルプ(H)]

[機能設定]の設定に関するヘルプを見ることができます。

## [ハーフトーンカラーの調整]ダイアログボックス

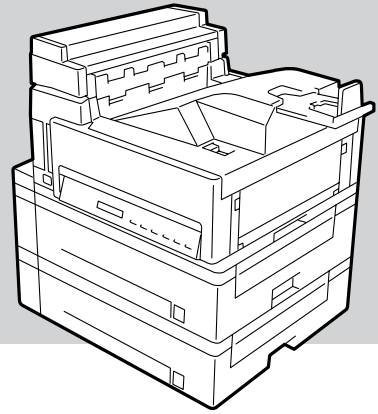
[文書情報]ダイアログボックスを表示している時に[ハーフ]ボタンをクリックすると[ハーフトーンカラーの調整]ダイアログボックスが表示されます。



ここでは、ハーフトーンに関する詳細な事項が設定できます。

それぞれの詳細については、[ヘルプ]ボタンをクリックすることにより、ハーフトーンの設定に関するヘルプで確認してください。

# 4 プリンタの設定 変更



本章ではさまざまな環境、要求にあわせてプリンタを設定変更する方法について説明します。

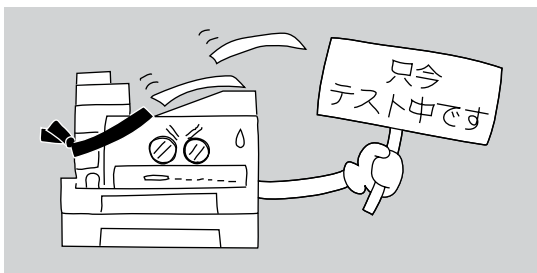
## プリンタの設定について

用紙のサイズや縮小/拡大モードを設定するなど、通常のご使用で頻繁に変更が必要なものは直接操作パネルのスイッチを押して行うことができます。

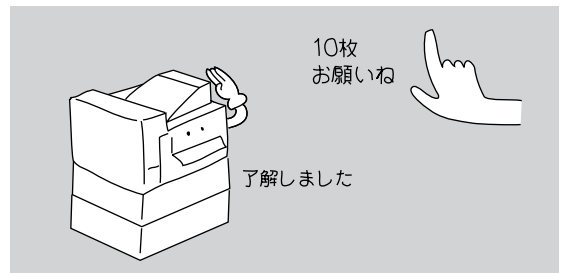
本プリンタではこれ以外のプリンタの設定を、メニューモードかリモートパネルを使って変更することができます。(それぞれの方法で設定できる項目と工場設定内容は付録Cに記載しています。)

例えば、次のようなことができます。

- テスト印刷を行う



- 印刷枚数を設定する



メニューモードとリモートパネルは以下のような違いがあります。ご使用の環境に合わせて使い分けください。

## メニューモード

プリンタをメニューモードに入れてから設定を変更します。設定の変更は操作パネルのディスプレイを見ながら、操作パネルのスイッチを使って行います。

## リモートパネル

プリンタに添付されているユーティリティディスクを使って変更します。メニューモードでは操作パネルを使って設定を確認・変更しましたが、リモートパネルではコンピュータの画面で確認しながらキーボードで直接設定ができます。

MS-DOS用およびWindows 95用の2種類のリモートパネルがあります。以下にユーティリティディスクに含まれている内容を示します。

### ユーティリティディスク #1

ディレクトリ	ファイル名	用途または内容
WIN95	PRMWL.DRV PRMWL.HLP OEMSETUP.INF PRMWL.CNT	Windows 95（日本語版）用プリンタドライバ
	RP24.EXE RPWINHLP.EXE RP24.HLP RP24.CNT RP24.GID	Windows 95（日本語版）用リモートパネルユーティリティ*1

\*1 本プログラムは圧縮されてはっています。インストールするとこのファイルが作られます。

### ユーティリティディスク #2

ディレクトリ	ファイル名	用途または内容
¥	DISK1	Windows NT3.5（日本語版）用およびWindows NT 3.51（日本語版）用プリンタドライバのインストールに使用します。
RPANEL	PCONM3A.EXE* 1 PCONF3A.EXE* 1 PCONMV3A.EXE* 2 PCONFV3A.EXE* 2	MS-DOS用リモートパネルユーティリティ
WIN31	NPDL2L.DRV NPDL2L.HLP OEMSETUP.INF	Windows 3.1（日本語版）用プリンタドライバ
WINNT35	PRMW2L.DLL PRMW2L.HLP PRMW2LUI.DLL MW2400.NPD PRINTER.INF	Windows NT3.5（日本語版）用プリンタドライバ
WINNT351	PRMW2L.DLL PRMW2L.HLP PRMW2LUI.DLL PRMW2L.CNT MW2400.NPD PRINTER.INF	Windows NT3.51（日本語版）用プリンタドライバ

\*1 PC-9800シリーズ用のリモートパネルです。

\*2 IBM PC/AT 100%互換機用のリモートパネルです。

# メニューモード

メニューモードで、操作パネルのディスプレイを見ながら、メニューモード用のスイッチ(設定変更、◀、▼、▶、▲)を使って、プリンタの内部設定を変更します。

## メニューモードへの入り方と終わり方

### 1 印刷可スイッチを押して、ディセレクト状態にします。

印刷可ランプが消灯します。

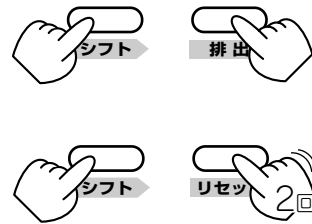


### 2 データランプが点灯していないことを確認します。

もし点灯していたら、次のどちらかの方法でプリンタ内にデータが残っていない状態(データランプが消灯)にしてください。

- ◇ 未印刷データを印刷する(シフトスイッチ+排出スイッチ)
- ◇ データを消去する(シフトスイッチ+リセットスイッチ2回)

データ



### 3 メニュースイッチを押します。

ディスプレイにはまず“テストインサツ →”と表示されます。これでプリンタはメニューモードに入りました。



### 4 メニューモードの設定内容を変更します。

メニューモードの内容については、この後の「メニューツリー」(70ページ)、「メニューの内容」(95ページ)、「メモリスイッチの内容」(83ページ)をご覧ください。

テストインサツ →

## 5 印刷可スイッチを押して、メニューモードを終了します。

プリンタはセレクト状態になり、印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常表示に戻ります。



ホッパ<sup>o</sup> 1      A4   ホ<sup>o</sup> - ト



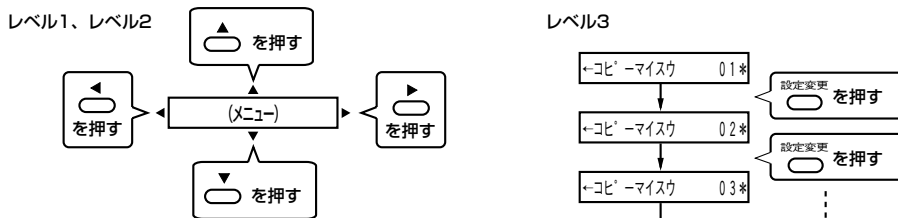
メニューモードで変更した設定内容は電源をOFFにしても変わりません。

## メニューツリー

メニューモードのメニューは、木が枝分かれして広がっていくような構造をしています。そのため、すべてのメニューをこの構造がよく分かるように書き表したものを「メニューツリー」(メニューの木)と呼びます。

メニューモード中は、印刷可スイッチを除く5個のスイッチで項目の選択、設定の変更を行います。

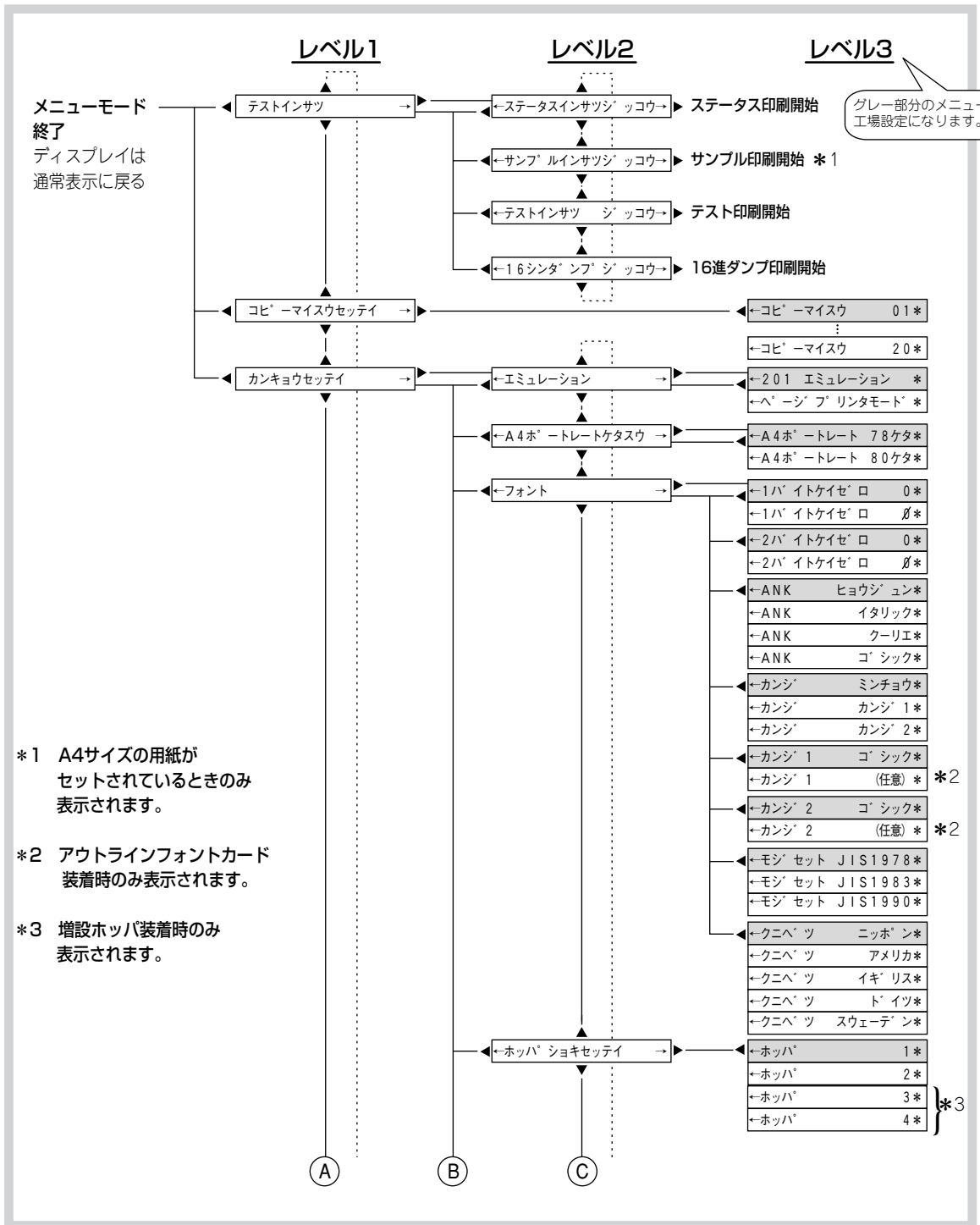
- |             |                                      |
|-------------|--------------------------------------|
| ◀、▼、▶、▲スイッチ | このスイッチを押すとその方向へ進むことを示しています。          |
| 設定変更スイッチ    | レベル3をひとつずつ表示し、同時に表示された内容が自動的に選択されます。 |
| 印刷可スイッチ     | メニューモードを終了し、セレクト状態に戻ります。             |



メニューモード中のスイッチ

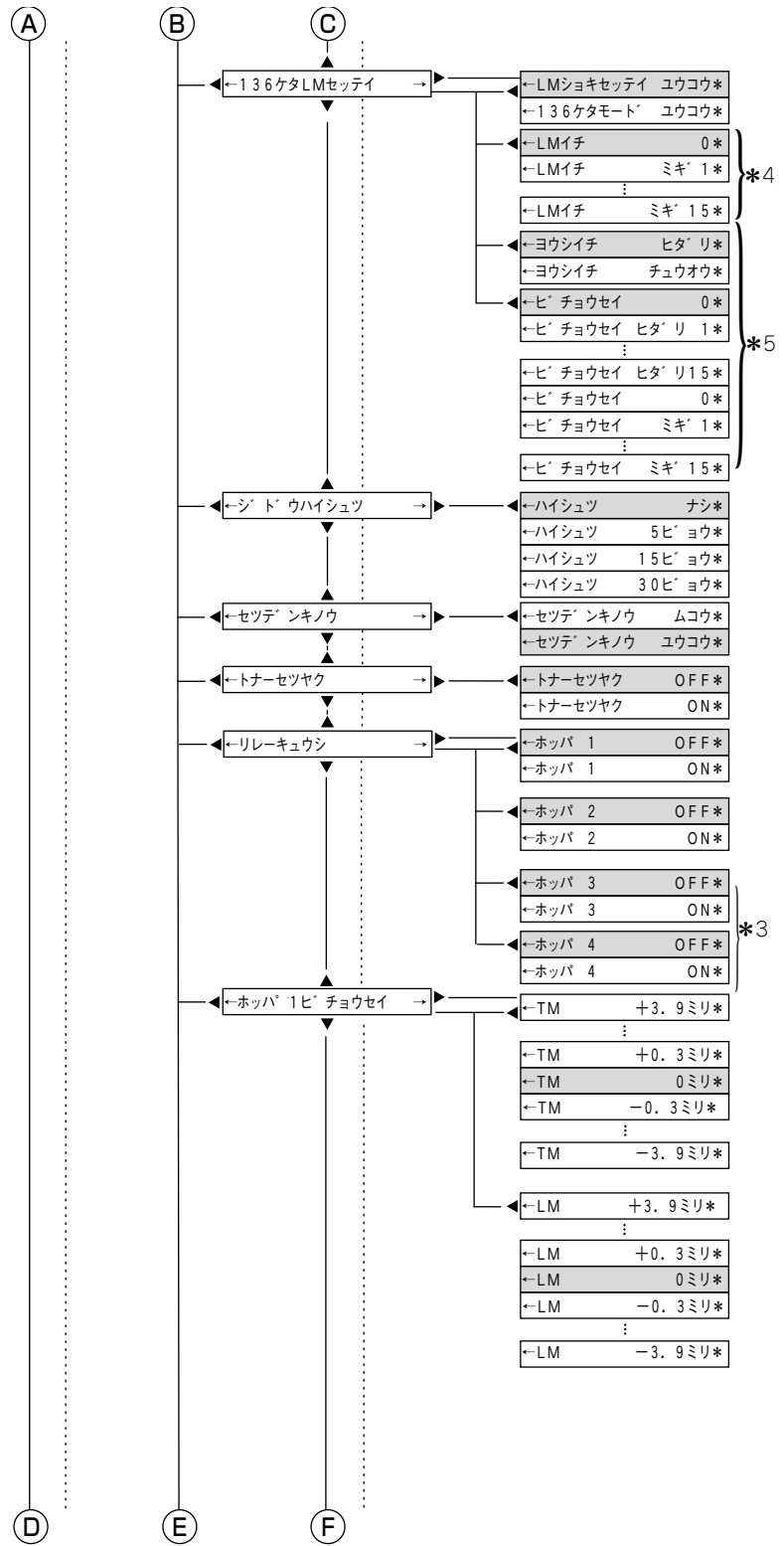
メニュー表示の中で、「←」は◀スイッチを押すと一つ前のレベルに戻れることを、「→」は▶スイッチを押すと次のレベルに進めることを示します。「\*」は表示されている値が現在プリンタに設定されていることを示します。



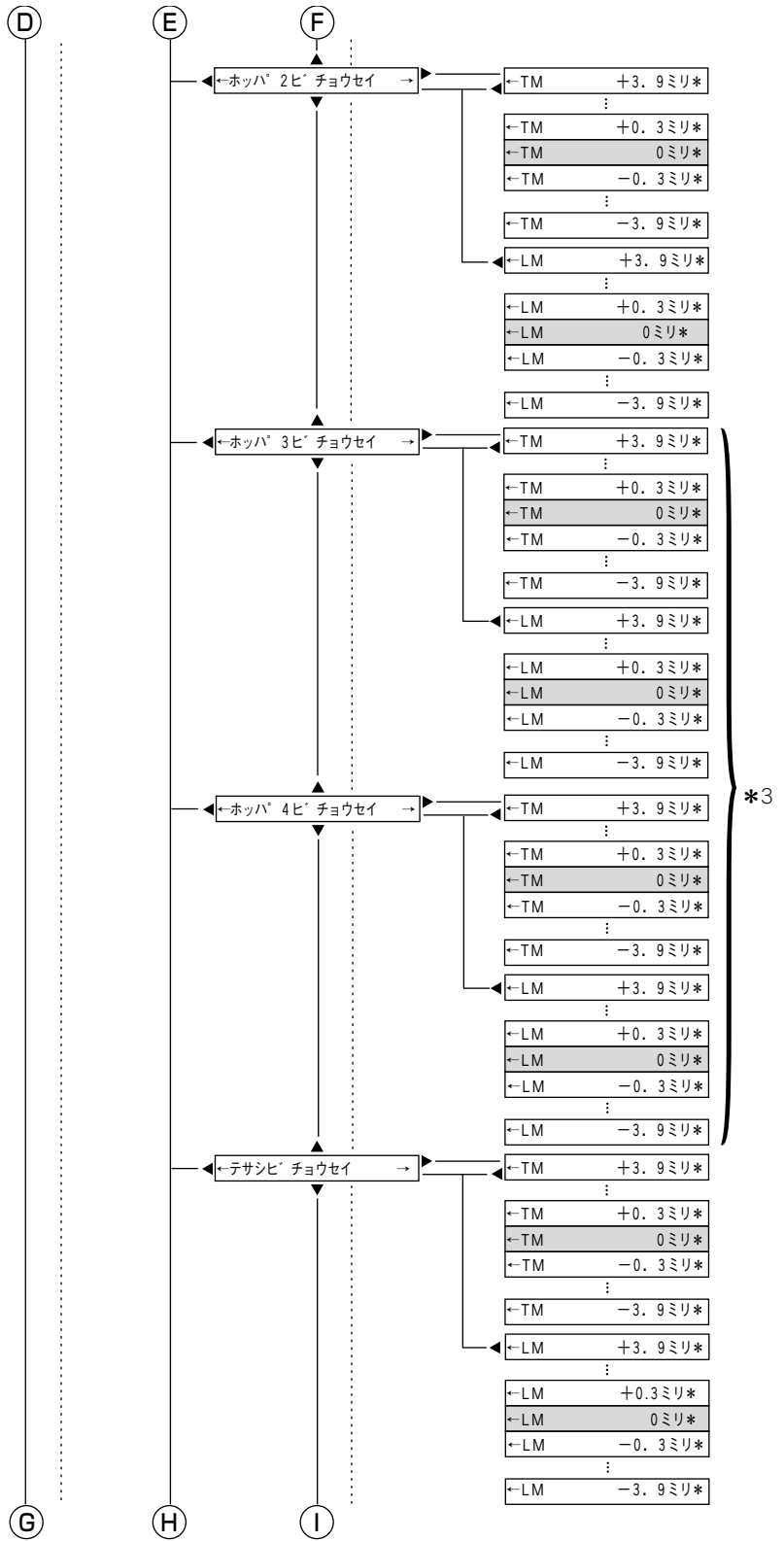


メニューツリー(1/4)

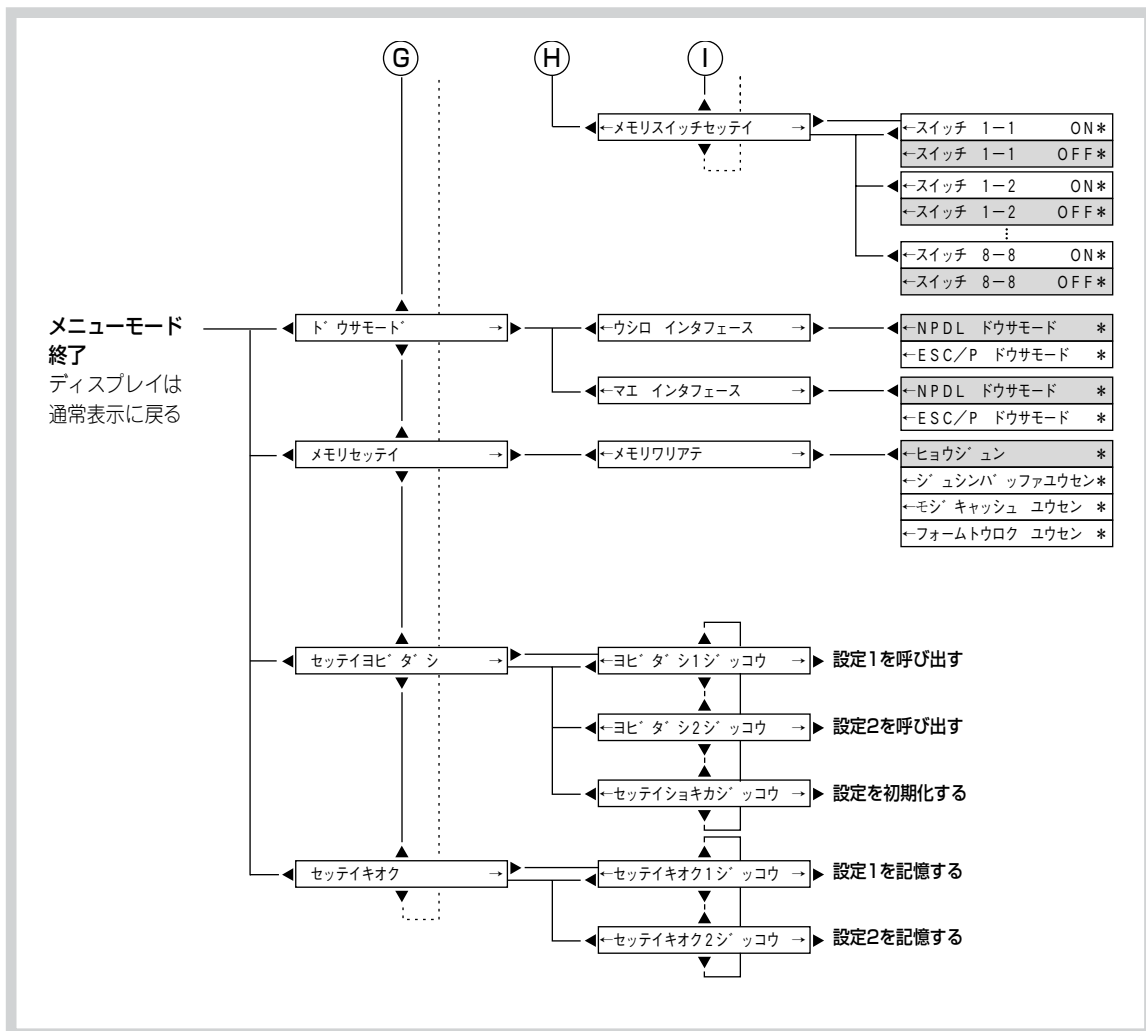
- \*3 増設ホッパ装着時のみ表示されます。
- \*4 LMシヨキセツテイユウコウのときのみ表示されます。
- \*5 136ケタモードユウコウのときのみ表示されます。



メニューツリー(2/4)



メニューツリー(3/4)



メニューツリー(4/4)

# メニューの内容

メニューは以下の7つのグループに分かれています。

- テスト印刷
- コピー枚数設定
- 環境設定
- 動作モード
- メモリ設定
- 設定呼び出し
- 設定記憶

## テスト印刷

テスト印刷、ステータス印刷、サンプル印刷または16進ダンプ印刷を実行します。

初めて印刷するときや、紙づまりの処理後などはテスト印刷を行います。オプションを取り付けた後、確認するときはステータス印刷を行います。

テスト印刷または16進ダンプを終了(中止)するときは次の手順に従ってください。ステータス印刷、サンプル印刷は規定枚数を印刷すると自動的に終了します。

- ① ストップスイッチを押して印刷を停止します。
- ② プリンタをリセットします(シフトスイッチを押しながらリセットスイッチを2回押す)。

## コピー枚数設定

印刷のコピー枚数を設定します。コピー枚数は“01”から“20”まで設定できます。

プリンタをリセットしたり、電源スイッチをOFFにしたりすると、この設定に限り設定がクリアされ“01”になります。ご使用になるアプリケーションソフトウェアによっては、ソフトウェアからコピー枚数を設定するものがあります。この場合、ソフトウェアで設定したコピー枚数が優先します。

## 環境設定

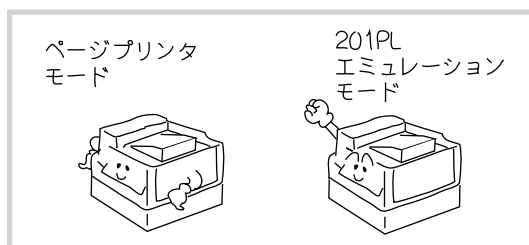
エミュレーションモードや用紙サイズなど比較的変更の頻度が高い設定をまとめた項目です。

ここで設定できる機能の中には、「←メモリスイッチセッテイ →」(81ページ)で設定できる機能もあります。その場合は、どちらか一方で設定を変更すれば、もう一方の設定も連動して自動的に変更されます。

### 1. エミュレーション

ページプリンタモードか201PLエミュレーションモードかを選択します。

メモリスイッチ2-2でも選択できます。



## プリンタの動作モード切り替えについて

- プリンタの初期状態は通常201PLエミュレーションモードになっています。201PL対応のソフトウェアからはそのまま使用できます。
- NPDLのページプリンタモードに対応したソフトウェアは、ページプリンタモードへの切り替えをソフトウェアから行います。したがって、切り替えは自動的に行われます。
- ESC/Pエミュレーションを使用する場合は、メニューの「動作モード」で切り替える必要があります。(81ページ参照)

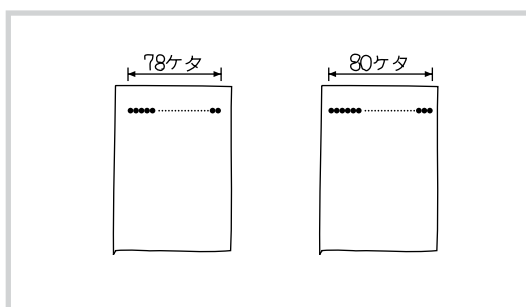
## 2. A4ポートレート桁数

A4用紙ポートレート方向1行あたりのピカ文字幅での印刷桁数(78桁あるいは80桁)を選択します。

80桁にした場合、用紙の左右端の余白が狭くなります。78桁にした場合、80桁分のデータを送ると2桁分が次行に印刷されます。

また、スイッチの状態にかかわらず、B5サイズ用紙の場合は67桁、B4サイズ用紙の場合は96桁となります。

メモリスイッチ2-7でも選択できます。



## 3. フォント

フォント(書体)に関する各種設定を選択します。

フォントに関する設定は、プリンタが持っている文字に対してのみ有効です(付録G参照)。

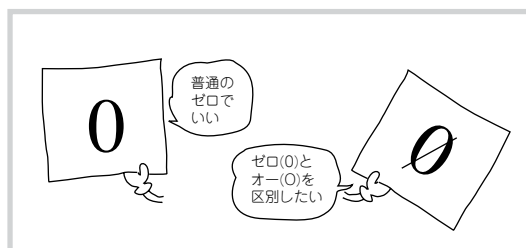
### ● 1バイト系ゼロ

1バイトコード系の数字ゼロの字体(0または0)を選択します。

メモリスイッチ2-1でも選択できます。

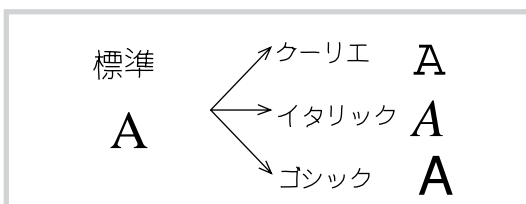
### ● 2バイト系ゼロ

2バイトコード系の数字ゼロの字体(0または0)を選択します。



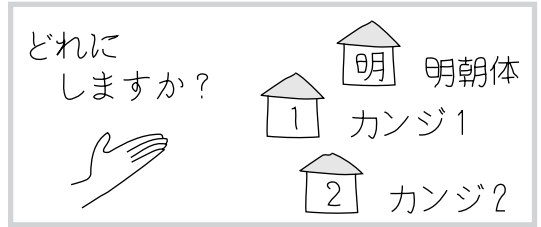
### ● ANK

1バイトコード系のフォントのANK文字(アルファベット、数字、カタカナ)のフォントを選択します。



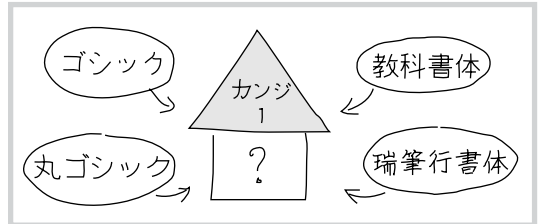
- **漢字**

標準フォント(2バイト文字)を選択します。  
 “←カンジ カンジ1\*”はこの後の“←カンジ1”で、“←カンジ カンジ2\*”は“←カンジ2”で選択した書体を選択します。



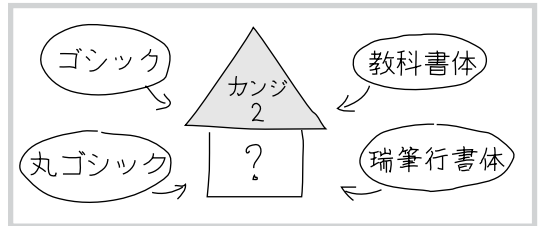
- **漢字1**

カンジ1のフォントとして、漢字アウトラインフォントカード(オプション)のフォントを選択します。  
 漢字アウトラインフォントカードが未装着のときは、ゴシック体のみが表示されて選択できます。NPD制御コードの「漢字アウトラインフォントカードの選択」で、カートリッジ1を選択したときは、このメニューで選択されたフォントを印刷します。



- **漢字2**

カンジ2のフォントとして、漢字アウトラインフォントカード(オプション)のフォントを選択します。  
 漢字アウトラインフォントカードが未装着のときは、ゴシック体のみが表示されて選択できます。NPD制御コードの「漢字アウトラインフォントカードの選択」で、カートリッジ2を選択したときは、このメニューで選択されたフォントを印刷します。



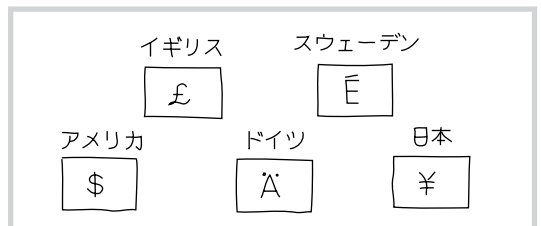
- **文字セット**

2バイト系文字セットを選択します。  
 制御コードでも選択することができます(209ページ参照)。

	JIS 1978	JIS 1983	JIS 1990
3651	均	均	均
4676	邇	迓	迓

- **国別**

各国文字セットを選択します。  
 メモリスイッチ1-1、1-2、1-3の組み合わせで選択することもできます。



## 4. ホッパ初期設定

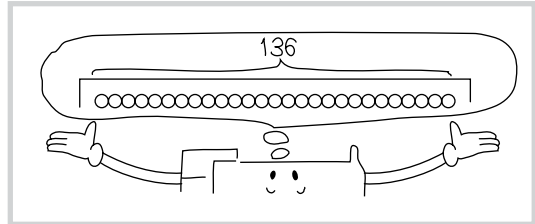
電源投入時およびリセット時に選ばれるホッパを設定します。標準の場合ホッパ1かホッパ2を選択できます。ホッパを増設すればホッパ3、ホッパ4も選択します。

## 5. 136桁／LM設定

### ● LM初期設定有効／136桁モード有効

印刷位置を「レフトマージン初期設定」によって設定するか、「136桁モード」によって設定するかを選択します。

さらに、選択した方法によって印刷位置を設定します。メモリスイッチ3-7でも選択できます。



### 136桁モードについて

市販のソフトウェアで、PC-PR201系プリンタ(136桁プリンタ)を使って用紙位置中央またはシートフィーダを指定していた場合、本プリンタの201PLエミュレーションによりソフトウェアをそのまま使用すると、印刷位置がずれることがあります。そのときは、プリンタを136桁モードにすればソフトウェア上の用紙位置を調整することができます。

用紙位置中央で使用するソフトウェアの場合は、プリンタを次のように設定すれば、どの用紙サイズでも印刷位置が合います。

136桁モード有効: 有効  
用紙位置: 中央合わせ  
用紙位置調整量: 0  
用紙位置調整方向: どちらでもよい

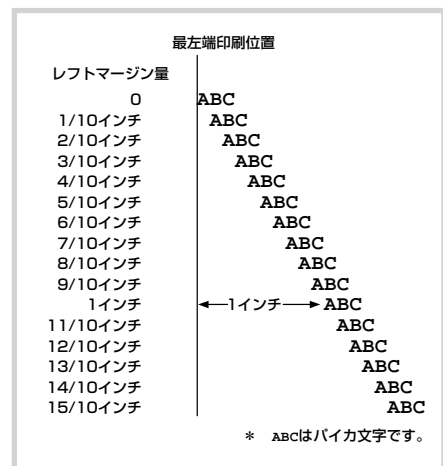
ただし、ソフトウェアによっては印刷位置を調整しているものがあるので、その場合にはさらに用紙位置調整が必要となります。

### ● LM位置

レフトマージン初期設定が有効のとき、最左端印刷位置を基準としたときの第1印刷位置(レフトマージン量)を1/10インチ単位で選択します。

レフトマージン量と第1印刷位置の関係は、右の図のとおりです。

メモリスイッチ3-1、3-2、3-3、3-4の組み合わせで選択することもできます。



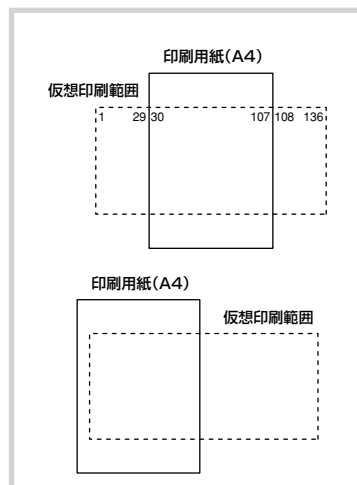


## ● 用紙位置

136桁モードが有効のとき、用紙位置を中央合わせにするか、左合わせにするかを選択します。

- ◇ 用紙位置中央合わせでは、A4サイズ用紙を使用した場合、136桁の仮想印刷範囲の30桁目から107桁目までが印刷されます。
- ◇ 用紙位置左端合わせでは、136桁の仮想印刷範囲と印刷用紙の左端を合わせます。また、用紙位置調整によって、右の図のように仮想印刷範囲を超えて用紙位置を設定することもできます。

メモリスイッチ3-6でも選択できます。



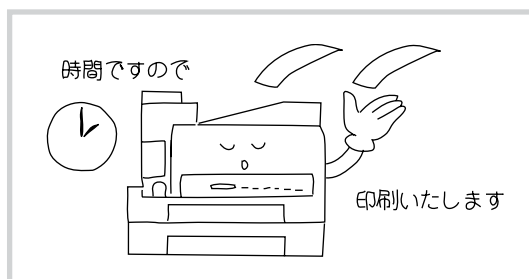
## ● 微調整

136桁モードが有効のとき、用紙位置微調整の方向と量を1/10インチ単位で選択します。メモリスイッチ3-1、3-2、3-3、3-4の組み合わせで選択することもできます。

## 6. 自動排出

自動排出の有効/無効、および設定時間を選択します。

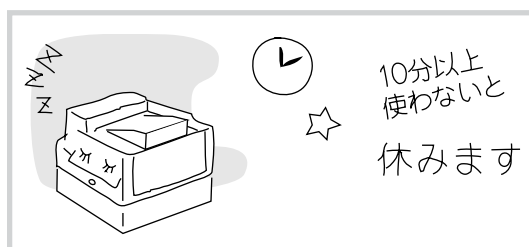
データを送り終わったのに印刷を開始しない状態が多く発生するソフトウェアを使用している場合は、このメニューで設定時間を選択することをお勧めします。



## 7. 節電機能

節電機能を使用するかしないかを選択します。

メモリスイッチ6-7で選択することもできます。



### 節電機能とは

節電機能とは、プリンタの電源をONにしたまま長時間(約10分)印刷を行わないとき、自動的に消費電力を45W以下の状態に節約できる機能です。

節電機能を使用しているときは、プリンタは印刷を開始する前にウォームアップを行うことがあります(最大で約80秒)。この場合、通常より印刷が始まるまでに時間がかかることがあります。

工場設定では節電機能を使う「セツデンキノウ ユウコウ」に設定されています。ウォームアップの時間が気になるようでしたら、この機能を使用しない「セツデンキノウ ムコウ」に設定しておいてください。

## 8. トナー節約

トナー節約機能を使用するかどうかを選択します。

トナー節約機能はプリンタドライバから設定することができます。Windowsから本プリンタのドライバを使用して印刷する場合には、ドライバ上での設定が優先されます。



チェック

トナー節約機能を使用するため、「トナーセツヤク ON」に設定すると、トナーの使用を節約することができますが、細い線、濃度の薄い印刷、網かけ、グラデーションが不鮮明になることがあります。また、OCRフォントやバーコード印刷を行った場合には正常に読み取れない場合があります。本機能は試し印刷する場合などにご使用ください。

## 9. リレー給紙

リレー給紙機能を使用するかどうかを選択します。

### リレー給紙機能とは

リレー給紙機能とは、指定しているホッパに用紙がなくなった場合に、他のホッパに同じサイズの内紙があれば、自動的にホッパを切り替えて印刷を行う機能です。

リレー給紙が有効となるのは以下の条件をすべて満たしている場合です。

- 指定しているホッパがリレー給紙機能を使用する設定になっている。
- 2つ以上のホッパがリレー給紙機能を使用する設定になっている。
- リレー給紙機能を使用するホッパの内、2つ以上に同じサイズの内紙をセットしている。

## 10. ホッパ1微調整～13. ホッパ4微調整

### 14. 手差し微調整

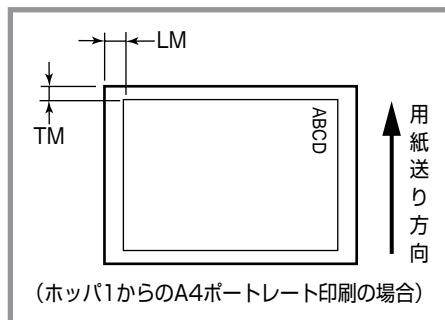
ホッパと手差し(マルチシートフィーダ)それぞれの印刷位置を調整します。

調整にはメニューモードの「テスト印刷」で出力した「ステータス印刷」の結果を使います。印刷結果の外周の四角い罫線が印刷最大範囲です。このときのトップマージン(TM)とレフトマージン(LM)を測定して調整します。

「付録B 用紙の規格と印刷範囲」で示す位置になるよう調整してください。例えばA4用紙をポートレートで印刷する場合

トップマージン(E) = 5 mm  
レフトマージン(C) = 8 mm に調整します。

調整できる範囲は、「-3.9ミリ」～「+3.9ミリ」で、0.3ミリ単位で設定できます。設定変更スイッチを押すと、0.3ミリずつ減り、「-3.9ミリ」を越えると「+3.9ミリ」になります。





この設定は、プリンタやオプションの状態、使用する用紙の種類によって発生する印刷位置の誤差を補正するための機能です。この調整が正しく行われないとアプリケーションで余白の値が正確に指定できなくなったり、用紙端に近い部分の印刷が正常に行われなくなったりします。

またこの機能は、用紙送り方向に対する位置を調整するもので、用紙の向きや印刷方向を設定するものではありません。

## 15. メモリスイッチ設定

メニューモードの中で比較的可変頻度の低いものがここにまとめられています。詳しくは、83ページの「メモリスイッチの内容」をご覧ください。

### 動作モード

プリンタの動作モードを設定します。

NPD LモードとESC/Pエミュレーションモードのどちらかを設定することができます。この設定は、プリンタ前面、背面のインタフェースで個別に設定することができます。MS-DOS等のアプリケーションで、NPD Lや201PLエミュレーションでの印刷ができない場合には、動作モードをESC/Pエミュレーションに切り替えて印刷を行ってください。

### メモリ設定

プリンタが持つメモリの使用方法を選択します。

#### メモリ割り当て

「ページプロテクト」で印刷データのために割り当てられた容量を除く残りのメモリを、印刷を行う場合にどのように利用するかを指定します。

- 標準

通常の用途で最も性能が発揮できるように、それぞれのバッファにメモリを最適に割り当てます。通常はこの設定のままお使いください。

メモリに余裕がない場合は以下のメッセージは表示されません。

- 受信バッファ優先

印刷データを受信して、プリンタ内部に蓄えるために使用されるメモリ(受信バッファ)に優先してメモリを割り当てます。これにより、コンピュータが印刷のために行う処理を少なくすることができます。



チェック

「ジュシンバッファユウセン」に設定した場合、ネットワーク用プリンタユーティリティ使用時に表示される「メモリサイズ」の各々の項には実装されているメモリ容量よりも少ない値が表示されます。NPD Lのステータス印刷では正しい値が表示されます。

- 文字キャッシュ優先

印刷データ中の文字データを認識するために使用されるメモリ(文字キャッシュ)に優先してメモリを割り当てます。文字データの多いもの(テキストデータなど)を印刷するときこの設定を指定しておくこと、処理能力が向上します。

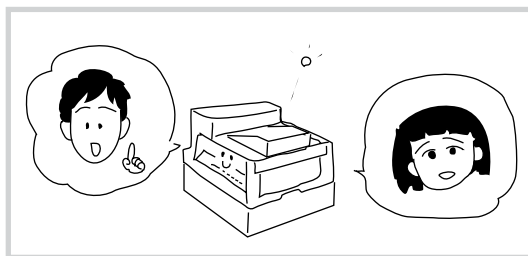
- フォーム登録優先

フォーム登録のために使用されるメモリに優先してメモリを割り当てます。定型の印刷データを使う場合はこの設定に指定しておくこと、多量の印刷データを取り扱うことができます。フォーム登録についての詳細は、別売の「日本語ページプリンタ言語NPD(L Level 2)リファレンスマニュアル」を参照してください。

## 設定呼び出し

### 設定記憶

設定をまとめて記憶させ、必要なときに呼び出します。同時にメニューモードを終了します。



「セッテイヨビダシ」は、セッテイキオクで記憶されている内容を呼び出します(初期設定に戻すこともできます)。

「セッテイキオク」は、メニューモード内の各種機能設定とホップスイッチ、手差しスイッチで設定した用紙サイズをまとめて記憶します。記憶は2種類まででき、一度記憶された内容は次に設定記憶を実行するまで変化しません。

# メモリスイッチの内容

メモリスイッチはONかOFFを選択することによって、他のメニューと同じように様々な機能を設定することができます。

メモリスイッチは1-1から8-8まであります(未使用のスイッチもあります)。

## メニューモードで設定できるメモリスイッチの内容

番号	機能	OFF	ON	ESC/Pモードでの機能
1-1	各国文字の切り替え	3つのスイッチのON/OFFの組み合わせにより5か国語の文字をを切り替えます。(85ページ参照)		○
1-2				
1-3		すべてOFF (日本)		
1-4	(未使用)			—
1-5	DC1、DC3の有効/無効の切り替え	有効	無効	○
1-6	自動復帰改行の切り替え	復帰改行	復帰のみ	×
1-7	印刷指令の切り替え	CRのみ	CR+その他	×
1-8	CR機能の切り替え	復帰のみ	復帰改行	○
2-1	1バイトコード系のゼロの字体の切り替え	0	∅	○
2-2	エミュレーションモードの切り替え	201PLエミュレーション	ページプリンタ(NPDL)	×
2-3	グラフィックモードの切り替え	ネイティブモード	コピーモード	×
2-4 ~ 2-5	(未使用)			—
2-6	7ビット/8ビットデータの切り替え	8ビット	7ビット	×
2-7	A4ポートレート印刷桁数の切り替え	78桁	80桁	○
2-8	B4→A4縮小の縮小率	4/5	2/3	○
3-1	レフトマージン量の設定または用紙位置微調整量の設定(136桁モード)	4つのスイッチのON/OFFの組み合わせにより、0インチから15/10インチまでの範囲で設定します。(1/10インチ単位)(86ページ参照)		○
3-2				
3-3				
3-4		すべてOFF (0インチ)		
3-5	用紙位置微調整方向の設定(136桁モード)	左	右	○
3-6	用紙位置の設定(136桁モード)	左端合わせ	中央合わせ	○
3-7	136桁モードの有効/無効の切り替え	無効	有効	×
3-8	ブザー機能の有効/無効の切り替え	有効	無効	○
4-1	(未使用)			—
4-2	(未使用)			—
4-3	ESC c1での登録データを初期化する/しないの切り替え	初期化する	初期化しない	×
4-4	FFコードのみで白紙を出力する/しないの切り替え	出力する	出力しない	×
4-5	ランドスケープ方向の切り替え	反時計回り	時計回り	○
4-6 ~ 4-8	(未使用)			—

メニューモードで設定できるメモリスイッチの内容（続き）

番号	機能	OFF	ON	ESC/Pモードでの機能
5-1	同期コードの有効／無効の切り替え	無効	有効	×
5-2 ～ 5-8	(未使用)			—
6-1	SETを使用する／しないの切り替え	使用する	使用しない	○
6-2	(未使用)			—
6-3 ～ 6-6	(未使用)			—
6-7	節電機能を使用する／しないの切り替え	使用する	使用しない	○
6-8	(未使用)			—
7-1	データストロープのデータラッチタイミング（前面のセントロニクス・インタフェース）	前縁ラッチ	後縁ラッチ	○
7-2	データストロープのデータラッチタイミング（背面のセントロニクス・インタフェース）	前縁ラッチ	後縁ラッチ	○
7-3	(未使用)			—
7-4	(未使用)			—
7-5 ～ 7-6	(未使用)			—
7-7	FS fコマンドでの指定用紙サイズなしを表示する／しないの切り替え	表示する	表示しない	○
7-8	FS fコマンドでの自動縮小をする／しないの切り替え	自動縮小する	自動縮小しない	○
8-1 ～ 8-2	(未使用)			—
8-3	アクトリッジ (ACK) の幅	2つのスイッチのON/OFFの組み合わせで、ACKの幅を切り替えます。 工場設定 1 $\mu$ S		○
8-4	(前面のセントロニクス・インタフェース)			
8-5 ～ 8-6	(未使用)			—
8-7	アクトリッジ (ACK) の幅	2つのスイッチのON/OFFの組み合わせで、ACKの幅を切り替えます。 工場設定 1 $\mu$ S		○
8-8	(背面のセントロニクス・インタフェース)			

表中の太文字は工場設定を表します。

メモリスイッチで設定できる機能の中には、メニューモードの“カンキョウセツテイ”で設定できるもの（※）もあります。このような場合は、どちらか一方で設定を変更すれば、もう一方の設定も連動して自動的に変更されます。

## 1-1~1-3

**各国文字の切り替え※**

3つのメモリスイッチの組み合わせにより各国文字を切り替えます。

国別文字セット	1-1	1-2	1-3
日本	OFF	OFF	OFF
アメリカ	OFF	ON	OFF
イギリス	ON	ON	OFF
ドイツ	OFF	OFF	ON
スウェーデン	ON	OFF	ON

- 表中の網かけ文字は工場設定を表します。
- 表以外の組み合わせは、すべてスウェーデン文字となります。国別の文字については付録の「国別相違点」(229ページ)をご覧ください。

## 1-5

**DC1およびDC3の有効／無効の切り替え**

制御コードDC1およびDC3を有効にするか、無効にするかを切り替えます。  
201PLエミュレーション(メモリスイッチ2-2 OFF)時に有効です。

## 1-6

**自動復帰改行の切り替え**

バッファフル印刷を行うとき、復帰のみか、復帰改行かを切り替えます。  
同期コード無効(メモリスイッチ5-1 OFF)時に有効です。

## 1-7

**印刷指令の切り替え**

印刷指令をCRのみ有効にするか、CR、LF、VT、FF、US、ESC a、ESC bを有効にするかを切り替えます。

## 1-8

**CR機能の切り替え**

印刷指令コードCRを受信したとき、復帰のみか、復帰改行かを切り替えます。

## 2-1

**1バイトコード系の数字ゼロの字体の切り替え※**

1バイト(8ビット)コード系の数字ゼロを「0」と印刷するか、「Ø」と印刷するかを切り替えます。

## 2-2

**エミュレーションモードの切り替え※**

エミュレーションモードを201PLエミュレーションにするか、ページプリンタ(NPDL)にするかを切り替えます。

## 2-3

**グラフィック(ドット列印刷)モードの切り替え**

横ドット数をネイティブモードにするか、コピーモードにするかを切り替えます。コピーモードにすると、横ドット数がネイティブモードのときの1/2になります。  
201PLエミュレーション(メモリスイッチ2-2 OFF)時に有効です。

## 2-6

**7ビット／8ビットデータの切り替え**

インタフェースのデータが7ビット有効か、8ビット有効かを切り替えます。  
201PLエミュレーション(メモリスイッチ2-2 OFF)時に有効です。  
ページプリンタ(メモリスイッチ2-2 ON)時は8ビット有効に固定されます。

**A4ポートレート印刷桁数の切り替え※**

1行あたりの文字数をパイカ文字幅で78桁にするか、80桁にするかを切り替えます。用紙がA4サイズ、ポートレート方向の場合に有効です。

78桁に設定したまま80桁分のデータを送ると2桁分は次行に印刷されます。

スイッチの状態にかかわらず、B5サイズ用紙の場合は67桁、B4サイズ用紙の場合は96桁となります。

80桁にした場合、用紙の左右端の余白が狭くなります。

**B4→A4縮小の縮小率の切り替え**

操作パネルの縮小スイッチまたは制御コード(FS f)を使ってB4→A4縮小モードを指定したときに、縮小率を2/3にするか、4/5にするかを切り替えます。

**レフトマージン量の設定※**

レフトマージン量を設定します。

ページプリンタ(メモリスイッチ2-2 ON)時に有効です。

レフトマージン量とは用紙の最左端印刷位置から第1印刷位置までの距離です。

レフトマージン量は4つのメモリスイッチの組み合わせにより16通りに設定できます。組み合わせについては次の表をご覧ください。

**用紙位置の微調整(136桁モード)※**

印刷位置がずれた場合、用紙位置を調整します。

136桁モード(メモリスイッチ3-7 ON)時に有効です。

201PLエミュレーション(メモリスイッチ2-2 OFF)時に有効です。

用紙位置調整量は4つのメモリスイッチの組み合わせにより16通りに設定できます。

組み合わせについては次の表をご覧ください。

レフトマージン量/ 用紙位置微調整量	3-1	3-2	3-3	3-4
0インチ	OFF	OFF	OFF	OFF
1/10インチ	ON	OFF	OFF	OFF
2/10インチ	OFF	ON	OFF	OFF
3/10インチ	ON	ON	OFF	OFF
4/10インチ	OFF	OFF	ON	OFF
5/10インチ	ON	OFF	ON	OFF
6/10インチ	OFF	ON	ON	OFF
7/10インチ	ON	ON	ON	OFF
8/10インチ	OFF	OFF	OFF	ON
9/10インチ	ON	OFF	OFF	ON
1インチ	OFF	ON	OFF	ON
11/10インチ	ON	ON	OFF	ON
12/10インチ	OFF	OFF	ON	ON
13/10インチ	ON	OFF	ON	ON
14/10インチ	OFF	ON	ON	ON
15/10インチ	ON	ON	ON	ON

表中の網かけ文字は工場設定を表します。



3-5

**用紙位置微調整方向の設定(136桁モード)**

136桁モードで用紙位置調整を右方向にするか、左方向にするかを切り替えます。  
136桁モード(メモリスイッチ3-7 ON)時に有効です。  
201PLエミュレーション(メモリスイッチ2-2 OFF)時に有効です。

3-6

**用紙位置の設定(136桁モード)※**

136桁モードで用紙位置を中央合わせにするか、左端合わせにするかを切り替えます。  
136桁モード(メモリスイッチ3-7 ON)時に有効です。  
201PLエミュレーション(メモリスイッチ2-2 OFF)時に有効です。

3-7

**136桁モードの有効/無効の切り替え※**

136桁モードを有効にするか、無効にするかを切り替えます。  
201PLエミュレーション(メモリスイッチ2-2 OFF)時に有効です。

3-8

**ブザー機能の有効/無効の切り替え**

ブザーを鳴らすか、鳴らさないかを切り替えます。

4-3

**ESC c1での登録データを初期化する/しないの切り替え**

制御コードESC c1での登録データの初期化をするか、しないかを切り替えます。  
ESC c1で初期化をしない(メモリスイッチ4-3 ON)ときは、ESC c8と同じ機能になります。

4-4

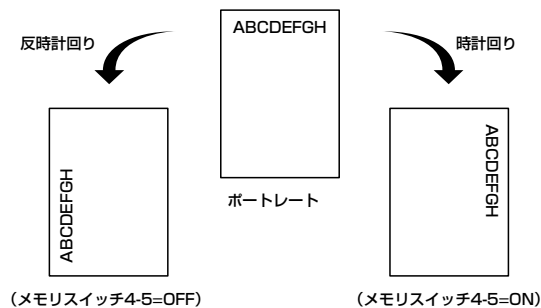
**FFコードのみで白紙を出力する/しないの切り替え**

FFコードのみで白紙を出力するか、しないかを切り替えます。  
白紙を出力しない(メモリスイッチ4-4 ON)ときは、ESC a、ESC bと同じ機能になります。

4-5

**ランドスケープ方向の切り替え**

ランドスケープの方向をポートレートに対して反時計回りにするか、時計回りにするかを切り替えます。



5-1

**同期コードの有効/無効の切り替え**

同期コードを有効とするか無効とするかを切り替えます。PC-PTOS環境で使用する場合は、このスイッチをON(同期コード有効)にする必要があります。

6-1

**SETを使用する／しないの切り替え**

SETを使用するか、しないかを切り替えます。SETの機能については23ページをご覧ください。

6-7

**節電機能を使用する／しないの切り替え※**

節電機能を使用するか、しないかを切り替えます。

7-1

**データストローブ信号のデータラッチタイミング※**

7-1：前面のセントロニクス・インタフェース

7-2

**データストローブ信号のデータラッチタイミング※**

7-2：背面のセントロニクス・インタフェース

7-1または7-2を前縁ラッチに指定した場合は、高速にデータを受信することができます。ただし、接続するコンピュータによっては、うまく受信できない場合があります。その場合には、後縁ラッチに切り替えて使用してください。

7-7

**FS fコマンドで指定サイズなしを表示する／しないの切り替え**

FS fコマンドにおいて指定用紙サイズがないとき、用紙補給表示をするか、表示しないでコマンドを無効にするかを設定します。

7-8

**FS fコマンドで自動縮小を表示する／しないの切り替え**

FS fコマンドにおいて指定用紙サイズがないとき、縮小印刷が可能ならば自動縮小をするか、しないかを切り替えます。

8-3, 8-4

**ACKの幅の切り換え※**

8-3、8-4：前面のセントロニクス・インタフェース

8-7, 8-8

**ACKの幅の切り換え※**

8-7、8-8：背面のセントロニクス・インタフェース

ACKの幅	8-3または8-7	8-4または8-8
1μs	OFF	OFF
2μs	OFF	ON
4μs	ON	OFF
10μs	ON	ON

ACKの幅を短く設定すると、高速にデータを受信することができます。ただし、接続されたコンピュータによっては、うまく受信できない場合があります。その場合は、ACKの幅を長くして使用してください。

# Windows 95用リモートパネル

Windows 95(日本語版)用リモートパネルは、プリンタの操作パネルで行っていた各種設定やプリンタ状態の確認を、Windows 95(日本語版)上で行えるようにしたユーティリティソフトです。また、プリンタの状態やプリンタの設定情報をWindows上で確認することができます。

- Windows 95用リモートパネルはローカルプリンタとして設定した場合のみ使用できます。プリンタはLPT1などのローカルポートに接続してください。
- Windows 95用リモートパネルはNEC MultiWriter 2200NW2/2400共通で使用できます。
- Windows 95用リモートパネルを使用する場合は、NEC MultiWriter 2200NW2または2400が通常使うプリンタに設定されている必要があります。Windowsのコントロールパネルのプリンタで「通常使うプリンタに設定」にチェックされていることを確認してください。
- Windows 95用リモートパネルはプリンタとの通信が可能な状態で接続されている必要があります。別冊の「セットアップマニュアル」をご覧ください。
- Windows 95用リモートパネルは一定間隔でプリンタの状態を確認しています。Windows 95用リモートパネルを起動した状態で、プリンタの電源をON/OFFしたり、プリンタケーブルの抜き差しは行わないでください。誤印字などの原因となります。
- プリンタのメモリスイッチ5-1(同期コードの有効/無効の切り替え)がONになっていると正常に印刷できない場合があります。「メモリスイッチの内容」(83ページ)を参照してメモリスイッチ5-1をOFFにしてください。

## プログラムのインストール

リモートパネルはプリンタドライバのインストールに引き続きインストールすることができます。プリンタドライバのインストール時に、リモートパネルをインストールしなかった場合は次ページの「MultiWriter 2400用リモートパネルをインストールする」に従ってリモートパネルを個別にインストールしてください。

またMultiWriter 2400リモートパネルはMultiWriter 2200NW2にもご使用になれます。すでにMultiWriter 2200NW2用リモートパネルをインストールされている方は「MultiWriter 2200NW2用リモートパネルを削除する」(93ページ)に従っていったん2200NW2用リモートパネルを削除してください。その後「MultiWriter 2400リモートパネルをインストールする」(90ページ)に従ってインストールしてください。



リモートパネルはエクスプローラーなどで、単に「MultiWriter1-ティリティ」を選んでファイルメニューから「削除」しても完全に削除することはできません。必ず93ページの手順で削除してください。

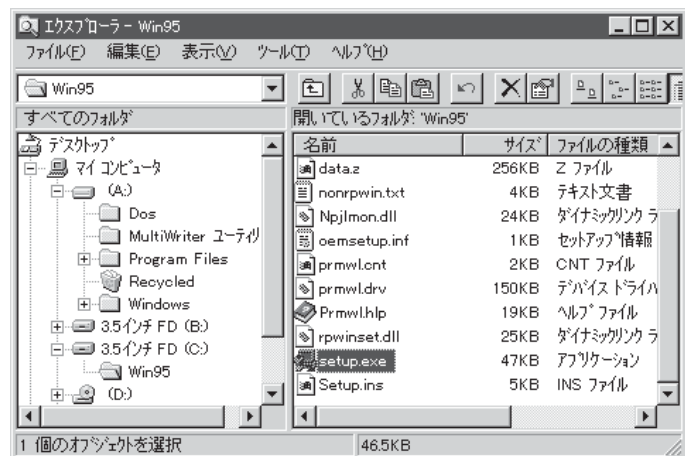
# MultiWriter 2400リモートパネルをインストールする

## 1 Microsoft Windows 95 （日本語版）を起動します。

ユーティリティディスク#1は起動後、  
ディスクドライブにセットします。

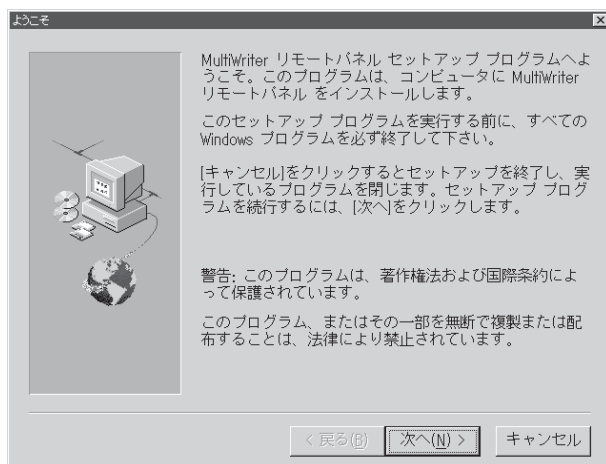


## 2 [エクスプローラ]または[マイコンピュータ]で、ユーティリティディスクを入れたディスクドライブを選択し、その中の[Win95]ディレクトリの下の[setup.exe]をダブルクリックします。



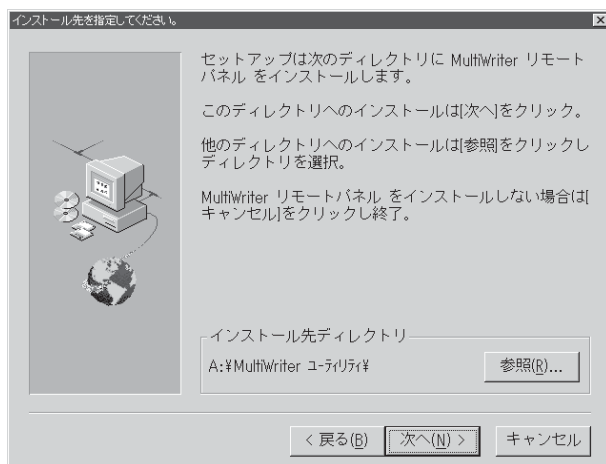
### 3 Windows 95(日本語用)リモートパネルインストール用のセットアップウィザードが起動します。

[次へ>]ボタンをクリックします。

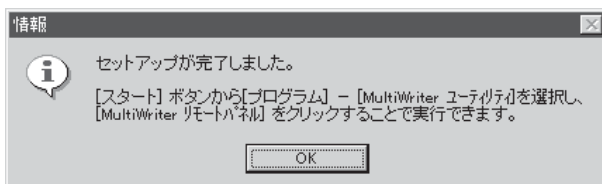
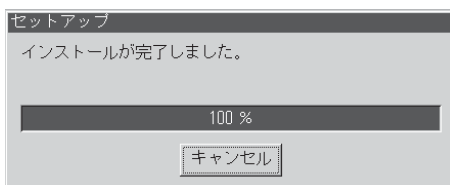


### 4 インストール先のディレクトリを確認して[次へ]ボタンをクリックします。

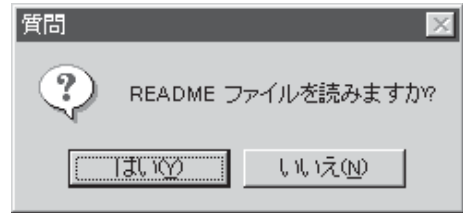
他のディレクトリにインストールしたい場合は[参照]ボタンをクリックしてディレクトリを指示します。



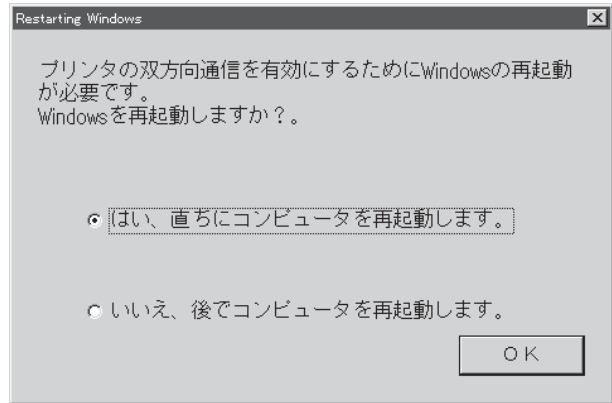
### 5 インストールが完了すると以下の画面が表示されるので[OK]ボタンをクリックします。



- 6 リモートパネルに関するReadMeファイルをご覧になりたい方は[はい]ボタンをクリックします。

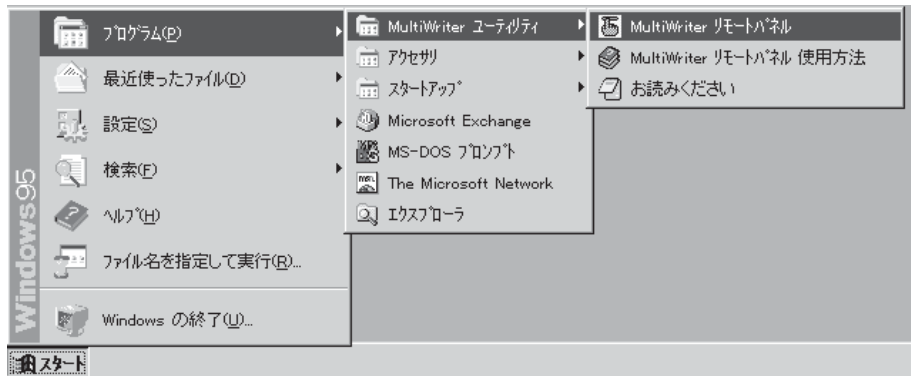


- 7 [OK]ボタンをクリックします。



- 8 スタートメニューの[プログラム]に[MultiWriter ユティリティ]というフォルダが追加され、その下に以下のアイコンが登録されたことを確認します。

- MultiWriter リモートパネル : リモートパネル本体です。
- MultiWriter リモートパネル 使用方法 : ヘルプです。
- お読みください : ご使用上の注意事項などです。

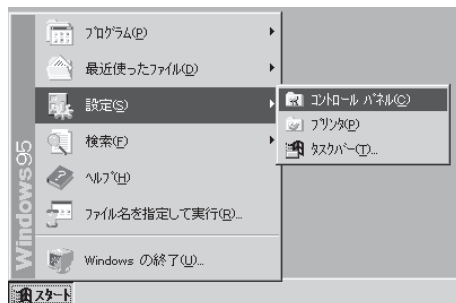


# MultiWriter 2200NW2用リモートパネルを削除する

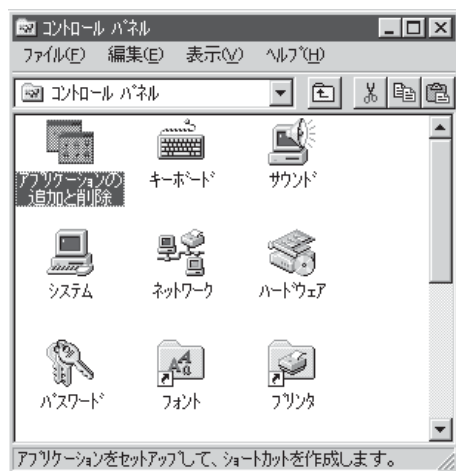
- 1 Microsoft Windows 95 (日本語版)を起動します。



- 2 Windows 95の[スタート]—[設定]—[コントロール パネル]をクリックします。



- 3 表示されたコントロールパネルフォルダの中から[アプリケーションの追加と削除]を開きます。  
[アプリケーションの追加と削除のオプション]画面が表示されます。

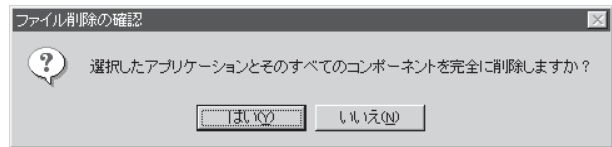


4 [セットアップと削除]タブをクリックします。

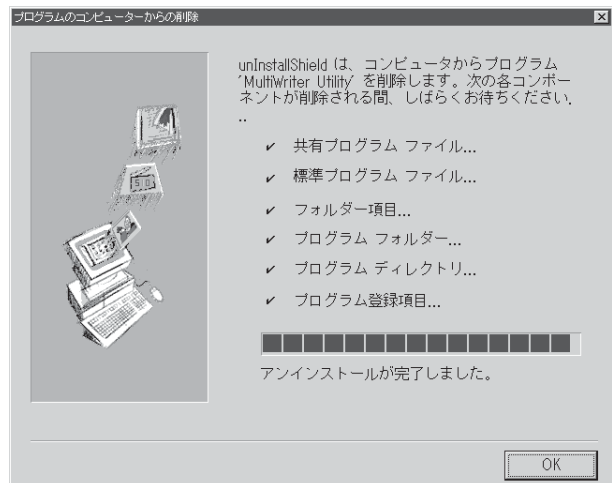
5 自動的に削除できるソフトウェアのリストから「MultiWriter Utility」を選んで[追加と削除]ボタンをクリックします。



6 [はい]ボタンをクリックします。

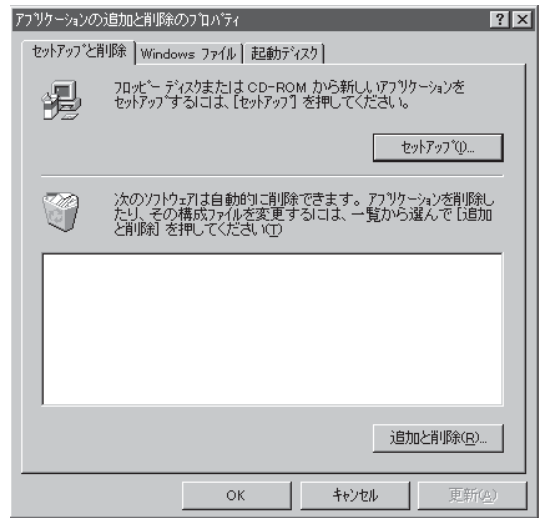


7 MultiWriter 2200NW2リモートパネルの削除(アンインストール)が完了したら[OK]ボタンをクリックします。





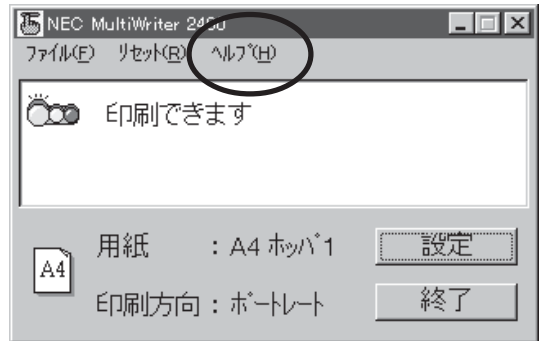
8 [OK]ボタンをクリックしてプロパティシートを閉じます。



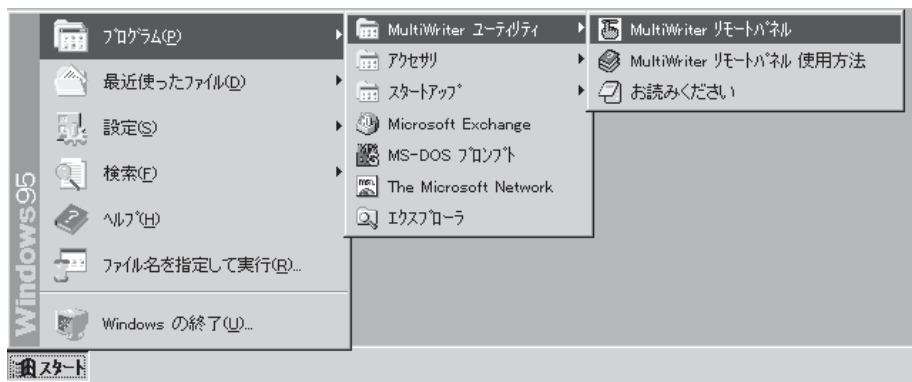
# ヘルプの起動

リモートパネルの詳しい使用方法については、ヘルプを参照してください。

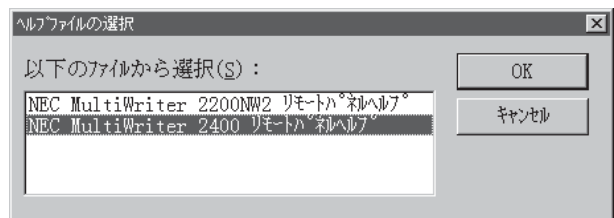
もしリモートパネルが起動しているなら[ヘルプ]メニューをクリックします。すぐヘルプが起動し、次ページのような画面が表示されます。リモートパネルを起動していなければ以下の手順で起動させてください。



- 1 [通常使うプログラム]がMultiWriter 2400になっていることを確認します。
- 2 Windows 95の[スタート]—[プログラム]—[MultiWriter ユーティリティ]から[MultiWriter リモートパネル 使用方法]をクリックします。



- 3 「NEC MultiWriter 2400 リモートパネルヘルプ」を選んで[OK]をクリックするとヘルプが起動します。

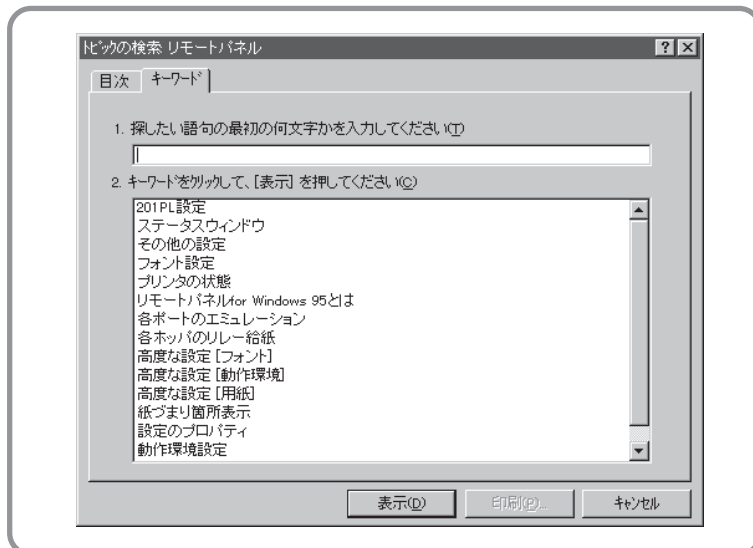


まず「リモートパネル入門」をご覧になることをお勧めします。「リモートパネル入門」を選んで「開く」ボタンをクリックすれば本が開きます。「印刷」ボタンをクリックすれば印刷ができます。



### ヘルパー「目次」画面

「キーワード」タブをクリックすると知りたいキーワードで説明を探することができます。



### ヘルパー「キーワード」画面

# MS-DOS用リモートパネル

Windows 3.1(日本語版)、Windows NT3.5(日本語版)、Windows NT3.51(日本語版)をご使用の場合は、MS-DOS用リモートパネルを使用することができます。リモートパネルは、プリンタの操作パネルで行っていた各種設定を、コンピュータの画面上で行えるようにしたユーティリティソフトで、MS-DOS上で動作します。

本ソフトウェアには、用途に応じて以下の2つのプログラムが用意されています。

## ■ 書式設定用リモートパネル (PCONF3A.EXE、PCONFV3A.EXE)

プリンタの用紙設定、コピー枚数の設定、フォントの設定等、比較的可変頻度が高いと思われるものをまとめてあります。PCONF3A.EXEは使用環境に応じて、非常駐タイプと常駐タイプの2種類の使い方ができます。

## ■ メモリスイッチ設定用リモートパネル (PCONM3A.EXE、PCONMV3A.EXE)

プリンタのメモリスイッチなど、変更頻度が比較的低い機能の設定を行います。

印刷に使用するアプリケーションによっては、リモートパネルで設定した内容の一部が無効になることがあります。たとえば、印刷に使用するソフトウェアがプリンタに対して用紙設定を行っているときには、リモートパネルで設定した用紙設定が無効になります。このように、印刷に使用するソフトウェア側で設定可能な項目は、印刷に使用するソフトウェアで設定してください。



Windows 3.1(日本語版)のMS-DOSプロンプトからは、プリンタ情報取得接続はできません。これはWindows 3.1(日本語版)上で動作しているアプリケーションソフトウェアなどにより、プリンタからの情報取得がうまく行かない場合があるためです。

Windows 95(日本語版)のMS-DOSプロンプトから、MS-DOS用リモートパネルユーティリティソフトウェアを使用した場合、表示が乱れる場合があります。Windows 95(日本語版)では、なるべくWindows 95(日本語版)用リモートパネルユーティリティを利用してください。

## プログラムのインストール

リモートパネルは、フロッピーディスクから起動することもできますが、コンピュータ本体の固定ディスクにコピーして使用することもできます。ただし、他の媒体にコピーする場合には、以下の2つのファイルを同時に、同じディレクトリにコピーしてください。

- PC-9800シリーズの場合
  - PCONM3A.EXE (PC-9800シリーズ用のメモリスイッチ設定用)
  - PCONF3A.EXE (PC-9800シリーズ用の書式設定用)
- IBM PC/AT 100%互換機の場合
  - PCONMV3A.EXE (IBM PC/AT 100%互換機用のメモリスイッチ設定用)
  - PCONFV3A.EXE (IBM PC/AT 100%互換機用の書式設定用)

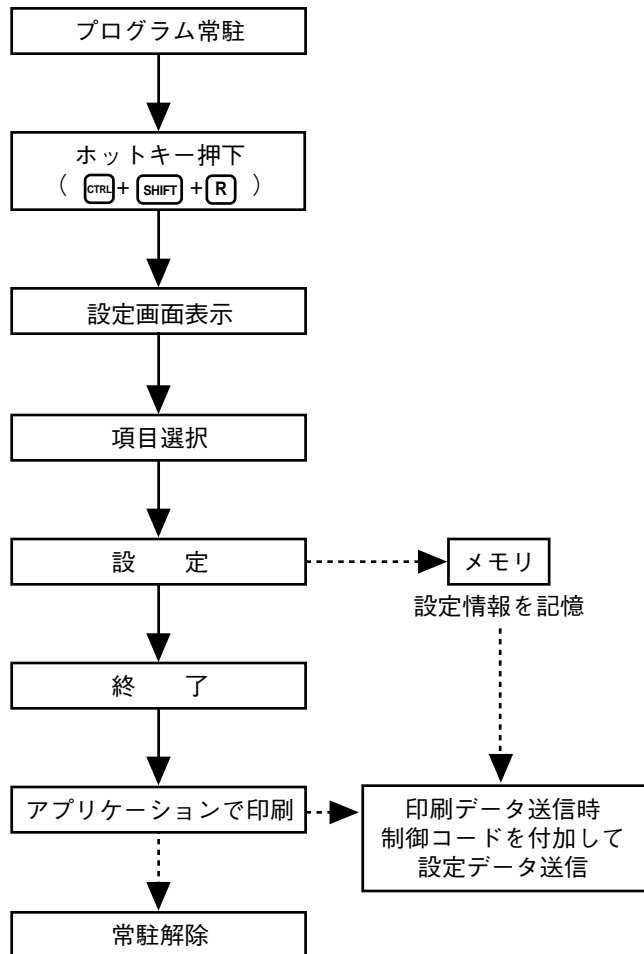
# 書式設定用リモートパネル

書式設定用リモートパネルは以下の手順に従って使用してください。

PC-9800シリーズ版書式設定用リモートパネル(PCONF3A.EXE)は、使用環境に応じて、非常駐タイプと常駐タイプの2種類の使い方ができます。IBM PC/AT100%互換機版(PCONFV3A.EXE)は非常駐タイプでのみ使用することができます。

## 常駐タイプ

ソフトウェアをコンピュータのメモリ上に常駐させて使う方式です。一度常駐させてしまうとホットキー( **CTRL** + **SHIFT** + **R** )を押すことにより、リモートパネルを呼び出すことができるのでいちいち記憶装置からソフトウェアを読み出す必要がありません。また、常駐タイプのソフトウェアは、他のアプリケーションソフトの実行中であっても起動することが可能です。



なお、このリモートパネルユーティリティを常駐させて使用する場合には、プリンタに対する書式設定データは印刷に使用するソフトウェアからの印刷開始時に印刷データと同時にプリンタに送信されます。

リモートパネルを常駐タイプとして使用される場合には、常駐タイプのソフトウェアの性質上、環境によっては正常に動作しない場合があります。そのときは、非常駐で使用してください。

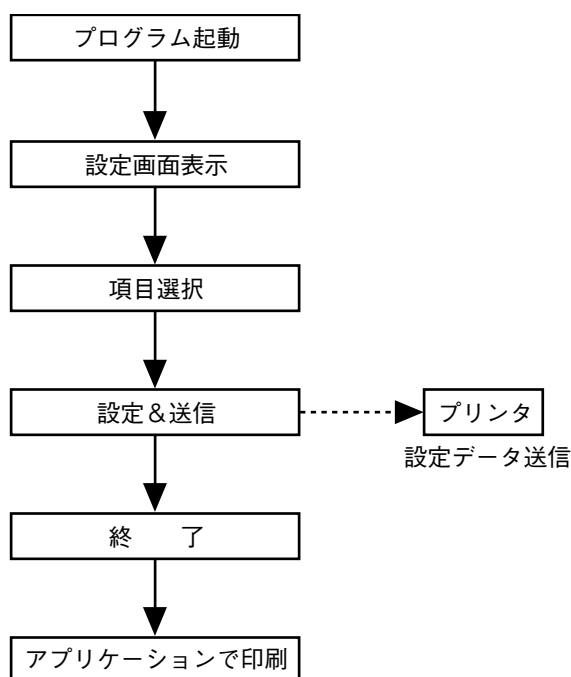


チェック

実行ファイルをホストコンピュータの固定ディスクのいずれかのドライブにコピーしても起動できます。その際、必要に応じて、実行ファイルのあるドライブ、ディレクトリを示す正確なパス名をコマンドラインで指定してください。

## 非常駐タイプ

通常のMS-DOSのソフトウェアと同様に、使用するたびに記憶装置(ハードディスクやフロッピーディスク)から読み出して実行する方式です。プログラムの起動は、コマンドラインからファイル名を入力することで行います。



〔常駐しない場合〕

ホットキーで起動でなく、コマンドラインの入力で起動する。(オプション -U)

## コマンドの入力

MS-DOS起動後、以下のコマンドを入力できます。

- **常駐**

次のコマンドを入力することによって、プログラムを常駐させます。

```
>PCONF3A [F2]
```

正常に常駐できたときは、次のように表示されます。

**リモートパネルが常駐しました。CTRL+SHIFT+Rキーで起動します。**

また、すでに常駐しているときに、さらに常駐させようとしても常駐しません。

- **常駐解除**

次のコマンド（オプション）によって、プログラムの常駐解除を行います。

```
>PCONF3A -R [F2]
```

正常に常駐解除できたときは、次のように表示します。

**リモートパネルの常駐を解除しました。**

また、常駐していないときや解除ができなくなったときは、次のようなエラーメッセージを表示します。

**リモートパネルの解除に失敗しました。**

解除できなくなった場合は、リモートパネルが常駐したあとで別の常駐プログラムを常駐させたことが考えられます。そのときは、その常駐プログラムを解除してからリモートパネルの常駐を解除してください。それでも解除できない場合は、別の常駐プログラムを常駐させないで、リモートパネルだけを常駐させるようにしてください。

- **非常駐で使用**

次のコマンド（オプション）によって、プログラムを常駐させずに使用できます。

```
>PCONF3A -U [F2] (PC-9800シリーズ)
```

```
>PCONFV3A [F2] (IBM PC/AT100%互換機)
```

- **グラフ画面オフ**

本機能はPC-9800シリーズのみ使用できます。コマンドに次のオプションを追加すると、リモートパネル使用中にコンピュータのグラフ画面の表示を停止します。

```
-G (オプション)
```

- **カーソル非表示**

コマンドに次のオプションを追加すると、リモートパネル使用後に、カーソルの表示を停止します。

```
-C (オプション)
```

- **パラレルポート出力先指定**  
コマンドに次のオプションを追加すると、ホストコンピュータのパラレルポート出力先を変更できます。

-P <n> (オプション) (n=1,2,3)

- **プログラムの起動**  
常駐した場合、次のキーを押すことによって、プログラムが起動します。

**CTRL** + **SHIFT** + **R** (ホットキー)

- **終了**

プログラムの終了は **ESC** を押します。

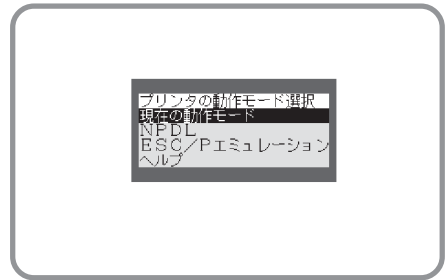
## 起動と設定操作

**1** プログラムを起動します。次の画面が表示されます。

**2** 動作モードを選択します。

ここで指定する動作モードは、操作パネルからリセットをかけられるとクリアされ、メニューモード中の「エミュレーション」で設定されている内容に変更されます。

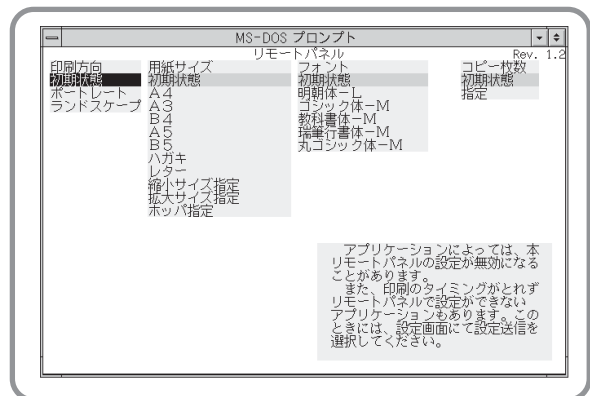
リモートパネル終了時の動作モードとしてNPDLモードまたはESC/Pエミュレーションモードまたは現在の動作モードのどれかを **↓**、**↑** で選択し、**↵** を押します。



**3** 項目選択画面が表示されます。[印刷方向]、[用紙サイズ]、[フォント]、[コピー枚数]の4項目の選択ができます。これらは、**←**、**→** の矢印キーで選択してください。

**4** 設定の変更を行います。

それぞれの項目内の移動は、**↓** で行い、コピー枚数の入力は数値入力で行ってください。





書式設定用リモートパネルは以下のキーを使って操作します。

- ←、→、↑、↓：メニュー項目を移動、選択する。
- ↵：確認画面へ移る。
- ESC：リモートパネルを終了する。コピー枚数入力画面から抜ける。
- 0～9（数字キー）：コピー枚数を入力する。
- Y、N、T：確認画面で入力する。





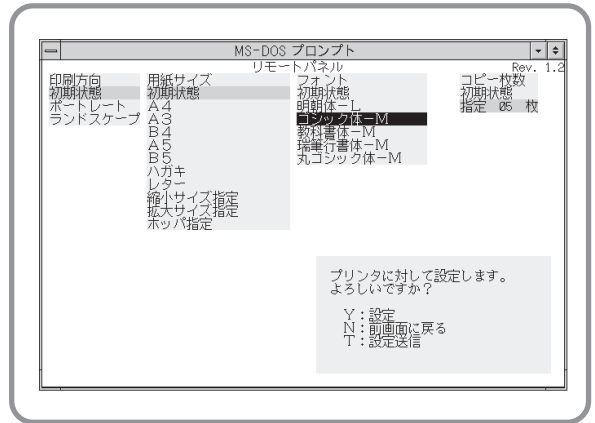
起動時には、MS-DOSのコマンド入力やアプリケーションソフトウェアのカーソルが本画面上のどこかに表示されていることがありますが、別に問題はありません。

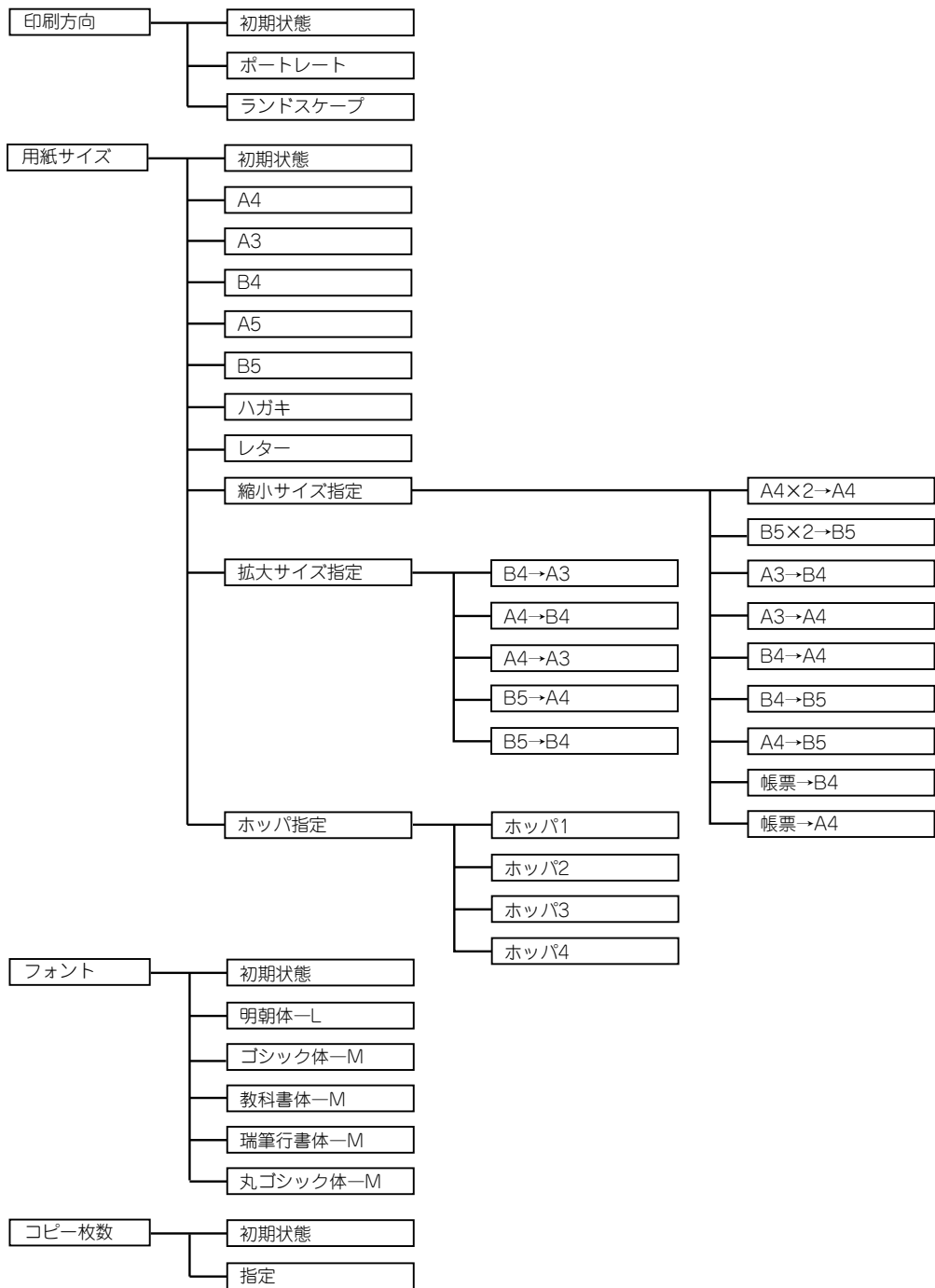
チェック

## 5

設定の変更または数値の入力をして  を押すと、次のような確認画面となります。

-  を押すと、その場でプリンタにデータを送信します。
-  を押すと、アプリケーションソフトウェアで印刷を行うまで設定データを送信せず、その後アプリケーションソフトウェアが印刷を実行するとき送信します。設定データの送信は一度しか行いませんので、もう一度印刷するときは事前にもう一度設定してください。





書式設定用リモートパネルのメニューツリー

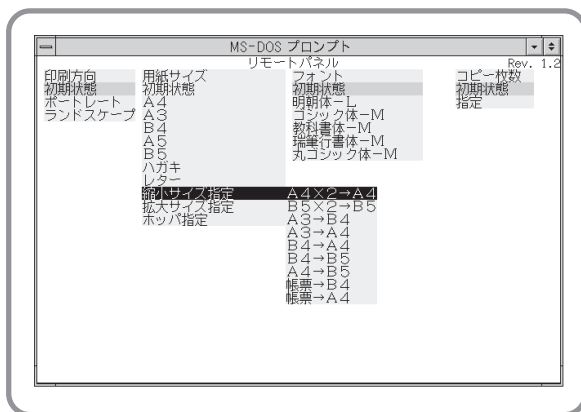
## 設定項目の概要

各設定項目の概要を説明します。

### 印刷方向

「ポートレート」、「ランドスケープ」、「初期状態」のいずれかを選択できます。

ただし、印刷方向で「初期状態」を選んだときは、用紙サイズとホッパの指定も初期状態となります。つまり、印刷方向、用紙サイズ、ホッパの設定は初期化されます。



### 用紙サイズ

縮小／拡大を含めた用紙サイズを指定します。本項目を設定するときは、必ず印刷方向を設定してください。本項目のみの指定はできません。

縮小サイズ、拡大サイズ、ホッパ番号を選択する場合は、「縮小サイズ指定」、「拡大サイズ指定」、「ホッパ指定」を選んでください。それぞれの項目の一覧が表示されますので、この中から設定したい項目を選択します。

### フォント

装着可能なフォントカードすべてがフォント名で表示されます（内蔵フォントも表示されます）。この中から使用したいフォントを選択します。

フォントを選択するときは、次の画面のようにしてください。



チェック

「明朝体-L」または「ゴシック体-M」以外のフォントを指定するときは、必ず指定するフォントのフォントカードがプリンタに正しく装着されていることを確認してください。

お持ちの漢字アウトラインフォントカードでフォントを指定するときは、電源OFFの状態ですべてのフォントカードを差し込んでからもう一度電源をONにし、リモートパネルのフォントメニューで目的のフォントを選択してください。

### コピー枚数

コピー枚数を1～20枚の範囲で指定します。



チェック

コピー枚数は、アプリケーションソフトウェアで設定を行うことができる場合には、アプリケーションソフトウェアで行ってください。リモートパネルで設定した場合、操作パネルに表示されたコピー枚数と実際に印刷される枚数が異なる場合があります。


コピー枚数は、数字キーで入力してください。間違えて入力したときは **[BS]** で入力し直してください。あるいは、一度入力画面を終了してカーソルを「指定」からずらし、もう一度「指定」を選択して入力し直せば設定を変更できます。枚数は、「02」と入力すると2枚印刷されます。

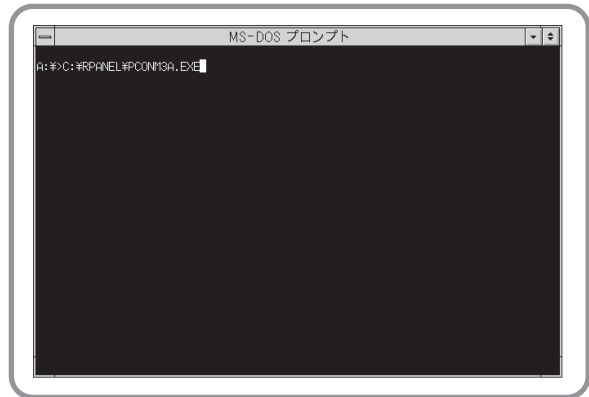
# メモリスイッチ設定用リモートパネル



このプログラムを使うと、メニューモードのメモリスイッチとほぼ同じ内容のプリンタの機能設定がコンピュータの画面から行えます。

## 起動と操作

**1** 実行ファイル“PCONM3A.EXE”または“PCONMV3A.EXE”が入っているディスクをフロッピーディスクドライブに挿入します。

**2** コマンドラインにディスクを挿入したドライブ名、パス名と共に“PCONM3A”または“PCONMV3A”と入力し、を押します。



(例) 実行ファイルをCドライブに挿入した場合のコマンドラインの入力  
C:\%RPNEL%\PCONM3A.EXE  ... PC-9800シリーズをお使いの場合  
C:\%RPNEL%\PCONMV3A.EXE  ... IBM PC/AT100%互換機をお使いの場合




チェック

実行ファイル(PCONM3A.EXEまたはPCONMV3A.EXE)をホストコンピュータの固定ディスクのいずれかのドライブにコピーしても起動できます。その際、必要に応じて、実行ファイル(PCONM3A.EXEまたはPCONMV3A.EXE)のあるドライブ、ディレクトリを示す正確なパス名をコマンドラインで指定してください。

**3** リモートパネルが起動して動作モードを選択する画面が表示されることを確認します。




もしプリンタとの通信ができず、プリンタの情報が得られない場合は、次のようなプリンタの選択画面が現れます。

この場合MultiWriter 2400を選択し、を押すと、動作モード選択画面になります。




プリンタが他のユーザーに使われていたり印刷中のときには、プリンタの設定情報取得に時間がかかるため、リモートパネルの起動に時間がかかったり、うまくプリンタとの通信が行われない場合があります。

**4** 動作モードとしてNPD LまたはESC/Pエミュレーションのどれかを選択し、を押すと、次の画面に移ります。

ここで指定する動作モードは、操作パネルからリセットをかけられるとクリアされ、メニューモード中の「エミュレーション」で設定されている内容に変更されません。

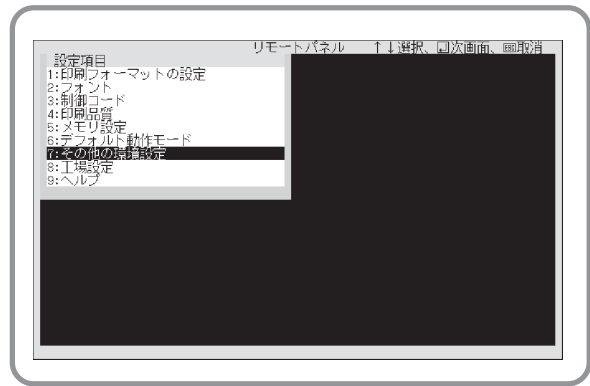
NPD Lを選択した場合はエミュレーション選択の画面に移ります。








**5** エミュレーション選択としてページプリンタモードまたは201エミュレーションのどちらかを選択し、を押すと、次の項目選択の画面に移ります。



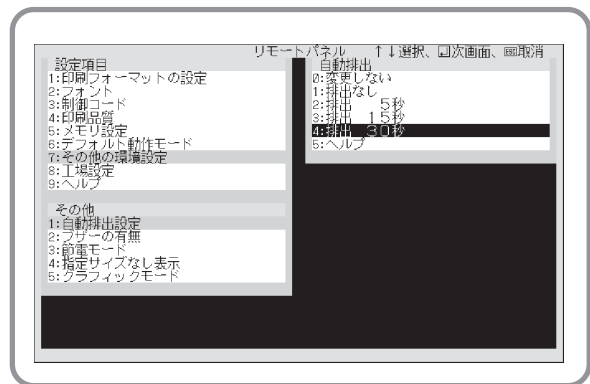
## 6 設定したい項目を矢印キーと で選択します。



メモリスイッチ設定用リモートパネルは以下のキーを使って操作します。

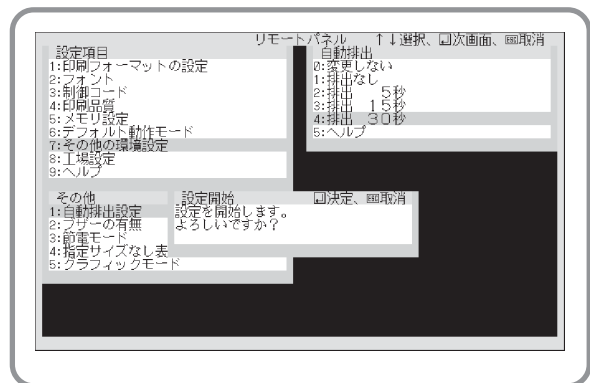
- 、、、：項目を移動する。
- ：次の画面に移る。各項目の設定を開始する。
- ESC**：前の画面に戻る。項目選択のときにリモートパネルを終了する。
- 0** ~ **9** (数字キー)：コピー枚数を入力する。

たとえば、自動排出機能を30秒に設定する場合は、次のような画面を表示させて設定します。



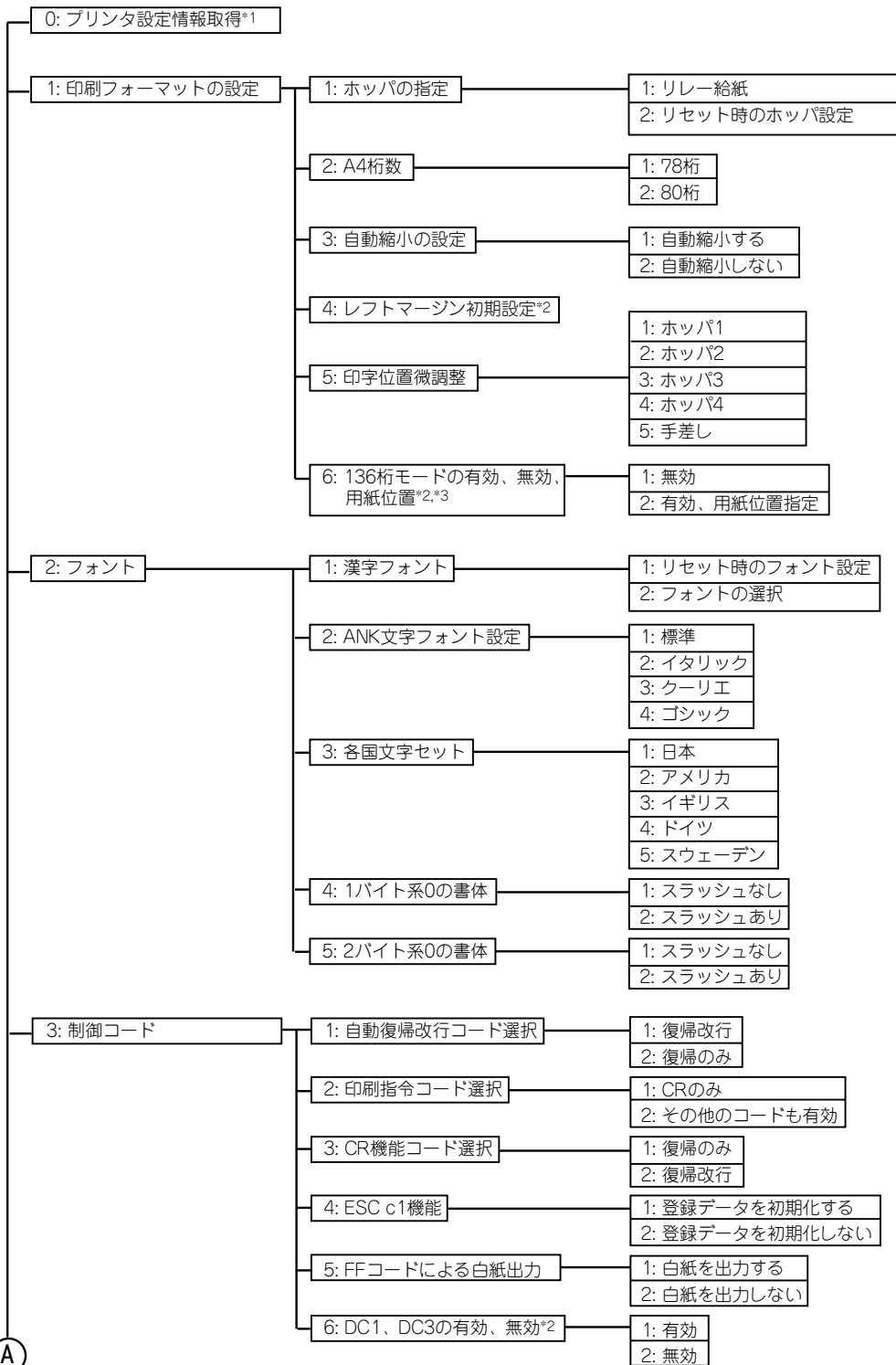
## 7 を押して、設定を決定します。

画面は現在表示されている項目のみプリンタに設定されます。



**分類**

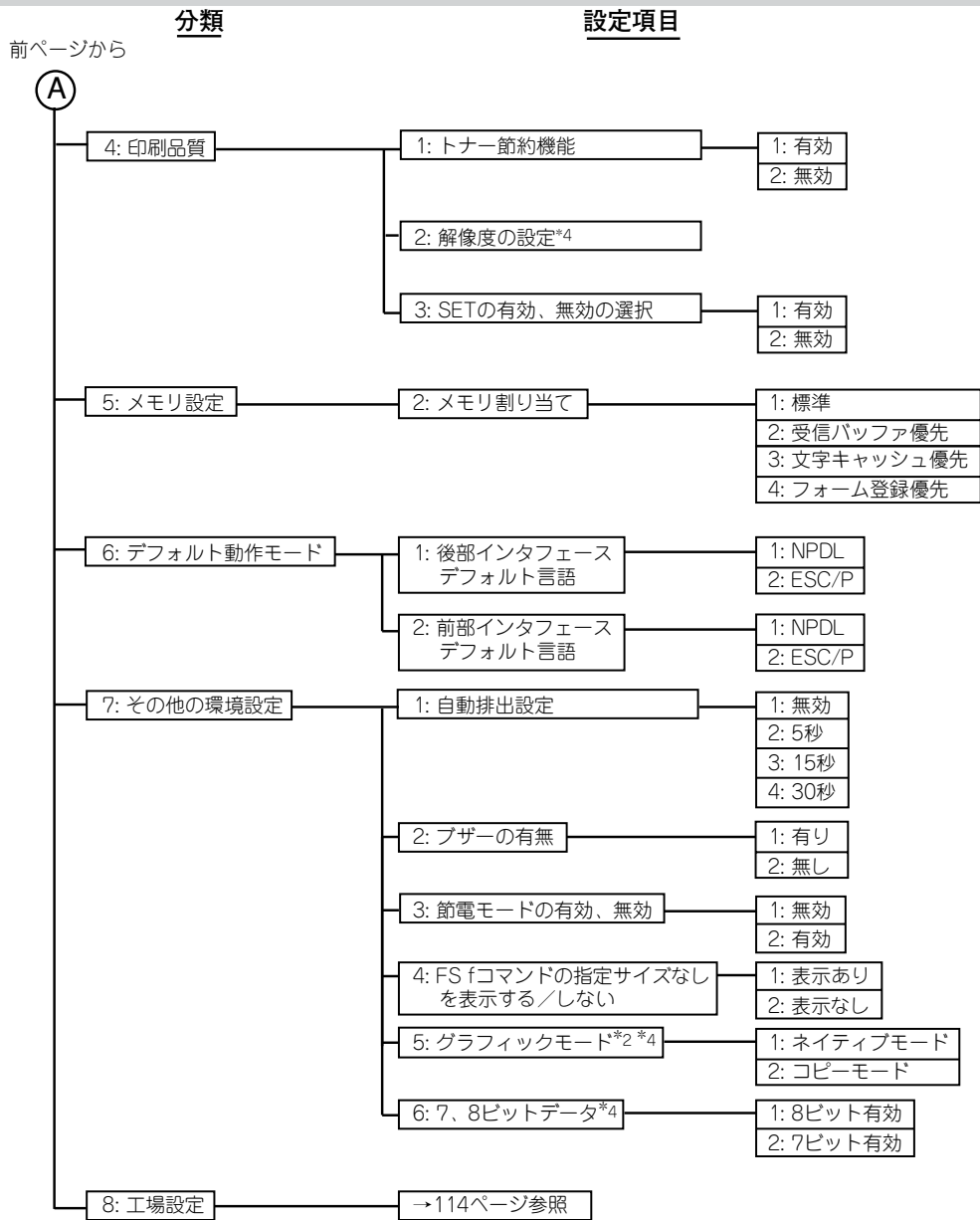
**設定項目**



Ⓐ

次ページへ

**メモリスイッチ設定用リモートパネルのメニューツリー(1/2)**



\*1 プリンタの設定情報取得ができない場合には表示されません。

\*2 レフトマージンの設定と136桁モードの設定は同時には設定できません。後で設定したものが有効となります。

\*3 動作モードにESC/Pエミュレーションまたはエミュレーション選択で201エミュレーションを選択したときのみ表示されます。

\*4 本プリンタの場合、ここでの設定は無効となります。

\*5 ESC/Pエミュレーションを選択した場合には無効です。ただし、設定は可能です。

## メモリスイッチ設定用リモートパネルのメニューツリー(2/2)



## 設定項目の概要

各設定項目の概要を説明します。設定の詳細な内容については、75ページを参照してください。

### 0: プリンタ設定情報取得

プリンタの現在の設定情報を取得します。本機能は、プリンタの設定情報取得が可能な接続の場合にのみ表示されます。情報取得が可能な場合、画面左下に“情報取得可能モード”と表示されます。PC-CA202、PC-CA204、またはPC-PRCA-01のプリンタケーブルをお使いになっていれば情報取得が可能です。「セットアップマニュアル」の4ページを参照ください。

また、本機能を使って設定情報を取得すると、それまでに設定していた値は無効となります。



チェック

プリンタが他のユーザーに使われていたり印刷中のときには、プリンタの設定情報取得に時間がかかるため、リモートパネルの起動に時間がかかったり、うまくプリンタとの通信が行われない場合があります。

### 1: 印刷フォーマットの設定

- ホッパの指定
  - 1: リレー給紙の設定を行います。
  - 2: リセット時のホッパ指定を行います。
- A4桁数  
1行あたりの文字数をパイカ文字幅で78桁にするか80桁にするかを選択します。
- 自動縮小の設定  
自動縮小するかしないかを選択します。
- レフトマージン初期設定  
レフトマージンの初期設定を行います。この設定を行うと、136桁モードは無効になります。
- 印字位置微調整
  - 1: ホッパ1の印字位置の微調整を行います。
  - 2: ホッパ2の印字位置の微調整を行います。
  - 3: ホッパ3の印字位置の微調整を行います。
  - 4: ホッパ4の印字位置の微調整を行います。
  - 5: 手差し(マルチシートフィーダ)の印字位置の微調整を行います。  
-3.9ミリ~+3.9ミリの範囲で、0.3ミリ単位の数値をキーボードから直接入力します。
- 136桁モードの有効、無効、用紙位置  
201エミュレーションを選択したときのみ表示されます。  
201エミュレーションを選択したとき、136桁モードの有効/無効を設定し、有効の場合、用紙位置を指定します。この設定を行うと、レフトマージンの初期設定が無効になります。

## 2: フォント

- 漢字フォント
  - 1: リセット時のフォント設定  
電源ON時やリセット時に選択されるデフォルトフォントを設定します。
  - 2: フォントの選択  
プリンタに登録されているフォントを表示します。
- ANK文字フォント設定  
ANK文字フォントを標準、イタリック、クーリエ、ゴシックの中から選択します。
- 各国文字セット  
文字セットを日本、アメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデンの中から選択します。
- 1バイト系0の書体  
1バイト系文字の数字ゼロの字体を「0」と印刷するか「Ø」と印刷するかを指定します。
- 2バイト系0の書体  
2バイト系文字の数字ゼロの字体を「0」と印刷するか「Ø」と印刷するかを指定します。

## 3: 制御コード

- 自動復帰改行コード選択  
バッファフル印刷のとき、復帰のみか復帰改行かを指定します。
- 印刷指令コード選択  
印刷指令を何にするかを切り替えます。(CRのみかCR、LF、VT、FF、US、ESC a、ESC b)
- CR機能コード選択  
印刷指令コードCRを受信したとき、復帰のみか復帰改行かを指定します。
- ESC c1機能  
ESC c1 (ソフトウェアリセットコマンド) を受信したとき、登録データの初期化をするかしないかを指定します。
- FFコードによる白紙出力  
印刷データがないときFFコードを受信した場合、白紙を出力するかしないかを指定します。
- DC1、DC3の有効/無効  
201エミュレーションを選択した場合のみ表示されます。制御コードDC1、DC3を有効にするか無効にするかを指定します。

## 4: 印刷品質

- トナー節約機能  
トナー節約機能を使用するかどうかを指定します。
- 解像度の設定  
解像度を400dpiにするか600dpiにするかを指定します。



チェック

MultiWriter 2400ではこの項目は無効です(設定に関わらず400dpiに固定されています。)

- SETの有効／無効の選択  
SET機能を有効(ON)にするか無効(OFF)にするかを選択します。

## 5: メモリ設定

- メモリ割り当て  
増設メモリの使用用途を指定します。

## 6: 動作モード

- 後部インタフェースデフォルト言語  
電源ON時、リセット時にプリンタ背面のインタフェースが使用できる言語を設定します。
- 前部インタフェースデフォルト言語  
電源ON時、リセット時にプリンタ前面のインタフェースが使用できる言語を設定します。



チェック

書式設定用およびメモリスイッチ設定用のリモートパネル終了後、プリンタは起動時に選択する動作モードに移ります。[6：動作モード]で選択する動作モードは電源ON時またはリセット時に有効になります。

## 7: その他

- 自動排出設定  
送信データが途絶えてから一定時間が経過した後の自動排出の設定時間を選択します。
- ブザーの有無  
ブザーを鳴らすか、鳴らさないかを設定します。
- 節電モードの有効、無効  
節電モードを有効にするか無効にするかを指定します。節電モード有効を選択すると、プリンタに印刷データがなくなってから約10分経過するとヒータ温度を下げて電力消費を45W以下に軽減します。
- FS fコマンドの指定サイズなしを表示する／しないの切り替え  
FS fコマンドにおいて指定用紙がないとき、用紙補給表示をするか、表示しないでコマンドを無効にするかを設定します。
- グラフィックモード  
201エミュレーションを選択した場合のみ表示されます。横ドット数をネイティブモードにするかコピーモードにするかを指定します。
- 7、8ビットデータ  
201エミュレーションを選択した場合のみ表示されます。インタフェースのデータが7ビット有効か8ビット有効かを指定します。

## 8: 工場設定

メモリスイッチ等の設定を工場出荷時の設定に戻します。工場出荷時設定は次のとおりです。

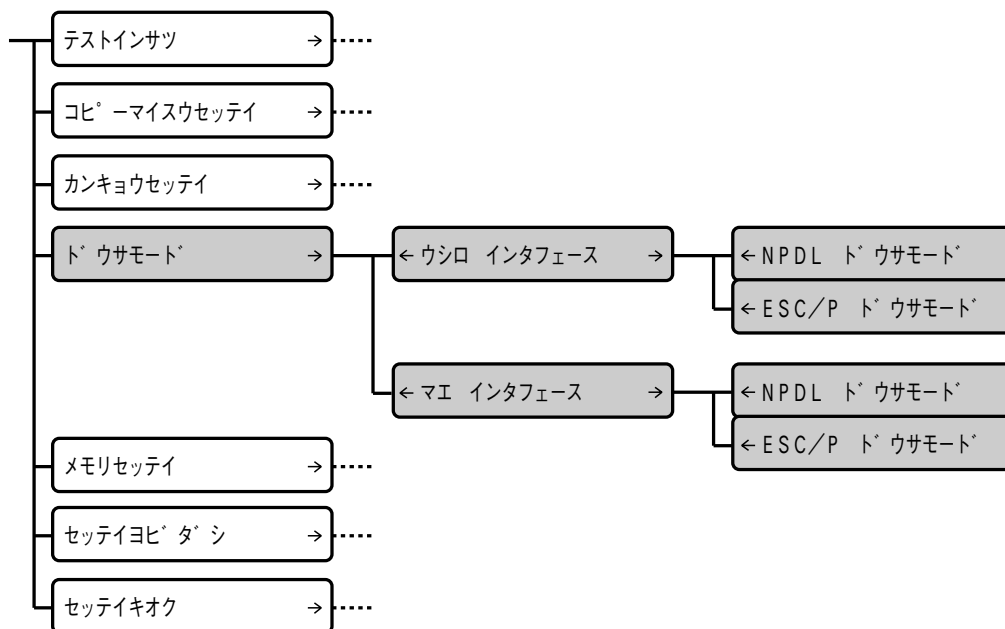
設定内容	工場設定	設定内容	工場設定
リレー給紙 (ホッパ1、ホッパ2、ホッパ3、ホッパ4)	無効	印刷指令コード	CRコードのみ
		CRの機能	復帰のみ
ホッパ初期設定	ホッパ1	ESC c1での登録データの初期化	初期化する
A4ポートレート印刷桁数	78桁	FFコードのみで白紙出力する／しない	出力する
FS fコマンドの自動縮小する／しない	自動縮小する	DC1、DC3	有効
レフトマージン位置	最左端	トナー節約機能	無効
印字位置微調整	0	解像度の指定*	400dpi
136桁モードの有効／無効	無効	SETを使用する／しない	使用する
用紙位置微調整量 (136桁モード時)	0	メモリ割り当て	標準
用紙位置微調整方向 (136桁モード時)	左	後部インタフェースデフォルト言語	NPDL
用紙位置	左端合わせ	前部インタフェースデフォルト言語	NPDL
漢字のフォント	明朝体	自動排出	無効
漢字1	ゴシック	ブザー機能の有効／無効	有効
漢字2	ゴシック	節電モードを使用する／しない	使用する
ANK文字のフォント	標準フォント	FS fコマンドの使用サイズなし表示	表示する
各国文字	日本	グラフィックモード	ネイティブモード
1バイトコード系のゼロの字体	0 (スラッシュなし)	7ビット／8ビットデータ	8ビット
2バイト系のゼロの字体	0 (スラッシュなし)	メモリオーバー表示	エラー表示あり
自動復帰改行	あり	* 本プリンタでは無効です。	

# ESC/Pエミュレーションの使い方

## プリンタのモード切り替え

ESC/Pエミュレーションを使用するためには、プリンタのメニューモードを使用して、ESC/Pエミュレーションを設定する必要があります。

この“ドゥサモード”で、ESC/PモードとNPDLモードを切り替えることができます。なお、プリンタ本体に添付されている「リモートパネル」でも、NPDLモードとESC/Pモードを切り替えることができます。



## ディスプレイの表示

操作パネルの液晶ディスプレイは、NPDLモードを選択している場合と、ESC/Pモードを選択している場合とで表示が異なります。

### ■ NPDLモードを選択しているとき

ホッパ° 1      A4    ホ° ート

NPDLモードで印刷方向にポートレートを選択しています。

ホッパ° 1      A4    ラント°

NPDLモードで印刷方向にランドスケープを選択しています。

■ ESC/Pエミュレーションを選択しているとき

ホッパ° 1      A4 P EP

ESC/Pエミュレーションモードで印刷方向にポートレートを選択しています。

ホッパ° 1      A4 L EP

ESC/Pエミュレーションモードで印刷方向にランドスケープを選択しています。

## メニュー、メモリスイッチの有効／無効

プリンタのメニューモードの設定項目のうち、一部の項目はESC/Pモードでは無効となります。ESC/Pモードで有効なもの、無効なものは以下のとおりです。

メモリスイッチのESC/Pモードでの有効なもの、無効なものは、「メモリスイッチの内容」(83ページ)を参照してください。

設定項目	ESC/Pモードでの有効／無効
テスト印刷	○
コピー枚数設定	○
201PL/ページプリンタモード設定	×
A4ポートレート桁数	○
1バイト系ゼロの書体 (0/∅)	○
2バイト系ゼロの書体 (0/∅)	○
ANKフォントの選択	○
漢字フォントの選択*	○
文字セットの選択**	×
国別文字の選択	○
ホッパ初期設定	○
136桁/LM設定	○
自動排出設定	○
節電機能設定	○
トナー節約機能	○
リレー給紙	○
ホッパ微調整	○
手差し微調整	○
メモリスイッチ	83ページ参照
設定呼び出し	○
設定記憶	○

○: 有効    ×: 無効

# PC-PTOS環境でのプリンタ設定

本プリンタは、PC-9800シリーズのPTOSインストールモデルなどのPC-PTOSに対応しています。ここでは、PC-PTOS環境で使用するプリンタの設定を説明します。

## メモリスイッチの設定

PC-PTOSから使用する場合、プリンタのメニューモードでメモリスイッチ5-1「同期コードの有効／無効の切り替え」を「有効(ON)」に設定する必要があります。このスイッチをONにしないとPTOSとの同期がとれないため、ソフトウェアによっては用紙切れ、紙づまり等の処理が正常に行えない場合があります。なお、このスイッチをONにしたままでもDOS、Windows等の他のOSからの印刷は可能ですが、OFFの場合に比べて性能が若干低下する場合があります。

## その他のメニューおよびメモリスイッチ設定

PC-PTOSから使用する場合は、上記メモリスイッチ5-1以外のメニュー、メモリスイッチの各種設定はすべて出荷時設定のままでお使いください。設定の内容によっては印刷結果が不正になる場合があります。ただし、以下の項目についてはPC-PTOSからの印刷でも設定を変えて使用することができます。

### メニューの設定

- テスト印刷
- コピー枚数設定\*1
- 環境設定
  - － A4ポートレート桁数
  - － フォント\*2
  - － ホッパ初期設定\*1
  - － 自動排出
  - － 節電機能
  - － トナー節約
  - － リレー給紙
  - － 印字位置微調整
- メモリ設定
- 設定呼び出し
- 設定記憶

\*1 使用するソフトウェアによってはソフトウェアでの指定が優先されます。

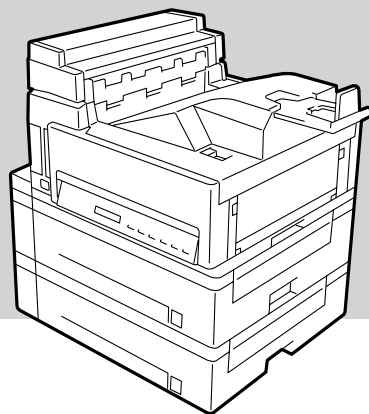
\*2 PC-PTOSで規定した字形で印字する場合は、出荷時設定のままで使用してください。

## メモリスイッチの設定(メニューで設定できるものを除く)

(2-8)	B4→A4縮小の縮小率
(3-8)	ブザーの有効／無効の切り替え
(4-4)	FFコードのみで白紙を出力する／しないの切り替え
(4-5)	ランドスケープの方向の切り替え
(6-1)	SETを使用する／しないの設定
(7-1、7-2)	データストロープのデータラッチタイミングの設定
(7-7、7-8)	FS fコマンドの動作に関する設定
(8-3、8-4、8-7、8-8)	アクノリッジの幅の設定



# 5 故障かな?と 思ったら



プリンタが思うように動作しなかったり、印刷の状態がよくなかったりしたときは、故障を疑う前にまずこの章をお読みください。

本章では、以下の項目に分けて処置方法を説明しています。もしこれらの処置を行ってもなお異常があるときは、お近くのサービス窓口にご連絡ください。

- 印刷がおかしいときは
- アラーム表示が出ているときは
- 紙づまりのときは
- 清掃
- EPカートリッジの交換
- リモートパネルが動作しない

プリンタの保証、保守サービスなどについては10ページを、FAXやインターネットなどによる技術的な質問等がご希望の場合は28ページをご覧ください。

# 安全上のご注意

以下に示す注意事項は、本章の内容に従ってプリンタにつまった紙を取り除くなどの作業をしていただく上で特に重要なものです。この注意事項の内容をよく読んで、ご理解いただき、指示どおり作業を行ってください。



この警告を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷を負うおそれがあります。

分解・修理・改造はしない



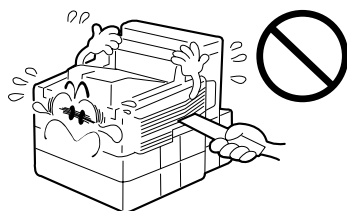
ユーザズマニュアルに記載されている場合を除き、絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。プリンタが正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。

煙や異臭、異音が出たら



万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源スイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。

針金や金属片を差し込まない

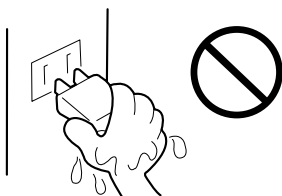


通気孔などのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。



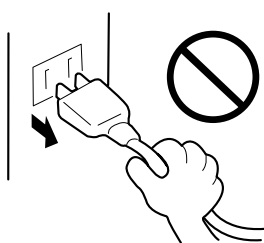
この注意を無視して、誤った取り扱いをすると、火災による火傷や感電のおそれがあります。

お手入れは電源プラグを抜いて



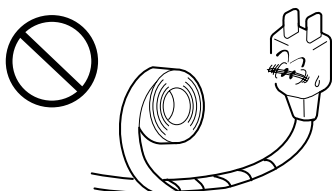
お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、ぬれた手で抜き差しをしないでください。感電することがあります。

### プラグの抜き差しはプラグを持って



電源プラグを抜くときは必ずプラグ部分を持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが破損し、火災や感電の原因となります。

### 損傷した電源コードは取り替える



損傷した電源コードはすぐ同じものと取り替えてください。決して損傷部分を補修してお使いにならないでください。ビニルテープなどで補修した部分が加熱し、火災や感電の原因となります。

### プリンタ内に水や異物を入れない



プリンタ内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解したりしないで販売店に連絡してください。

## ⚠ 注意

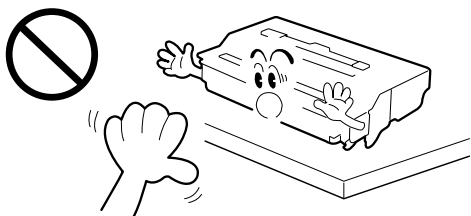
この注意を無視して、誤った取り扱いをすると、けがをしたり周辺の家財に損害を与えるおそれがあります。

### 高温注意



プリンタの内部には、使用中に高温になる定着ユニットという部品があります。カバーを開けて作業する場合は、十分に冷めてから行ってください。

### お子様に注意



EPカートリッジはお子様の手の届かない所に保管してください。EPカートリッジに入っているトナーが、目や口等に入ったりすると健康を損なうことがあります。

# 印刷がおかしいときは


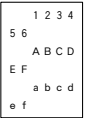
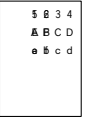
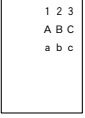
印刷結果が思ったようにならなかったときは、次の「思うように印刷できないとき」を、印刷結果にかすれや汚れが出るなど印刷異常が起こったときは「印刷に異常が見られるとき」(125ページ)を、印刷ができないときやプリンタの状態がおかしいときは「印刷できないとき」(127ページ)をご覧ください。

## 思うように印刷できないとき

思うように印刷ができないとき、次にあげるような症状なら、プリンタまたはアプリケーションソフトウェアの設定を変えれば、ほとんどの場合は改善できます。






症状	原因と処理方法
斜線の太さが均一でない (線の角度によって線の太さが 違う) 写真などの絵やグラデーション がおかしい	<p><b>本プリンタのSETの設定が「使用する」になっていませんか。</b></p> <p>→ SETの設定を「使用しない」にしてください(メモリスイッチ6-1をONに変更)。 本プリンタのSETは、印刷時の解像度を拡張して斜線や曲線の印刷品質を向上させるための機能ですが、印刷内容によってはこのような症状になることがあります。</p> <p><b>トナー節約機能がONになっていませんか。</b></p> <p>→ 「メニューモード」(69ページ)を参照してトナー節約機能をOFFにしてください。トナー節約機能はトナーの使用を節約する「試し印刷」用の機能です。この機能を使うと細い線、濃度の薄い印刷、網かけ、グラデーションが不鮮明になることがあります。</p>
印刷位置が以前使用していたプリンタと合わない	<p><b>アプリケーションソフトウェアの用紙・印刷に関する設定がまちがっていませんか。</b></p> <p>→ 正しく設定してください。 ソフトウェアによっては、わずかでも異なる設定項目があると、印刷位置がずれるものがあります。</p> <p><b>本プリンタのA4ポートレートの印刷桁数が80桁に設定されていませんか。</b></p> <p>→ A4ポートレート桁数を78桁にしてください(76、86、111ページ参照)。 A4ポートレートの印刷桁数が80桁に設定されている場合には、本来の印刷位置よりわずかに左にずれて印刷されます。したがって、80桁に設定されているプリンタとそうでないプリンタとでは印刷位置が異なります。</p> <p><b>使用している用紙が本プリンタの規格に合っていないません。</b></p> <p>→ 「用紙について」(26ページ)を参照して、確認してください。 本プリンタのようなカット紙プリンタは、用紙送りをローラの摩擦によって行っています。そのため、本プリンタでも、他のカット紙プリンタと同様に縦方向、横方向とも多少の誤差が発生します。この誤差は用紙によっても異なります。</p>


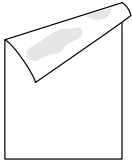



症状	原因と処理方法
	<p>以前使用していたプリンタと本プリンタとの間に印刷位置の互換性がありません。</p> <p>→ 本プリンタの印刷位置は、PC-PR2000/6W等のNPDLまたはNPDL (Level2) 対応のプリンタおよびPC-PR601、PC-PR602、PC-PR602Rに対して互換性があります。その他のプリンタに対しては印刷位置の互換性はありません。</p>
<p>“データガノコッティマス”を表示したまま印刷を開始しない</p>	<p><b>改ページコードまたは排出コードがありません。</b></p> <p>→ 印刷可スイッチを押して印刷可ランプを消灯させてから、シフトスイッチを押しながら排出スイッチを押してください。</p> <p>本プリンタはページプリンタなので、1ページ分のデータがそろわないと印刷を開始しません。また、アプリケーションソフトウェアの中には、ページの最後に排出コードなどのページの終わりを示す制御コードをプリンタに送らないものがあります。このような場合は上記の方法で処理してください。</p> <p><b>アプリケーションソフトウェアのプリンタ設定が「シリアルプリンタ」になっていませんか。</b></p> <p>→ ページプリンタを選択してください。</p> <p>ソフトウェアのプリンタ設定がシリアルプリンタになっていると、排出コードをプリンタに送らないためにこのような症状が起こります。また、新たにソフトウェアを作成する場合には、このような症状を防ぐため、必ず各ページの最後に排出コード (0Ch) を付加するようにしてください。</p> <p><b>自動排出機能が無効になっていませんか。</b></p> <p>→ [ジドウハイシュツ]メニューで設定時間を選択してください(79、113ページ参照)。</p> <p>本プリンタには自動排出機能(コンピュータからのデータの送信が一定時間途切れると、そこまでのデータを自動的に印刷・排出する機能)があります。ただし、コンピュータからのデータ送信が途中で長い時間途切れるような場合には、この機能は使用できません。</p>
<p>ページの途中までしか印刷されない または 1ページ分のデータが2ページにわたって印刷されてしまう</p>	<p><b>自動排出機能が有効になっていませんか。</b></p> <p>→ 「ジドウハイシュツ」メニューで「無効」を選択してください(79、113ページ参照)。</p> <p>本プリンタには自動排出機能(コンピュータからのデータの送信が一定時間途切れると、そこまでのデータを自動的に印刷・排出する機能)があります。しかし、コンピュータからのデータ送信をページの途中で長い時間中断させるような使い方をしている場合に自動排出機能が有効になっていると、ページの途中でもそれまでのデータを印刷・排出してしまうことがあります。</p>
<p>用紙の左側が空白になる (印刷文字が用紙の右側にかたよって印刷される)</p>	<p><b>一部のソフトウェアでは、用紙位置が異なる場合があります。</b></p> <p>→ メニューモードまたはメモリスイッチの「136桁モード」(77、86、111ページ)を参照して、用紙位置を調整してください。</p>
<p>縮小すると、縮小する前と印刷結果が異なる</p>	<p><b>印刷データによっては、縮小すると縮小する前と印刷結果が異なる場合があります。</b></p> <p>→ 本プリンタでは、座標値などを縮小することにより縮小印刷を行っています。このときに、数値の丸め誤差が生じ、図形と図形の重なりなどが変わるにより、印刷結果が異なってしまう場合があります。</p>

症状	原因と処理方法
<p>改行量（行の間隔）が2倍になる</p>  <p>1行が2行にわたる</p>  <p>各行の文字が重なって印刷されてしまう</p>  <p>用紙の途中から印刷が始まってしまう</p> 	<p><b>アプリケーションソフトウェアで設定した用紙サイズと、使用する用紙サイズが異なっていませんか。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→ ソフトウェアの用紙サイズ設定と使用する用紙のサイズを合わせてください。</li> <li>→ 他の用紙サイズに印刷するか、A4ポートレート桁数を80桁にしてください（76、86、111ページ参照）。</li> </ul> <p>A4ポートレートの用紙に80桁分の印刷（パーソナルコンピュータの画面コピーなど）を行うと、このような症状になることがあります。</p> <p><b>アプリケーションソフトウェアのプリンタ設定が「シリアルプリンタ」になっていませんか。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 「ページプリンタ」を選択してください。</li> <li>→ 本プリンタの136桁モードを有効にしてください（77、86、111ページ参照）。</li> </ul> <p>アプリケーションソフトウェアがシリアルプリンタ専用で作られている場合には、136桁モードを有効にすることでこれらの症状は改善されます。特に、「用紙の途中から印刷が始まってしまう」場合には、136桁モードの用紙位置設定を中央合わせにすることで正しい印刷結果が得られるようになります。</p>
<p>改行量がおかしくなり、徐々にずれてしまう</p>	<p><b>一部のソフトウェアには、ソフトウェアの指定によって改行で用紙を排出するものがあります。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→ ソフトウェアの設定をシートフィーダ付きにするか、1ページの長さを67桁（A4サイズの場合）に設定してください。</li> </ul>
<p>画面の文字と異なる文字が印刷された（文字化け）</p>	<p><b>ご使用のコンピュータ環境に最も適した方法でプリンタを指定していますか。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 「セットアップマニュアル」の第2部をご覧ください。</li> </ul> <p><b>適切なエミュレーションモードを選択していますか。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 「プリンタの動作モードの切り替えについて」(76ページ) または75、81、85ページを参照して、エミュレーションモードを選択し直してください。</li> </ul>
<p>白紙が出る</p>	<p><b>ソフトウェアのプリンタ設定がシートフィーダ付きになっていませんか。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→ シートフィーダ付きになっている場合は、77、86、111ページを参照して、メニューモードまたはメモリスイッチの設定で「136桁モード」を有効にしてください。</li> </ul>

# 印刷に異常が見られるとき

印刷にカスレや汚れなど異常が発生する場合は、次の表を参照して異常原因を取り除いてください。

症状	原因と処理方法
<p>用紙にしわが入ったり、文字の周りにじむとき</p> 	<p>用紙が規格に合っていない。</p> <p>→ 「用紙について」(26ページ)を参照して、確認してください。</p> <p>サイドガイドが用紙の幅に合っていない。</p> <p>→ 「用紙のセット」(32ページ)を参照して、もう一度用紙をセットし直してください。</p>
<p>用紙が汚れているとき</p> 	<p>プリンタの内部が汚れています。</p> <p>→ 「清掃」(140ページ)を参照して、よく清掃してください。</p>
<p>印刷が薄いとき</p> 	<p>トナーがありません(トナーランプ点灯)。</p> <p>→ EPカートリッジの交換時期です。「EPカートリッジの交換」(147ページ)を参照して、EPカートリッジを交換してください。</p> <p>トナー節約機能を使用していませんか。</p> <p>→ 「メニューモード」(80ページ)を参照して、トナー節約機能を解除してください。</p> <p>EPカートリッジのビニールシールが取り付けられたままです</p> <p>→ 「EPカートリッジの交換」(147ページ)を参照して、ビニールシールを引き抜いてください。</p>
<p>何も印刷されない</p> 	<p>トナーがありません(トナーランプ点灯)。</p> <p>→ EPカートリッジの交換時期です。「EPカートリッジの交換」(147ページ)を参照して、EPカートリッジを交換してください。</p> <p>EPカートリッジのビニールシールが取り付けられたままです。</p> <p>→ 「EPカートリッジの交換」(147ページ)を参照して、ビニールシールを引き抜いてください。</p>
<p>真黒に印刷されたとき</p> 	<p>EPカートリッジが正しく取り付けられていません。</p> <p>→ 「EPカートリッジの交換」(147ページ)を参照して、EPカートリッジを取り付け直してください。</p> <p>EPカートリッジそのものに問題がある可能性があります。</p> <p>→ 「EPカートリッジの交換」(147ページ)を参照して、新しいEPカートリッジと交換してください。</p>

症状	原因と処理方法
<p>印刷に縦線や横線が入るとき</p> 	<p>EPカートリッジが正しく取り付けられていません。</p> <p>→ 「EPカートリッジの交換」(147ページ)を参照して、EPカートリッジを取り付け直し、数枚テスト印刷(75ページ参照)をしてください。</p> <p>EPカートリッジそのものに問題がある可能性があります。</p> <p>→ 「EPカートリッジの交換」(147ページ)を参照して、新しいEPカートリッジと交換してください。</p>
<p>印刷用紙の裏が汚れるとき</p> 	<p>転写ローラが汚れています。</p> <p>→ 数枚テスト印刷をしてください。(75ページ参照)</p> <p>転写ローラガイドプレート、リブプレート、定着ユニットを清掃してください。</p> <p>→ 「清掃」(140ページ)を参照して、プリンタの内部を清掃してください。</p>
<p>部分的に白く抜けるとき</p> 	<p>用紙が湿気を吸収している可能性があります。</p> <p>→ 「用紙のセット」(32ページ)を参照して、ホッパにある用紙をすべて交換してください。</p> <p>用紙が規格に合っていない。</p> <p>→ 「用紙について」(26ページ)を参照して、確認してください。</p> <p>冬期はプリンタ内部が結露している可能性があります。</p> <p>→ 電源をONにしたまま30分~1時間放置してから印刷してください。</p> <p>EPカートリッジそのものに問題がある可能性があります。</p> <p>→ 「EPカートリッジの交換」(147ページ)を参照して、新しいEPカートリッジと交換してください。</p>
<p>縦線の形状で白く抜けるとき</p> 	<p>レーザ射出窓にゴミがついています。</p> <p>→ 「清掃」(140ページ)を参照して、レーザ射出窓を清掃してください。</p> <p>EPカートリッジが正しく取り付けられていません。</p> <p>→ 「EPカートリッジの交換」(147ページ)を参照してEPカートリッジを取り付け直し、数枚テスト印刷(75ページ参照)をしてください。</p> <p>EPカートリッジそのものに問題がある可能性があります。</p> <p>→ 「EPカートリッジの交換」(147ページ)を参照して、EPカートリッジを交換してください。</p>
<p>印刷がぼけるとき</p> 	<p>レーザ射出窓が汚れています。</p> <p>→ 「清掃」(140ページ)を参照して、レーザ射出窓を清掃してください。</p>



# 印刷できないとき

次の表に、印刷できないときの症状、および確認と処理方法を示します。それぞれの方法に従って確認、処理してください。

症状	原因と処理方法
電源ランプが点灯しない	<p>電源スイッチがOFFになっています。</p> <p>→ 電源スイッチをONにしてください。</p> <p>電源コードがきちんと差し込まれていません。</p> <p>→ プリンタ側とコンセント側の両方を確認してください。</p> <p>コンセントに電気が供給されていません。</p> <p>→ 配電盤などの状態を調べてください。</p>
データを送り終わったのに印刷ができないまたは長い間印刷を開始しない	<p>印刷可ランプが消灯しています。</p> <p>→ 印刷可スイッチを押して、印刷可ランプを点灯させてください。</p> <p>プリンタケーブルが正しく選択されていないか、または正しく接続されていません(データランプ消灯)。</p> <p>→ 「セットアップマニュアル」の4ページを参照して、プリンタケーブルを確認、接続してください。</p> <p>改ページまたは排出コードがありません(データランプ点灯)。</p> <p>→ シフトスイッチを押しながら排出スイッチを押して、プリンタ内に残っている未印刷データを印刷してください。また、この状態が多く発生するソフトウェアをお使いの場合は、メニューモードで自動排出を選択することをお勧めします(79、113ページ参照)。</p> <p>用紙がなくなったか、または指定されたサイズ用の紙がありません(アラームランプ点灯)。</p> <p>→ 「用紙のセット」(32ページ)を参照して、用紙を補給してください。</p> <p>アラームランプが点灯していませんか。</p> <p>→ この後の「アラーム表示が出ているときは」(128ページ)をご覧ください。</p> <p>本プリンタはページプリンタなので、1ページ分のデータがそろわないと印刷を開始しません。また、グラフィックモードで多量のデータを送る場合などは、データ転送に時間がかかります。</p> <p>→ もう少しお待ちください。</p>

# アラーム表示が出ているときは

保守が必要な時期になったりエラーが発生したりすると、赤色のランプが点滅または点灯し、ディスプレイにその内容が表示(アラーム表示)されます。このとき、ブザーが30秒ごとに6回ずつ鳴ります。







メモリスイッチ3-8がONのときは、ブザーは鳴りません。

次の表に、アラーム表示とその内容、および処理方法を示します。それぞれの方法に従って処理してください。

ディスプレイ表示	ランプ	アラームの内容と処理方法
ホッパ <sup>1</sup> A4 ホキユウ	アラーム 点滅	用紙がなくなりました。または印刷フォーマットで指定されたサイズ用の紙がありません。 → 表示されているサイズ用の紙を用紙カセットに補給して、印刷可スイッチを押してください。
72 カバ <sup>1</sup> -オープン	アラーム 点滅	上部ユニットが開いています。 → 上部ユニット、ペーパーガイドカバーまたは排出ユニットをきちんと閉じて、印刷可スイッチを押してください。
73 EPカートリッジ ナシ	アラーム 点滅	EPカートリッジが取り付けられていません。 → EPカートリッジを取り付けたあと、上部ユニットをきちんと閉じて印刷可スイッチを押してください。
74 カミヅ <sup>1</sup> マリ 12345	アラーム 点滅	紙づまりが発生しています。 → この後の「紙詰まりの処理」に従って、つまった用紙を取り除いて印刷可スイッチを押してください。
75 ヨウシサイズエラー 1	アラーム 点滅	指定サイズと異なる用紙がセットされています。 → 指定サイズの用紙をホッパにセットして、印刷可スイッチを押してください。
76 トナーナシ	アラーム 点滅	EPカートリッジの交換時期です。 → 「EPカートリッジの交換」に従ってEPカートリッジを交換後、上部ユニットをきちんと閉じて印刷可スイッチを押してください。  EPカートリッジを交換しなくても、印刷可スイッチを押してプリンタをセレクト状態にすれば、少しの間は印刷を続けることができますが、トナーランプは点灯を続けます。目的の印刷が終了したら、すみやかに交換してください。また、この状態のままプリンタの電源をOFFにし、再び電源をONにしても“76 トナーナシ”アラームは解除できません。

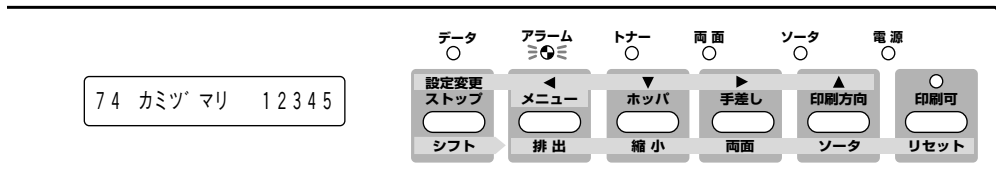
\* 用紙補給の場合のみ点灯します。他は点滅。

ディスプレイ表示	ランプ	アラームの内容と処理方法
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">77 テイキホシュ</div>	アラーム 	<p><b>定期保守(定着ユニットなどの交換)の必要な時期です。</b></p> <p>→ 販売店にお問い合わせください。</p> <p>このアラームが発生してもただちに印刷できなくなるわけではありませんので、印刷可スイッチを押してプリンタをセレクト状態にすれば、印刷を続けることはできます。しかし、なるべく早く定期保守を行ってください。“77テイキホシュ”アラームは、電源をOFFにしても、次にONにしたときに再発生します。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">84 フォーム オーバ -XXX</div>	アラーム 	<p><b>フォーム登録に必要なメモリが不足しています。</b></p> <p>→ 印刷可スイッチを押してください。アラームの対象となった番号(×××)のフォームデータが読み捨てられます。</p> <p>メモリを増設し、メニューモード「メモリセッテイ」の「メモリワリアテ」を「フォームトウロクユウセン」とすることでフォーム登録用メモリを増加させることができます。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">18          コール 18</div> (オプション使用時)	アラーム 	<p><b>漢字アウトラインフォントカードに異常があります。</b></p> <p>→ 電源をOFFにしてフォントカードを取り付け直し、もう一度電源スイッチをONにしてください。それでもアラームが再発する場合は、販売店に修理を依頼してください。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">01          コール 01</div> ) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">40          コール 40</div> (コール18を除く) およびそれ以外の表示	アラーム 	<p><b>障害が発生しています。</b></p> <p>→ 電源をOFFにして、もう一度ONにしてください。それでもアラームが再発する場合は、プリンタの故障が考えられます。販売店に修理をお申し付けください。</p>

# 紙づまりのときは

## 紙づまりの発生箇所

紙づまりが発生すると、アラームランプが点滅し、ディスプレイに“74 カミヅマリ XXXXX”と表示されます。同時にプリンタは印刷を中止し、ディセレクト状態(印刷可ランプが消灯)になります。



メッセージの後に付く数字は紙づまりの発生箇所を示します。次ページの用紙経路図で位置を確認してください。

- 1 給紙部
- 2 プリンタ内部
- 3 排出部
- 4 デュプレックスユニット内部
- 5 ソータユニット内部



チェック

本プリンタに添付されている内部表示ラベルは、万一紙づまりが発生した場合ディスプレイに表示される数字と紙づまりが発生した位置をすぐに確認できるようにしたものです。装置の使いやすい位置へ貼り付けてご利用ください。

## 紙づまりの処理

紙づまりの位置が確認できたら該当箇所の手順に従って処理してください。

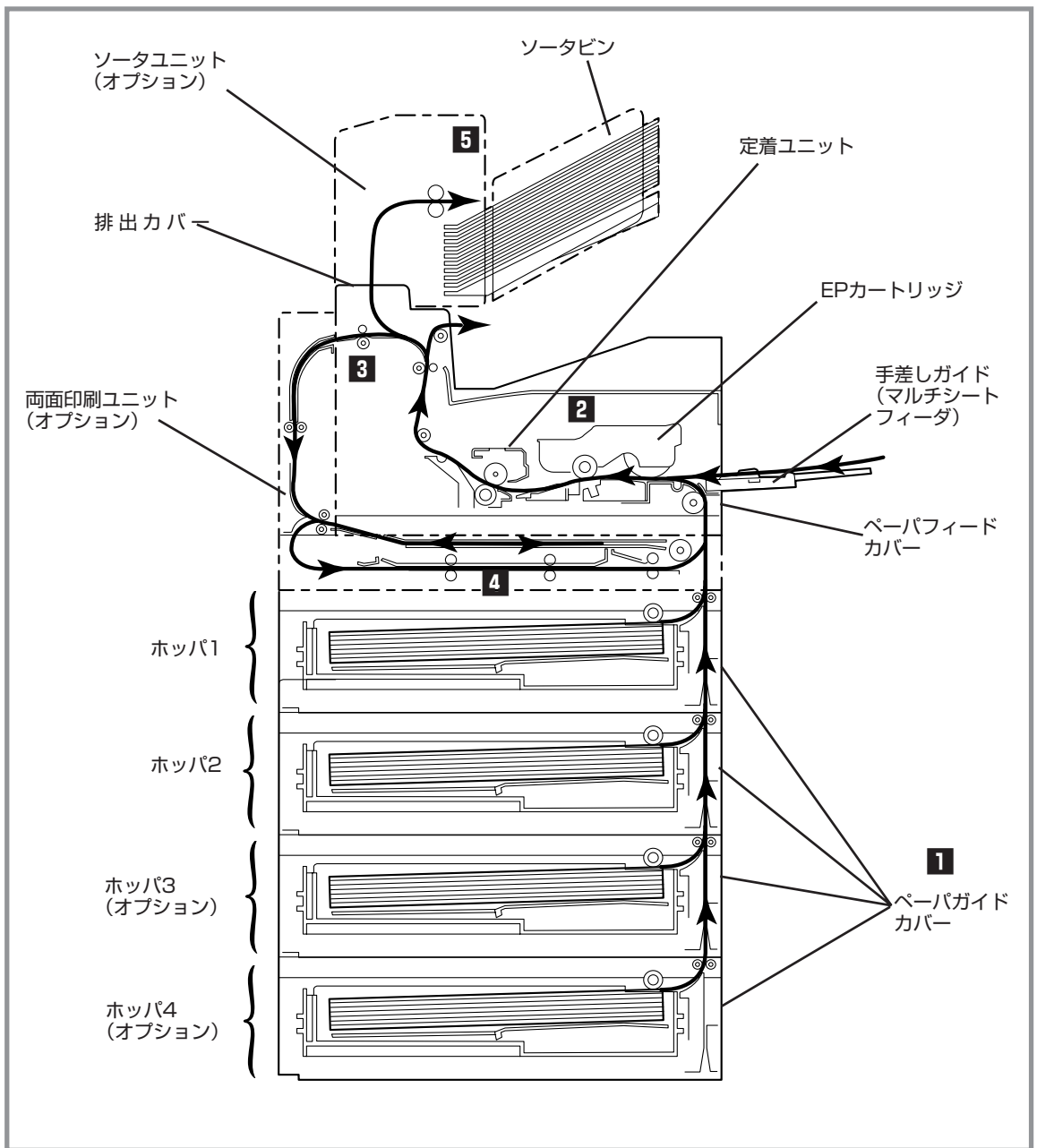
手順に従って、つまった用紙を取り除くことができたなら、EPカートリッジを元に戻し(取り外していたら)、カバー類を開めて印刷可スイッチを押してください。完全に取り除かれていればアラームは解除され、印刷が再開されます。

紙づまりが頻発するようでしたら、139ページの「紙づまり処理後の確認」を参照して紙づまりを誘発させる事柄がないか確認してください。



重要

つまった用紙は、必ずこのマニュアルの手順どおりに取り除いてください。無理に引き抜こうとすると、用紙が破れ、残った紙片がプリンタの正しい用紙送りを妨げることがあります。



紙づまりの位置

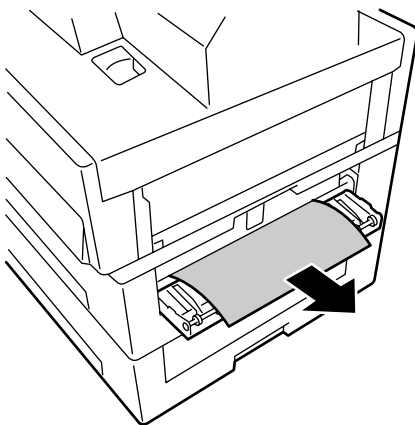
## ① 給紙部の紙づまり

“74 カミヅマリ 1”はホッパ給紙部または手差し給紙部で紙づまりが発生していることを示します。

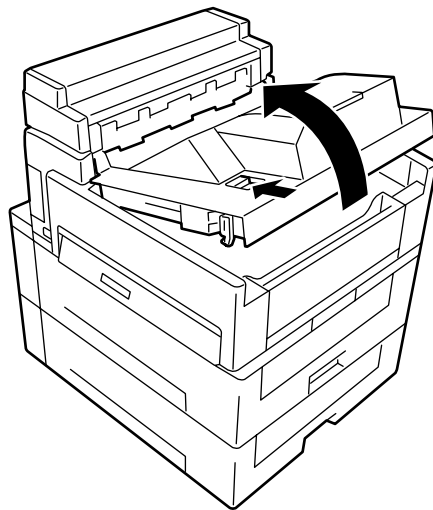
74 カミヅマリ 1 \_ \_ \_ \_

- 1 プリンタ右側面のペーパーガイドカバーを開けて、用紙を引き抜きます。

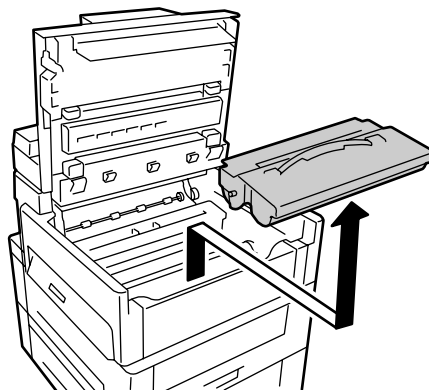
ペーパーガイドカバーは各ホッパにあります。



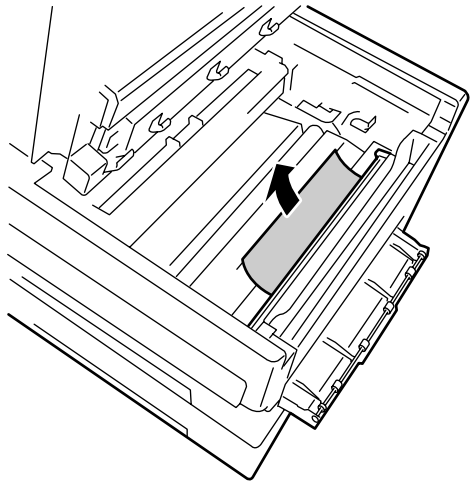
- 2 開閉レバーを引いて、上部ユニットをゆっくり開けます。



- 3 EPカートリッジを取り出します。



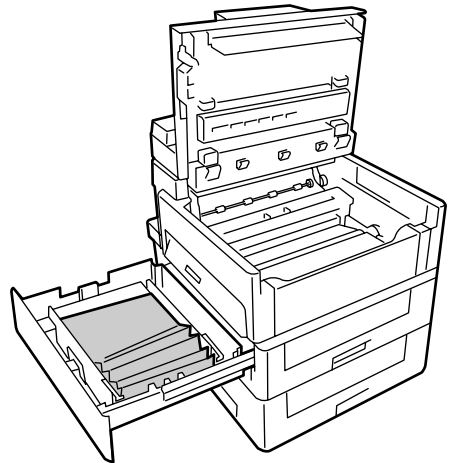
- 4** 手差しガイド付近から用紙が出ている場合は、用紙を矢印の方向へまっすぐにゆっくり引き抜きます。



チェック

手差しガイド付近で紙づまりが多発するようでしたら、「手差し給紙部で紙づまりが多発する場合」(136ページ)に従って処理してください。

- 5** 用紙カセットを静かに引き出し、つまった用紙を取り除きます。

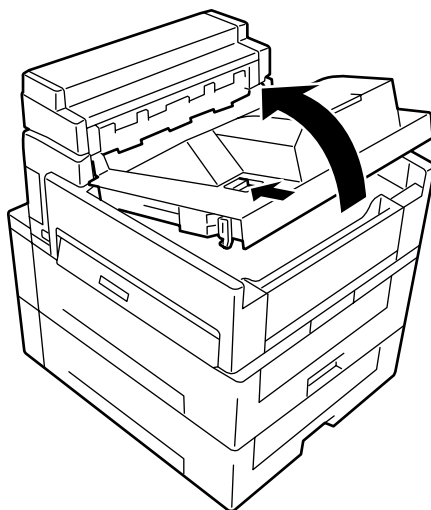


## ② プリンタ内部の紙づまり

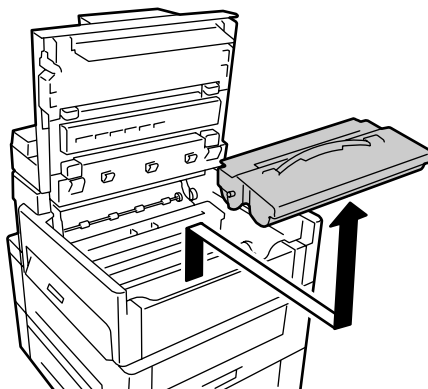
“74 カミツマリ 2”はプリンタ内部で紙づまりが発生していることを示します。

74 カミツマリ 2

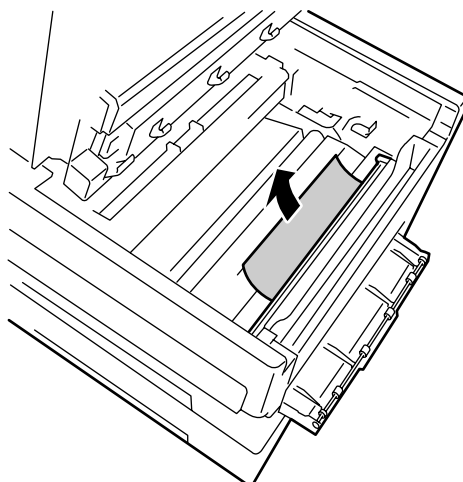
- 1 開閉レバーを引いて、上部ユニットをゆっくり開けます。



- 2 EPカートリッジを取り外します。



- 3 手差しガイド付近から用紙が出ている場合は、用紙を矢印の方向へまっすぐにゆっくり引き抜きます。



チェック

手差しガイド付近で紙づまりが多発するようでしたら、「手差し給紙部で紙づまりが多発する場合」(136ページ)に従って処理してください。

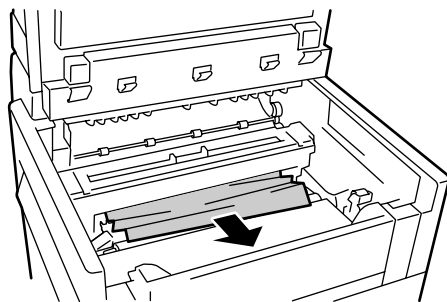


- 4 用紙を矢印の方向へまっすぐにゆっくり引き抜きます。

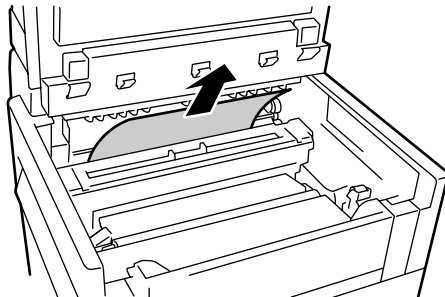


## 高温注意

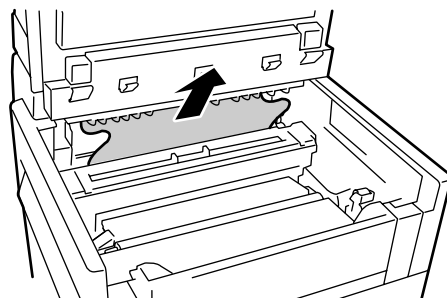
定着ユニット周辺は高温になっていますので十分に注意してください。



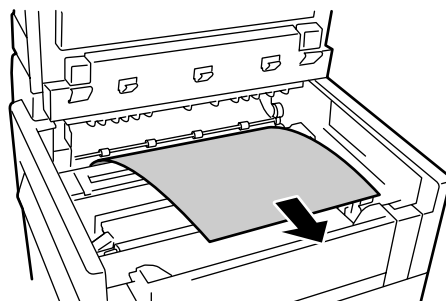
- 5 用紙を定着ユニットの手前から取ることができないときは、ローラの間から上に引き出してから、全体をゆっくり引き抜きます。



- 6 つまった用紙が定着ユニットと排紙部の両方にまたがっているときはつまった用紙の定着ユニットと排紙部の間をゆっくりと引っ張り、排紙部にかかっている部分を装置の内部側へ引き出します。



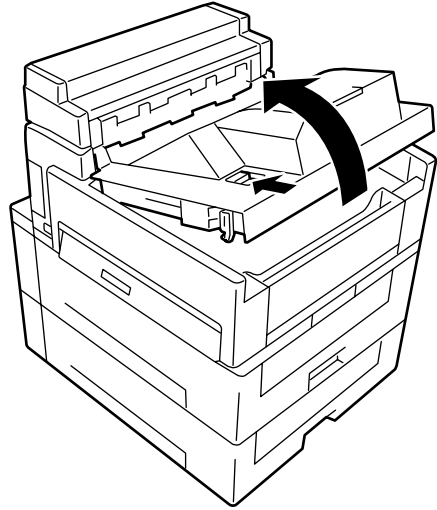
- 7 定着ユニットからゆっくりと用紙を引き抜きます。



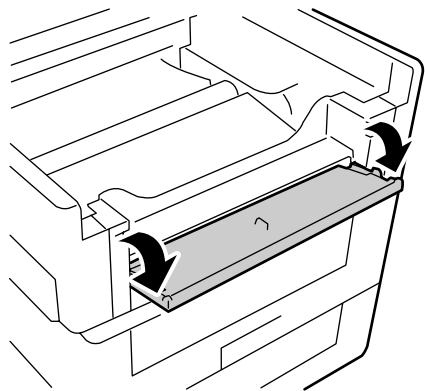
## 手差し給紙部で紙づまりが多発する場合

①、②の紙づまり処理をしても、手差し給紙部で紙づまりが多発するときは、ペーパーフィードカバー内に紙片が残っていることが考えられます。以下の手順で取り除いてください。

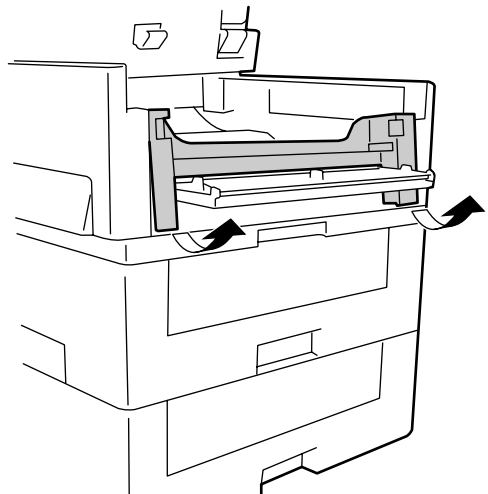
- 1 開閉レバーを引いて、上部ユニットをゆっくり開けます。



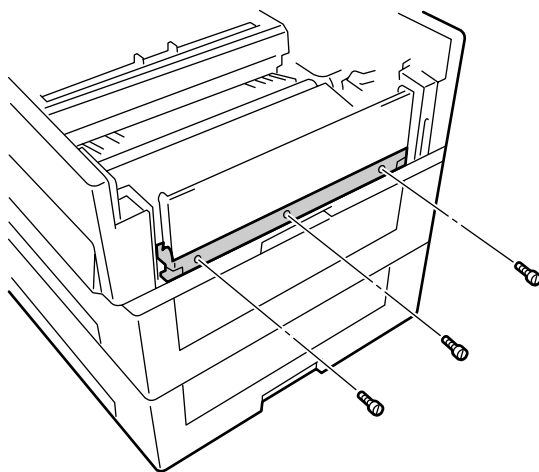
- 2 手差しガイドを開きます。



- 3 ライトカバー下側のくぼみに指を掛け、手前に引いて取り外します。



- 4** 硬貨等を使ってねじ3本を外し、  
ペーパーフィードカバーを取り外しま  
す。



決してペーパーフィードカバー上の透明シート(4枚)には触れないようにしてください。このシートが曲げたりすると紙づまりの原因となることがあります。

- 5** 紙片を取り除き、ペーパーフィードカ  
バーを取り付けます。



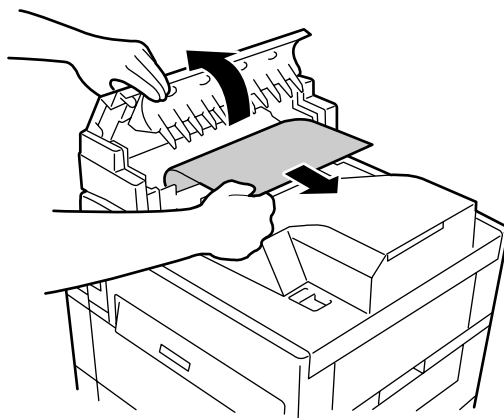
ペーパーフィードカバーを取り付けるとき、透明シートを曲げないように注意してください。また、ペーパーフィードカバーはねじ3本で確実に固定してください。

### ③ 排出部の紙づまり

③表示は両面印刷ユニット、ソータユニット取り付け時のみ表示されます。

74 カミツ マリ \_\_ 3 \_\_

②、③の表示もなく排出口より紙が出ている場合は右図のように排出カバーを開けて、用紙をゆっくりと引き抜きます。



#### 注意

排出カバーは開いた位置でロックしません。排出カバーに手をはさまないよう、カバーを押さえたまま用紙を引き抜いてください。



チェック

紙づまりした用紙を排出側に引き抜いたときは、次に印刷を始めたとき、最初の1枚目の裏側が汚れる場合がありますので、印刷を始める前にテスト印刷を行ってください。

### ④ デュプレックスユニットの紙づまり

④表示はデュプレックスユニット取り付け時のみ表示されます。詳細はオプションの取扱説明書を参照ください。

74 カミツ マリ \_\_\_ 4 \_

### ⑤ ソータユニットの紙づまり

⑤表示はソータユニット取り付け時のみ表示されます。詳細はオプションの取扱説明書を参照ください。

74 カミツ マリ \_\_\_\_ 5

## 紙づまり処理後の確認

つまっていた用紙を取り除いたら、紙づまりの再発を防止するために、次の事項を確認してください。

- 用紙片が紙づまりした場所に残っていませんか。
- 上部ユニットは確実に閉じられていますか。
- ペーパーガイドカバーは確実に閉じられていますか。
- 用紙カセットは奥までまっすぐに差し込まれていますか。
- 用紙カセット内のサイドガイドおよびエンドガイドが用紙サイズに合っていますか。
- はがき以外の用紙に印刷するときに、ハガキリブを取り外し忘れていませんか。
- はがきに印刷するときに、ハガキリブを取り付け忘れていませんか。
- 用紙は正しくセットされていますか。
- 用紙は規格内のものを使用していますか。また、「用紙について」(26ページ)に記載されている事がらは守られていますか。
- 用紙の量が多すぎませんか。(標準ホッパの容量は、普通紙の場合連量55kg用紙で約500枚です。)
- 用紙をさばいたり、用紙カセットに残っている用紙にそのまま追加したりしていませんか。

紙づまり処理直後は、ローラ等に付着したトナーで用紙が汚れることがあります。そのときは2〜3枚印刷を行い、汚れが消えたのを確認してください。

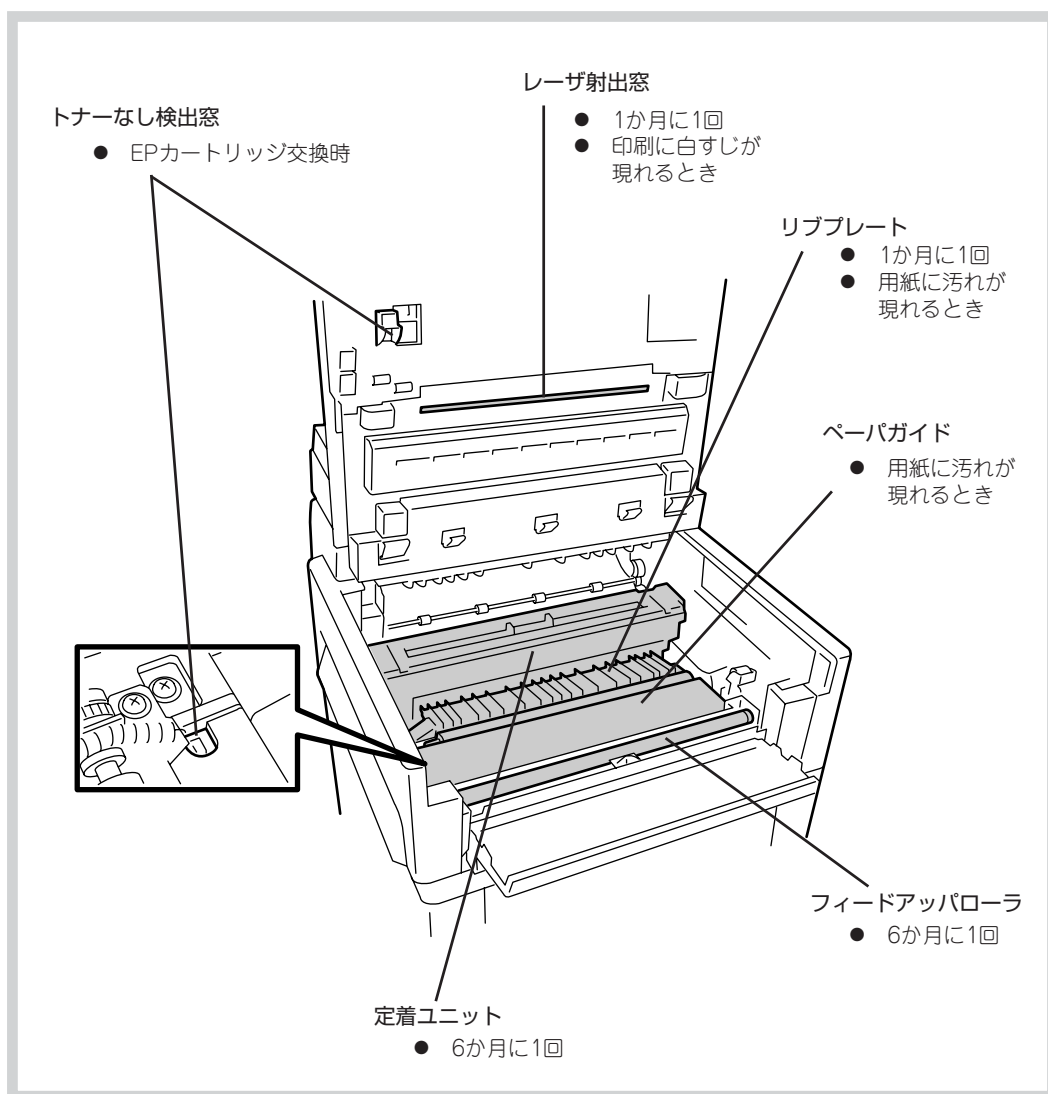
# 清掃

いつも高品質で美しい印刷を保つために、定期的に清掃を行いましょう。

## 清掃箇所と清掃時期

主な清掃箇所と清掃時期を次に示します。

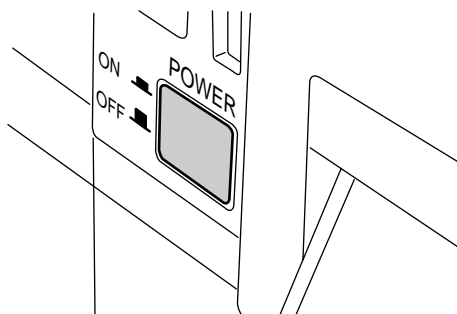
清掃には、糸くずの出ない乾いた柔らかい布を用意してください。清掃用にクリーニングキットも別売されています(21ページ参照)。



# 清掃手順

## 1 電源スイッチをOFFにします。

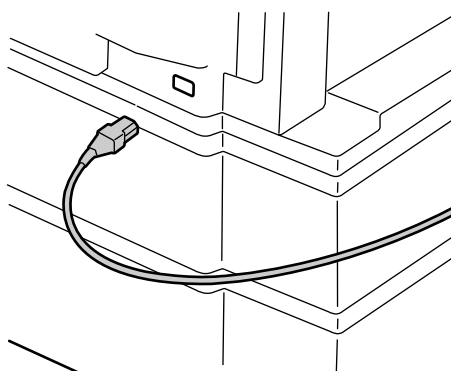
電源ランプが消灯します。



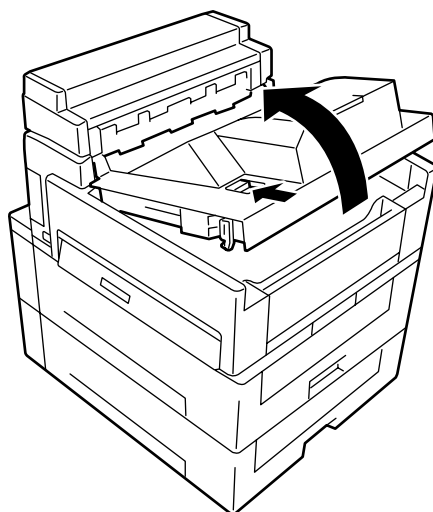
## 2 電源コードをコンセントから抜き、プリンタ背面の電源コネクタからも抜きます。

### ！ 注意

電源コードは必ずプラグを持って抜いてください。コード部分を引っ張るとコードが傷み、火災や感電の原因となることがあります。



## 3 開閉レバーを引いて、上部ユニットをゆっくり押し上げます。

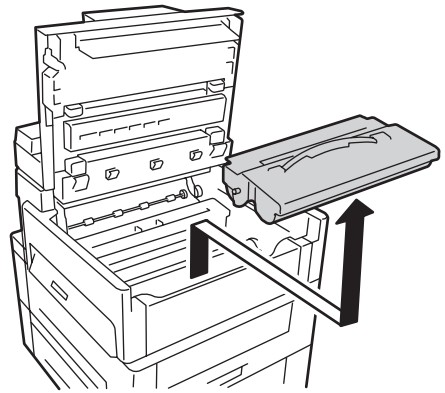


## 4 灰色の取っ手を持って、EPカートリッジを取り外します。



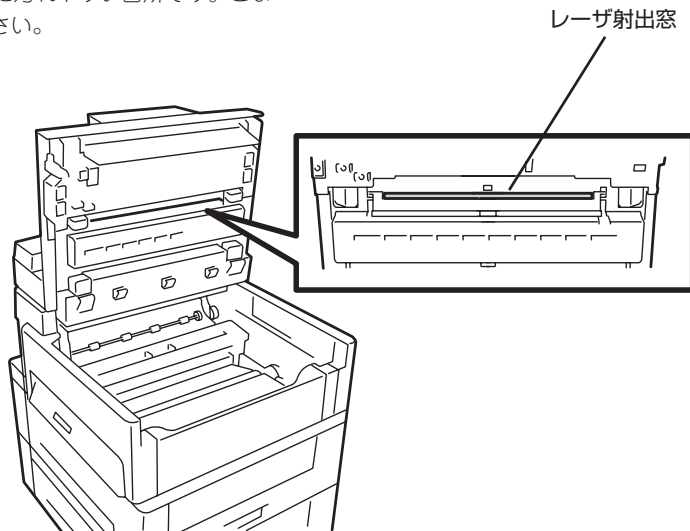
チェック

清掃時に取り外したEPカートリッジは、立てたり、裏返しに置いたりしないでください。また、直射日光のあたる場所やほこりの多い場所は避け、水平な場所に置いてください。



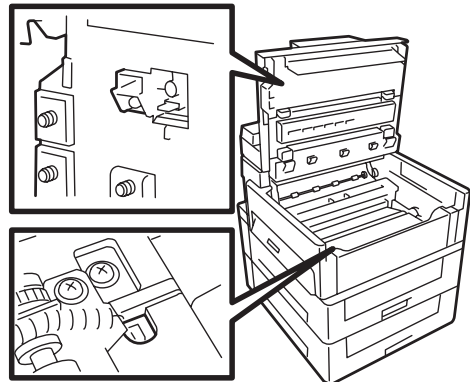
## 5 レーザ射出窓のガラスの汚れを柔らかい布または綿棒でふき取ります。

レーザー射出窓は特に汚れやすい箇所です。こまめに清掃してください。



## 6 トナーなし検出窓の汚れを乾いた柔らかい布で軽くふき取ります。

トナーなし検出窓は2か所あります。





## 7 ペーパーガイドの汚れを乾いた柔らかい布でふき取ります。

ローラの回りに紙粉がたまっているときは取り除いてください。



チェック

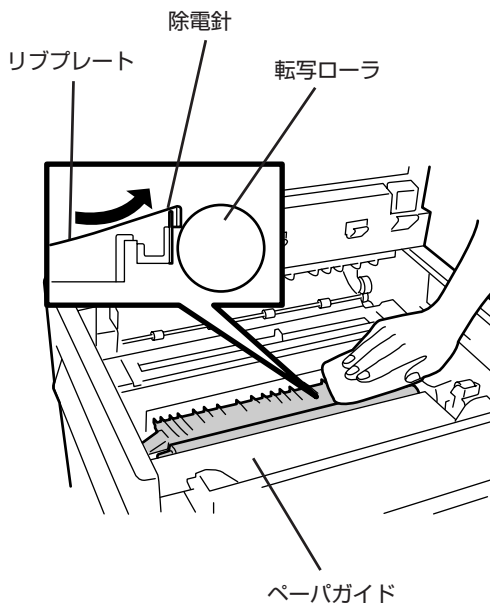
転写ローラはふかないでください。汚れている場合はテスト印刷を数枚行ってください。

## 8 リブプレートの汚れを乾いた柔らかい布でふき取ってください。



重要

転写ローラ、除電針には触らないようにしてください。

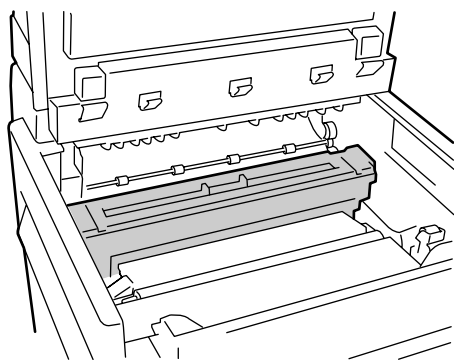


## 9 定着ユニット周辺の汚れを乾いた柔らかい清潔な布で軽くふき取ります。

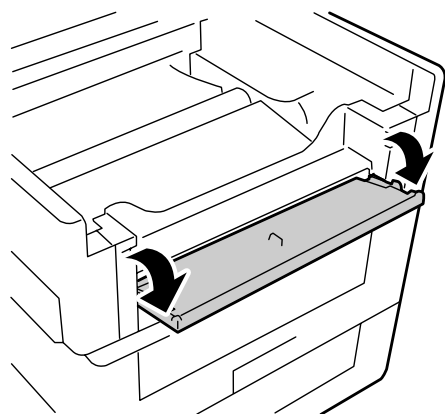


### 高温注意

電源をOFFにした直後は、定着ユニットは高温になっています。十分に冷めたことを確認してから清掃してください。

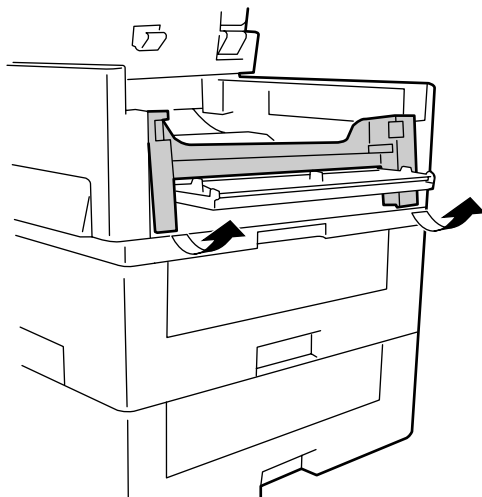


## 10 手差しガイドを開きます。



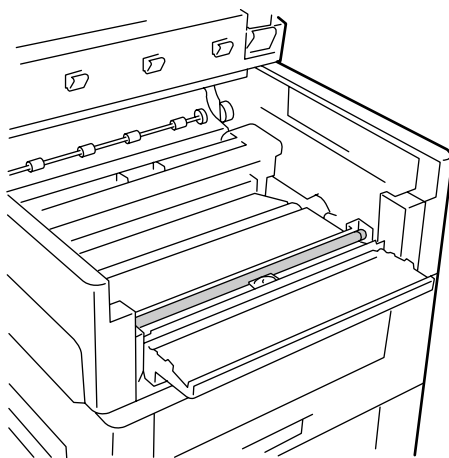
# 11

ライトカバーの下側のくぼみに指をかけ、手前に引いて取り外します。



# 12

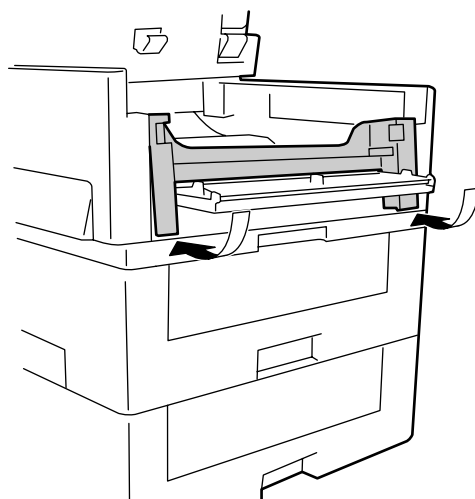
フィードアップローラおよびその周辺の汚れを乾いた柔らかい布でふき取ります。



# 13

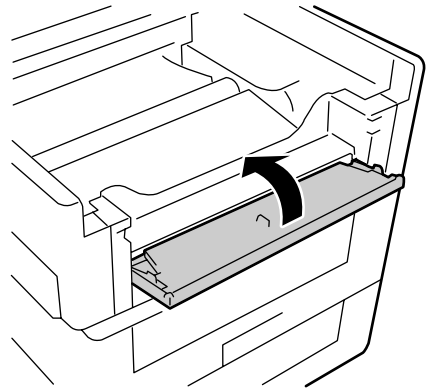
ライトカバーを元の位置に戻します。

まずライトカバーの上側をプリンタに合わせ、カバーの下側を押し付けて取り付けます。



# 14

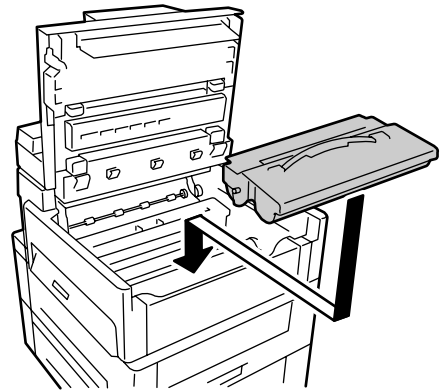
手差しガイドを閉めます。



# 15

EPカートリッジをプリンタ  
本体に再びセットします。

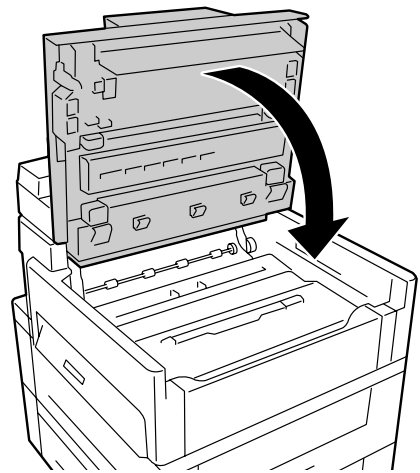
EPカートリッジが浮き上がっていたり、斜めになっていたりせずに、確実に下までセットされていることを確認してください。



# 16

上部ユニットを閉じます。

カチッと音がするまでゆっくり押し下げます。  
開閉レバーが確実に戻ったことを確認してくだ  
さい。



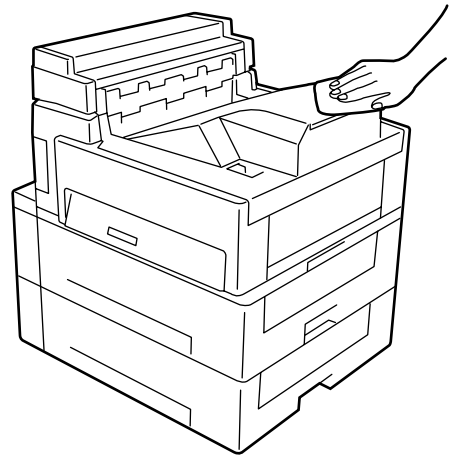
# 17

外観の汚れは柔らかい清潔な布でふき取ります。

汚れが落ちにくい場合は、布に中性洗剤を含ませてふいてください。



アルコール、シンナー等は使用しないでください。



# 18

プリンタ背面の電源コネクタに電源コードのプラグを差し込み、コンセントにも差し込みます。

# EPカートリッジの交換

## 交換する前に

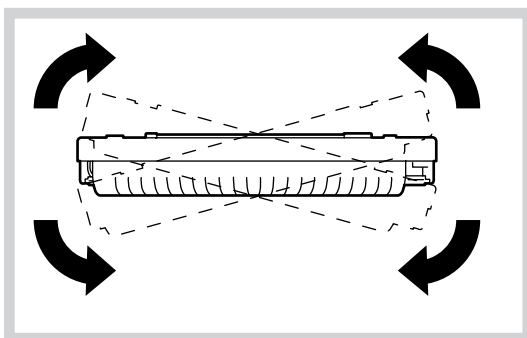
ディスプレイが“76 トナーナシ”と表示しトナーランプが点灯したら、EPカートリッジの交換時期です。

しかし、交換する前に使用中のEPカートリッジをプリンタから取り出し、トナーが均一になるようにゆっくりと振ってみてください。もう一度セットしてトナーランプが消灯すれば、まだしばらくそのEPカートリッジを使用することができます。

トナーランプが点灯したままなら、新しいEPカートリッジに交換します。

トナーランプ点灯前でも、印刷が薄くなったときは、トナーランプ点灯時と同様に、EPカートリッジをゆっくり振り、トナーを均一にしてください。

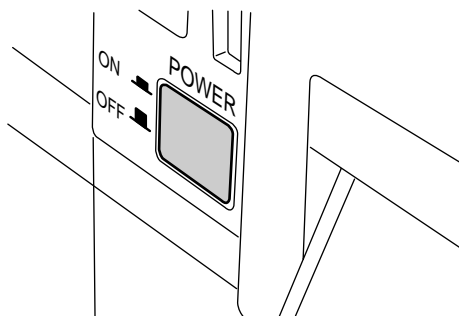
新しいEPカートリッジは、本プリンタをお買い求めになった販売店、NEC Bit-INN、NECマイコンショップなどでお求めになれます。必ずPR2400-11(灰色の取っ手のもの)をお買い求めください(21ページ参照)。



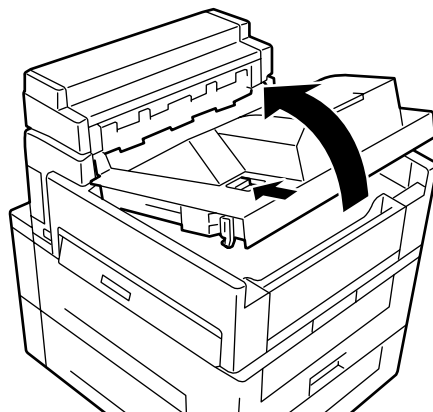
## EPカートリッジの交換手順

### 1 電源スイッチをOFFにします。

電源ランプが消灯します。



### 2 開閉レバーを引いて、上部ユニットをゆっくり押し上げます。

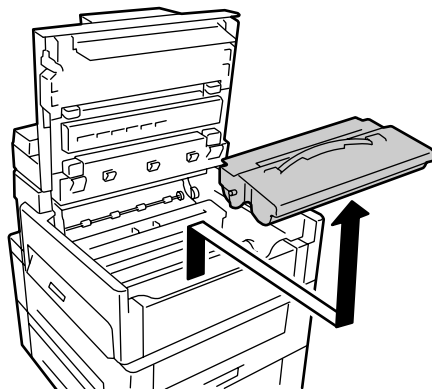


### 3 灰色の取っ手を持ち、使い終わったEPカートリッジを取り出します。



チェック

このカートリッジは地球資源の有効活用を目的として回収しております。お客様にはお手数ながらご使用後はお買い上げの販売店またはお近くのNECサービス窓口にお持ち寄りください。

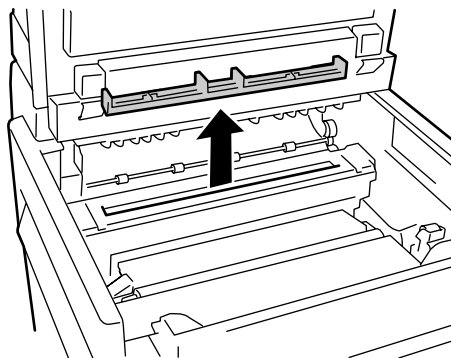


### 4 緑色のつまみを持って、古い定着クリーナを取り出します。

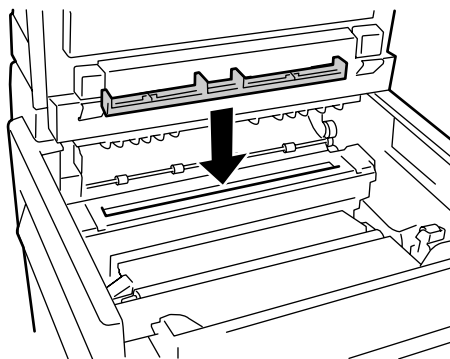


つまみが熱くなっている場合がありますので注意してください。

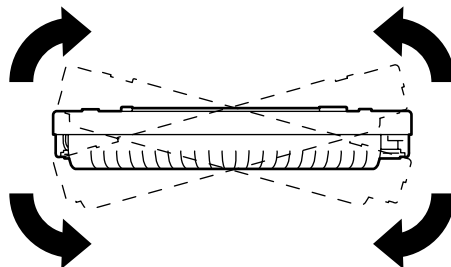
使い終わった定着クリーナは燃えないゴミとして廃棄してください。



### 5 新しい定着クリーナ(新しいEPカートリッジに付属されている)をセットします。



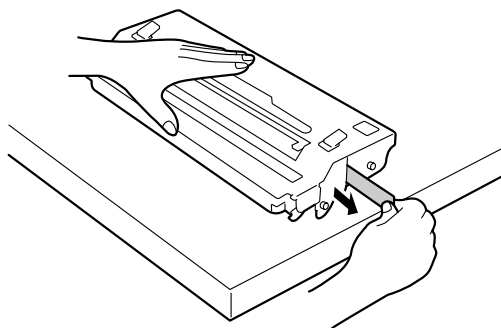
### 6 新しいEPカートリッジを袋から出し、EPカートリッジの中のトナーを均一にするため、水平に持って10回程度、図に示す方向にゆっくりと振ります。



EPカートリッジのドラム保護シャッタには触らないようにしてください。

**7** EPカートリッジを平らな場所に置き、側面にとめられているビニールシールのはしを持って、まっすぐにゆっくりと引いて、ビニールシールを抜き取ります。

引き抜いた後のビニールシールは長さが約60cmになります。



チェック

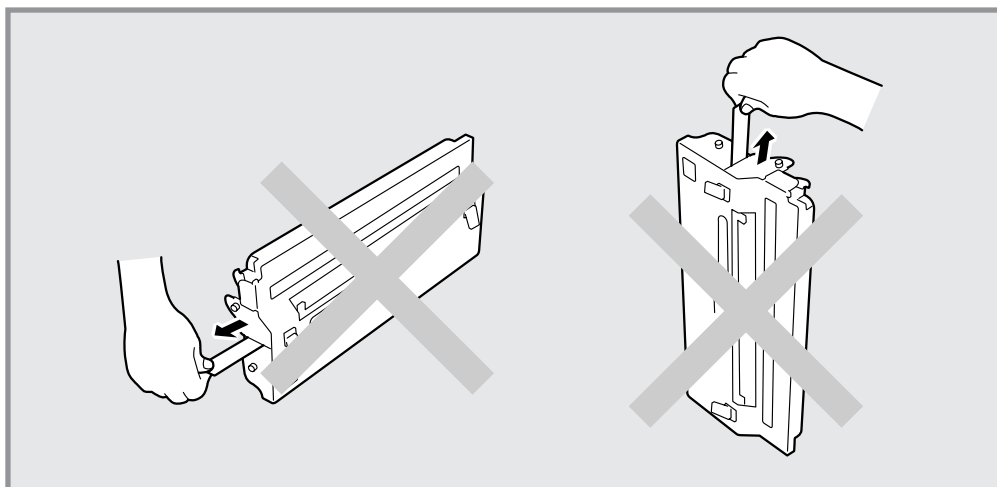
ビニールシールはまっすぐ引き抜いてください。斜めに引くとシールが途中で切れるおそれがあります。また、トナーで手が汚れたときはすぐに水で洗ってください。



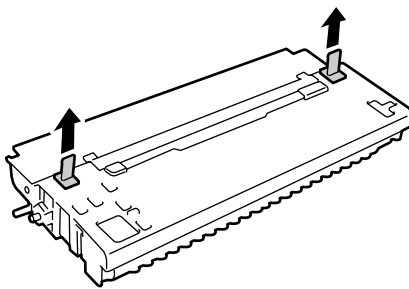
重要

EPカートリッジは必ず保護シャッターを下にして、机など水平な面に置いてビニールシールを引いてください。EPカートリッジを立てた状態でビニールシールを引くと途中で引き抜けなくなるか、切れてしまうおそれがあります。

もしビニールシールが途中で引き抜けなくなった状態で、あるいは途中で切れた状態のままセットすると、印刷品質が劣化するばかりでなくプリンタ自身に障害が生じることがあります。

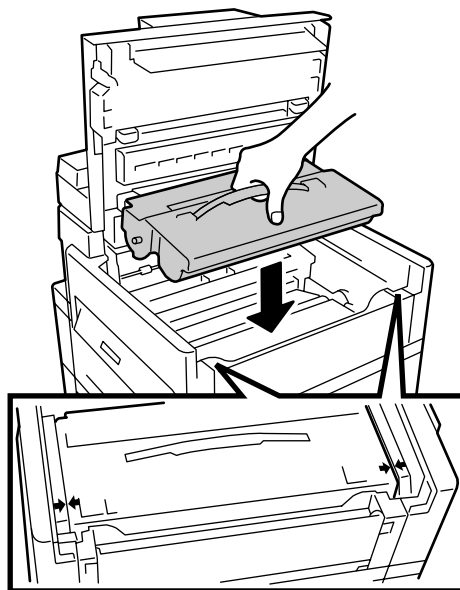


**8** EPカートリッジ上部の黄色のつまみ(2か所)を引き抜きます。



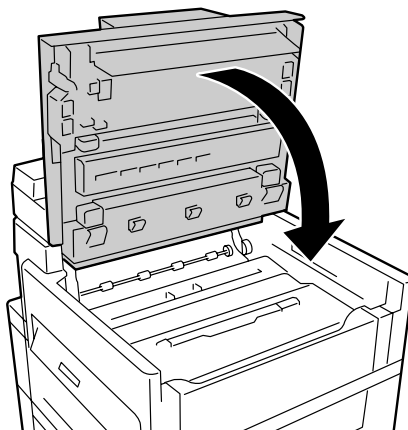
**9** EPカートリッジの灰色の取っ手を持ち、カートリッジの矢印とプリンタの矢印が合うようにセットします。

EPカートリッジが浮き上がっていたり、斜めになっていたりせずに、確実に下までセットされていることを確認してください。



**10** 上部ユニットを閉じます。

カチッと音がするまでゆっくり押し下げます。開閉レバーが確実に戻ったことを確認してください。





## EPカートリッジの寿命

EPカートリッジの寿命は、A4用紙で画像面積比(1ページ中の黒い部分の面積と用紙全体の面積との比率)5%のとき約8000枚になります。

### 画像面積比5%の印刷例

#### EPカートリッジの寿命について

本プリンタの消耗品の「EPカートリッジ」の寿命は8000枚(A4、画像面積比5%)となっています。

ここで画像面積比5%の意味およびEPカートリッジの寿命について説明いたします。

従来のシリアルプリンタ(ドットインパクトプリンタや熱転写プリンタなど)では、消耗品のインクリボンの寿命は「何文字」という表現をしていました。これに対して、本プリンタのようなページプリンタでは、「何枚」という単位で表現されます。

このように、表現を「何文字」から「何枚」に変えた理由には、

- ① ページプリンタでは、処理や印刷の単位がページごとになっていること。
- ② ①に関連して、イメージデータやグラフィック等、文字数では把握できないようなデータを印刷するケースが増えてきていること。

の2つがあります。

EPカートリッジの寿命を決定するものの1つに、その内部に収容されているトナー(インクに相当するもの)の量があります。トナーをすべて消費してしまえば、EPカートリッジの寿命となります。(これは従来のインクリボンで、インクがなくなるまでを寿命と呼んだのと同じことです)。

従って、「枚数」で寿命を考えるときは、1ページの中でどれくらいのトナーを消費しているかということが問題となります。

1ページの中に黒い部分がどれくらいの割合であるかを表したものが画像面積比です。1ページの中に黒い部分(印刷)がまったくない状態が0%、真っ黒にすべてのドットを埋め尽くした状態が100%です。この画像面積比によりカートリッジの寿命は長くも短くもなります。このことから、EPカートリッジの寿命を表現する場合にも、この画像面積比を使って「画像面積比何%のときに寿命が何枚」という表現をします。従って、印刷する内容の画像面積比が5%より大きい場合、8000枚印刷する前にEPカートリッジの寿命となる場合があります。




以上によりページプリンタではEPカートリッジの寿命が印刷枚数のみでなく、画像面積比によっても変わることがご理解いただけたと思います。

なお、この文書を10.5ポイントでA4用紙に印刷した場合が約5%の画像面積比になります。

# リモートパネルが正しく動作しない

リモートパネルの設定が無視されたり、画面にエラー表示が現れたりしているときは次の手順で処理してください。

## MS-DOS用リモートパネル

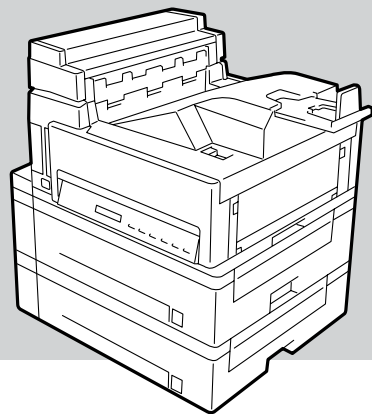
症 状	原因と処理方法
リモートパネルの設定が無視される	アプリケーションソフトウェアが書式の設定データをプリンタに送信する場合は、リモートパネルの設定データより後に送信するため、アプリケーションソフトウェアの設定が優先されます。アプリケーションソフトウェアで設定可能な設定はソフトウェア側で設定してください。
常駐タイプのリモートパネルが正しく動作しない	印刷に使用するソフトウェアがコンピュータのBIOSを使用せずに印刷を行っているときには、常駐タイプのリモートパネルからの書式設定データの送信ができません。設定画面でその場で設定データを送信する「T：設定送信」を行うか、非常駐タイプのリモートパネルをお使いください。  他のアプリケーションソフトの実行中、あるいは他の常駐タイプのソフトウェアが常駐しているときにリモートパネルを起動しようとしても、正しく起動しない場合があります。この場合には、他の常駐タイプのソフトウェアの常駐を解除してから起動するか、非常駐タイプのリモートパネルをお使いください。  常駐タイプのリモートパネルが常駐しているときに、他のソフトウェアを起動(または常駐)させようとすると、メモリ不足となることがあります。このような場合には、リモートパネルの常駐を解除してください。  他のアプリケーションソフトの動作中にリモートパネル起動すると、ソフトウェアによってはリモートパネル終了後に画面が正しく復旧しないことがあります。このような場合、実行中だったソフトウェアで、画面の再表示を行う等の処置を行ってください。
“プリンタにデータを送信できません！”が表示される	プリンタが送信不可能になっています。プリンタがディセレクト状態(印刷可ランプ消灯)の場合、印刷可スイッチを押してセレクト状態(印刷可ランプ点灯)にして、  で処理を再開します。
“プリンタがオンライン状態でないときは、オンライン状態にしてリターンで設定を続けてください。”が表示される	プリンタのディスプレイを確認して、エラーの時は  で実行中のコマンドを中止します。その後そのアラーム表示に対する処理(128ページ参照)を行い再実行します。
“プリンタがエラーの時はESCで処理を中止してください。”が表示される	プリンタのディスプレイを確認して、エラーの時は  で実行中のコマンドを中止します。その後そのアラーム表示に対する処理(128ページ参照)を行い再実行します。

## Windows 95用リモートパネル

次のメッセージが表示された場合は、リモートパネルユーティリティを終了した後、下記の操作を行ってください。

メッセージ	原因と処理方法
“リモートパネルはローカルプリンタのみに使用できます。その他のポートに接続されたプリンタには使用できません。”	接続先がローカルポート以外に接続されています。接続先をLPT1などのローカルポートになるように設定してください。
“リモートパネルは以下のプリンタ専用のアプリケーションです。他のプリンタには使用できません。 プリンタ名：NEC MultiWriter 2200NW2, NEC MultiWriter 2400”	NEC MultiWriter 2200NW2またはNEC MultiWriter 2400以外のプリンタが接続されています。正しいプリンタを接続してください。
“リモートパネルは以下のドライバを使用するプリンタ専用のアプリケーションです。他のドライバでは使用できません。  ドライバ名：NEC MultiWriter 2200NW2, NEC MultiWriter 2400”	NEC MultiWriter 2200NW2またはNEC MultiWriter 2400以外のプリンタドライバが使用されています。  コントロールパネルのプリンタの設定でNEC MultiWriter 2200NW2またはNEC MultiWriter 2400を通常使うプリンタに設定してください。
“リモートパネルに必要なファイルが見つかりません。もう一度インストールを行ってください。”	リモートパネルの実行に必要なファイルが削除されています。再度インストールを行ってください。
“プリンタと通信できません。”  “リモートパネル起動に失敗しました。”  “リモートパネルが未接続であるか、接続されているプリンタが違います。リモートパネルはローカルに接続された以下のプリンタでご使用ください。 ドライバ名：NEC MultiWriter 2200NW2, NEC MultiWriter 2400”	プリンタの電源スイッチがOFFになっているか、プリンタが正しくありません。  正しいプリンタが接続され、電源がONになっているにもかかわらず、このメッセージが表示された場合は、プリンタ設定情報取得ができないコンピュータまたはケーブルを使用していないか確認してください。

# 6 オプションの 取り扱い



本章ではMultiWriter 2400で使用できるオプションの取り付け/取り外し方法、用紙のセット方法、テスト印刷の方法などを説明しています。

158ページにオプション一覧のイラストがありますので取り付け位置をご確認ください。

- PR2400-03 増設ホッパ(500)
- PR2000/4R-12 マルチシートフィーダ
- 漢字アウトラインフォントカード
- 増設RAMボード
- PR2200NW2-06R プロッタエミュレーションボード
- PR2200NW2-08 マルチプロトコルLANボード
- PR2400-06 プリンタテーブル

# 安全上のご注意

以下に示す注意事項は、本章の内容に従ってオプションを取り扱う上で特に重要なものです。この注意事項の内容をよく読んで、ご理解いただき、指示どおり作業を行ってください。



この警告を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷を負うおそれがあります。

分解・修理・改造はしない



ユーザズマニュアルに記載されている場合を除き、絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。プリンタが正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。

煙や異臭、異音がしたら

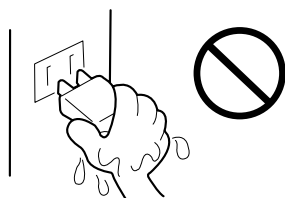


万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源スイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。



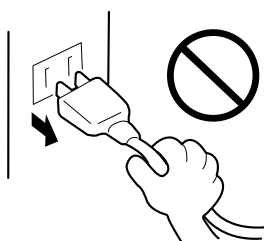
この注意を無視して、誤った取り扱いをすると、火災による火傷や感電のおそれがあります。

お手入れは電源プラグを抜いて



お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、ぬれた手で抜き差しをしないでください。感電することがあります。

プラグの抜き差しはプラグを持って



電源プラグを抜くときは必ずプラグ部分を持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが破損し、火災や感電の原因となります。

### プリンタ内に水や異物を入れない



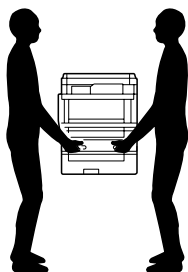
プリンタ内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解したりしないで販売店に連絡してください。



### 注意

この注意を無視して、誤った取り扱いをすると、けがをしたり周辺の家財に損害を与えるおそれがあります。

### プリンタを運ぶときは

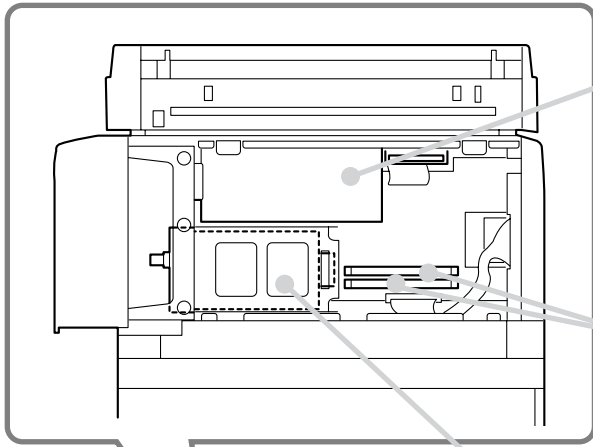


本プリンタの重量は約35kgです(EPカートリッジ含まず)。必ず二人以上で装置側面の取っ手を持って運んでください(取っ手部の取り付け/取り外しに関しては「セットアップマニュアル」をご覧ください)。取っ手以外の部分に手をかけて持ち運ぶと、バランスがくずれて装置を落とす等の思いがけない事態が発生するおそれがあります。

### 不安定な場所に置かない



プリンタを不安定な場所には置かないでください。けがや周囲の破損の原因となることがあります。



**プロッタエミュレーションボード 179ページ**

プロッタHP 7550対応のソフトウェアから印刷することができます。  
ただし本ボードは両面印刷ユニット、ソータユニットと同時に使用できません。

**増設RAMサブボード 176ページ**

アウトラインフォントを多用した文章などの印刷速度を向上させることができます。  
また、より多くのフォーム登録を可能にしたり、NPDLの印刷時におけるメモリ不足を解消することができます。

**マルチプロトコルLANボード 183ページ**

LANに接続したり、Macintoshから印刷したりすることができます。



**マルチシートフィーダ 164ページ**

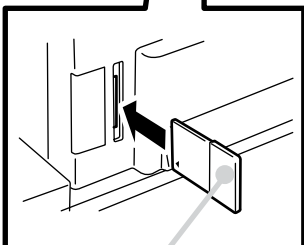
- ◇ OHPフィルム、ラベル紙などを30枚セットできます。
- ◇ 普通紙も80枚までセットできます。

**増設ホッパ(500) 159ページ**

- ◇ A3、A4、A5、B4、B5、レターサイズ用の紙をセットできます。
- ◇ 500枚までセットできます。(A5は250枚)
- ◇ 上から3段目または4段目に増設できます。

**プリンタテーブル 186ページ**

増設ホッパ装着時プリンタを床置きし、移動を容易にするための台です。

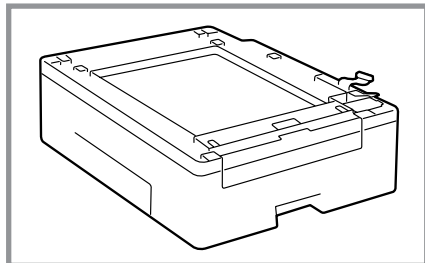


**漢字アウトラインフォントカード 172ページ**

明朝体、ゴシック体の他に、丸ゴシック体、教科書体、瑞筆行書体のいずれかの書体で印刷することができます。

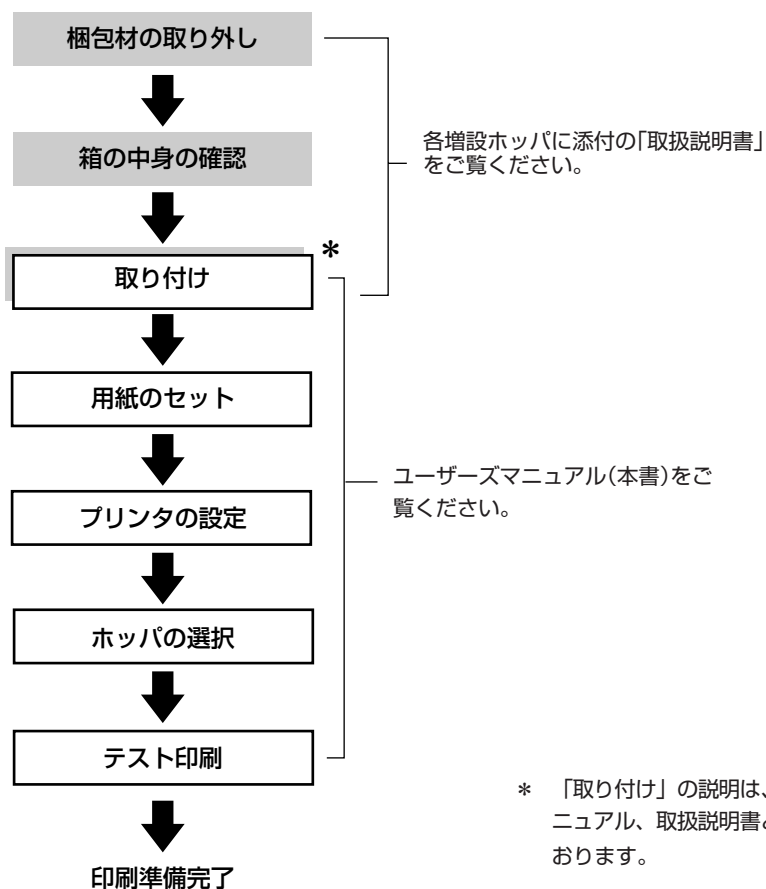
**オプション一覧**

# 増設ホッパ(500)



ここでは、増設ホッパ(500)の取り付けから印刷するまでの手順と、増設ホッパの取り外し手順について説明します。

手順の流れは次のとおりです。それぞれの処理方法はユーザーズマニュアル(本書)または各増設ホッパに添付の取扱説明書で説明しています。





# ホッパの取り付け

この増設ホッパは、上から3段目(ホッパ3)と4段目(ホッパ4)に取り付けることができます。取り付け手順は3段目、4段目とも同じです。

## ⚠ 注意

プリンタは35kgの重さがあります。さらにホッパが1台増設されると43kgの重さになります。必ず2名以上で作業を行ってください。

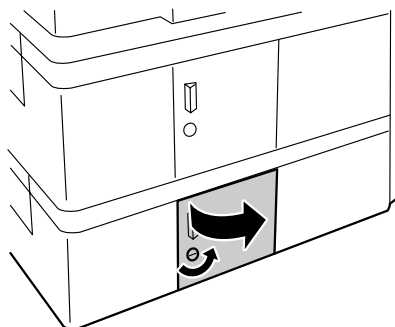
### 1 プリンタの電源をOFFにします。



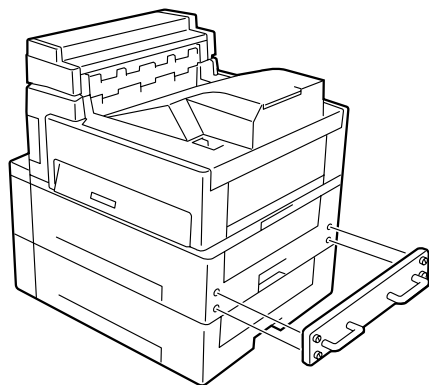
電源スイッチをONにしたまま増設ホッパを取り付けると、故障の原因になることがあります。必ずOFFになっていることを確認してください。

### 2 電源コードとインターフェースケーブル(前面・背面とも)をプリンタから取り外します。

### 3 コネクタカバーを取り外します。

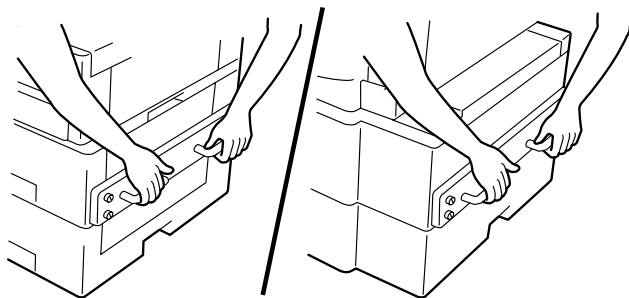


### 4 プリンタの左右にハンドルユニットを取り付けます。



### 5 プリンタを一時的に移動します。

プリンタの左右の取っ手を持ち、しっかりした台や机の上に置いてください。



### 6 プリンタのあった場所に増設ホッパを置きます。

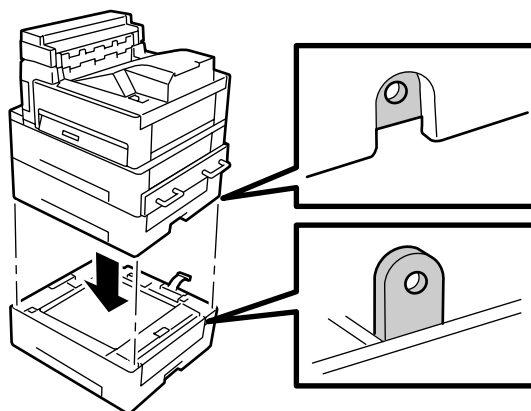
増設ホッパの向きに注意してください。

### 7 増設ホッパの上にプリンタを取り付けます。



増設ホッパのケーブルをはさまないように注意してください。

チェック

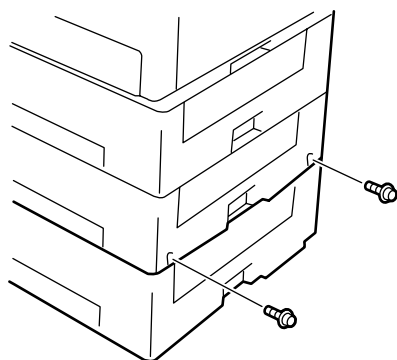


プリンタの角と増設ホッパの角が合うようにして、プリンタを増設ホッパの上に静かに置きます。このとき、プリンタ側の切り欠き部と増設ホッパの取り付け金具が合っていることを確認してください。

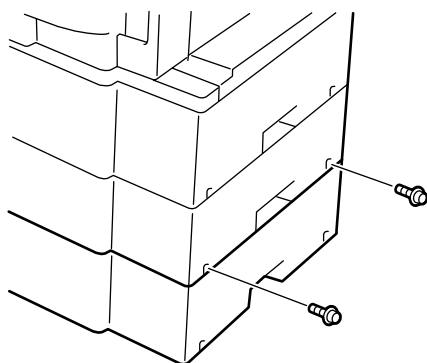
**8** ハンドルユニットを取り外します。

**9** プリンタと増設ホッパをネジで固定します。

ネジで固定する部分は、プリンタ左側面に2か所、右側面に2か所あります。必ず4か所固定してください。



右側面

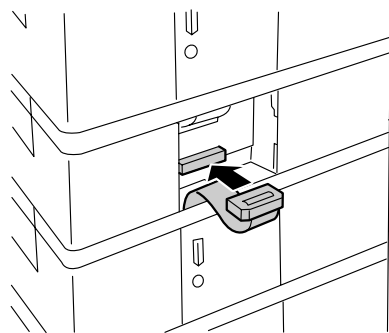


左側面

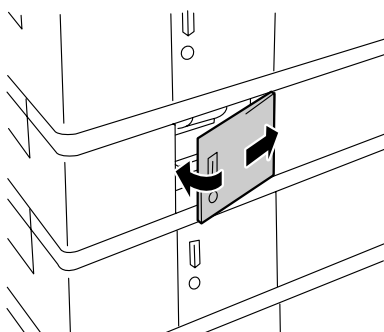
**!** 注意

用紙カセットは1段ずつ開閉してください。すべての用紙カセットを開けた状態にすると装置が倒れてけがをしたり、周辺の家財が損傷することがあります。

**10** 増設ホッパから出ている接続ケーブルを接続します。



**11** コネクタカバーを取り付けます。



**12** 電源コードとインタフェースケーブルを取り付けます。

## 用紙のセット

用紙のセット方法は標準ホッパ(ホッパ1、ホッパ2)に対する方法と同じです。32ページの「ホッパに用紙をセットする」をご覧ください。



増設ホッパにはがきをセットすることはできません。はがきをセットできるのはホッパ1だけです。

## ホッパの選択

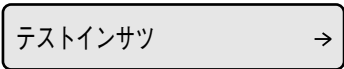
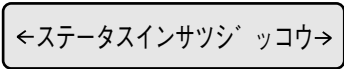
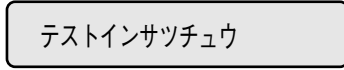
ホッパの選択方法は標準ホッパ(ホッパ1、ホッパ2)に対する方法と同じです。39ページの「ホッパの選択」をご覧ください。



増設ホッパを中心にお使いなる場合は、メニューモードの「ホッパ初期設定」を増設ホッパ3または4に設定しておけば電源を入れたときに自動的に選択されます。

## テスト印刷

増設ホッパが正しく取り付けられたことを確認するために、テスト印刷のステータス印刷を行います。

- 1 ディスプレイに、増設ホッパ名(“ホッパ3”または“ホッパ4”)が表示されていることを確認します。
- 2 印刷可スイッチを押して、印刷可ランプを消灯させます。
- 3 メニュースイッチを1回押します。  
ディスプレイには、“テストインサツ →”と表示されます。  

- 4 ▶スイッチを1回押します。  
“←ステータスインサツジッコウ→”と表示されます。  

- 5 さらに▶スイッチを1回押します。  


プリンタはステータス印刷を開始します。ディスプレイには“テストインサツチュウ”と表示されます。

用紙が正常に給紙され、次のように3段目に増設ホッパを取り付けたときは「ホッパ3」、4段目に取り付けたときは「ホッパ4」と印刷されていれば、増設ホッパ(500)は確実に取り付けられていることとなります。

## \*\* プリンタ設定環境 \*\*

### Version

エンジン : 00.00 00000000

コントローラ : 00.00

### オプションボード

無し

### 給紙構成

ホッパ1 : A4 (A3、A4、A5、B4、B5、レター、はがき)

ホッパ2 : A4 (A3、A4、A5、B4、B5、レター)

ホッパ3 : A4 (A3、A4、A5、B4、B5、レター)

ホッパ4 : A4 (A3、A4、A5、B4、B5、レター)

(以下省略)

### 増設ホッパを2台増設した場合

ステータス印刷が終了すると、自動的に印刷可ランプが点灯し、印刷できる状態になります。  
これで増設ホッパ(500)の取り付けは完了です。



チェック

もしディスプレイに“ホッパ3”、“ホッパ4”が表示されない場合はコネクタの接続をご確認ください。

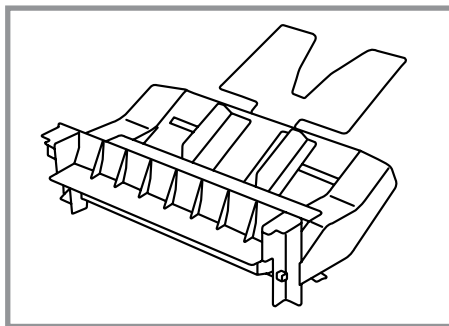
## 取り外し

取り外し手順は取り付け手順の逆で行います。

### 注意

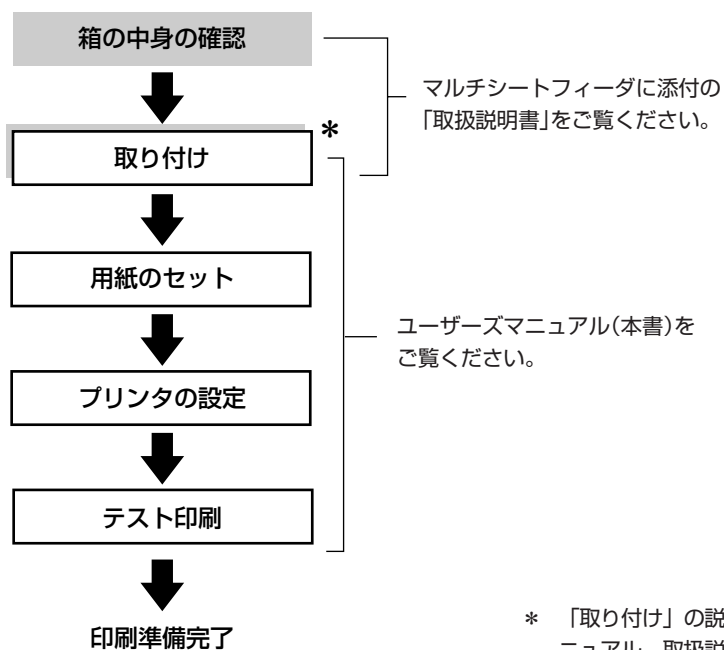
ホッパが1台増設されていると43kg、2台増設されていると50kgの重さになります。必ず2名以上で作業を行ってください。

# マルチシートフィーダ



ここでは、マルチシートフィーダを取り付けて印刷するまでの取り付け手順と、取り外し手順を説明します。

取り付け手順の流れは次のとおりです。それぞれの処理方法はユーザーズマニュアル(本書)またはマルチシートフィーダに添付の取扱説明書で説明しています。



\* 「取り付け」の説明は、ユーザーズマニュアル、取扱説明書ともに記載しております。

# シートフィーダの取り付け

**1** プリンタの電源スイッチをOFFにします。

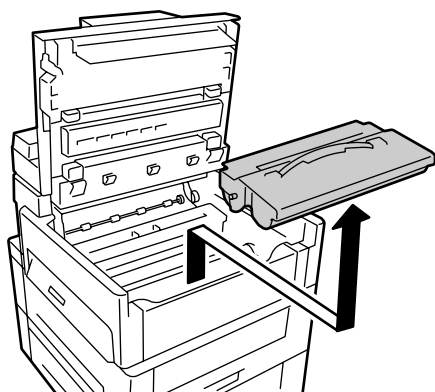


**重要**

電源スイッチをONにしたままマルチシートフィーダを取り付けると、故障の原因になることがあります。必ずOFFになっていることを確認してください。

**2** 電源コードとインターフェースケーブル（前面・背面とも）をプリンタから取り外します。

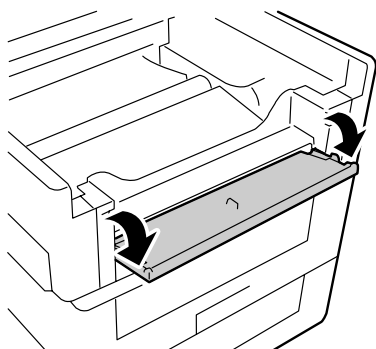
**3** プリンタの開閉レバーを引いて上部ユニットを開け、EPカートリッジを取り外します。



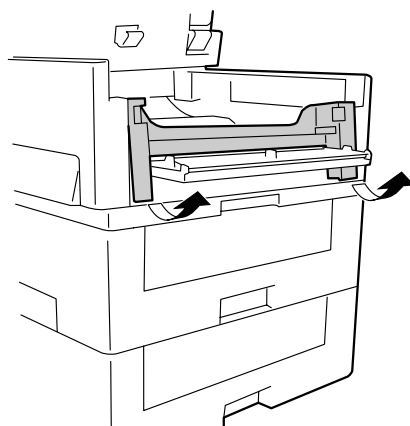
**チェック**

取り外したEPカートリッジは、立てたり裏返しに置いたりしないでください。また、直射日光の当たる場所やほこりの多い場所は避け、水平な場所に置いてください。

**4** 手差しガイドを開けます。



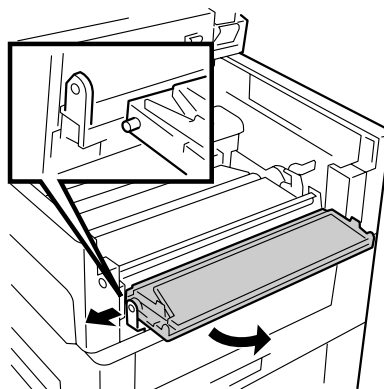
**5** ライトカバーの下側を持ち上げるようにして取り外します。



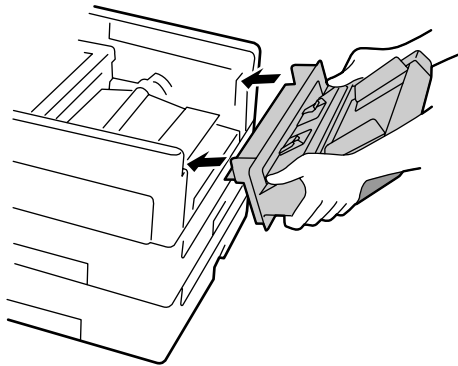
ライトカバーは、マルチシートフィーダを取り付けたときは使用しませんが、大切に保管しておいてください。

**6** ツメの部分を広げながら手差しガイドを反対側に押し付けます。

手差しガイドの突起を穴から外して、取り外します。

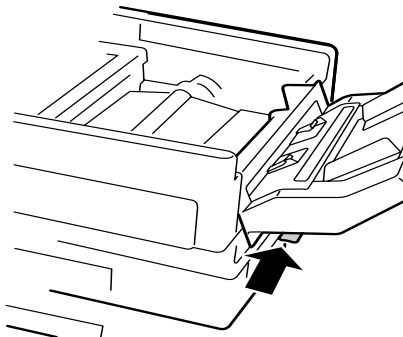


**7** マルチシートフィーダの両側を持ち、手差しガイド開口部に合わせます。

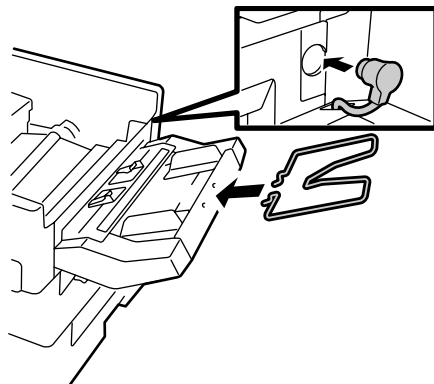


**8** マルチシートフィーダを固定します。

マルチシートフィーダの左右下部にあるロックレバーを押しながら、マルチシートフィーダの下部をプリンタに押しつけるようにして取り付けます。



**9** マルチシートフィーダの右側にある接続ケーブルをプリンタに取り付け、ガイドワイヤを取り付けます。



**10** EPカートリッジを取り付けて、プリンタの上部ユニットを閉めます。

**11** 電源コードとインターフェースケーブルをプリンタに取り付けます。

## 用紙のセット

マルチシートフィーダには、一度に何枚もの用紙をセットできる「マルチホッパ」と手差しで1枚ずつセットする「手差しガイド」があります。それぞれにセットできる用紙のサイズ、枚数は次のとおりです。

用紙サイズ		セット容量	
		マルチホッパ	手差しガイド
OHPフィルム		30枚	1枚
ラベル紙		30枚	1枚
はがき		30枚	1枚
普通紙	A3	セットできません	1枚
	A4	80枚	1枚
	A5	80枚	1枚
	B4	セットできません	1枚
	B5	80枚	1枚
	レター	80枚	1枚

## マルチホッパへの用紙のセット

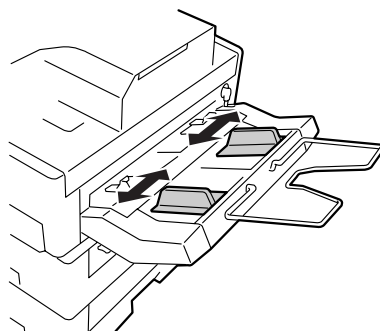
マルチホッパには、OHPフィルム、ラベル紙、はがきは30枚、普通紙(A4サイズ以下)は80枚までセットできます。次の手順で用紙をセットしてください。



- マルチホッパには、A3、B4サイズの用紙はセットできません。A3、B4サイズを使用したいときは、手差しガイドから1枚ずつ給紙してください。
- 用紙はすべて縦置きにセットしてください。
- 一度にセットできる用紙は1種類のみです。2種類以上の用紙をいっしょにセットすることはできません。

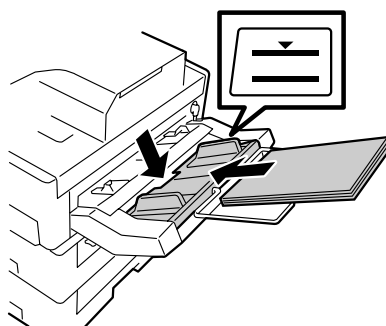
### 1 マルチホッパガイドを使用する用紙サイズに合わせます。

用紙サイズラベルを参考にしてください。



### 2 印刷する面を上にして、用紙をそろえてセットします。

マルチホッパガイドを押し下げて、マルチホッパを下げます。用紙を印刷したい面を上にしてセットします。用紙がこれ以上進まないところまで挿入してください。



OHPフィルムはよくさばいてからセットしてください。



マルチホッパガイドの内側に貼ってある積載ラベルの線(普通紙、はがきは上の線、OHPフィルム・ラベル紙は下の線)を越える量の用紙をセットしないようにしてください。重ね送りの原因になります。



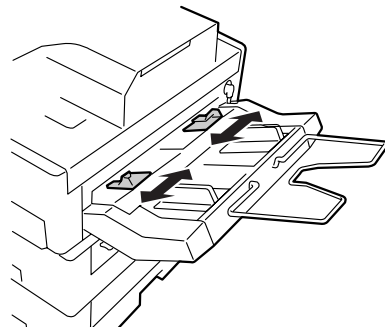
## 手差しガイドへの用紙のセット

手差しガイドにはA3、A4、A5、B4、B5、レター、はがきサイズの内紙とOHPフィルム、ラベル紙を1枚ずつセットすることができます。次の手順で用紙をセットしてください。

**1** マルチホッパから用紙をすべて取り除きます。

**2** 手差しガイドを使用する用紙サイズに合わせます。

用紙サイズラベルを参考にしてください。



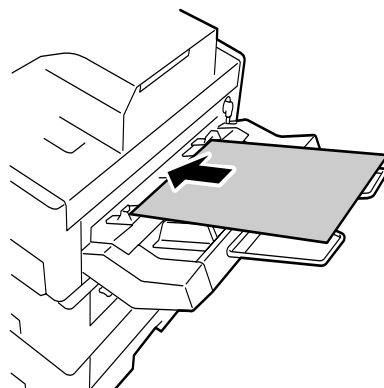
**3** 用紙を1枚セットします。

印刷したい面を上にして、手差しガイドに沿って手差し給紙口に挿入します。用紙がこれ以上進まないところまで挿入してください。



チェック

用紙はすべて縦置きにセットしてください。



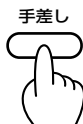
## プリンタの設定

マルチシートフィーダから印刷するためにプリンタの設定を変更します。この設定は、操作パネルのテサシスイッチを使ってディスプレイの表示を“テサシ”にすることで有効になります。これは通常の手差し印刷を行うときと同じ操作になります。次の手順で設定を変更してください。

**1** プリンタの電源をONにし、印刷可スイッチを押して、印刷可ランプを消灯させます。

**2** 手差しスイッチを1回押します。

ディスプレイには“テサシ”と表示され、マルチシートフィーダから給紙できる状態になります。



テサシ

**3** さらに手差しスイッチを押して、使用する用紙サイズをディスプレイに表示させます。

テサシ

A4 ホート



チェック

印刷範囲より小さなサイズの内紙を選択しないように注意してください。

**4** 印刷可スイッチを押して、印刷可ランプを点灯させます。

これでプリンタの設定は終了です。



## テスト印刷

マルチシートフィーダが正しく取り付けられたことを確認するために、テスト印刷のステータス印刷を行います。次の方法で行ってください。

**1** ディスプレイに“テサシ”と表示されていることを確認します。

テサシ

**2** 印刷可スイッチを押して、印刷可ランプを消灯させます。

**3** メニュースイッチを1回押します。

ディスプレイには、“テストインサツ →”と表示されます。

テストインサツ



**4** ▶スイッチを1回押します。

“←ステータスインサツジッコウ→”と表示されます。

←ステータスインサツジッコウ→

**5** さらに▶スイッチを1回押します。

プリンタはステータス印刷を開始します。ディスプレイには“テストインサツチュウ”と表示されます。

テストインサツチュウ

マルチシートフィーダから用紙が正常に給紙され、次のように「マルチシートフィーダ」と印刷されていれば確実に取り付けられていることとなります。

## \*\* プリンタ設定環境 \*\*

### Version

エンジン : 00.00 00000000

コントローラ : 00.00

### オプションボード

無し

### 給紙構成

ホッパ1 : A4 (A3、A4、A5、B4、B5、レター、はがき)

ホッパ2 : A4 (A3、A4、A5、B4、B5、レター)

手差し : A4 (A3、A4、A5、B4、B5、レター、はがき)

マルチシートフィーダ : A4 (A3、A4、A5、B4、B5、レター、はがき)

(以下省略)

## マルチシートフィーダのステータス印刷

ステータス印刷が終わると、印刷可ランプが点灯し印刷できる状態になります。  
これで、マルチシートフィーダの取り付けは完了です。

## 紙づまりの処理

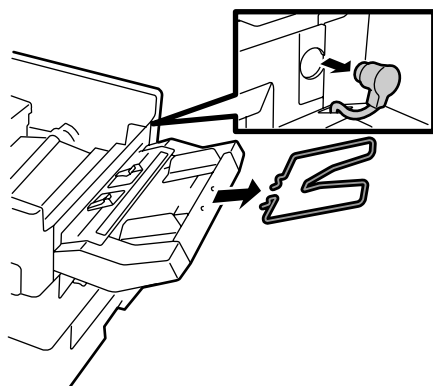
“74 カミヅマリ 1”は給紙部での紙づまりです。プリンタとマルチシートフィーダの間に用紙が詰まったと思われるときは、マルチシートフィーダを取り外してから、詰まった用紙を取り除いてください。(取り外し方はこの後の「マルチシートフィーダの取り外し」を参照してください。)

74 カミヅマリ 1 \_ \_ \_ \_

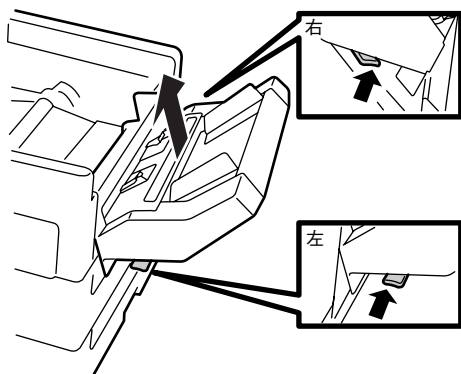
その他の箇所で紙づまりが発生したときは、「紙づまりのときは」(130ページ)に従って処理してください。その際、ペーパーガイドカバーを開けて処理するときは、マルチシートフィーダを取り外してからペーパーガイドカバーを開けてください。

# マルチシートフィーダの取り外し

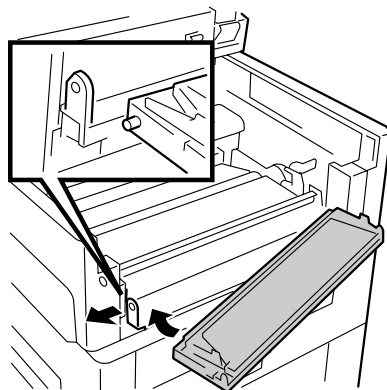
- 1 プリンタの電源をOFFにします。
- 2 電源コードとインターフェースケーブル（前面・背面とも）をプリンタから取り外します。
- 3 プリンタの開閉レバーを引いて上部ユニットを開け、EPカートリッジを取り外します。
- 4 プリンタから接続ケーブルを、マルチシートフィーダからガイドワイヤを取り外します。



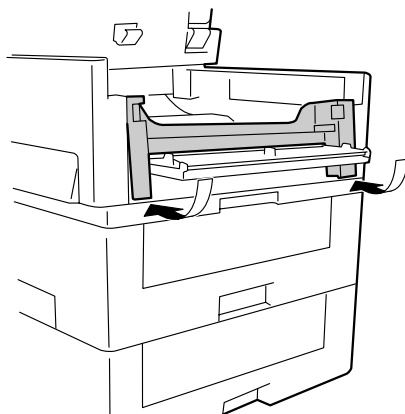
- 5 マルチシートフィーダを取り外します。  
マルチシートフィーダ下部の左右にあるロックレバーを押し上げながら、上に持ち上げるようにして取り外します。



- 6 手差しガイドを取り付けます。  
ツメの部分を中心に左右に少し広げながら、手差しガイドの突起部分を穴にはめ込みます。

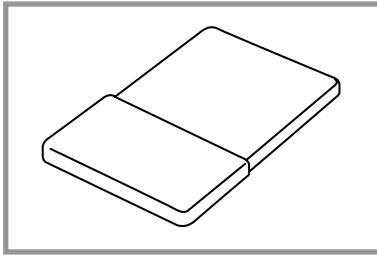


- 7 ライトカバーを取り付けます。  
ライトカバー上部を手差しガイド開口部に合わせ、ライトカバー下部をプリンタに押しつけるようにして取り付けます。



- 8 手差しガイドを閉めます。
- 9 EPカートリッジを取り付けて、プリンタの上部ユニットを閉めます。
- 10 電源コードとインターフェースケーブルをプリンタに取り付けます。

# 漢字アウトラインフォントカード



本プリンタは、明朝体アウトラインフォントとゴシック体アウトラインフォントの2書体を印刷することができますが、アウトラインフォントカードを取り付けることにより、さらに1書体のフォントが使えるようになります。

アウトラインフォントカードには、次の3種類があります。

- ◆ 丸ゴシック体-M      **これが丸ゴシック体-Mの書体サンプルです。**
- ◆ 教科書体-M      **これが教科書体-Mの書体サンプルです。**
- ◆ 瑞筆行書体-M      **これが瑞筆行書体-Mの書体サンプルです。**

ここでは、アウトラインフォントカードの取り付けと、カードを使って印刷を行うための設定方法を説明します。



チェック

ESC/Pモードでは、アウトラインフォントカードの効果がありません。

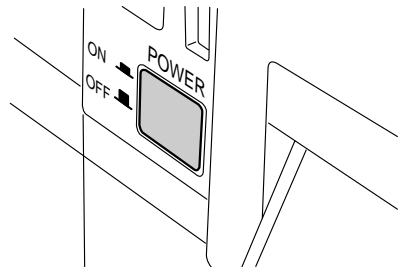
## フォントカードの取り付け

- 1 プリンタのスイッチをOFFにします。



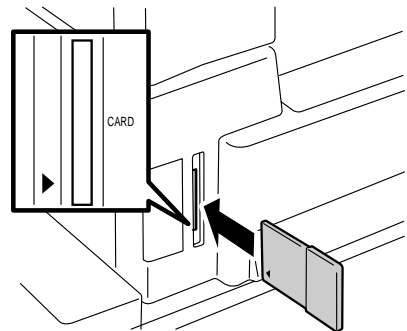
重要

必ず電源をOFFにしてください。ONにしたまま取り付けると、故障の原因となることがあります。



- 2 プリンタ前面のフォントカードスロットにフォントカードを差し込みます。

プリンタ本体の▶とフォントカードに記載してある▶を合わせて差し込んでください。



# テスト印刷

フォントカードの取り付けが終わったら、正しく取り付けられたことを確認するためにテスト印刷のステータス印刷を行います。

**1** プリンタの電源をONにします。

**2** 印刷可スイッチを押して、印刷可ランプを消灯させます。

**3** メニュースイッチを1回押します。

テストインサツ →

“テストインサツ →”と表示されます。

**4** ▶スイッチを1回押します。

←ステータスインサツジツコウ→

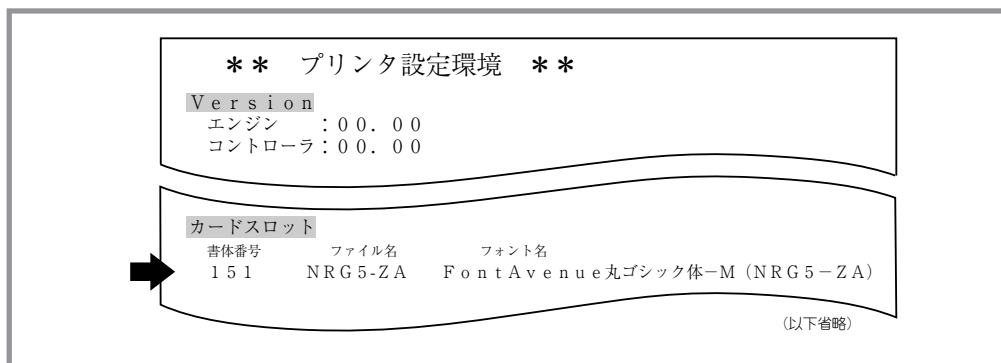
“←ステータスインサツジツコウ→”と表示されます。

**5** さらに▶スイッチを1回押します。

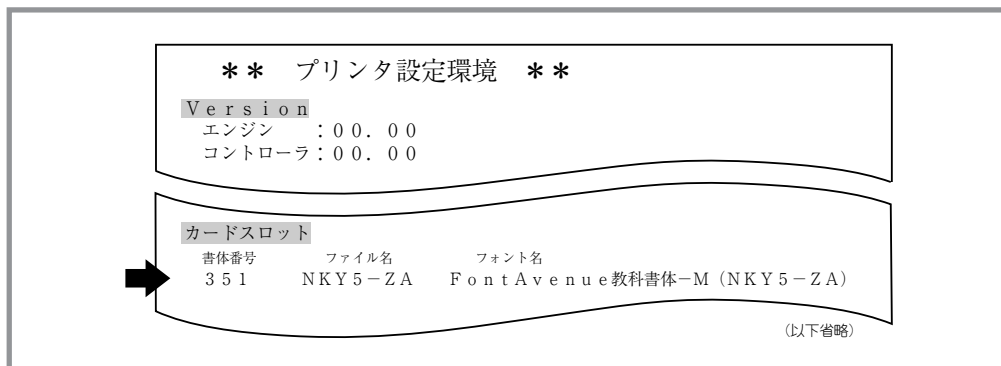
テストインサツチュウ

プリンタはステータス印刷を開始します。ディスプレイには“テストインサツチュウ”と表示されます。

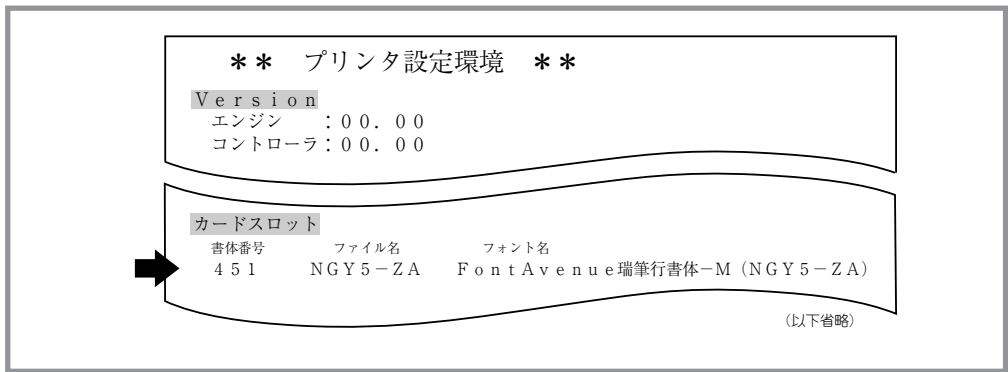
用紙が正常に給紙され、次のように取り付けられたフォントカードのフォント名が印刷されていれば、確実に取り付けられていることとなります。



丸ゴシック体-M



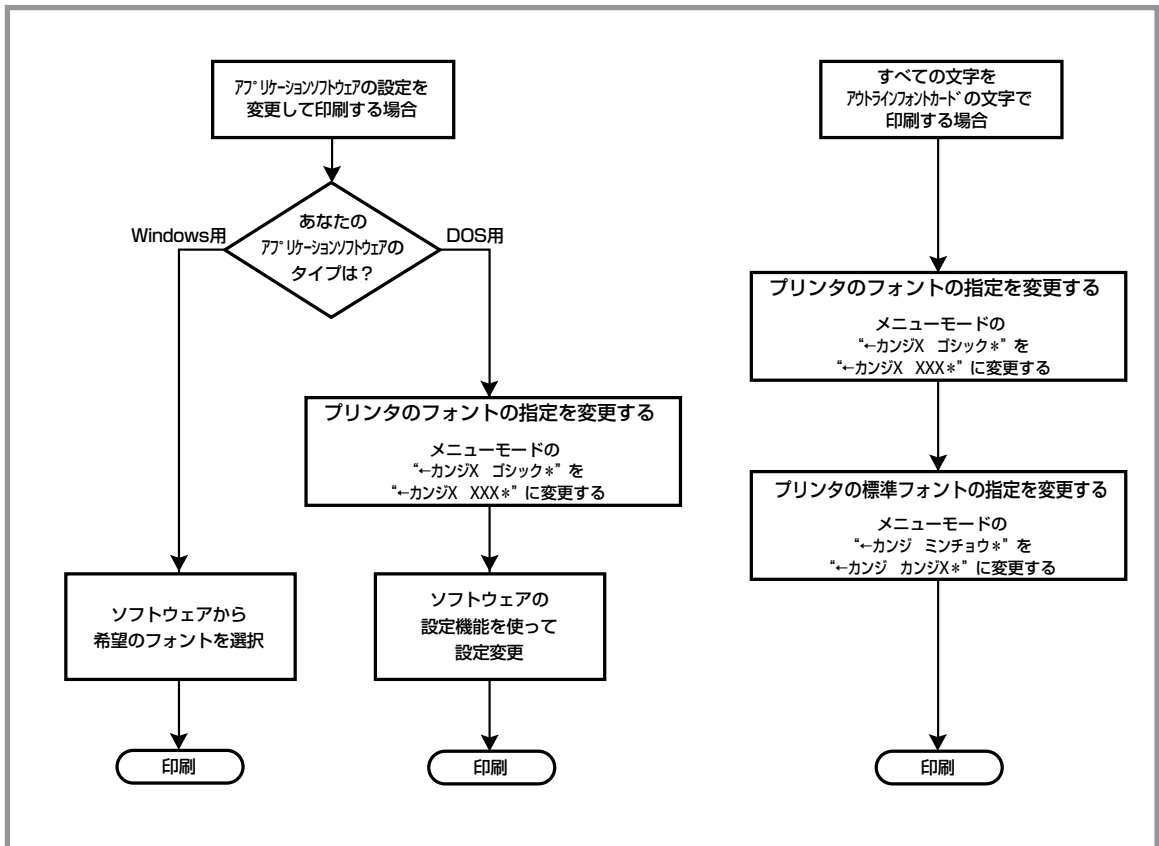
教科書体-M



瑞筆行書体-M

## フォントカードを使って印刷するには

フォントカードを使って印刷するには、ソフトウェアまたはプリンタの設定を変更します。変更方法は、使用しているソフトウェアによって異なります。また、ソフトウェアで設定変更せずに、すべての文字をカードのフォントで印刷することもできます。次のフローをご覧になりながら、設定方法を確認してください。



フォントカードを使った印刷

Windows用アプリケーションソフトウェアを使用しているときは、ソフトウェアから希望のフォントを選択すれば、アウトラインフォントカードのフォントを印刷することができます。

DOS用アプリケーションソフトウェアを使用しているときは、フォントの指定を変更した後(プリンタのメニューモードの“←カンジX ゴシック\*”を、“←カンジX XXX\*”に変更)、各アプリケーションソフトのプリンタ設定機能を利用して設定を変更すれば、印刷することができます。(設定変更方法は、77ページをご覧ください。)

すべての文字を漢字アウトラインフォントカードの文字で印刷することもできます。その場合はフォントの指定を変更した後、標準フォントの指定を変更(プリンタのメニューモードの“←カンジ ミンチョウ\*”を“←カンジ カンジX\*”に変更)します。(設定変更方法は、77ページをご覧ください。)

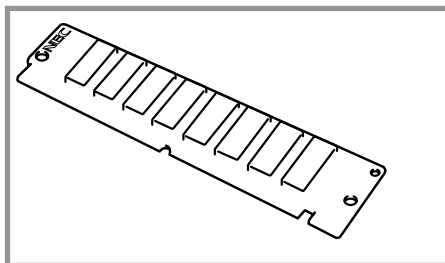


チェック

Windows用アプリケーションソフトウェアは、プリンタドライバが直接フォントを指定するので、メニューモードの設定には影響されません。



# 増設RAMサブボード



本プリンタは、4メガバイト(4MB)または8メガバイト(8MB)の増設RAMサブボードを取り付けることで、アウトラインフォントを多用した文書などの印刷速度を向上させたり、より多くのフォーム登録を可能にしたり、印刷時のメモリ不足を解消することができます。

本プリンタには増設RAMサブボードを取り付けることができるソケットを2つ持っています。4MBまたは8MBの増設RAMサブボードの組み合わせは以下のとおりです。

下段ソケット	上段ソケット	メモリ総容量
なし	なし	8MB(標準)
4MB	なし	12MB
8MB	なし	16MB
4MB	4MB	16MB
4MB	8MB	20MB
8MB	4MB	20MB
8MB	8MB	24MB



増設RAMサブボード上に「必ず、○印のある増設RAMボードまたは本体に装着してください」という注意書きがあります。MultiWriterのボード上にはこの○印がありませんがなら問題なく装着できます。また、増設RAMサブボードPR2000/2-03Rは本プリンタでは使用できませんのでお買い求めの際はご注意ください。

## ボードの取り付け



増設RAMサブボードは大変デリケートな電子部品です。ボードを取り扱うときは、電源ユニットの金属部などに触れて身体の静電気を逃がしてから行ってください。また、ボードは端の部分をもって取り扱い、表面の部品には触れないように注意してください。

- 1 プリンタの電源をOFFにします。

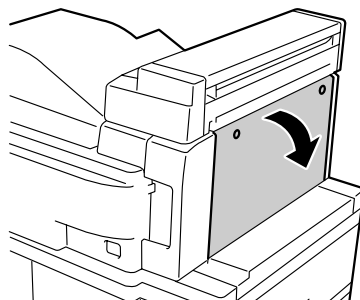
セットスクリュー2本をドライバやコインなどを使ってゆるめるとカバーは外れます。



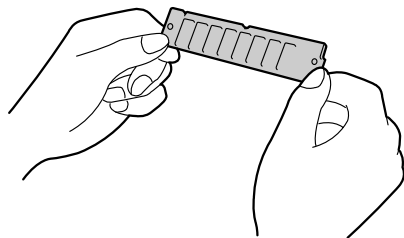
必ず電源をOFFにしてください。ONにしたまま取り付けると、故障の原因となることがあります。

- 2 電源コードとインタフェースケーブル(前面・背面とも)をプリンタから取り外します。

- 3 プリンタ左側にあるオプションカバーを取り外します。



- 4** 切り欠きが右になるようにして、ボードの両端をつまんで持ちます。



2枚目のボードは、上段のソケットに同様にして取り付けます。

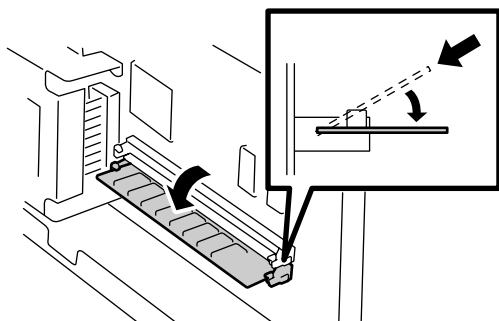


チェック

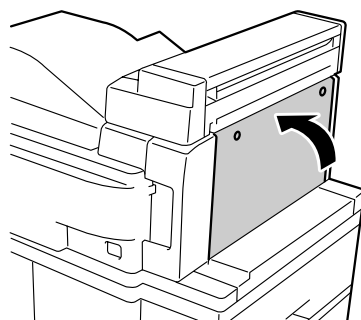
増設RAMサブボードを取り付けるときは、必ず下のコネクタから順番に取り付けてください。

- 5** 下の図のように、約30度の角度でボードの端を下段のソケットに押し込みます。

- 6** 十分に押し込んだことが確認できたら、「カチッ」という音がするまでボードを倒します。



- 7** オプションカバーを取り付け、セットスクリュー2本で固定します。



- 8** 電源コードとインターフェースケーブルを取り付けます。

## テスト印刷

増設RAMサブボードが正しく取り付けられたかを確認するためにテスト印刷のステータス印刷を行います。

- 1** プリンタの電源をONにします。
- 2** 印刷可スイッチを押して、印刷可ランプを消灯させます。
- 3** メニュースイッチを1回押します。  
“テストインサツ →”と表示されます。
- 4** ▶スイッチを押します。  
“←ステータスインサツジッ コウ→”と表示されます。

テストインサツ



←ステータスインサツジッ コウ→

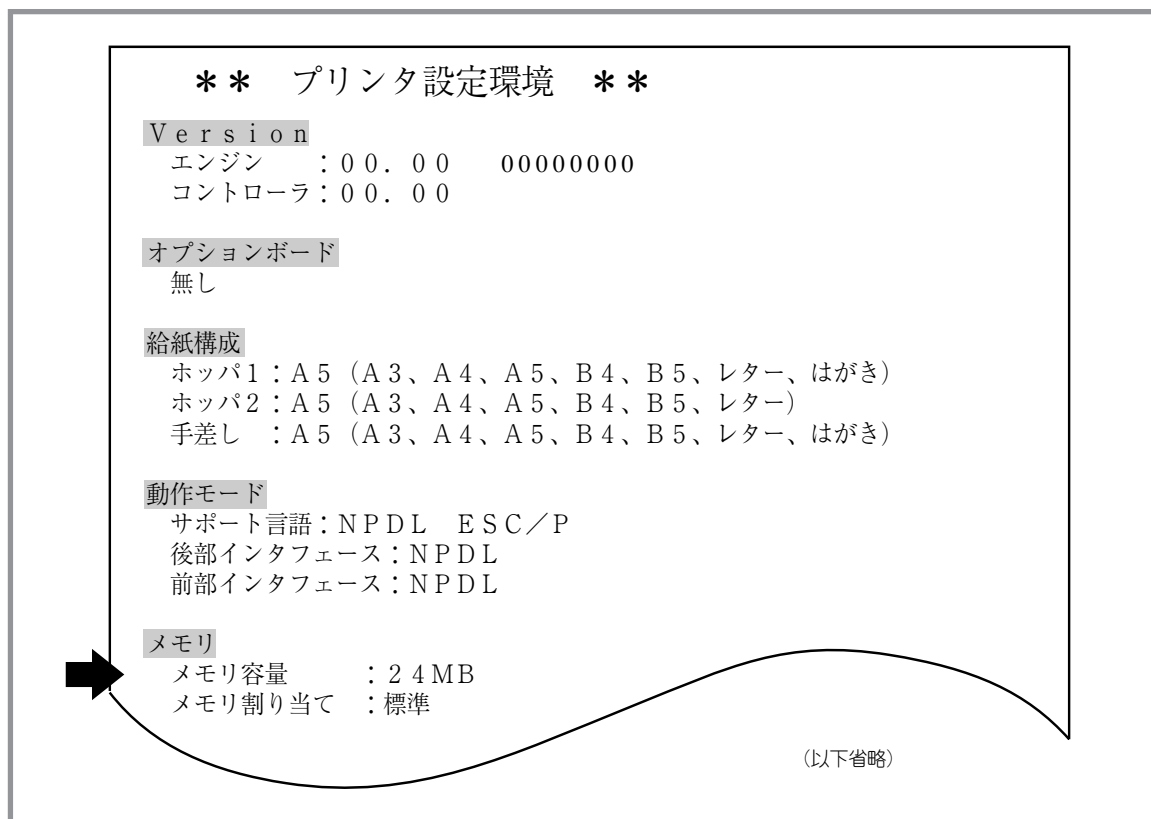
## 5 さらに▶スイッチを押します。

テストインサツチュウ

プリンタはステータス印刷を開始します。ディスプレイには“テストインサツチュウ”と表示されます。

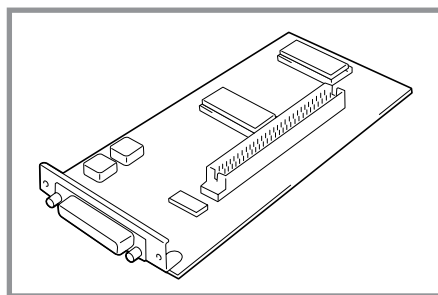
用紙が正常に給紙され、次のように印刷されていれば、増設RAMサブボードは正しく取り付けられたこととなります。

ステータス印刷が終了すると、自動的に印刷可ランプが点灯し、印刷できる状態になります。これで増設RAMサブボードの取り付けは完了です。



8MBを2枚増設した場合

# プロッタエミュレーションボード



本プリンタに『プロッタエミュレーションボード』を取り付けることにより、プロッタHP 7550の言語(HPGL)を使用できるようになるため、CADなどのアプリケーションソフトウェアからの印刷が可能になります。またRS-232Cインタフェースとして使用することも可能です。

プロッタエミュレーションボード上のRS-232Cインタフェースをご使用の場合は、次の表を参照して、使用するコンピュータに合うRS-232Cケーブルを別途お求めください。

使用しているコンピュータ	RS-232Cケーブル
PC-9801シリーズ	PC-CA602
	PC-9896
	PC-9897
PC-H98シリーズ	PC-H98K02
PC-9801NL、NS/L、NS/A PC-9821Ne、Ns、Ne2、Nd、Np、Ne2、N、Nm、Nt、Ld、Lt、Ne3、Nd2、Na7、Nx、Lt2、Na13、Na12、Na9、Nb7、La10、La7、Ts	PC-98HA-16

ここでは、プロッタエミュレーションボードの取り付け手順を説明します。使い方や操作方法については、プロッタエミュレーションボードに添付の取扱説明書をご覧ください。



重要

プロッタエミュレーションボードは両面印刷ユニット、ソータユニットと同時に使用できません。

# ボードの取り付け



プロッタエミュレーションボードは大変デリケートな電子部品です。ボードを取り扱うときは、電源ユニットの金属部などに触れて身体の静電気を逃がしてから行ってください。また、ボードは端の部分をもって取り扱い、表面の部品には触れないように注意してください。

**1** プリンタの電源をOFFにします。

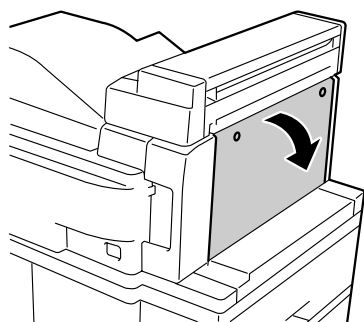


電源スイッチをONにしたままプロッタエミュレーションボードを取り付けると、故障の原因になることがあります。必ずOFFになっていることを確認してください。

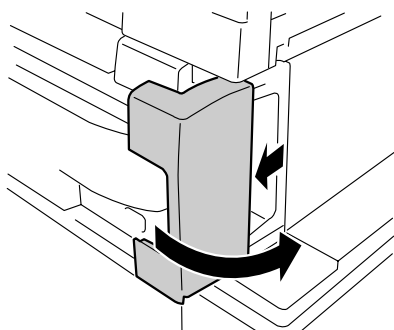
**2** 電源コード、インタフェースケーブル(前面・背面とも)をプリンタから取り外します。

**3** プリンタ左側にあるオプションカバーを取り外します。

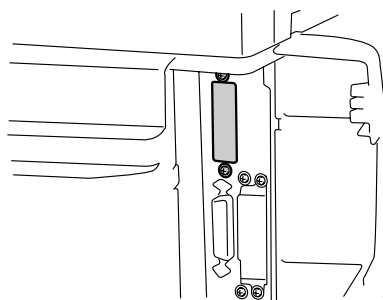
セットスクリュー2本をドライバやコインなどを使ってゆるめると、カバーは外れます。



**4** プリンタ背面にあるカバーを開きます。

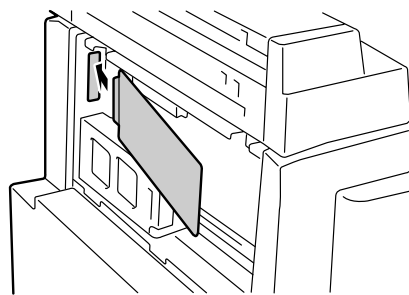


**5** 上段のブラックプレートを、ネジを回して取り外します。

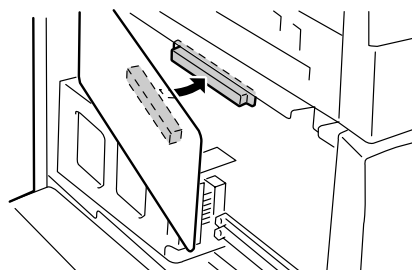


ブラックプレートはプロッタエミュレーションボードを取り付けたときは使用しませんが、大切に保管しておいてください。

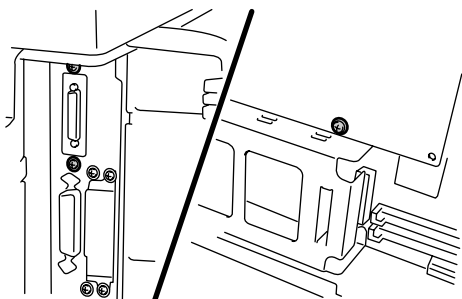
**6** RS-232Cコネクタ側を手順5によってできた穴に差し込みます。



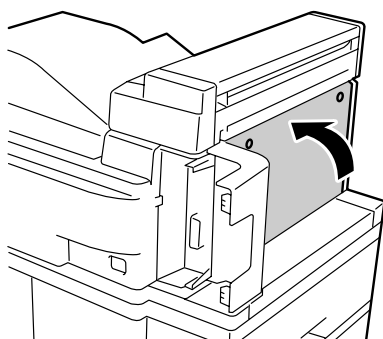
**7** プリンタのコネクタとボードのコネクタを接続します。



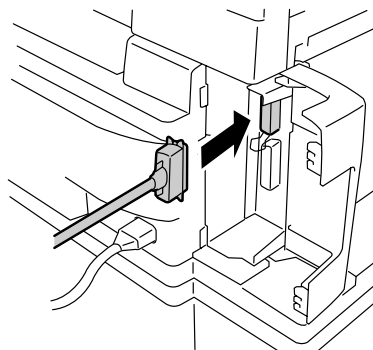
**8** ネジ3本でプロッタエミュレーションボードを固定します。



**9** オプションカバーを取り付け、セットスクリュー2本で固定します。

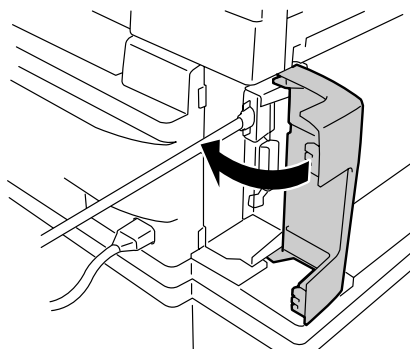


**10** RS-232C用インターフェースケーブルを取り付けます。



**11** 電源コードを取り付けます。

**12** プリンタ背面にあるカバーを閉じます。



チェック

プロッタエミュレーションボードを取り外すときは、上記の手順を逆に行ってください。

# テスト印刷

プロッタエミュレーションボードが正しく取り付けられたことを確認するために、テスト印刷のステータス印刷を行います。次の方法で行ってください。

**1** プリンタの電源をONにします。

**2** 印刷可スイッチを押して、印刷可ランプを消灯させます。

**3** メニュースイッチを1回押します。

“テストインサツ →”と表示されます。

テストインサツ →

**4** ▶スイッチを1回押します。

“←ステータスインサツジッコウ→”と表示されます。

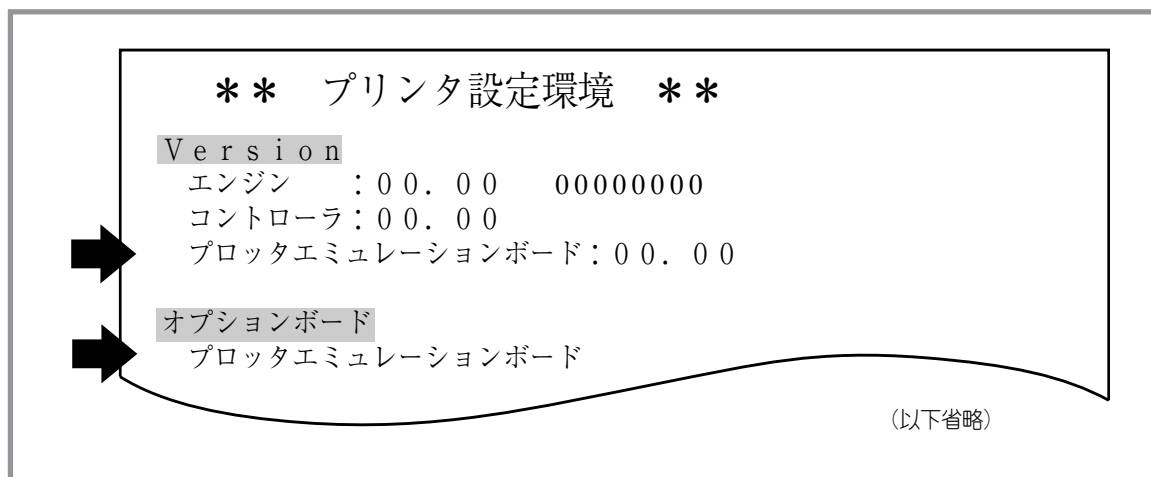
←ステータスインサツジッコウ→

**5** さらに スイッチを1回押します。

プリンタはステータス印刷を開始します。ディスプレイには“テストインサツチュウ”と表示されます。

テストインサツチュウ

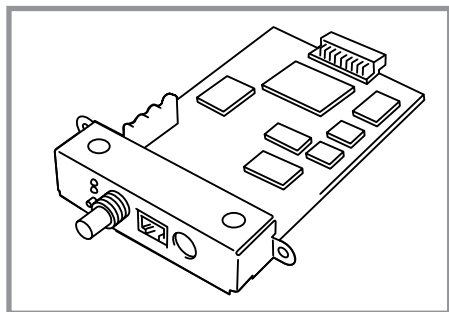
用紙が正常に送られ、次のように「プロッタエミュレーションボード」と印刷されていれば、プロッタエミュレーションボードは確実に取り付けられていることになります。



## プロッタエミュレーションボードのステータス印刷

ステータス印刷が終了すると、自動的に印刷可ランプが点灯し、印刷できる状態になります。これで、プロッタエミュレーションボードの取り付けは完了です。

# マルチプロトコルLANボード



本プリンタには各種のネットワークに接続するマルチプロトコルLANボードが用意されています。

「PR2200NW-08 マルチプロトコルLANボード」は、プリンタ本体に内蔵できる、LANに接続するためのボードです。NetWare (IPX/SPX)、LAN マネージャ (NetBEUI)、Windows NT (TCP/IP、DLC)、UNIX (TCP/IP (ftp、lpr))、Macintosh (AppleTalk) の各ネットワークに対応しています。

マルチプロトコルLANボードが対応しているネットワーク環境は以下のとおりです。

NetWare:	NetWare 3.11J、3.12J、4.1J
Windows NT:	Windows NT3.1、3.5、3.51
LANマネージャ:	OS/2 LANマネージャ2.1bおよびOS/2 LANサーバJ3.0
Windows 95:	添付のソフトウェアにより対応(ただしWPSは使用できません)
Macintosh:	漢字Talk7.1.x、7.5、7.5.1、7.5.2(ただしQuickDraw GXには対応していません)



上記のボードを取り付けた場合は、プリンタ背面のセントロニクスインタフェースは使用できなくなります。セントロニクスインタフェースを使用する場合は、プリンタ前面のインタフェースを使用してください。

LANボードをお使いになるには、ネットワーク用ケーブルが必要です。使用する環境に合わせて、以下に示すケーブルを別途お求めください。

本プリンタとMacintoshとをLocalTalkで接続する場合は、Macintoshのマニュアルを参照して接続してください。

- ◆ 10 BASE-T …… PC-9868-21、PC-9868-22
- ◆ 10 BASE-2 …… PC-9867-21、PC-9867-22、PC-9867-23

ここでは、これらのボードの取り付け手順を説明します。使い方や操作方法については、各ボードに添付の取扱説明書をご覧ください。



LANボードは正しく取り付けられていても、ステータス印刷の「オプションボード」の欄に印刷されません。正しく取り付けられたかどうかはコンフィギュレーションページの印刷を行って確認します(詳細はLANボードの取扱説明書を参照ください)。



# ボードの取り付け



マルチプロトコルLANボードは大変デリケートな電子部品です。ボードを取り扱うときは、電源ユニットの金属部などに触れて身体の静電気を逃がしてから行ってください。また、ボードは端の部分をもって取り扱い、表面の部品には触れないように注意してください。

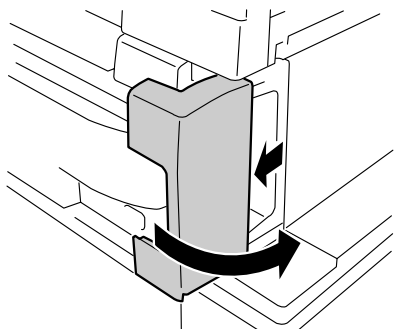
**1** プリンタの電源をOFFにします。



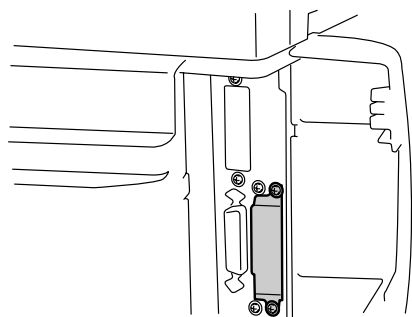
電源スイッチをONにしたままボードを取り付けると、故障の原因になることがあります。必ずOFFになっていることを確認してください。

**2** 電源コードとインターフェースケーブル(前面・背面とも)をプリンタから取り外します。

**3** コネクタカバーを開きます。

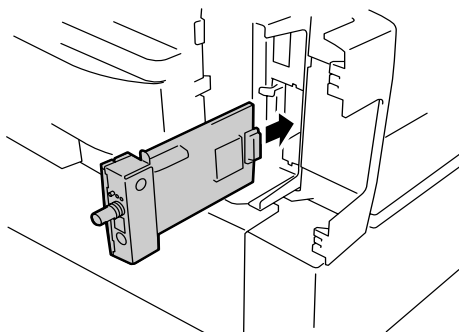


**4** 下段右側のブラックプレートを、ネジを回して取り外します。



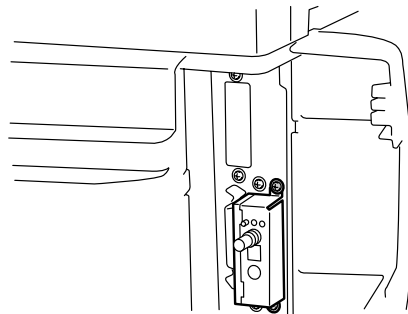
ブラックプレートはボードを取り付けたときは使用しませんが、大切に保管しておいてください。

**5** LANボード前面にあるLEDを上側にして、ガイドレールに沿ってLANボードを差し込みます。



カチッと手ごたえがあるまで押し込みます。

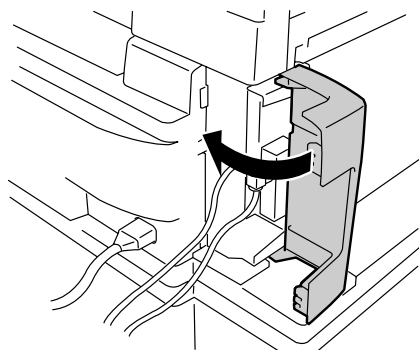
**6** ネジ2本でボードを固定します。



**7** 接続用のケーブルを取り付けます。

**8** 電源コードを取り付けます。

9 プリンタ背面にあるカバーを閉じます。



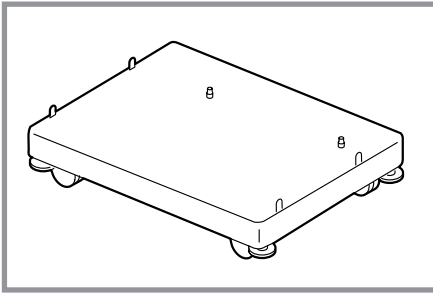
10 コンピュータに接続して、正しく動作することを確認してください。



チェック

ボードを取り外すときは、上記の手順を逆に行ってください。

# プリンタテーブル

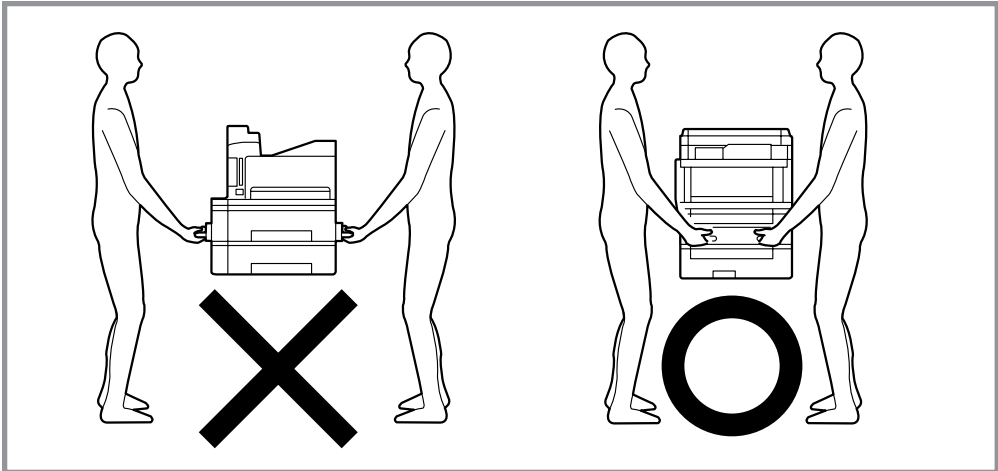


プリンタテーブルは増設ホッパ装着時、プリンタを床置きにするための台です。プリンタテーブルを装着すると、キャスタによるスムーズな移動とアジャスタによる水平な設置が可能になります。

## テーブルの取り付け

### ！ 注意

本プリンタはホッパを増設すると最高50kgの重量になります。プリンタを持ち上げるときは、必ず2人で両側の取っ手を持ってください。また作業する人は下図のようにプリンタの前面と背面に向かい合って取っ手を握ってください。



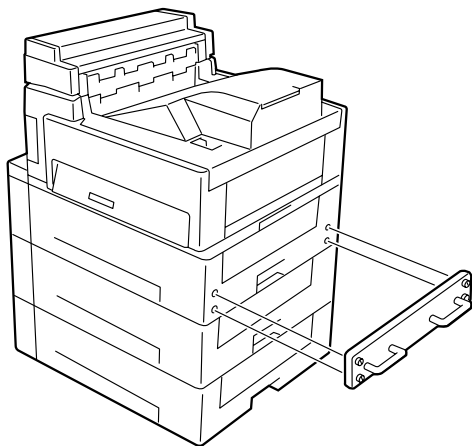
1 プリンタの電源をOFFにします。



電源スイッチをONにしたままプロッタエミュレーションボードを取り付けると、故障の原因になることがあります。必ずOFFになっていることを確認してください。

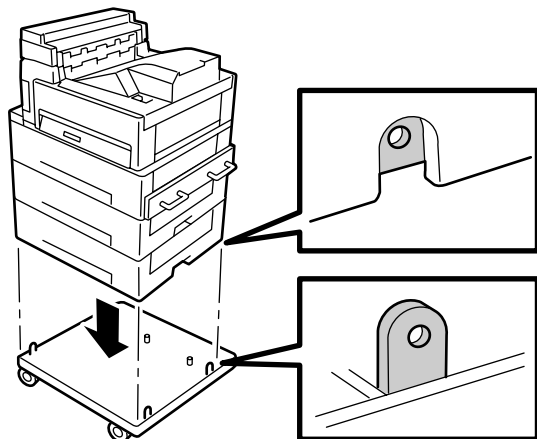
2 電源コード、インタフェースケーブル(前面・背面とも)をプリンタから取り外します。

3 プリンタ左右にハンドルユニットを取り付けます。



4 プリンタ左右の取っ手を持ち、プリンタをプリンタテーブルに載せます。

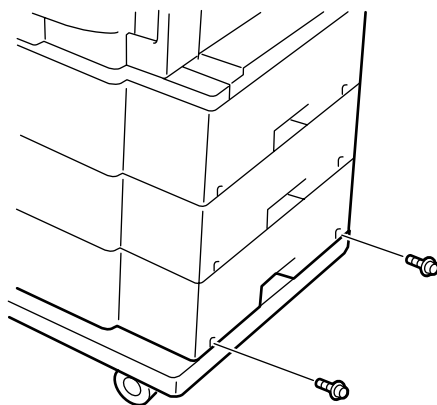
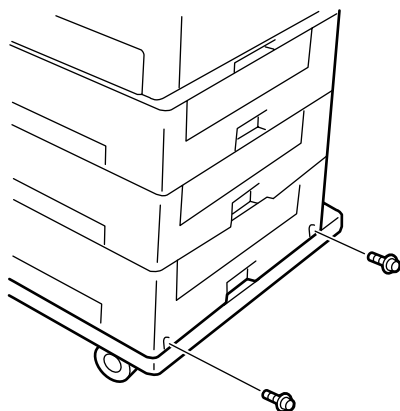
プリンタの角とプリンタテーブルの角が合うようにして、プリンタをプリンタテーブルの上に静かに置きます。このとき、プリンタ側の切り欠き部とプリンタテーブルの取り付け金具が合っていることを確認してください。



5 ハンドルユニットを取り外します。

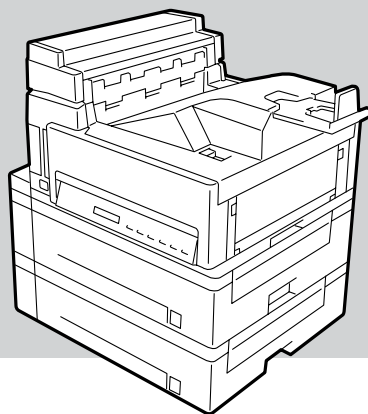
6 プリンタとプリンタテーブルをネジで固定します。

ネジで固定する部分は、プリンタ左側面に2か所、右側面に2か所あります。必ず4か所固定してください。



7 プリンタを設置場所に移動し、底面にあるアジャスタ(4か所)を下げて、プリンタを水平な状態に固定します。

# 付録 MultiWriterの 詳細



付録A 仕様 . . . . .	190
付録B 用紙の規格と印刷範囲 . . . . .	191
付録C NPD Lの初期状態 . . . . .	198
付録D インタフェース . . . . .	202
付録E 制御コード一覧 . . . . .	205
付録F 機能拡張制御コード . . . . .	209
付録G 文字の種類 . . . . .	223
付録H テスト印刷のプリント結果 . . . . .	225
付録I 文字コード表 . . . . .	228
付録J ディスプレイ表示一覧 . . . . .	235
付録K IBM DOS J5.0/Vでの設定 . . . . .	237

# 付録A 仕様

印刷方式	電子写真記録方式 露光方式： レーザダイオード+ポリゴンスキャナ 現像方式： 1成分乾式
印刷速度*	約24枚/分(A4用紙、ホッパ給紙時) * 印刷速度は連続印刷の場合の最大値です。最初のページ、また印刷データの内容あるいはコンピュータからのデータの送り方などによって異なります。
ウォームアップの待ち時間	電源投入時： 約80秒(20℃)
ファーストプリントタイム	約11秒(A4用紙、ホッパ給紙時)
ホッパ容量	500枚(連量55kgの用紙、標準ホッパ1段につき) A5サイズのみ標準ホッパ1段につき250枚
排紙容量	700枚(A4用紙、連量55kg相当)
ドット間隔	1/400インチ×1/400インチ
インタフェース	セントロニクス仕様に準拠(前面、背面に1つずつ装備)
使用コード	8ビットコード
データ形式	NPDLevel 2(201PLエミュレーション含む)、ESC/Pエミュレーション
環境	動作温度： 10～32.5℃      動作湿度： 20～80%RH(結露しないこと) 保管温度： 0～35℃      保管湿度： 10～80%RH(結露しないこと) 塵埃量： 一般事務室程度      ガス成分： 一般事務室程度
騒音	動作時： 51dBA以下 待機時： 42dBA以下
電源	電圧： 100V±10% 周波数： 50/60Hz±1Hz
消費電力	動作時 最大：1100W 平均：550W 節電モード時：45W以下
寸法	幅532mm×奥行473mm×高さ583mm
重量	約35kg(本体のみ)
製品寿命	印刷枚数100万枚または使用年数5年のいずれか早い方
消耗品寿命	EPカートリッジ： 約10,000枚(印刷枚数) (ただしA4用紙、画像面積比5%印刷時)
定期交換部品	定着ユニット等(333,000枚*) * 両面印刷は片面印刷ごとに1枚とカウントします。
フォント	アウトラインフォント 2種類(明朝体、ゴシック体)
対応OS	● MS-DOS ver 3.3以上、Microsoft Windows 95(日本語版)、Microsoft Windows 3.1(日本語版)、Microsoft Windows NT 3.5(日本語版)、Microsoft Windows NT 3.51(日本語版)、Microsoft Windows NT 3.1(日本語版) ● PC-PTOS Ver. 1.0以上 ● DOS/V(MS-DOS 5.0/V以上またはIBM DOS Ver. J5.0/V以上) ● Macintosh 漢字Talk 7.1または漢字Talk 7.5x(PR2200NW2-08およびPR2200NW2-21使用時)、ただし、漢字Talk 7.5xのQuickDrawGXには未対応

# 付録B 用紙の規格と印刷範囲

## 用紙の規格

### ■ 普通紙(乾式PPC用紙)

寸法	A3判(297×420mm)、A4判(210×297mm)、A5判(148×210mm)、B4判(257×364mm)、B5判(182×257mm)、レターサイズ(約216×280mm)
連量	55~70kg(連量とは、用紙788×1091mmのサイズ of 用紙1000枚あたりの重さを示します。)
表面電気抵抗	$1 \times 10^9 \sim 1 \times 10^{12} \Omega$

### ■ はがき

官製はがきと同等の寸法、連量のものを使用してください。

寸法	148×100mm
連量	135kg相当

### ■ OHPフィルム

寸法	A4判(210×297mm)
厚さ	0.1mm±0.025mm(100μm±25μm)

乾式PPC用、両面処理されているものを使用してください。

### ■ ラベル紙

寸法	A4判(210×297mm)、B4判(257×364mm)
----	-------------------------------

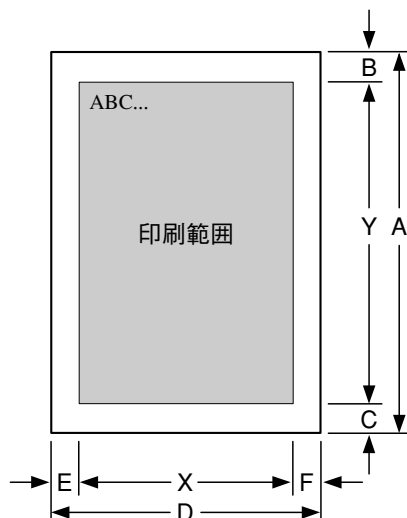
乾式PPC用、台紙全体がラベルで覆われたものを使用してください。

# 印刷範囲

## 定形用紙

次に示す印刷範囲はNPDLで使用している場合のものです。ESC/Pエミュレーションを使用しているときは異なります。

### ● ポートレート



記号	意味	単位	寸法							
			A3	A4	A5	B4	B5	レター	はがき	
A	用紙の長さ	mm	420	297	210	364	257	280	148	
B*1	用紙の上端から印刷範囲までの距離 (上端印刷不可領域)	mm	5	5	5	5	5	5	5	
C	用紙の下端から印刷範囲までの距離 (下端印刷不可領域)	mm	6	5	4	6	6	6	3	
D	用紙の幅	mm	297	210	148	257	182	216	100	
E*2	用紙の左端から印刷範囲までの距離 (左端印刷不可領域)	mm	5	8	8	8	8	8	8	
F	用紙の右端から印刷範囲までの距離 (右端印刷不可領域)	mm	5	4	4	8	4	5	6	
X	横方向の印刷範囲		ドット	2712	1872	1284	2280	1608	1920	816
	印刷可能文字数	パイカ	文字	113	78	53	95	67	80	34
		エリート		135	93	64	114	80	96	40
		コンデンス		193	133	91	162	114	137	58
		7ポイント*3		113	78	53	95	67	80	34
		10.5ポイント*4		75	52	35	63	44	53	22
12ポイント	67	46	32	57	40	48	20			
Y	縦方向の印刷範囲		ドット	3864	2712	1896	3336	2328	2544	1320
	印刷可能行数	6LPI	行	96	67	47	83	58	63	33
		8LPI		128	90	63	111	77	84	44

\*1 位置精度は±2mmです。

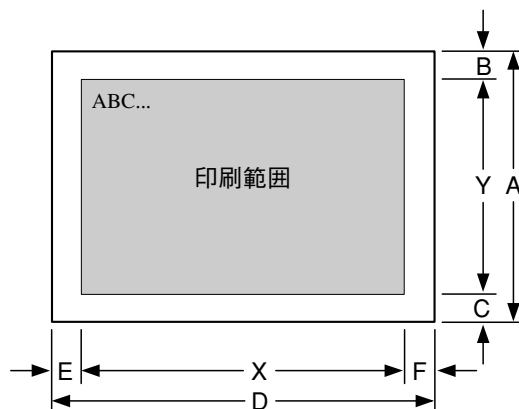
\*2 位置精度は±2.5mmです。

\*3 7ポイントは正確には7.2ポイントです。

\*4 10.5ポイントは正確には10.8ポイントです。



● ランドスケープ

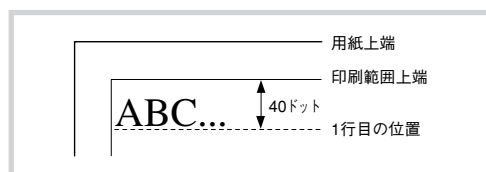


記号	意味	単位	寸法							
			A3	A4	A5	B4	B5	レター	はがき	
A	用紙の長さ	mm	297	210	148	257	182	216	100	
B*1	用紙の上端から印刷範囲までの距離 (上端印刷不可領域)	mm	5	4	4	8	4	5	6	
C	用紙の下端から印刷範囲までの距離 (下端印刷不可領域)	mm	5	8	8	8	8	8	8	
D	用紙の幅	mm	420	297	210	364	257	280	148	
E*2	用紙の左端から印刷範囲までの距離 (左端印刷不可領域)	mm	5	5	5	5	5	5	5	
F	用紙の右端から印刷範囲までの距離 (右端印刷不可領域)	mm	6	5	4	14	6	6	6	
X	横方向の印刷範囲		ドット	3864	2712	1896	3264	2328	2544	1296
	印刷可能文字数	パイカ	文字	161	113	79	136	97	106	54
		エリート		193	135	94	163	116	127	64
		コンデンス		276	193	135	233	166	181	92
		7ポイント*3		161	113	79	136	97	106	54
		10.5ポイント*4		107	75	52	90	64	70	36
12ポイント	96	67	47	81	58	63	32			
Y	縦方向の印刷範囲		ドット	2712	1872	1284	2280	1608	1920	816
	印刷可能行数	行	6LPI	67	46	32	57	40	48	20
			8LPI	90	62	42	76	53	64	27

- \*1 位置精度は±2mmです。
- \*2 位置精度は±2.5mmです。
- \*3 7ポイントは正確には7.2ポイントです。
- \*4 10.5ポイントは正確には10.8ポイントです。

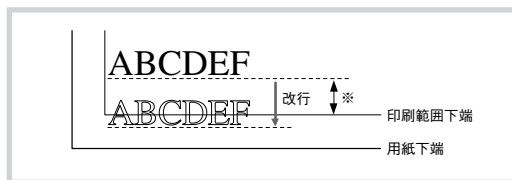
補足説明

- 余白量(印刷不可領域)は、使用する用紙の寸法差、プリンタ個々の用紙走行の精度などの条件により前後する場合があります。
- 印刷範囲(印刷可能ドット数)は、すべて240DPIで規定されています。400DPIでの印刷可能ドット数は240DPIのドット数を5/3倍にした値になります。
- 行桁モードでは、1行目の位置は240DPI相当で印刷範囲の上から40ドット目(約4.2mm)となります。したがって、40ドットより小さい文字を印刷した場合、上端の余白は上記値よりも大きくなります。



- ◇ 1行目の第一印刷位置に文字を印刷したときは、全点アドレス印刷モードで座標値として(0, 39) (240DPI)を指定したのと同じ位置に印刷されます。
- ◇ 文字が小さい場合などでは見かけ上の余白が大きくなります。

- 行桁モードでは、ページの下端付近での改行の結果、次の印刷位置が上記印刷範囲をはみ出してしまう場合には改ページされます。このため改行ピッチの設定によっては印刷範囲下端付近には印刷できない場合があります、その場合の下端余白は上記値よりも大きくなります。



- ◇ 最終行が下にはみ出してしまうので、実際には改ページ後に印刷されます。その結果、※の部分には印刷できなくなるので見かけ上の余白が大きくなります。
- 印刷可能桁数、行数は、上記印刷範囲のドット数を文字ピッチあるいは行ピッチで割ることによって算出したものです。  
計算に用いる値は次のとおりです。

種 別			ドット数
文字数	1バイト系	パイカ	24ドット
		エリート	20ドット
		コンデンス	14ドット
	2バイト系	7ボ (1/10インチ)	24ドット
		10.5ボ (3/20インチ)	36ドット
12ボ (1/6インチ)		40ドット	
行数	6LPI (1/6インチ)	40ドット	
	8LPI (1/8インチ)	30ドット	

- ◇ 値はすべて240DPIでのドット数です。文字数、行数とも、計算はすべて240DPIで行います。
- ◇ 2バイト系文字については、カッコ内に示した文字ピッチを使用している場合のドット数を示しています。文字ピッチを変えることにより、印刷可能桁数も変わります。
- ◇ 1バイト系、2バイト系文字とも、文字間にスペースを挿入することが可能ですが、この場合も印刷可能桁数は減少します。

## 定形外用紙

定形外用紙とは、本プリンタでサポートしている定形用紙(A3、A4、A5、B4、B5、レター、はがき)以外の大きさの用紙のことです。この場合の印刷範囲と印刷位置は、使用する用紙の大きさ、プリンタ設定に応じてアプリケーションプログラムから正しく制御する必要があります。

### プリンタの設定について

定形外用紙に印刷する場合であっても、プリンタは定形用紙を想定し、それに従った印刷位置、印刷範囲の制御を行います。このため、手差しまたはマルチシートフィーダ(オプション)使用時には操作パネルの手差しスイッチによって用紙サイズを設定する必要があります。

---

定形外用紙はホッパからは給紙できません。

---

### 余白について

印刷結果が実際に使用する用紙をはみ出すことのないように注意してください。はみ出した印刷を続けると、思わぬトラブルの原因となります。  
また、印刷品質を保つため、実際に使用する用紙に対して上下左右とも5mm以上の余白ができるように、印刷位置と印刷範囲を設定してください。

## 印刷位置について

次に様々なケースでの印刷位置、印刷範囲の考え方を説明します。これらの説明は主に行桁モードによる制御を前提にしていますが、それ以外の方法でも同様の考え方による制御を行ってください。

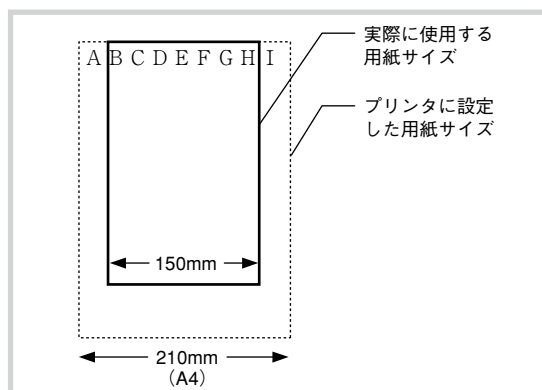
### ■ ポートレートの桁方向(プリンタに設定した用紙サイズの方が大きいとき)

例えば、プリンタの設定をA4にしているときに、幅が150mmの用紙に印刷する場合、プリンタはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、左右の端の部分の印刷が用紙からはみ出してしまいます。

このような場合には、各行の先頭に適当な量のスペースを取ることで、用紙上の正しい位置に印刷するようにしてください。必要なスペース量は次のように算出してください。

$$\text{必要なスペース} = \frac{A-B}{2}$$

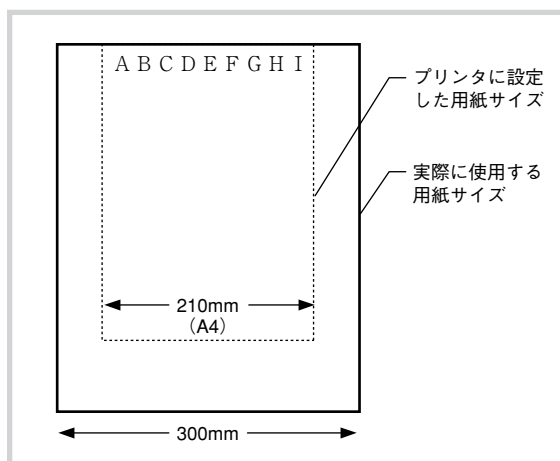
A: プリンタに設定されている用紙の幅  
B: 実際に使用する用紙の幅



### ■ ポートレートの桁方向(実際に使用する用紙サイズの方が大きいとき)

例えば、プリンタの設定をA4にしているときに幅が300mmの用紙に印刷する場合、プリンタはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、用紙の左右には印刷できない部分が発生します。

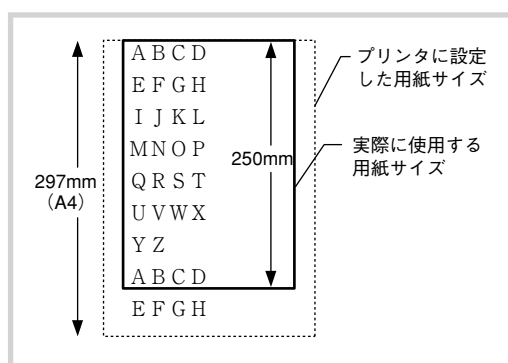
このような使用方法には問題はありません。ただし、用紙の左右の部分にも印刷したい場合には、プリンタに設定する用紙サイズをB4など、もっと大きいものに変更してください。



### ■ ポートレートの行方向(プリンタに設定した用紙サイズの方が大きいとき)

例えば、プリンタの設定をA4にしているときに長さが250mmの用紙に印刷する場合、プリンタはA4の用紙の長さを超えるような改ページ命令については自動的に改ページをしますが、使用する用紙が短いために下端付近のデータは用紙をはみ出してしまいます。

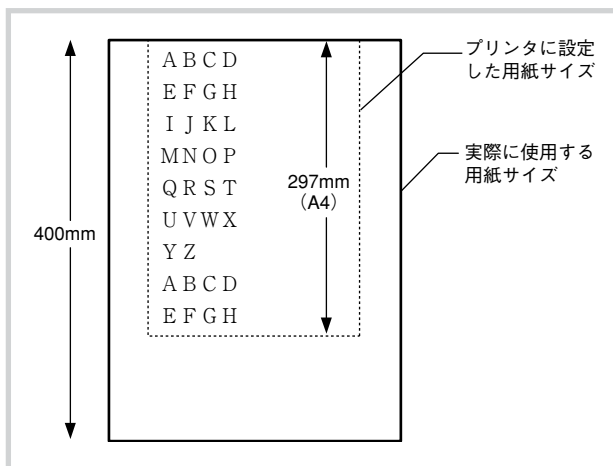
このような場合には、1ページ当りに印刷可能な行数を制限し、はみ出すことのないようにしてください。



■ ポートレートの行方向(実際に使用する用紙サイズの方が大きいとき)

例えば、プリンタの設定をA4にしているときに、長さが400mmの用紙に印刷する場合、プリンタはA4の用紙を超えるようなデータは印刷しません。その結果、用紙の下端には印刷できない部分が発生します。

このような使用方法には問題はありません。ただし、用紙の下端部分にも印刷したい場合は、プリンタに設定する用紙サイズをB4など、もっと大きいものに変更してください。



■ ランドスケープの桁方向(プリンタに設定した用紙サイズの方が大きいとき)

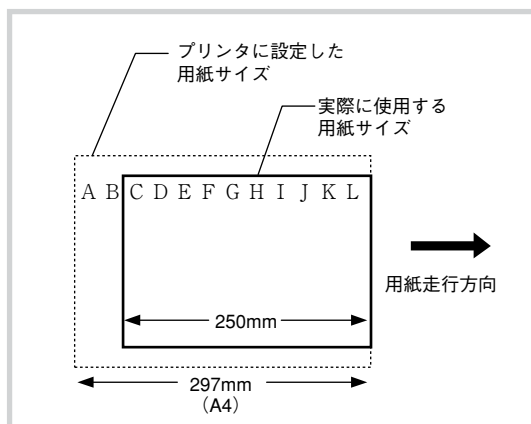
例えば、プリンタの設定をA4にしているときに、長さが250mmの用紙に印刷する場合、プリンタはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、左端(行の先頭)の部分の印刷が用紙からはみ出してしまう。

この場合には、各行の先頭に適当な量のスペースをとることにより、用紙上の正しい位置に印刷するようにしてください。必要なスペース量は次のように算出してください。

必要なスペース = A - B

A: プリンタに設定されている用紙の幅

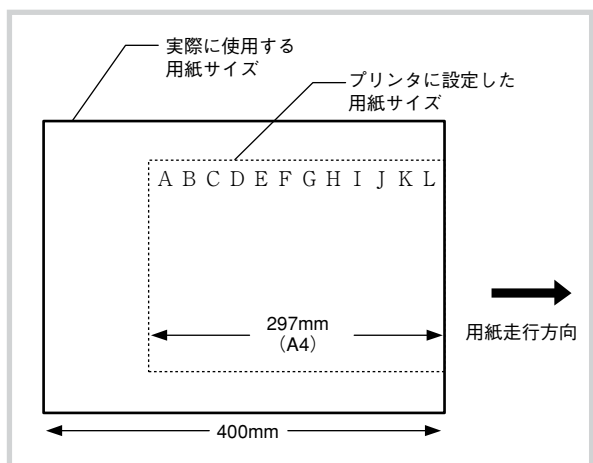
B: 実際に使用する用紙の幅



■ ランドスケープの桁方向(実際に使用する用紙サイズの方が大きいとき)

例えば、プリンタの設定をA4にしているときに、長さが400mmの用紙に印刷する場合、プリンタはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、用紙の左端には印刷できない部分が発生します。

このような使用方法には問題はありません。ただし、用紙の左端の部分にも印刷したい場合は、プリンタに設定する用紙サイズをB4など、もっと大きいものに変更してください。



■ ランドスケープの行方向(プリンタに設定した用紙サイズの方が大きいとき)

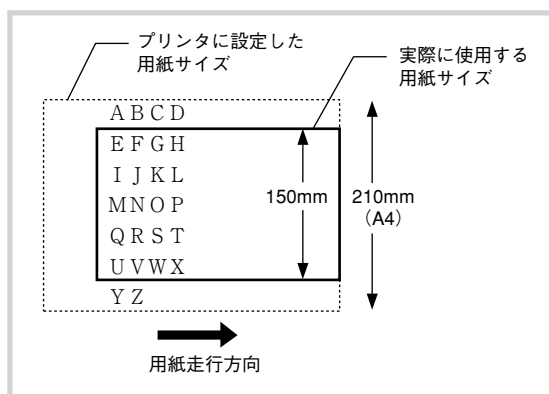
例えば、プリンタの設定をA4にしているときに、幅が150mmの用紙に印刷する場合、プリンタはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、ページの上下の部分の印刷が用紙からはみ出してしまいます。

この場合には各ページの先頭に適当量の余白(改行)をとることにより、用紙上の正しい位置に印刷するようにしてください。必要な余白の量は次のように算出してください。

$$\text{必要なスペース} = \frac{C-D}{2}$$

C: プリンタに設定されている用紙の幅  
D: 実際に使用する用紙の幅

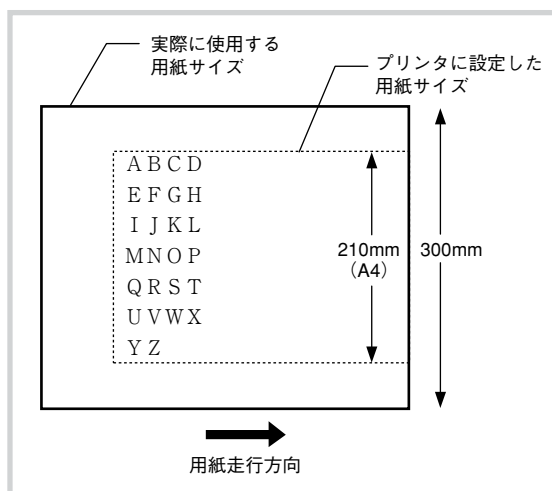
また、1ページ当たりに印刷可能な行数を制限し、はみ出すことのないようにしてください。



■ ランドスケープの行方向(実際に使用する用紙サイズの方が大きいとき)

例えば、プリンタの設定をA4にしているときに、幅が300mmの用紙に印刷する場合、プリンタはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、用紙の上下には印刷できない部分が発生します。

このような使用方法には問題はありません。ただし、用紙上下の部分にも印刷したい場合には、プリンタに設定する用紙サイズをB4など、もっと大きいものに変更してください。



## 80桁モード

本プリンタの印刷可能桁数は78桁(A4用紙、パイカモード時)です。したがって80桁のシリアルプリンタでバッファフル印刷を利用して改行を行うソフトウェアを本プリンタで使用した場合、印刷位置が異なることとなります。

このため、本プリンタではバッファフルまでの印刷桁数を印刷範囲に広げることで、80桁にすることができます(A4ポートレートの場合のみ可能です)。設定は「A4ポートレートケタスウ」メニュー(76、86ページ参照)またはメモリスイッチ2-7で行います(111ページ参照)。

# 付録C NPDLの初期状態

## 内部設定

次の条件で、プリンタの内部状態は初期状態になります。それぞれの条件下における初期状態については、次の表をご覧ください。

- 電源をONにしたとき
- 操作パネル上でリセットを実行したとき  
→ 未印刷データをすべて消します。
- ソフトウェアリセット(ESC c1)を実行したとき  
→ 印刷フォーマット、ホッパ指定は初期状態になりません。未印刷データは印刷されます。
- INPUT・PRIME信号を受信したとき  
→ VFU印刷フォーマット、ホッパ指定、およびセレクト/ディセレクトは初期状態になりません。未印刷データは印刷されます。
- パラメータリセット(ESC c8)を実行したとき  
→ VFU、印刷フォーマット、ホッパ指定、セレクト/ディセレクト、動作モード、網かけ登録、1バイト文字登録などの登録内容は初期状態になりません。未印刷データは印刷されます。

内部状態		イニシャライズ（初期化）の種類			
		電源ON	操作パネルリセット	ESC c1	INPUT・PRIME
現在位置		第1行第1桁			
レフトマージン幅		000			
ライトマージン幅		A3: 113 A4: 078 (80桁モード時 080) A5: 053 B4: 095 B5: 067 レター: 080 はがき: 034			
水平タブセット		クリア			
VFU	FF長	A3: 96行 A4: 67行 A5: 47行 B4: 81行 B5: 58行 レター: 63行 はがき: 33行			変化せず
	ボトム領域	なし			変化せず
	VTセット (CH2)	A3: 第7, 13, 19, 25, 37, 43, 49, 55, 61, 67, 73, 79, 85, 91行目 A4: 第7, 13, 19, 25, 31, 37, 43, 49, 55, 61, 67行目 A5: 第7, 13, 19, 25, 31, 37, 43行目 B4: 第7, 13, 19, 25, 37, 43, 49, 55, 61, 67, 73, 79行目 B5: 第7, 13, 19, 25, 31, 37, 43, 49, 55行目 レター: 第7, 13, 19, 25, 31, 37, 43, 49, 55, 61行目 はがき: 第7, 13, 19, 25, 31行目			変化せず
	VTセット (CH3~CH6)	クリア			変化せず
改行方向		順方向改行			
改行幅		1/6インチ			
セレクト/ディセレクト状態		セレクト状態			変化せず
受信バッファ		クリア		クリアせず	
ページバッファ		クリア		クリアせず	
未印刷データ		—	クリア	印刷実行	
動作モード		メニュー設定に従う (エミュレーション/ページプリンタ)			
印刷方式		バイカモード			
コード表のシフト状態		カタカナ状態 (8ビットコード)			
1バイト文字フォント		メニュー設定に従う (標準/イタリアック/クーリエ/ゴシック)			
漢字書体		メニュー設定に従う (内蔵明朝/内蔵ゴシック)			
漢字	文字サイズ	10.5ポイント			
	文字幅	3/20インチ			
半角	縦書き	解除			
	組文字	解除			
スクリプト文字		解除			
倍率指定		縦横とも解除			
修飾印刷		解除			

内部状態		イニシャライズ（初期化）の種類				
		電源ON	操作パネルリセット	ESC c1	INPUT・PRIME	ESC c8
アンダライン	指定	解除				
	線種	実線、一重線				
	線幅	2ドット				
網かけ	指定	解除				
	登録	クリア（未登録状態）				クリアせず
白黒反転		解除				
固定ドットスペース		左右とも0ドット				
縦方向文字位置オフセット		0ドット				
1バイト文字登録	パターン	ROMパターン				
	登録	クリア（未登録状態）				クリアせず
2バイト文字登録		クリア（未登録状態）				
ドット切り替え		メニュー設定に従う（ネイティブモード/コピーモード）				
印刷フォーマット	印刷方向	ポートレート		変化せず		
	縮小モード	解除		変化せず		
コピー枚数	コード (FSx)	1枚		メニュー設定に従う		
	操作パネル	1枚		変化せず		
座標指定単位		1/240インチ				
描画座標		(X, Y) = (0, 0)				
全点アドレス印刷モード		解除				
フォーム	登録	クリア				クリアせず
	参照	解除				変化せず
図形印刷モード		解除				
グラフ描画モード		絶対描画モード				
プリンタ単位		1/240インチ				
線分	線種	実線				
	線幅	1ドット幅				
	線長	P <sub>1</sub> P <sub>2</sub> の対角線距離の4%				
	線端タイプ	断ち切り型				
	接続タイプ	マイタ接続				
	選択パターン	黒べた				
	登録パターン	クリア				クリアせず
ペン	座標	(X, Y) = (0, 0)				
	上下位置	アップ状態				
塗り潰しモード		解除				
塗り潰し	選択パターン	パターン番号0				
	登録パターン	クリア（未登録状態）				クリアせず
スケーリングポイント	P <sub>1</sub>	(X, Y) = (0, 0)				
	P <sub>2</sub>	各用紙サイズ、印刷フォーマットでの最大印刷位置				
スケーリング		解除				
ウィンドウ領域		各用紙サイズでの最大				
座標系反転		解除				
座標系回転		0度				
論理描画		OR				
バス構築モード		解除				
バスデータ		廃棄				
ホッパ指定		メニュー設定に従う (ホッパ1/ホッパ2)		変化せず		
ホッパ/手差し給紙		ホッパ給紙			変化せず	
セントロ切り替え		準備（前後Ready）			以前の状態を継続	

# メニューモードの設定

設定項目	初期設定内容	備考
コピー枚数	1枚	
エミュレーションモード	201 PLエミュレーション	
A4ポートレート印刷桁数	78桁	
1バイトコード系の数字ゼロの字体	0	
2バイトコード系の数字ゼロの字体	0	
ANK文字（1バイト文字）のフォント	標準フォント	
漢字（2バイト文字）のフォント	明朝体	
カンジ1のフォント	ゴシック体	
カンジ2のフォント	ゴシック体	
2バイト系文字セット	JIS1978	
国別文字セット	日本	
ホッパの初期設定	ホッパ1	
印刷位置の設定方法	レフトマージン初期設定有効	
第1印刷位置（レフトマージン位置）	最左端印刷位置	レフトマージン初期設定有効時
用紙位置	左端合わせ	136桁モード有効時
用紙位置微調整方向	左	136桁モード有効時
用紙位置微調整量	0	136桁モード有効時
自動排出の有効/無効	無効	
節電機能を使用する/しない	使用する	
トナー節約の有効/無効	無効	
リレー給紙（ホッパ1）の有効/無効	無効	
リレー給紙（ホッパ2）の有効/無効	無効	
リレー給紙（ホッパ3）の有効/無効	無効	
リレー給紙（ホッパ4）の有効/無効	無効	
印字位置微調整（ホッパ1）	トップマージン：0、レフトマージン：0	
印字位置微調整（ホッパ2）	トップマージン：0、レフトマージン：0	
印字位置微調整（ホッパ3）	トップマージン：0、レフトマージン：0	
印字位置微調整（ホッパ4）	トップマージン：0、レフトマージン：0	
印字位置微調整（手差し）	トップマージン：0、レフトマージン：0	
動作モード	NPDLモード	前面、背面のインタフェース共
メモリの割り当て	標準	



# メモリスイッチの設定

設定項目	初期設定内容	備考
エミュレーションモード	201 PLエミュレーション	
A4ポートレート印刷桁数	78桁	
1バイトコード系の数字ゼロの字体	0	
国別文字セット	日本	
第1印刷位置（レフトマージン位置）	最左端印刷位置	レフトマージン初期設定有効時
用紙位置	左端合わせ	136桁モード有効時
用紙位置微調整方向	左	136桁モード有効時
用紙位置微調整量	0	136桁モード有効時
節電機能を使用する／しない	使用する	
DC1、DC3の有効／無効	有効	
自動復帰改行	有り	
印刷指令コード	CRコードのみ	
CRの機能	復帰のみ	
グラフィック（ドット列印刷）モード	ネイティブモード	
7ビット／8ビットデータ	8ビット	
136桁モードの有効／無効	無効	
ブザー機能の有効／無効	有効	
B4→A4縮小の縮小率	4/5縮小	
ESC c1での登録データを初期化する／しない	初期化する	
FFコードのみで白紙を出力する／しない	出力する	
書式回転時の回転方向	反時計回り	
同期コードの有効／無効の切り替え	無効	
SETを使用する	使用する	
FS fコマンドで指定サイズ無しを表示する／しない	表示する	
FS fコマンドでの自動縮小をする／しない	自動縮小する	
データストローブのデータラッチタイミング	前縁ラッチ	前面および背面
アクノリッジの幅	1μs	前面および背面

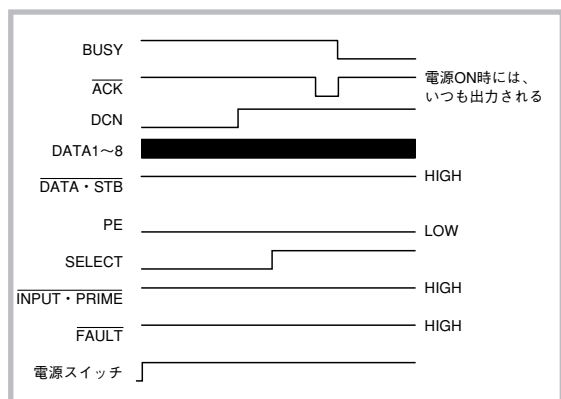
# 付録D インタフェース

## インタフェース信号の機能

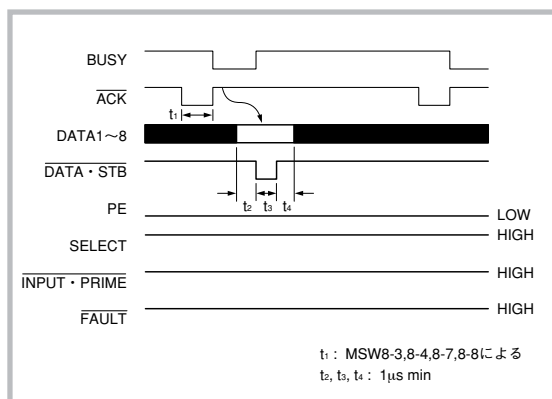
ピン番号	信号名	略称	プリンタ ← コンピュータ	機能
1	データストロブ	DATA・STB	←	<p>DATA 1～8を読み込むための同期信号である。定常状態はHIGHであり、HIGHからLOWになったときBUSYがHIGHになり、次にLOWからHIGHになるまでにDATA 1～8を読み込む。パルス幅は最小1μsとする。</p>
2	データ1	DATA 1	←	<p>各信号は、データの1ビット目から8ビット目の情報を受信する入力信号である。論理1はHIGHである。DATA 1が最下位桁(LSB)、DATA 8が最上位桁(MSB)である。上図に示すDATA・STBの前後1μsの範囲でDATA 1～8は確定していること。</p>
3	データ2	DATA 2	←	
4	データ3	DATA 3	←	
5	データ4	DATA 4	←	
6	データ5	DATA 5	←	
7	データ6	DATA 6	←	
8	データ7	DATA 7	←	
9	データ8	DATA 8	←	
10	アクノリッジ	ACK	→	<p>受信したデータをプリンタ内へ取り込み完了したことを示す信号で、DATA・STB受信に対する応答である。ただし、電源ON時、無条件に一度出力する。定常状態はHIGHであり、約1μsLOWとなるパルスを出力する。</p>
11	ビジー	BUSY	→	<p>プリンタがデータ受信不可能(BUSY中)状態であることを知らせる信号である。LOWの場合、データ入力が可能である。次の条件を満たすものが1つでもあればHIGHになる。それ以外ではLOWである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● SELECT信号がLOWのとき。</li> <li>● FAULT信号がLOWのとき。</li> <li>● INPUT・PRIME信号がLOWになったときから所定時間経過し、かつINPUT・PRIME信号がHIGHになるまでの間。</li> <li>● データを受信してから、プリンタ内へ取り込み完了するまでの間。</li> </ul> <p>[補足] 本プリンタは印刷処理用のバッファのほかに、受信用のバッファを持ち、データを受信するとまず受信バッファに書き込まれる。このため、データの処理が完了しないうちに次のデータを受信することができ、プリンタの動作状態とBUSY信号の状態は同期しない。また、受信用バッファが満杯になったときはBUSY信号はHIGHを保持し、印刷動作実行などにより余裕が生じたらLOWとなって次の受信を行う。</p>
12	ペーパエンド	PE	→	用紙がなくなったときHIGHになる。
13	セレクト	SELECT	→	<p>プリンタがセレクト中(HIGH)かディセレクト中(LOW)かを示す。セレクト中はデータの受信が可能である。</p> <p>[セレクトになる条件]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源ONしたとき</li> <li>● ディセレクト状態で印刷可スイッチが押されたとき。</li> <li>● メモリスイッチ1-5がOFFで、ディセレクト状態でDC1コードを受信したとき。</li> </ul> <p>[ディセレクトになる条件]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● セレクト状態で印刷可スイッチが押されたとき。</li> <li>● メモリスイッチ1-5がOFFで、DC3コードを受信したとき。</li> <li>● PE=1のとき。</li> <li>● FAULT=0のとき。</li> </ul>
14	オートフィード	Autofeed	←	IEEE1284準拠モードの場合、逆方向通信のとき使用する。
15	—	—	—	将来の拡張用
16	シグナルグランド	SG	—	信号用グランド
17	フレームグランド	FG	—	フレームグランド
18	デバイスコネク	DCN	→	プリンタの電源がONになっていることを表す。
19~30	TWISTED PAIR GND	—	—	(信号グランドに接続されている。)
31	インプットプライム	INPUT・PRIME	←	<p>この信号がLOWになるとプリンタは初期状態になる。パルス幅は15μs以上必要。SELECT信号がHIGH、LOWどちらであってもINPUT・PRIMEは有効。INPUT・PRIME信号による初期状態は電源ON時とほぼ同じ状態となる。</p>
32	フォルト	FAULT	→	<p>次のいずれかの条件が発生したときLOWになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● SELECT=0のとき。</li> <li>● プリンタがエラーのとき。</li> </ul>
33	シグナルグランド	SG	—	信号用グランド
34~35	—	—	—	将来の拡張用
36	セレクトイン	SELECT・IN	←	IEEE1284準拠モードにする信号

# タイムチャート

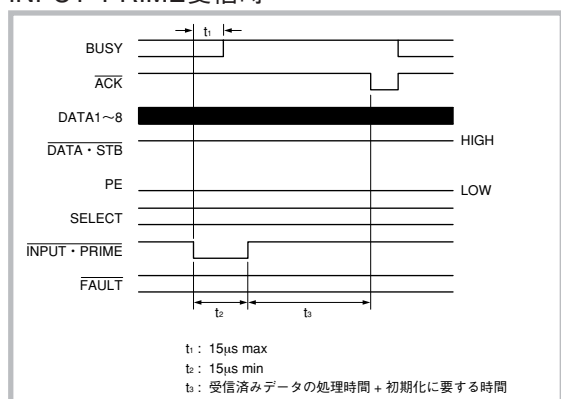
## 電源ON時



## データ受信時

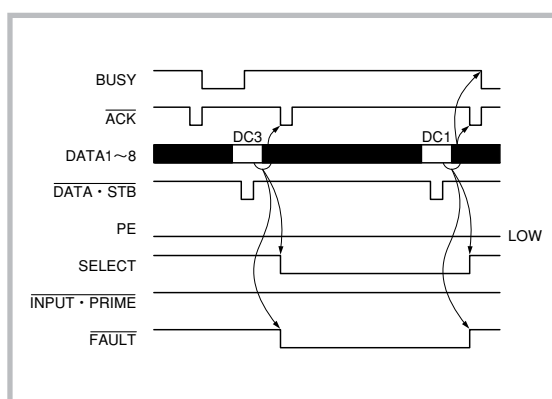


## INPUT·PRIME受信時



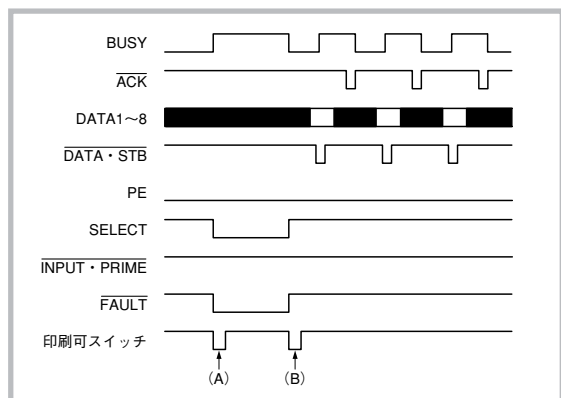
◇ 選択されていないインタフェースにINPUT·PRIME信号を入れた場合、INPUT·PRIME信号は無効となり、上記信号は反応しない。

## DC1、DC3によるセレクト、ディセレクトの切り替え



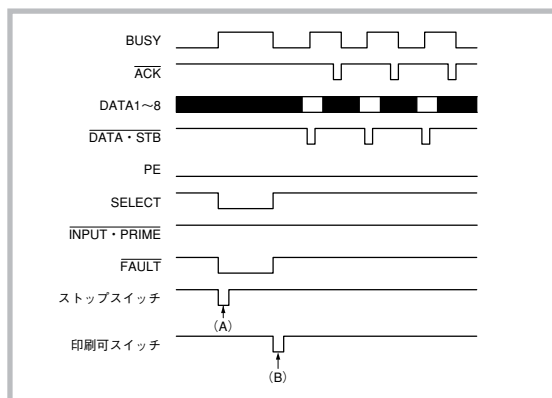
◇ DC1、DC3の処理は受信バッファから読み出された後に実行される。

## 操作パネルによるセレクト、ディセレクトの切り替え



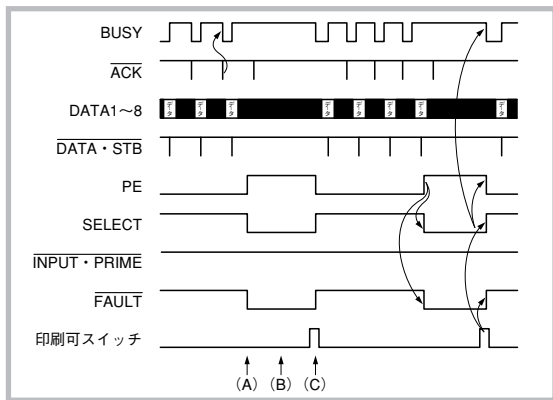
(A) セレクト状態で印刷可スイッチを押すと直ちにディセレクト状態になる。  
(B) ディセレクト状態で印刷可スイッチを押すとセレクト状態になる。

## ストップスイッチによる一時停止



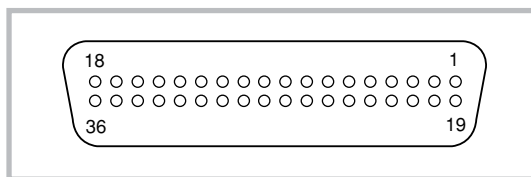
(A) セレクト状態でストップスイッチを押すと直ちにディセレクト状態になる。  
(B) ディセレクト状態で印刷可スイッチを押すとセレクト状態になる。

## 用紙なし発生時



- (A) 印刷データ受信後、用紙なしを検出すると直ちにディセレクト状態になる。
- (B) 用紙をセットしても状態は変化しない。
- (C) 印刷可スイッチを押すことによりセレクト状態となり、前の続きの処理を再開する。

## コネクタピン配置



\* 各ピンの信号については202ページの説明をご覧ください。  
これらのピンの端子はプリンタ内部で相互に接続されています。

## 電気的特性

### 入力回路

信号名	回路形式
DATA 1~8 (背面の インタフェース)	
DATA 1~8 (前面の インタフェース)	
$\overline{\text{DATA}}\cdot\text{STB}$ $\overline{\text{INPUT}}\cdot\text{PRIME}$	

### 出力回路

信号名	回路形式
$\overline{\text{ACK}}$ $\overline{\text{FAULT}}$ BUSY PE SELECT DCN	

# 付録E 制御コード一覧

以下の表において「E」と「P」は動作モードを表します。

E: 201PLエミュレーションモード

P: ページプリンタ(NPDL)モード

また、「○」と「×」はそれぞれの動作モードでその制御コードを使用できるか(○)使用できないか(×)を示します。制御コードの詳細については、別売の「日本語ページプリンタ言語NPDL(Level 2)リファレンスマニュアル」をご覧ください。

## テキストモード

コード区分	機能	制御コード	E	P
ページ制御コード	改ページ指令	FF	○	○
	未印刷データ排出	ESC a	○	○
	未印刷データ排出	ESC b	○	○
	印刷方向の設定およびホップバ選択	FS f c <sub>1</sub> c <sub>2</sub> c <sub>3</sub> .	○	○
	印刷方向の設定および用紙サイズ選択	FS f c <sub>1</sub> c <sub>2</sub> c <sub>3</sub> .	○	○
	印刷方向の設定および縮小/拡大モード設定	FS f c <sub>1</sub> c <sub>2</sub> c <sub>3</sub> c <sub>4</sub> c <sub>5</sub> .	○	○
	ページコピー枚数の設定	FS x	○	○
行桁関連制御コード				
■ 行桁制御印刷コード	ドットスペース(1~8ドットスペース)	ESC <n>	○	○
	ドットスペース(9~25ドットスペース)	ESC <n>	×	○
	固定ドットスペース	FS w	○	○
	2バイトコード文字の文字幅設定	FS p	○	○
	ドットアドレッシング	ESC F	○	○
	半角文字の組文字設定	ESC q	○	○
	縮小文字の組文字印刷指定	FS P	○	○
	縦方向オフセット量の設定	FS t	×	○
	VFUの設定開始	GS	○	○
	VFUの設定終了	RS	○	○
	簡易VFUの設定	ESC v	○	○
	垂直タブの実行	VT	○	○
	VFUの実行	US	○	○
	水平タブの設定	ESC (	○	○
	水平タブの実行	HT	○	○
	水平タブの部分クリア	ESC )	○	○
	水平タブの全クリア	ESC 2	○	○
	レフトマージンの設定	ESC L	○	○
	ライトマージンの設定	ESC /	○	○
	1/6インチ改行モードの設定	ESC A	○	○
	1/8インチ改行モードの設定	ESC B	○	○
	N/120インチ改行モードの設定	ESC T	○	○
	印刷位置の復帰	CR	○	○
	改行指令	LF	○	○
	改ページ指令	FF	○	○
	n行改行	US	○	○
	順方向改行モードの設定	ESC f	○	○
	逆方向改行モードの設定	ESC r	○	○
	ライン付加モードの設定	ESC X	○	○
	ライン付加モードの解除	ESC Y	○	○
	アンダライン/オーバーラインの指定	ESC _	○	○
	付加ライン線種の設定	FS 04 L	○	○
	網かけ・白黒反転モードの設定	FS n	○	○
	網かけ・白黒反転モードの解除	FS E	○	○
	網かけパターンの登録	FS r	×	○
■ ドット列印刷制御コード	8ビットドット列対応グラフィックモードの設定	ESC S	○	○
	16ビットドット列対応グラフィックモードの設定	ESC I	○	○
	24ビットドット列対応グラフィックモードの設定	ESC J	○	×
	8ビットドット列リピート	ESC V	○	×

テキストモード(続き)

コード区分	機能	制御コード	E	P
<p>■ドット列印刷制御コード(続き)</p> <p>■その他</p>	16ビットドット列リピート	ESC W	○	×
	24ビットドット列リピート	ESC U	○	×
	40ビットドット列印刷モードの設定	FS b	×	○
	コピーモードの設定	ESC D	○	○
	ネイティブモードの設定	ESC M	○	○
文字関連制御コード				
<p>■文字セット制御コード</p>	英数モードの設定(7ビットコード)	SI	○	×
	カタカナモードの設定(7ビットコード)	SO	○	×
	カタカナモードの設定(8ビットコード)	ESC \$	○	○
	英数モードの設定(7ビットコード)	ESC &	○	×
	ひらがなモードの設定(8ビットコード)	ESC &	○	○
	ひらがなモードの設定(7ビットコード)	ESC &	○	×
	CGグラフィックモードの設定(7ビットコード)	ESC #	○	×
	外字(24×24ドット)のロード	ESC +	○	×
	外字(16×16ドット)のロード	ESC *	○	×
	1バイトコード文字のダウンロード	ESC ℓ	○	×
	登録文字のクリア	ESC ℓ 0	○	×
	登録文字の印刷	ESC ℓ +	○	×
	プリンタ内蔵文字の印刷	ESC ℓ -	○	×
	1バイトコード文字の登録	FS g R	×	○
	2バイトコード文字の登録	FS g R2K	×	○
	1バイトコード登録文字の全クリア	FS g AC1.	×	○
	2バイトコード登録文字の全クリア	FS g AC2.	×	○
	<p>■文字スタイル制御コード</p>	1バイトコード内蔵文字印刷	FS g MI1.	×
1バイトコード登録文字印刷		FS g MR1.	×	○
1バイト文字フォントの選択		FS 06F1	○	○
2バイト文字書体の選択		FS 06F2	×	○
2バイト文字指定		ESC O	○	○
文字拡大モードの設定(8ビットコード)		SO	○	×
文字拡大モードの解除(8ビットコード)		SI	○	×
文字拡大モードの設定(7ビットコード)		DC2	○	×
文字拡大モードの解除(7ビットコード)		DC4	○	×
パイカモードの設定		ESC H	○	○
エリートモードの設定		ESC E	○	○
コンデンスモードの設定		ESC Q	○	○
プロポーションアルモードの設定		ESC P	○	○
漢字(横書き)モードの設定		ESC K	○	○
漢字(縦書き)モードの設定		ESC t	○	○
外字の印刷(横書き)		ESC K a <sub>1</sub> b <sub>1</sub>	○	○
外字の印刷(縦書き)		ESC t a <sub>1</sub> b <sub>1</sub>	○	○
半角文字の縦書きモード設定		ESC h1	○	○
半角文字の縦書きモード解除		ESC h0	○	○
スーパーSCRIPTモードの設定		ESC s1	○	○
サブSCRIPTモードの設定		ESC s2	○	○
SCRIPTモードの解除		ESC s0	○	○
文字サイズの設定		FS 04S	○	○
1バイト文字サイズの設定		FS 07S1	×	○
2バイト文字サイズの設定		FS 07S2	×	○
1バイト文字縦横サイズの設定		FS 12S1	×	○
2バイト文字縦横サイズの設定		FS 12S2	×	○
全角漢字の文字幅設定 (文字幅: 3/20インチ、文字サイズ: 10.5ポイント)		FS A	○	○
全角漢字の文字幅設定 (文字幅: 1/5インチ、文字サイズ: 10.5ポイント)		FS B	○	○
全角漢字の文字幅設定 (文字幅: 1/6インチ、文字サイズ: 10.5ポイント)		FS C	○	○
全角漢字の文字幅設定 (文字幅: 1/10インチ、文字サイズ: 7ポイント)		FS F	○	×
全角漢字の文字幅設定 (文字幅: 1/6インチ、文字サイズ: 12ポイント)		FS G	○	×
縦横拡大率の指定		ESC e	○	×
文字の拡大率、縮小率の指定		FS m	○	○
強調印刷モードの設定	ESC !	○	○	
強調印刷モードの解除	ESC "	○	○	
文字修飾の指定/解除	FS c	○	○	
文字明度の指定	FS \$	×	○	
■漢字コード表設定	漢字コード表の設定	FS 05 F	○	○

## テキストモード(続き)

コード区分	機能	制御コード	E	P
■その他	キャラクターリポート	ESC R	○	○
面制御コード	座標指定単位の設定 描画座標の指定 座標のコピー 罫線の描画 領域指定の網かけ 網かけパターンの登録 領域指定のイメージ印刷 全点アドレス印刷モードの設定 全点アドレス印刷モードの解除 フォーム登録の開始/参照 フォーム登録モードの解除	FS < FS e FS e FS ℓ FS s FS r FS i FS a FS R FS u FS U	× × × × × × × × × × ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
その他	セレクト状態の設定 ディセレクト状態の設定 201PLエミュレーションモードの設定 ページプリンタモードの設定 ソフトウェアリセット パラメータリセット 図形モードの設定 図形モードの解除 描画論理の指定 クリッピング領域の設定	DC1 DC3 FS d 160. FS d 240. ESC c1 ESC c8 FS Y FS Z FS " FS #	○ ○ ○ ○ ○ ○ × × × ×	× × ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

## 図形モード

図形モードに関する制御コードはすべてページプリンタモードの図形モード中で有効です。

コード区分	機能	制御コード	E	P
図形の座標系設定	スケーリングポイントの設定 座標系の設定 ウィンドウ領域の指定 回転角の設定 座標系の反転 プリンタ単位の設定	IP SC IW RO RC SU	× × × × × ×	○ ○ ○ ○ ○ ○
線に関する設定	線種の設定 線幅の設定 線端タイプの設定 線接続タイプの設定 線タイプの登録 線パターンの選択	LT LW LC LJ RL LP	× × × × × ×	○ ○ ○ ○ ○ ○
塗りつぶしに関する設定	塗りつぶしモードの設定 塗りつぶしモードの解除 塗りつぶしパターンの選択 塗りつぶしパターンの登録 グレイレベルパターンの設定 描画論理の設定	XX1 XX0 PP RP SG PM	× × × × × ×	○ ○ ○ ○ ○ ○
図形の描画	ペンを上げる ペンを下げる 直線の描画(絶対描画モード) 直線の描画(相対描画モード) ペンの移動(絶対描画モード) ペンの移動(相対描画モード) 自由曲線の移動(絶対描画モード) 自由曲線の移動(相対描画モード) 扇形の描画(絶対描画モード) 扇形の描画(相対描画モード) 円の描画 円弧の描画(絶対描画モード) 円弧の描画(相対描画モード) 円弧の描画(絶対座標) 円弧の描画(相対座標)	PU PD PA PR MA MR BA BR FA FR CI AA AR AX AY	× × × × × × × × × × × × × × ×	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

## 図形モード(続き)

コード区分	機能	制御コード	E	P	
図形の描画(続き)	円弧の描画	AT	×	○	
	楕円の描画	EL	×	○	
	楕円弧の描画	ED	×	○	
	楕円弧の描画(逆方向)	EN	×	○	
	枠無し四角形の塗りつぶし(絶対位置指定)	RA	×	○	
	枠無し四角形の塗りつぶし(相対位置指定)	RR	×	○	
	枠あり四角形の塗りつぶし(絶対位置指定)	EA	×	○	
	枠あり四角形の塗りつぶし(相対位置指定)	ER	×	○	
	枠無し扇形の塗りつぶし	WG	×	○	
	枠あり扇形の塗りつぶし	EW	×	○	
	閉領域の塗りつぶし	PI	×	○	
	パス構築モードの開始	NP	×	○	
	パスの閉鎖	CP	×	○	
	パス構築モードの終了	EP	×	○	
	ストロークの描画	ST	×	○	
	フィルの描画(非零則)	FL	×	○	
	フィルの描画(偶奇則)	EF	×	○	
	その他	イニシャライズ	IN	×	○
		初期設定	DF	×	○
		図形モード設定	FS Y	×	○
図形モード解除		FS Z	×	○	

## ESC/Pエミュレーションサポートコマンド

コマンド	機能	コマンド	機能
ESC C	行単位ページ長設定	ESC -	アンダーライン指定、解除
ESC C 0	インチ単位ページ長設定	SO	自動解除付き倍幅拡大指定
ESC N	ミシン目スキップ設定	DC 4	自動解除付き倍幅拡大解除
ESC O	ミシン目スキップ解除	ESC W	倍幅拡大指定、解除
ESC Q	右マージン設定	ESC E	強調指定
ESC l	左マージン設定	ESC F	強調解除
ESC 0	1/8インチ改行量設定	ESC G	二重印字指定
ESC 2	1/6インチ改行量設定	ESC H	二重印字解除
ESC 3	n/180インチ改行量設定	ESC !	一括指定
ESC +	n/360インチ改行量設定	ESC 4	イタリック指定
ESC B	垂直タブ位置設定	ESC 5	イタリック解除
ESC D	水平タブ位置設定	ESC q	文字スタイル選択
CR	キャリッジリターン	FS J	縦書き指定
LF	改行	FS K	横書き指定
FF	改ページ	FS D	半角縦書き 2文字指定
ESC J	n/180インチ順方向紙送り	FS W	4倍角指定、解除
HT	水平タブ	FS -	漢字アンダーライン指定、解除
VT	垂直タブ	FS !	漢字一括指定
ESC \$	絶対位置指定	FS &	漢字モード指定
ESC ¥	相対位置指定	FS .	漢字モード解除
ESC M	12 CPI指定	FS SI	半角文字指定
ESC P	10 CPI指定	FS DC2	半角文字指定解除
ESC g	15 CPI指定	FS r	1/4角文字指定
ESC p	プロポーション指定、解除	FS k	漢字書体選択
ESC R	国際文字選択	FS 2	外字定義
ESC S	スーパー、サブスクリプト指定	FS S	全角文字スペース量設定
ESC T	スーパー、サブスクリプト解除	FS T	半角文字スペース量設定
ESC k	書体選択	ESC *	ビットイメージ選択
ESC %	ダウンロード文字セット指定、解除	ESC *	ビットイメージリピート
ESC &	ダウンロード文字定義	ESC @	初期化
ESC :	文字セットコピー	ESC EM	カットシートフィード制御
ESC SP	文字間スペース量設定	FS f c <sub>1</sub> c <sub>2</sub> c <sub>3</sub> .	印刷方向の設定およびホップバ選択
ESC w	縦倍拡大指定、解除	FS f c <sub>1</sub> c <sub>2</sub> c <sub>3</sub> .	印刷方向の設定および用紙サイズ選択
SI	縮小指定	FS f c <sub>1</sub> c <sub>2</sub> c <sub>3</sub> c <sub>4</sub> c <sub>5</sub> .	印刷方向の設定および縮小/拡大モード選択
DC2	縮小解除		



# 付録F 機能拡張制御コード

別売りの「日本語ページプリンタ言語NPDL(Level2)リファレンスマニュアル」に記載されていない機能を拡張した制御コードの一覧表を以下に示します。その後にそれぞれの機能を説明しています。

コード区分	機能	制御コード	E	P
■ 漢字コード表設定	漢字コード表の設定	FS 05 F2	○	○
■ 文字スタイル制御コード	1バイト文字サイズの設定	FS 07 S1	×	○
	2バイト文字サイズの設定	FS 07 S2	×	○
	1バイト文字縦横サイズの設定	FS 12 S1	×	○
	2バイト文字縦横サイズの設定	FS 12 S2	×	○
	文字明度の指定	FS \$	×	○
■ ページ制御コード	印刷方向の設定および縮小/拡大モード設定	FS f c <sub>1</sub> c <sub>2</sub> c <sub>3</sub> c <sub>4</sub> c <sub>5</sub> .	○	○
■ 面制御コード	フォーム登録の開始/参照	FS u	○	○
■ 図形の描画	自由曲線の描画(絶対座標モード)	BA	×	○
	自由曲線の描画(相対座標モード)	BR	×	○
	楕円、楕円弧の描画	EL, ED, EN	×	○
■ 行桁制御印刷コード	2バイトコード文字の文字幅設定	FS p	○	○
■ 塗りつぶしに関する設定	グレイレベルパターンの設定	SG	×	○
■ バーコードの印刷	バーコードの印刷	FS 'p <sub>1</sub> ,p <sub>2</sub> ,p <sub>3</sub> ,p <sub>4</sub> ,p <sub>5</sub> ,p <sub>6</sub> ,p <sub>7</sub> ,d <sub>1</sub> d <sub>2</sub> d <sub>3</sub> d <sub>4</sub> ...	×	○
■ 文字セット制御コード	OCR-Bフォントの指定	FS 06 F1 -004	×	○

E: 201PLエミュレーションモード

P: ページプリンタ(NPDL)モード

## 漢字コード表切り替えのための制御コード

本プリンタは、従来の1978年版のJIS漢字コード表に加えて、1983年版、1990年版の3つの漢字コード表に対応しています。これらをコンピュータから切り替えるために、以下の制御コードを使用します。

### 漢字コード表の設定

FS 05F

形式

FS 0 5 F 2 - c<sub>1</sub> c<sub>2</sub>

- c<sub>1</sub> c<sub>2</sub>で漢字コード表を設定します。

c <sub>1</sub> c <sub>2</sub>	漢字コード表
0 0	JIS 1978年版 (JIS C6226-1978)
0 1	JIS 1983年版 (JIS X0208-1983)
0 2	JIS 1990年版 (JIS X0208-1990)

- 本プリンタで印刷する文字は、基本的に上記JISに準拠していますが、デザイン処理等の都合により多少字形が異なるものがあります。
- コンピュータが対応していないコード表を選択した場合には、コンピュータのディスプレイと印刷結果の文字が異なる場合があります。

記述例

JIS 1983年版を選択するとき

```
LPRINT CHR$(&h1C);CHR$(&h30);CHR$(&h35);CHR$(&h46);
CHR$(&h32);CHR$(&h2D);CHR$(&h30);CHR$(&h31);
または
LPRINT CHR$(28);"05F2-01";
```

# 文字スタイル制御コード

## 1バイト文字サイズの設定

FS 07S1

1バイト文字のサイズを0.1ポイント単位で設定します。

形式

FS 0 7 S 1 - c<sub>1</sub> c<sub>2</sub> c<sub>3</sub> c<sub>4</sub>

- c<sub>1</sub> c<sub>2</sub> c<sub>3</sub> c<sub>4</sub>で文字サイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- c<sub>1</sub> c<sub>2</sub> c<sub>3</sub> c<sub>4</sub>の有効範囲は0001～9999です。

記述例

文字サイズを20ポイントに設定するとき

```
LPRINT CHR$(&h1C);CHR$(&h30);CHR$(&h37);CHR$(&h53);CHR$(&h31);  
CHR$(&h2D);CHR$(&h30);CHR$(&h32);CHR$(&h30);CHR$(&h30);  
または  
LPRINT CHR$(28);"07S1-0200";
```

## 2バイト文字サイズの設定

FS 07S2

2バイト文字のサイズを0.1ポイント単位で設定します。

形式

FS 0 7 S 2 - c<sub>1</sub> c<sub>2</sub> c<sub>3</sub> c<sub>4</sub>

- c<sub>1</sub> c<sub>2</sub> c<sub>3</sub> c<sub>4</sub>で文字Xサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- c<sub>1</sub> c<sub>2</sub> c<sub>3</sub> c<sub>4</sub>の有効範囲は0001～9999です。

記述例

文字サイズを20ポイントに設定するとき

```
LPRINT CHR$(&h1C);CHR$(&h30);CHR$(&h37);CHR$(&h53);CHR$(&h32);  
CHR$(&h2D);CHR$(&h30);CHR$(&h32);CHR$(&h30);CHR$(&h30);  
または  
LPRINT CHR$(28);"07S2-0200";
```

1バイト文字のサイズを縦横別々に0.1ポイント単位で設定します。

## 形式

FS 1 2 S 1 - c<sub>1</sub> c<sub>2</sub> c<sub>3</sub> c<sub>4</sub> - c<sub>5</sub> c<sub>6</sub> c<sub>7</sub> c<sub>8</sub>

- c<sub>1</sub> c<sub>2</sub> c<sub>3</sub> c<sub>4</sub>で文字Xサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- c<sub>5</sub> c<sub>6</sub> c<sub>7</sub> c<sub>8</sub>で文字Yサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- 有効範囲はX、Yともに0001～9999。

## 記述例

縦20ポイント、横50ポイントを設定するとき

```
LPRINT CHR$(&h1C);CHR$(&h31);CHR$(&h32);CHR$(&h53);CHR$(&h31);
CHR$(&h2D);CHR$(&h30);CHR$(&h35);CHR$(&h30);CHR$(&h30);
CHR$(&h2D);CHR$(&h30);CHR$(&h32);CHR$(&h30);CHR$(&h30);
```

または

```
LPRINT CHR$(28);"12S1-0500-0200";
```

## 2バイト文字縦横サイズの設定

2バイト文字のサイズを縦横別々に0.1ポイント単位で設定します。

## 形式

FS 1 2 S 2 - c<sub>1</sub> c<sub>2</sub> c<sub>3</sub> c<sub>4</sub> - c<sub>5</sub> c<sub>6</sub> c<sub>7</sub> c<sub>8</sub>

- c<sub>1</sub> c<sub>2</sub> c<sub>3</sub> c<sub>4</sub>で文字Xサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- c<sub>5</sub> c<sub>6</sub> c<sub>7</sub> c<sub>8</sub>で文字Yサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- 有効範囲はX、Yともに0001～9999。

## 記述例

縦20ポイント、横50ポイントを設定するとき

```
LPRINT CHR$(&h1C);CHR$(&h31);CHR$(&h32);CHR$(&h53);CHR$(&h32);
CHR$(&h2D);CHR$(&h30);CHR$(&h35);CHR$(&h30);CHR$(&h30);
CHR$(&h2D);CHR$(&h30);CHR$(&h32);CHR$(&h30);CHR$(&h30);
```

または

```
LPRINT CHR$(28);"12S2-0500-0200";
```

テキストモードでの文字明度を指定します。

## 形式

FS \$ P1 .

- P1でテキストモードでの文字明度を指定します。
- P1の範囲は0～100が有効です。
- P1は0に近いほど黒くなり、100に近いほど白くなります。(P1=0で黒、P1=100で白)
- P1省略時およびP1が100より大きいときは、本コマンドは無効となります。

FS \$は形式、パターンの範囲ともに従来と同じですが、従来0～100のパラメータを白または黒のどちらかに解釈して印刷していたものが、本プリンタでは中間調に印刷できるようになりました。これにより従来よりも細かい明度表現が可能となります。

## 記述例

テキストモードでの文字明度を50に指定するとき

```
LPRINT CHR$(&h1C);CHR$(&h24);"50.";
または
LPRINT CHR$(28);"50.";
```

## ページ制御コード

プリンタの印刷方向および縮小／拡大モードの設定を行います。

## 形式

FS f c<sub>1</sub> c<sub>2</sub> c<sub>3</sub> c<sub>4</sub> c<sub>5</sub> .

- c<sub>1</sub>は印刷方向を設定します。

c <sub>1</sub>	印刷方向
P	ポートレート
L	ランドスケープ

- c<sub>2</sub>～c<sub>5</sub>は縮小／拡大モードを設定します。本コマンドは従来縮小機能のみでしたが、本プリンタでは拡大機能が追加されました。パラメータの設定方法に関しては次ページの表をご覧ください。

## 記述例

印刷方向をポートレートで、A4サイズの印刷データをA3用紙に拡大して印刷するとき

```
LPRINT CHR$(&h1C);CHR$(&h66);"PA4A3.";
または
LPRINT CHR$(28);"f";"PA4A3.";
```

## 拡大／縮小モードの設定

c <sub>2</sub>	c <sub>3</sub>	c <sub>4</sub>	c <sub>5</sub>	機 能
L	P	B	4	帳票→B4
L	P	A	4	帳票→A4
U	P	A	4	A4 x 2→A4
U	P	B	5	B5 x 2→B5
A	3	B	4	A3→B4
A	3	A	4	A3→A4
A	4	A	3	A4→A3
A	4	B	4	A4→B4
A	4	B	5	A4→B5
B	4	A	3	B4→A3
B	4	A	4	B4→A4
B	4	B	5	B4→B5
B	5	A	4	B5→A4
B	5	B	4	B5→B4

## 面制御コード

フォーム登録の開始／参照

FS u

フォームデータの登録開始および参照を指示します。

形 式

FS u c<sub>1</sub> , PI , c<sub>2</sub> .

- c<sub>1</sub>で登録か参照かを設定します。

c <sub>1</sub>	機 能
1	フォーム登録モードを設定(フォーム登録を開始)
2	フォーム参照モードを設定

- P<sub>1</sub>でフォーム番号を指定します。省略時は1となります。指定範囲は1～100です。
- c<sub>2</sub>はc<sub>1</sub>=1(フォーム登録モード)のときは必ず省略してください。c<sub>1</sub>=2(フォーム参照モード)のときは、c<sub>2</sub>でフォーム参照の継続の有無を設定します。

c <sub>2</sub>	機 能
省略	この制御コードが存在するページに対してフォームを描画(参照)します。現ページに対してのみ有効です。
S	この制御コードが存在するページ以降、解除が指定される間でのフォーム参照を継続します。
E	上記「S」で設定されたフォーム参照モードを解除します。

FSuは従来登録できるフォーム数が2面まででしたが、本プリンタでは100面までの登録が可能です。実際にはメモリの容量に依存しますが、オプションの増設RAMを装着することによってより多くのフォーム登録が可能となります。また従来フォームに登録できなかった図形モードデータ、領域指定網かけ、全点アドレス印刷データも登録可能になりました。

#### 記述例

フォーム番号2にフォーム登録を行うとき

```
LPRINT CHR$(&h1C);CHR$(&h75);CHR$(&h31);CHR$(&h2C);"2";CHR$(&h2E);  
または  
LPRINT CHR$(28);"u1,2.";
```

## 図形の描画コード

### 自由曲線の描画(絶対座標モード)

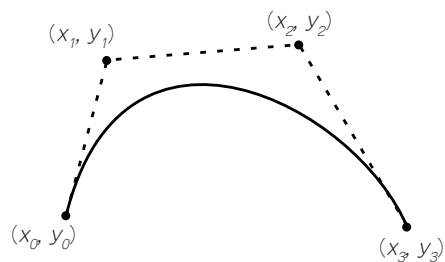
BA

曲線を絶対座標モードで描画します。

#### 形式

(B)(A)( $x_1$ )( $y_1$ )( $x_2$ )( $y_2$ )( $x_3$ )( $y_3$ ) . . . (  $x_n$  )(  $y_n$  ) ;

- 現在の座標を( $x_0$ ,  $y_0$ )として( $x_0$ ,  $y_0$ )、( $x_1$ ,  $y_1$ )、( $x_2$ ,  $y_2$ )、( $x_3$ ,  $y_3$ )の4点を制御点とする3次ベジエ曲線を描画します。



- 座標点を続けて記述することにより、複数の3次ベジエ曲線を続けて描画します。2つ目以降の曲線の最初の制御点は、その前の最後の制御点を用いられます。3つ目の座標に対して一つの曲線を描画するので、座標の数は必ず3の倍数にしてください。
- 本コマンドにより描画モードは絶対座標モードになります。
- 本コマンドは、バス構築モード中(コマンドNP指定後)でも有効です。
- 描画後、現在位置は最後に描画した曲線の終点に移動します。

#### 記述例

現在の座標位置から( $x_1$ ,  $y_1$ )、( $x_2$ ,  $y_2$ )、( $x_3$ ,  $y_3$ )を結ぶ曲線を描画するとき

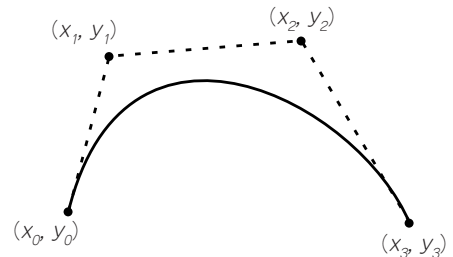
```
LPRINT CHR$(&h42);CHR$(&h41);"X1, Y1, X2, Y2, X3, Y3";  
または  
LPRINT CHR$(28);"BA X1, Y1, X2, Y2, X3, Y3";
```

曲線を相対座標モードで描画します。

形式

$(B) (R) (x_1) (,) (y_1) (,) (x_2) (,) (y_2) (,) (x_3) (,) (y_3) \dots (,) (x_n) (,) (y_n) (;)$

- 現在の座標を $(x_0, y_0)$ として $(x_0, y_0)$ 、 $(x_1, y_1)$ 、 $(x_2, y_2)$ 、 $(x_3, y_3)$ の4点を制御点とする3次ベジエ曲線を描画します。



- 座標点を続けて記述することにより、複数の3次ベジエ曲線を続けて描画します。2つ目以降の曲線の最初の制御点は、その前の最後の制御点が用いられます。3つ目の座標に対して一つの曲線を描画するので、座標の数は必ず3の倍数にしてください。
- 本コマンドにより描画モードは相対座標モードになります。
- 本コマンドは、パス構築モード中(コマンドNP指定後)でも有効です。
- 描画後、現在位置は最後に描画した曲線の終点に移動します。

記述例

現在の座標位置から $(x_1, y_1)$ 、 $(x_2, y_2)$ 、 $(x_3, y_3)$ を結ぶ曲線を描画するとき

```
LPRINT CHR$(&h42);CHR$(&h52);"X1, Y1, X2, Y2, X3, Y3;";
または
LPRINT CHR$(28);"BR X1, Y1, X2, Y2, X3, Y3";
```

## 楕円の描画

EL

現在の座標位置を中心に楕円を描画します。従来のELコマンドに加え、楕円の回転を可能にしています。これにより斜楕円の描画を行えます。

形式

$(E) (L) (r1) (,) (r2) (,) (\theta) (;)$

- $r1$ は楕円の長軸を、 $r2$ は楕円の短軸を示します。
- $\theta$ は楕円の回転角度を示します。 $\theta$ は省略した場合 $0^\circ$ とみなします。
- $\theta=360$ 以上を指定した場合、 $360$ の剰余とみなします。また $\theta$ は負の値も設定可能です。たとえば $-1^\circ$ は $359^\circ$ とみなします。
- 回転の方向は反時計回りです。
- $r1, r2$ は線幅の $1/2$ 以下でなければなりません。
- $r1, r2$ は下記の値以下でなければなりません。  
400dpiで印刷する場合：  $32767-400=32367$  (約2055mm)  
600dpiで印刷する場合：  $32767-600=32167$  (約1362mm)

## 記述例

長軸方向1000、短軸方向500の楕円を30°回転させて描画するとき

```
LPRINT CHR$(&h45);CHR$(&h4C);"1000, 500, 30:";
または
LPRINT CHR$(28);"EL1000, 500, 30:";
```

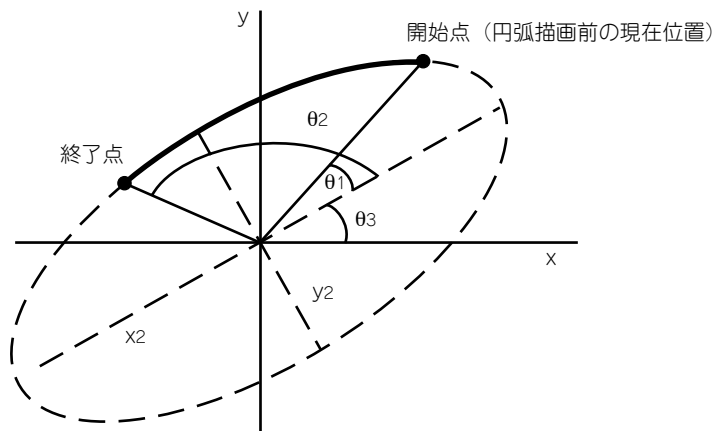
## 楕円弧の描画

ED, EN

楕円弧を描きます(直線がはじめに引かれる場合があります)。

## 形式

```
(E)(D)(x1)(,)(y1)(,)(x2)(,)(y2)(,)(θ1)(,)(θ2)(,)(θ3);
(E)(N)(x1)(,)(y1)(,)(x2)(,)(y2)(,)(θ1)(,)(θ2)(,)(θ3);
```



- $(x_1, y_1)$ は楕円の中心座標を示します。
- $x_2$ と $y_2$ はそれぞれx軸方向、y軸方向の長短軸の半径を示します。
- $\theta_1$ と $\theta_2$ はそれぞれ楕円弧の開始角度、終了角度を示します。0~359(度単位)が有効です。 $\theta_2$ が省略された場合、欠けていない楕円を描画します。 $\theta_1$ は省略できません。
- $\theta_3$ は楕円弧の回転角度を示します。 $\theta_3$ で示された角度だけ、楕円そのものと楕円の開始、終了角度が回転します。 $\theta_3$ が省略された場合、回転なしと解釈されます。
- 楕円の開始角度で示される開始点が現在位置と異なる場合、現在位置から楕円の開始位置まで直線が描画されます。欠けていない楕円の場合も同様です。
- 楕円描画後の現在位置は楕円弧の終了位置になります。
- EDコマンドの楕円弧の描画方向は、座標系コマンド(RC、RO)の設定に関わらず常に反時計回りになります。ENコマンドは常に時計回りに描画します。
- 指定角度が360を越えている場合は360で割った余りが使用されます。
- 指定角度に負の数を使用することができます。-1は359とみなします。

## 記述例

```
LPRINT "ED";"X1, Y1, X2, Y2, θ1, θ2, θ3:";
```

従来は楕円を回転(傾斜)させることができませんでしたが、EL、ED、ENの各コマンドに楕円の角度を指定するパラメータが追加され、任意の角度に回転させることができるようになりました。



# 行桁制御印刷コード

2バイトコード文字の文字幅(印刷ピッチ)を設定します。

形式

FS p 2 , p<sub>1</sub> , p<sub>2</sub> .

- p<sub>1</sub>/p<sub>2</sub>で文字幅を設定します。
- p<sub>1</sub>は文字幅の分子、p<sub>2</sub>は文字幅の分母を表します。
- p<sub>2</sub>を240に設定したとき、p<sub>1</sub>は1~240の値が有効となります。
- p<sub>2</sub>を240以外の値に設定するときは、以下の組み合わせのみが有効です。

p <sub>1</sub>	p <sub>2</sub>	文字幅
1	5	1/5インチ
1	6	1/6インチ
1	10	1/10インチ
2	15	2/5インチ
3	20	3/20インチ

従来このコマンドは表に示す組み合わせにのみが可能でしたが、本プリンタでは1/240~240/240の設定が可能になりました。これにより、より細かな文字幅の設定が行えます。

記述例

2バイトコード文字の文字幅を1/8インチ(30/240)に設定するとき

```
LPRINT CHR$(&h1C);CHR$(&h70);"2,30/240.";
```

または

```
LPRINT CHR$(28);"p";"2,30/240.";
```

# 塗りつぶしに関する設定

フィル描画 (FL, EL) や閉領域塗りつぶし描画 (PI) で使用する塗りつぶしパターンを明度で設定します。

形式 `S G n1 , n2 ;`

- n<sub>1</sub>, n<sub>2</sub> は明度を示します。

パラメータ	用途	明度
n <sub>1</sub>	面分描画で使用	0~100
n <sub>2</sub>	線分描画で使用	0~100

- n<sub>1</sub>, n<sub>2</sub> の設定範囲は0(黒ベタ)から100(白)までです。(初期値は0です)
- n<sub>1</sub>, n<sub>2</sub> とも省略すると本コマンド以前の内容が保存されます。
- 本コマンドでの設定は
  - ① 初期化動作(電源ON、リセット動作など)
  - ② イニシャライズコマンド(IN)実行
  - ③ 初期化を伴うコマンド(RC、SU、DF)の実行
  - ④ 塗りつぶしパターン選択(PP)の実行まで有効です。
- 塗りつぶしパターン選択コマンド(PP)が実行された場合、そのコマンドで指定されたパターンが選択されます。
- 線パターンとして黒ベタ以外を設定した場合、一般に線描画で閉領域が構成できないため閉領域塗りつぶし(PI)の使用は避けること。
- グレイの実現レベルはプリンタ機種ならびに解像度に依存します。
- スクリーン角度は45°です。
- パラメータを省略したとき、いずれか一方でもパラメータを設定範囲外に指定した時は本コマンドは無効です。
- パラメータ値とパターンの関係は以下のとおりです。パターン番号は小数点第1位を四捨五入した値です。

パターン番号 = パラメータ × 63/100

(例) パラメータで70を指定するとき

$$70 \times 63/100 = 44.1$$

選択されるパターンはパターン番号44となります。

SGは形式、パラメータの指定範囲ともに従来と同じですが、本プリンタでは64階調で表現しています。これにより従来よりも細かな明度表現が可能となります。

## 記述例

面分描画での明度を50、線分描画での明度を0(黒)に設定するとき

```
LPRINT CHR$(&h53);CHR$(&h47);"50,0";
```

または

```
LPRINT "SG 50,0";
```

# バーコード印刷

形式 (FS) ( ' ) ( p<sub>1</sub> ) ( , ) ( p<sub>2</sub> ) ( , ) ( p<sub>3</sub> ) ( , ) ( p<sub>4</sub> ) ( , ) ( p<sub>5</sub> ) ( , ) ( p<sub>6</sub> ) ( , ) ( p<sub>7</sub> ) ( , ) ( d<sub>1</sub> ) ( d<sub>2</sub> ) ( d<sub>3</sub> ) ( d<sub>4</sub> ) ...

- p<sub>1</sub>はバーコードの種類を設定します。

p <sub>1</sub>	バーコードの種類
1	NW-7のスタート/ストップキャラクタ設定
2	NW-7
3	JAN
4	CODE39
5	INDUSTRIAL 2 OF 5
6	INTERLEAVED 2 OF 5

p<sub>1</sub>の指定により、p<sub>2</sub>~p<sub>7</sub>、d<sub>1</sub>~の値は変化します。

- p<sub>2</sub>はバーコードに対するHRC(付加文字)の有無およびその位置を指定します。

p <sub>2</sub>	HRC
0	文字なし
1	文字を下につける
2	文字を上につける

- p<sub>3</sub>はバーコードのモジュール幅をドット単位で指定します。  
指定範囲：4 ≤ p<sub>3</sub> ≤ 10
- p<sub>4</sub>はバーコードのワード/ナローエレメント比を指定します。  
p<sub>4</sub>=30のみ有効
- p<sub>5</sub>はバーコード高さをドット単位で指定します。(1ドット=約0.064ミリ)  
10 ≤ p<sub>5</sub> ≤ 1665(なるべく150~300程度の値でご使用ください。)
- p<sub>6</sub>はデータキャラクタの長さをバイト単位で指定します。  
この値は、バーコードの種類ごとに下記のように制限されます。

p <sub>1</sub>	有効なp <sub>6</sub>
1	2
2	0~34
3	13または8
4	0~34
5	0~34
6	0~34(偶数のみ)

- p<sub>7</sub>はp<sub>3</sub>、p<sub>5</sub>の解像度を指定します。  
本装置では、p<sub>7</sub>=400(400dpi)
- d<sub>1</sub>、d<sub>2</sub>、d<sub>3</sub>、d<sub>4</sub>...はデータキャラクタまたはスタート/ストップキャラクタ(p<sub>1</sub>=1のとき)です。
- グレイの実現レベルはプリンタ機種ならびに解像度に依存します。

---

バーコードをご使用になる際には次のことにご注意ください。

- 読み取り装置によっては、本プリンタで印刷したバーコードをうまく読み取れない場合があります。ご使用になる読み取り装置でバーコードを読み取れることを確認してからご使用ください。
  - トナー切れなどにより印刷がかすれたりした場合には、読み取れないことがあります。
  - 用紙の拡大／縮小は行わないでください。読み取り装置でバーコードを読み取ることができません。
  - トナー節約機能は使用しないでください。読み取り装置でバーコードを読み取れないことがあります。
  - $p_2$ で指定されるHRCは疑似OCR-Bフォントで印刷されます。ただし、疑似OCR-Bフォントの最小ピッチは10CPIのため、HRCの幅の方がバーコードより広くなる場合があります。また、オートリターン有効時でも、印刷範囲から越えた場合にはデータを読み捨てます(オートリターンしません)。
  - バーコードの印刷を行う際には、次のコマンドは無効となります。
    - － 縦横拡大指定(FS m)
    - － 網かけ、反転(FS n)
    - － アンダーライン／オーバーライン(ESC X)
    - － 縦方向オフセット(FS t)
    - － 横罫線(FS :)
    - － 固定ドットスペース(FS w)
- 

## 補足

バーコードの種類によって、パラメータの意味が少しずつ異なります。

### ■ $p_1=1$ のとき(NW-7のスタート／ストップキャラクタを指定します。)

- バーコードの印刷ではなく、バーコードの種類NW-7の仕様に従い、NW-7で付加されるスタート／ストップキャラクタの設定を行います。
- スタート／ストップキャラクタとして指定可能な文字は次のとおりです。(初期状態は“a”)

abcdent \* ABCDEnt

また、 $p_2 \sim p_3$ および $p_7$ は省略されます。

記述例 スタートキャラクタを“a”、ストップキャラクタを“b”とするとき

```
LPRINT CHR$(&h1C);"1,,,,2,.ab";
```

### ■ $p_1=2$ のとき(NW-7)

- $p_3$ の値がナローバー、ナロースペースの幅に対応し、 $p_3 \times p_4 / 10$ の値がワイドバー、ワイドスペースの幅に対応します。
- $p_6=0$ のときは、スタート／ストップキャラクタのみ印字します。
- データキャラクタとして指定可能な文字は次のとおりです。  
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 - \$ . / : +
- データの最初と最後にあらかじめ設定されたスタート／ストップキャラクタを自動的に付加して印字します。

### ■ $p_1=3$ のとき(JAN)

- $p_3$ の値が1モジュールの幅に対応し、他の幅のバーおよびスペースはこの整数倍の幅となります。
- $p_6$ は13または8とし、13のときはJAN標準のバーコード、8のときはJAN短縮のバーコードを印刷します。
- データキャラクタとして指定可能な文字は次のとおりです。  
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
- JAN標準でデータキャラクタの1バイト目(フラグキャラクタ)が規定外のときは、データキャラクタも含めて読み捨てます。
- レフトガードバー、サイドガードバー、ライトガードバーは自動的に付加します。

■  $p_1=4$ のとき (CODE-39)

- $p_3$ の値がナローバー、ナローズペースの幅に対応し、 $p_3 \times p_4 / 10$ の値がワイドバー、ワイドスペースの幅に対応します。
- $p_6=0$ のときは、スタート/ストップキャラクタ(“\*”固定)のみ印字します。
- データキャラクタとして指定可能な文字は次のとおりです。  
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 - \$ . / + % SP(スペース)  
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
- データの最初と最後にあらかじめ設定されたスタート/ストップキャラクタを自動的に付加して印字します。

■  $p_1=5$ のとき (INDUSTRIAL 2 OF 5)

- $p_3$ の値がナローバー、ナローズペースの幅に対応し、 $p_3 \times p_4 / 10$ の値がワイドバー、ワイドスペースの幅に対応します。
- $p_6=0$ のときは、スタート/ストップキャラクタのみ印字します。ただし、HRC付加指定をしても対応するキャラクタがないため印刷されません。
- データキャラクタとして指定可能な文字は次のとおりです。  
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
- データの最初と最後にあらかじめ設定されたスタート/ストップキャラクタを自動的に付加して印字します。

■  $p_1=6$ のとき (INTERLEAVED 2 OF 5)

- $p_3$ の値がナローバー、ナローズペースの幅に対応し、 $p_3 \times p_4 / 10$ の値がワイドバー、ワイドスペースの幅に対応します。
- $p_6=0$ のときは、スタート/ストップキャラクタのみ印字します。ただし、HRC付加指定をしても対応するキャラクタがないため印刷されません。
- データキャラクタとして指定可能な文字は次のとおりです。  
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
- 2つのデータキャラクタを1組のバーコードデータとして印刷します。
- データの最初と最後にあらかじめ設定されたスタート/ストップキャラクタを自動的に付加して印字します。

形式

FS 0 6 F 1 - 0 0 4

- 1バイト文字としてOCR-Bフォントを選択します。

### 疑似OCR-Bフォントについて

本プリンタは疑似OCR-Bフォントを内蔵しており、各種アプリケーションから指定して印刷することができますが、ご使用にあたっては以下の点にご注意ください。

- OCR-Bフォントは大きさが限定されています。本プリンタの場合10CPI(12ポイント、パイカサイズ)のみで使用になれます。それ以外の文字サイズは指定しないでください。また文字の拡大/縮小、ページの拡大/縮小を行うと印刷できません。
- 疑似OCR-Bフォントの印刷は本プリンタのNPDLモードでのみ可能です。また疑似OCR-Bフォントの指定はアプリケーションソフトから行う必要があります。
- Windowsから疑似OCR-Bフォントを使用する場合はいずれかの方法で指定します。

① アプリケーションのフォント選択で「疑似OCR-Bフォント」を選択します。

このとき画面上は他のフォントを使用して表示されます。なお文字のサイズは必ず12ポイントを指定してください。またボールド、イタリック(斜体)、アンダーラインなどの文字スタイルを設定しないでください。

② アプリケーションのフォント選択の中に「OCR-B」というプリンタフォントがない場合は、本プリンタドライバの「TrueTypeフォントのプリンタフォントへ置き換え」機能を使用して印刷します(詳細は60、62、65ページ参照)。

なお疑似OCR-Bフォントに置き換えるフォントは「courier new」等の固定ピッチの英文フォントで指定してください。また置き換えるフォントによっては文字のピッチがOCR-Bフォントと合わないため、OCR読み取り装置で読み取れないことがあります。特にプロポーショナルフォントには置き換えないでください。和文フォントは置き換えるフォントとして指定できますが、実際に置き換えることができるのは半角英数字だけです。

- OCR-Bフォントは、OCR読み取り装置によっては読み取れない場合があります。事前にご確認ください。
- トナーが少なくなり印字にかすれなどがある場合には、OCR読み取り装置でうまく読み取れない場合があります。
- トナー節約機能は使用しないでください。OCR読み取り装置がうまく読み取れません。

# 付録G 文字の種類

## 内蔵文字の種類

表中の「○」と「×」は、各書体においてその文字の種類が内蔵されているか(○)内蔵されていないか(×)を示します。

### 1バイト系文字

文字の種類	標準/クーリエ/ゴシック/イタリック
英数字・記号 96種 (スペース、0を含む)	○
カタカナ・記号 63種	○
ひらがな 55種	○
CGグラフィック 56種	○
各国文字 15種	○

### 2バイト系文字

文字の種類	明朝体 アウトライン	ゴシック体 アウトライン
記号 108種 (スペースを含む)	○	○
英数字 62種	○	○
ひらがな 83種	○	○
カタカナ 86種	○	○
ギリシャ文字 48種	○	○
ロシア文字 66種	○	○
半角文字 212種 (スペースを含む)	○	○
JIS第1水準漢字 2965種	○	○
JIS第2水準漢字 3384種	○	○

## 文字間隔

文字種	文字サイズ	文字間隔(インチ)
1バイト系文字	バйка	1/10
	エリート	1/12
	コンデンス	約1/17
	プロポーションナル	約1/27~1/10
2バイト系文字	7ポイント*	1/10
	10.5ポイント**	約1/6.66
	12ポイント	1/6

\* 正確には7.2ポイントです。

\*\* 正確には10.8ポイントです。

# 文字構成

## 1バイト系文字

内部状態		イニシャライズ（初期化）の種類				
		電源ON	操作パネルリセット	ESC c1	INPUT・PRIME	ESC c8
現在位置		第1行第1桁				
レフトマージン幅		000				
ライトマージン幅		A3: 113 A4: 078 (80桁モード時 080) A5: 053 B4: 095 B5: 067 レター: 080 はがき: 034				
水平タブセット		クリア				
VFU	FF長	A3: 96行 B4: 81行	A4: 67行 B5: 58行	A5: 47行 レター: 63行	はがき: 33行	変化せず
	ボトム領域	なし				変化せず
	VTセット (CH2)	A3: 第7、13、19、25、31、37、43、49、55、61、67、73、79、85、91行目 A4: 第7、13、19、25、31、37、43、49、55、61、67行目 A5: 第7、13、19、25、31、37、43行目 B4: 第7、13、19、25、31、37、43、49、55、61、67、73、79行目 B5: 第7、13、19、25、31、37、43、49、55行目 レター: 第7、13、19、25、31、37、43、49、55、61行目 はがき: 第7、13、19、25、31行目				変化せず
	VTセット (CH3～CH6)	クリア				変化せず
改行方向		順方向改行				
改行幅		1/6インチ				
セレクト/ディセレクト状態		セレクト状態				
受信バッファ		クリア			クリアせず	
ページバッファ		クリア			クリアせず	
未印刷データ		—			クリア	
動作モード		メニュー設定に従う (エミュレーション/ページプリンタ)				
印刷方式		バイカモード				
コード表のシフト状態		カタカナ状態 (8ビットコード)				
1バイト文字フォント		メニュー設定に従う (標準/イタリック/クーリエ/ゴシック)				
漢字書体		メニュー設定に従う (内蔵明朝/内蔵ゴシック)				
漢字	文字サイズ	10.5ポイント				
	文字幅	3/20インチ				
半角	縦書き	解除				
	組文字	解除				
スクリプト文字		解除				
倍率指定		縦横とも解除				
修飾印刷		解除				

- \* プロポーショナルの横のサイズは文字ごとに異なります。  
A: 15～37ドット B: 23～55ドット C: 0.95～2.33mm

## 2バイト系文字、グラフィック

文字種		ドット構成 (ポイント) <縦×横> (ドット)		文字寸法(ポイント) <縦×横> (mm)
2バイト系文字	7ポイント*	全角	40×40	2.54×2.54
		半角	40×20	2.54×1.27
	10.5ポイント*	全角	60×60	3.81×3.81
		半角	60×30	3.81×1.91
	12ポイント	全角	67×67	4.23×4.23
		半角	67×34	4.23×2.12
ドット列印刷	40ドット	67×n	4.23×m	

- \* 正確には7.2ポイントです。  
\*\* 正確には10.8ポイントです。

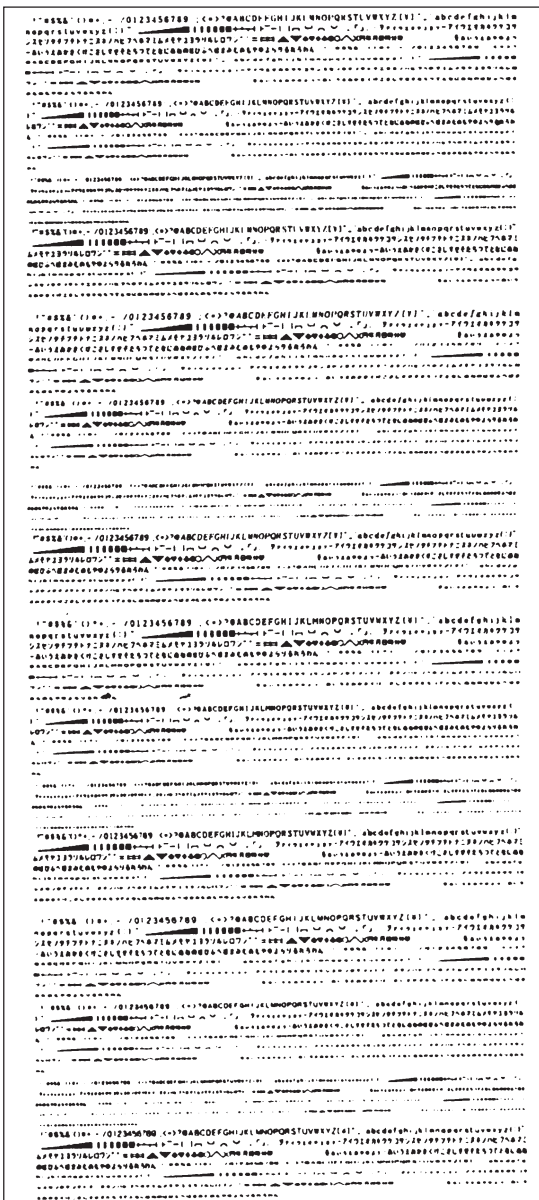


# 付録H テスト印刷のプリント結果

次にテスト印刷とステータス印刷のプリント結果例を示します。プリント結果はA4サイズ of 用紙に印刷したものを33%に縮小しました。

## テスト印刷

テスト印刷では、1バイト系標準、イタリック、クーリエ、ゴシックの4フォントと、各フォントのパイカ文字、エリート文字、コンデンス文字、プロポーショナル文字、2バイト系明朝体の7ポイントの第一水準漢字のすべて、アウトラインフォントの第二水準漢字の一部分と2バイト系明朝体の10.5ポイントの第一水準漢字のすべて、アウトラインフォントの第二水準漢字の一部分を順次印刷します。



- ←1バイト系 標準 パイカ文字
- ←1バイト系 標準 エリート文字
- ←1バイト系 標準 コンデンス文字
- ←1バイト系 標準 プロポーショナル文字
- ←1バイト系 イタリック パイカ文字
- ←1バイト系 イタリック エリート文字
- ←1バイト系 イタリック コンデンス文字
- ←1バイト系 イタリック プロポーショナル文字
- ←1バイト系 クーリエ パイカ文字
- ←1バイト系 クーリエ エリート文字
- ←1バイト系 クーリエ コンデンス文字
- ←1バイト系 クーリエ プロポーショナル文字
- ←1バイト系 ゴシック パイカ文字
- ←1バイト系 ゴシック エリート文字
- ←1バイト系 ゴシック コンデンス文字
- ←1バイト系 ゴシック プロポーショナル文字



# ステータス印刷

ステータス印刷では、オプションの接続やメモリスイッチの状態、漢字アウトラインフォントカードの有無など、本プリンタの状態が印刷されます。オプションを接続した後の確認にご使用ください。次に工場設定時のステータス印刷の結果例を示します。(このステータス印刷はNPDL使用時のものですが、一部の設定はESC/Pエミュレーション、プロッタエミュレーション(オプション)でも有効です。

## \*\* プリンタ設定環境 \*\*

### エンジン情報

エンジン : 04. 06 00000000  
コントローラ : 2J. 02

### 紙の受け取りモード

無し

### 紙張情報

ホッパ1 : A4 (A3, A4, A5, B4, B5, レター, はがき)  
ホッパ2 : A3 (A3, A4, A5, B4, B5, レター)  
手差し : A5 (A3, A4, A5, B4, B5, レター, はがき)

### ポート設定

サポート言語 : NPDL ESC/P  
後部インタフェース : NPDL  
前部インタフェース : NPDL

### メモリー

メモリー容量 : 8MB  
メモリー割り当て : 標準

### MSW設定

	12345678	12345678	12345678	12345678
MSW1 :	00000000	MSW2 : 00000000	MSW3 : 00000000	MSW4 : 00000000
MSW5 :	00000000	MSW6 : 00000000	MSW7 : 00000000	MSW8 : 00000000

### フォント設定

Standard : PICA ELITE CONDENSE PROPORTIONAL  
Italic : PICA ELITE CONDENSE PROPORTIONAL  
Courier : PICA ELITE CONDENSE PROPORTIONAL  
Gothic : PICA ELITE CONDENSE PROPORTIONAL

### フォントカード設定

書体番号	ファイル名	フォント名
031	NMI3_CF	FontAvenue明朝体-L
251	NGO5_CF	FontAvenueゴシック体-M

# 付録I 文字コード表

本プリンタは、1バイト系コードと2バイト系コードを使用することができます。

1バイト系コードは、メモリスイッチ1-1～1-3を切り替えることによりアメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデン、日本の各国特殊文字が入ったコードにすることができます。工場設定は「日本」になっています。

2バイト系コードは、半角文字、JIS第一水準の漢字や記号など、およびJIS第二水準の漢字を印刷するときに使用できます。半角文字とは全角(普通の漢字)の半分の横幅の文字で、英字、数字、記号、カナなどがあります。

## 1バイト系コード表

### カタカナモード

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
00										HT	LF	VT	FF	CR		
10												ESC	FS	GS	RS	US
20	SP	!	"	注1	注2	%	&	'	( )	*	+	,	-	.	/	
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	:	<	=	>	?
40	注3	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	注4	注5	注6	注7	-
60	注8	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	注9	注10	注11	注12	
80	—	—	—	—	—	—	—	—								+
90	⌂	〒	〒	〒	〒	〒	〒	〒	〒	〒	〒	〒	〒	〒	〒	〒
A0		.	「	」	.	ヲ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ	
B0	—	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
C0	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ
D0	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	・	・
E0	=	≠	≠	≠	▲	▲	▼	▼	♣	♥	♦	♣	●	○	/	\
F0	×	円	年	月	日	時	分	秒								

### ひらがなモード

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
00											HT	LF	VT	FF	CR		
10													ESC	FS	GS	RS	US
20	SP	!	"	注1	注2	%	&	'	( )	*	+	,	-	.	/		
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	:	<	=	>	?	
40	注3	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	注4	注5	注6	注7	-	
60	注8	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	注9	注10	注11	注12		
80	—	—	—	—	—	—	—	—								+	
90	⌂	〒	〒	〒	〒	〒	〒	〒	〒	〒	〒	〒	〒	〒	〒	〒	
A0		.	「	」	.	を	あ	い	う	え	お	や	ゆ	よ	っ		
B0	—	あ	い	う	え	あ	か	き	く	け	こ	さ	し	ず	せ	そ	
C0	た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ	ま	
D0	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	ん	・	・	
E0	=	≠	≠	≠	▲	▲	▼	▼	♣	♥	♦	♣	●	○	/	\	
F0	×	円	年	月	日	時	分	秒									

注1~12 各国特殊文字が入ります(メモリスイッチ1-1~1-3で切り替えます。)

### 国別相違点

注 No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
コード	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
日本	#	\$	@	[	¥	]	^	`	(	:	)	~
アメリカ	#	\$	@	[	\	]	^	`	(	:	)	~
イギリス	£	\$	@	[	\	]	^	`	(	:	)	~
ドイツ	#	\$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü

注13 8、9、E、F行はCGグラフィックを表します。

注14 A~D行はひらがなモード(ESC & で指定)の場合はひらがな文字、カタカナモード(ESC S で指定)の場合はカタカナ文字になります。

注15 0、1行は制御コードです。

注16 0、1行の空欄は無視されます。2~F行の空欄はスペース(SP)として処理されます。

注17 3行、0列の「0」の印刷字体はメモリスイッチ2-1により0に変更できます。

## 2バイト系コード表

### 半角文字

- コードは16進で表現されます。例えば、「J」のコードは0040+A=004Aとなります。
- 0020は漢字文字幅の半分スペース(SP)です。

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0020	!	"	#	\$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/	
0030	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	:	<	=	>	?
0040	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
0050	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	¥	]	^	_
0060	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
0070	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	
0080	。	「	」	、	・	を	あ	い	う	え	お	や	ゆ	よ	っ	
0090	-	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	ず	せ	そ
00A0	。	「	」	、	・	ヲ	ア	イ	ウ	エ	オ	ヤ	ユ	ヨ	ツ	
00B0	-	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
00C0	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ
00D0	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	・	°
00E0	た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ	ま
00F0	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	ん	・	°

### 全角文字

- このコード表は、JIS 1978年版に準拠しています。(本プリンタでは、制御コードによってコード表をJIS 1983年版およびJIS 1990年版に切り替えることもできます。)ただし、デザイン処理などの都合により、一部字形の異なる文字があります。
- コードは16進で表現されます。例えば、「亜」のコードは3020+1=3021となります。
- 2121は漢字文字幅のスペース(SP)です。

漢字コード表(全角文字)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
2120																
2130									全	々	々	〇	—	—	—	/
2140									"	"	( )	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
2150	{ }	< >	< >	「 」	『 』	【 】	+	-	±	×						
2160	÷	=	≠	<	>	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	'	"	℃	¥
2170	\$	¢	£	%	#	&	*	@	\$	☆	★	○	●	◎	◇	
2220	◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	≡		
2230																
2240																
2250																
2260																
2270																
2320																
2330	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
2340	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	
2350	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z					
2360	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	
2370	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z					
2420	あ	あい	いう	うえ	え	お	おか	が	き	ぎ	く					
2430	ぐ	け	こ	ご	さ	し	じ	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た			
2440	だ	ち	ちっ	つ	づ	て	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は		
2450	ば	び	ひ	び	ふ	ぶ	へ	べ	ほ	ぼ	ま	み				
2460	む	め	も	ゃ	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ			
2470	ゐ	ゑ	を	ん												
2520	ァ	アイ	イ	ウ	エ	エ	オ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク			
2530	グ	ケ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ			
2540	ダ	チ	ツ	ツ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ		
2550	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	ヘ	ベ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ		
2560	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ユ	ヨ	ョ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ウ		
2570	キ	エ	ヨ	ン	ヴ	ヶ	ヶ									
2620	A	B	Γ	Δ	E	Z	H	Θ	I	K	Λ	M	N	Ξ	O	
2630	Π	P	Σ	T	Υ	Φ	X	Ψ	Ω							
2640	α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	
2650	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
2660																
2670																
2720	A	B	B	Г	Д	Е	Е	Ж	З	И	И	К	Л	М	Н	
2730	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э
2740	Ю	Я														
2750	а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н	
2760	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
2770	ю	я														

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
3020	亜	啞	娃	阿	哀	愛	挨	始	逢	葵	茜	穉	惡	握	渥	
3030	旭	葦	芦	鮪	梓	庄	幹	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或
3040	粟	裕	安	庵	按	暗	案	闈	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	匪
3050	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃
3060	萎	衣	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	耄	益	逸
3070	稻	茨	芋	鱈	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭	
3120	院	陰	隱		韻	吋	右	字	烏	羽	迂	雨	卯	鷄	窺	丑
3130	確	白	渦	嘘	唄	爵	蔚	饒	姥	厥	浦	瓜	閨	噂	云	運
3140	雲	荏	餌	叡	營	嬰	影	映	曳	榮	永	泳	洩	瑛	盈	穎
3150	穎	英	衛	詠	銳	液	疫	益	馭	悅	謁	越	閩	覆	厭	円
3160	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焰	煙	燕	猿	緣
3170	艷	苑	園	遠	鉛	駕	塩	於	汚	甥	凹	央	輿	往	応	
3220	押	旺	横		欧	殴	王	翁	澳	鶯	鷗	黄	岡	冲	获	億
3230	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穩	音	下	化	仮	何
3240	伽	伽	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河
3250	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨
3260	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	鴛	駕
3270	介	会	解	回	塊	壞	迴	快	怪	悔	恢	懷	戒	拐	改	
3320	魁	晦	械		海	灰	界	皆	繪	芥	蟹	開	階	貝	凱	劾
3330	外	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	該	裡	馨	蛙
3340	垣	柿	纈	鈎	劃	嚇	各	廓	挾	攪	核	格	殼	獲	確	穫
3350	覺	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	榮	額	額	掛	筈	壆
3360	櫃	棍	鯁	渦	割	喝	恰	括	活	渴	滑	葛	葛	轄	且	鯉
3370	叶	枇	樺	鞆	株	兜	竈	滿	釜	鎌	鴨	鴨	栢	茅	蒼	
3420	粥	刈	刈		瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勸	卷	喚	堪	姦
3430	完	官	寬	干	幹	患	感	憤	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歎
3440	汗	漢	澗	灌	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	伍	輪	肝	艦
3450	莞	觀	諫	貫	還	鑑	間	閑	閑	陷	館	館	館	丸	含	岸
3460	巖	玩	癌	眼	岩	駝	厲	雁	頑	顏	願	頤	伎	危	喜	器
3470	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄	
3520	機	婦	毅		氣	汽	畿	祈	季	稀	紀	微	規	記	貴	起
3530	軌	輝	飢	騎	鬼	龜	偽	儀	妓	宜	戲	技	擬	欺	饒	疑
3540	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	喫	桔	橘	詰	詰	杵	
3550	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救
3560	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
3570	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁	祭	魚	亨	亨	京	
3620	供	俠	僑		兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峽	強
3630	彌	怯	恐	恭	挾	救	橋	況	狂	狹	矯	胸	脅	興	喬	郷
3640	鏡	響	響	驚	仰	凝	亮	曉	業	局	曲	極	玉	桐	籽	僅
3650	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	矜	襟
3660	謹	近	金	吟	銀	九	俱	句	区	狗	玖	矩	苦	驅	駟	駟
3670	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	劍	厨	屈	
3720	掘	窟	杏	靴	轉	窪	熊	隈	象	栗	練	桑	鍬	黝	君	
3730	蕪	訓	群	軍	郡	卦	袞	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型
3740	契	形	徑	忠	慶	慧	息	揭	擧	敬	景	桂	溪	畦	穉	系
3750	經	經	繫	豎	芥	荆	蚩	計	詣	輕	頸	頸	鷄	芸	迎	鯨
3760	劇	戟	擊	激	際	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
3770	儉	倦	健	兼	券	劍	喧	圍	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲	

## 漢字コード表(全角文字)(続き)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
3820		檢	樞	牽	犬	猷	研	硯	絹	鼎	肩	見	謙	賢	軒	遣
3830	鍵	險	頭	驗	鱸	元	原	敵	幻	弦	減	源	玄	現	絃	絃
3840	言	諺	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	孤	戸	故	枯
3850	湖	狐	糊	袴	股	胡	狐	虎	誇	跨	鉗	雇	顧	鼓	五	互
3860	伍	午	吳	吾	娛	後	御	悟	梧	橋	瑚	碁	語	誤	護	翻
3870	乞	鯉	交	佼	侯	候	倅	光	公	功	効	勾	厚	口	向	
3920		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康
3930	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪
3940	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	絛	絞	綱	耕	考	肯	肱
3950	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	醉	鉇	礦	鋼	閤	降
3960	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	豪	拷	濠	轟	麴	克	刻	
3970	告	国	穀	酷	鵠	黑	獄	漉	腰	甌	忽	惚	骨	狍	込	
3A20		此	頃	今	困	坤	壘	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕
3A30	紺	良	魂	些	佐	又	唆	嵯	左	差	查	沙	送	砂	詐	鎖
3A40	袞	坐	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽
3A50	歲	濟	災	采	犀	碎	砦	祭	齋	細	菜	裁	載	際	劑	在
3A60	材	罪	財	呀	坂	阪	堺	榑	肴	咲	崎	埼	崎	驚	作	削
3A70	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	蛙	笹	匙	冊	刷	
3B20		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雜	阜	鯖	捌	鑄	鮫	皿	晒
3B30	三	傘	參	山	慘	撤	散	棧	燥	珊	産	算	纂	蚕	讚	贊
3B40	酸	餐	斬	暫	殘	仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四	士	始
3B50	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止
3B60	死	氏	獅	祉	私	系	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
3B70	諮	資	賜	雌	飼	齒	事	似	侍	兒	字	寺	慈	持	時	
3C20		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐	鹿
3C30	式	識	鳴	竺	軸	穴	零	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆
3C40	疾	質	実	蔀	篠	悃	柴	芝	屢	藥	縞	舍	写	射	捨	赦
3C50	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵
3C60	酌	积	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
3C70	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周	
3D20		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	鑰	習	臭	舟	蒐
3D30	衆	襲	警	蹴	輯	週	曾	酬	集	醜	什	住	充	十	從	戎
3D40	柔	汁	渋	獸	縦	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	肅	塾	熟
3D50	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳
3D60	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
3D70	署	書	薯	薯	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償	
3E20		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	筵	妾	娼	宵	将	小	少
3E30	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢
3E40	樟	樵	沼	消	涉	湘	燒	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称	章
3E50	笑	粧	紹	肖	菖	蔣	蕉	衝	裝	訟	証	詔	詳	象	賞	醬
3E60	鉦	鐘	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乘	冗	剩	城	場	壤	娘	常
3E70	情	擾	灸	杖	浄	状	疊	穰	蒸	讓	釀	錠	囑	埴	飾	
3F20		拭	植	殖	獨	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵
3F30	唇	娠	寝	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真
3F40	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃
3F50	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靱	筭	譏	須	酢	凶	厨
3F60	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粹	翠	衰	遂	醉	錐	錘	隨
3F70	瑞	髓	崇	嵩	數	枢	趨	雛	据	杉	相	菅	頗	雀	裾	

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
4020		澄	摺	寸	世	瀬	欵	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政
4030	整	星	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠
4040	誓	請	逝	醒	青	靜	齊	稅	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析
4050	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	撰	折	設
4060	窃	節	説	雪	絶	舌	蟬	仙	先	千	占	宣	專	尖	川	戰
4070	扇	撰	控	柵	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線	
4120		織	羨	腺	舛	船	薦	詮	踐	踐	選	遷	錢	銑	閃	鮮
4130	前	善	漸	然	全	禪	繕	膳	纏	噲	塑	岨	措	曾	曾	楚
4140	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創
4150	双	叢	倉	喪	壯	奏	爽	宋	層	匝	惣	想	搜	掃	挿	搔
4160	操	早	曹	巢	槍	槽	漕	燥	争	瘦	相	窓	槽	総	綜	聡
4170	草	莊	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	駭	像	増	憎	
4220		臧	藏	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗
4230	属	賊	族	統	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜	他	多
4240	太	汰	詫	唾	墮	妥	情	打	柁	舵	惰	陀	駄	驛	体	堆
4250	对	耐	岱	帶	待	怠	態	戴	替	泰	滯	胎	腿	苔	袋	貸
4260	退	逮	隊	黛	鯛	袋	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
4270	宅	托	挾	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	胤	娟	只	
4320		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	豎	辿	棚	谷	狸	鱈	樽	誰
4330	丹	单	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	簞	綻	耽
4340	胆	蛋	誕	鍛	团	壇	彈	断	暖	檀	段	男	談	值	知	地
4350	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘蛛	遲	馳	築	畜	竹	筑	蓄
4360	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
4370	註	耐	鑄	駐	樽	瀧	猪	芋	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵	
4420		帖	帳	庁	弔	張	影	微	慇	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺
4430	聴	脹	腸	蝶	調	謀	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	抄	直	朕
4440	沈	珍	賃	鎮	陳	津	墜	椎	髓	追	鎚	痛	通	塚	母	摺
4450	槻	佃	濱	柘	辻	薦	綴	鈎	椿	潰	坪	壺	媼	袖	爪	吊
4460	釣	鶴	亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
4470	悌	抵	挺	提	梯	汀	錠	禎	程	締	錠	訂	諦	蹄	通	
4520		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鎬	溺	哲
4530	徹	徹	徹	迭	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顛
4540	点	伝	殿	殿	田	電	兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡
4550	登	菟	賭	途	都	鍍	低	礪	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬
4560	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	構	棟
4570	盜	淘	湯	湯	灯	燈	当	痘	禱	等	答	箇	糖	統	到	
4620		董	蕩	藤	討	膳	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	鬪	働
4630	動	同	堂	導	撞	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠	鴉	匿
4640	得	德	漬	特	督	秃	篤	毒	独	詭	析	椽	凸	突	殺	届
4650	篤	苦	寅	酉	滯	頓	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	吞	曇	鈍
4660	奈	那	内	乍	凧	雉	謎	灑	捺	鍋	樽	馴	繩	暇	南	楠
4670	軟	難	汝	二	尼	弑	邇	勻	賑	肉	虹	廿	日	乳	入	
4720		如	尿	菲	任	妊	忍	認	儒	彌	祢	寧	葱	猫	熱	年
4730	念	捻	燃	燃	粘	乃	迺	之	埜	囊	惱	濃	納	能	腦	膿
4740	農	視	蚤	巴	把	播	霸	把	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬
4750	俳	龐	排	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅
4760	煤	煤	賈	買	壳	賠	陪	這	蠅	秤	矧	萩	伯	剝	博	拍
4770	柏	泊	白	箔	粕	柏	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麥	

漢字コード表(全角文字)(続き)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
4820	函	箱	裕	箸	鑿	筍	櫨	幡	肌	肌	島	八	鉢	潑	発	
4830	酸	髮	伐	罰	拔	筏	閱	鳩	嘶	塙	蛤	隼	伴	判	半	反
4840	叛	帆	搬	斑	板	汎	汎	版	犯	班	畔	繁	般	蕃	販	範
4850	采	煩	頌	飯	挽	晚	番	盤	箸	蓄	蛮	匪	卑	否	妃	庇
4860	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
4870	誹	費	避	非	飛	髓	箴	備	尾	微	枇	毘	毘	眉	美	
4920	鼻	柎	稗	匹	疋	髭	彥	膝	菱	肘	弔	必	畢	筆	逼	
4930	檜	姫	媛	紐	百	謬	俵	彪	標	水	漂	瓢	票	表	評	豹
4940	廟	描	病	秒	苗	鎚	蒜	姪	鯖	品	彬	斌	浜	瀕	貧	
4950	質	類	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	富	布	府	怖	扶	敷
4960	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
4970	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葦	落	伏	復	幅	服		
4A20	福	腹	覆	淵	弗	弘	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳		
4A30	憤	扮	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文	閑	丙	併	兵	塙	幣	平
4A40	弊	柄	並	蔽	閉	陸	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	警	蔑	篋
4A50	偏	變	片	篇	編	刃	返	遍	便	勉	娩	弁	鞭	保	舖	鋪
4A60	圃	捕	步	甫	補	輔	穗	募	墓	戩	暮	暮	母	簿	菩	做
4A70	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	抱	捧	放	方	朋		
4B20	法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豐	邦	鋒	
4B30	飽	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某
4B40	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉉	防	吠	頰	北	僕	卜	墨
4B50	撲	朴	牧	睦	穆	鈎	勃	殆	掘	幌	奔	本	翻	凡	盆	
4B60	摩	磨	魔	麻	埋	妹	枚	枚	每	哩	槓	慕	膜	枕	鮪	枉
4B70	鱗	樹	亦	僕	又	抹	末	末	迄	儘	繭	磨	万	慢	滿	
4C20	漫	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	叢	稔	脈	妙	
4C30	耗	民	眠	務	夢	無	牟	牟	霧	鷓	掠	婿	娘	冥	名	命
4C40	明	盟	迷	銘	鳴	姪	北	滅	免	棉	綿	緇	面	麵	摸	模
4C50	茂	妄	孟	毛	猛	盲	綱	耗	蒙	儲	木	默	目	盃	勿	餅
4C60	尤	戾	初	貫	問	悶	紋	鬥	乜	治	夜	爺	耶	野	弥	
4C70	矢	厄	役	約	萊	訛	靖	柳	蔽	鏈	愉	愈	油	癒		
4D20	論	輪	唯	佑	優	男	友	有	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧	
4D30	涌	猶	猷	由	祐	裕	誘	邕	邑	郵	雄	融	夕	予	余	与
4D40	譽	輿	預	備	幼	妖	容	肅	揚	搖	擁	曜	楊	樣	洋	溶
4D50	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謠	踊	遙	陽	養	慾	抑	欲
4D60	沃	浴	翌	翼	淀	羅	螺	裸	來	萊	賴	雷	洛	絡	落	酪
4D70	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覽	利	吏	履	李	梨	理	璃	
4E20	痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	律	掠	略	劉	流	溜	
4E30	琉	留	硫	粒	隆	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	兩	凌	
4E40	寮	料	梁	涼	獠	療	瞭	瞭	糧	良	諒	遼	暈	陵	領	力
4E50	綠	倫	厘	林	淋	麟	臨	臨	輪	麟	麟	溜	壘	淚	累	
4E60	類	令	伶	例	冷	嶺	嶺	伶	玲	礼	苓	鈴	隸	零	靈	麗
4E70	齡	曆	歷	列	劣	烈	裂	廉	恋	機	鏈	煉	廉	練	聯	
4F20	蓬	連	鍊	呂	魯	爐	櫛	路	路	露	勞	婁	廊	弄	朗	
4F30	樓	榔	浪	漏	牢	狼	龍	老	雙	蠟	郎	六	麓	祿	肋	錄
4F40	論	倭	和	話	歪	賄	惑	忒	驚	互	互	鯧	髭	藁	蕨	
4F50	腕	灣	碗	腕												
4F60																
4F70																

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
5020	弑	丐	丕	个	卯	丷	井	丿	乂	乖	乘	亂	丿	豫	季	
5030	舒	式	于	亞	亟	一	亢	京	老	亶	从	仍	仄	仆	仆	仗
5040	切	仞	仟	价	仇	佚	估	佛	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻
5050	佩	佰	侑	伴	來	侖	侖	侖	俚	俚	俚	俚	俚	俚	俚	俚
5060	俚	倚	倨	倨	倪	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥
5070	倥	假	會	借	修	偈	做	偕	偕	偕	偕	偕	偕	偕	偕	偕
5120	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉
5130	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉
5140	兩	僉	兮	冀	門	回	册	冉	冏	青	菁	冕	冏	冤	寇	冏
5150	寫	寫	冫	決	冫	冲	冰	况	冽	涸	凉	凜	几	處	凼	凭
5160	鳳	口	函	刃	刊	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌
5170	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌
5220	辦	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬
5230	勸	勺	勿	旬	旬	旬	旬	旬	旬	旬	旬	旬	旬	旬	旬	旬
5240	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅
5250	厥	厥	厥	人	參	篡	雙	叟	曼	變	叮	叨	叭	叭	吁	吡
5260	呀	听	吭	吼	吮	呐	吩	吝	呖	咏	呵	咎	咄	呱	呷	咭
5270	咒	呻	咀	呶	咄	呶	哇	哇	呶	威	啞	咬	哄	哈	杏	
5320	咫	晒	吃	吃	吃	吃	吃	吃	吃	吃	吃	吃	吃	吃	吃	吃
5330	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞
5340	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞
5350	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞
5360	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞
5370	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞
5420	囿	囿	囿	囿	囿	囿	囿	囿	囿	囿	囿	囿	囿	囿	囿	囿
5430	坩	垂	垆	坡	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩
5440	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩
5450	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩
5460	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩
5470	天	卒	夸	夾	奇	奕	奕	奎	奚	奘	奢	奠	奧	獎	奩	
5520	奸	妁	妝	倭	倭	妣	妣	妣	妣	妣	妣	妣	妣	妣	妣	妣
5530	娑	娜	娉	娉	阿	姪	婉	嫻	娶	婢	婁	媚	嫻	嫻	嫻	嫻
5540	媽	媽	嫻	嫻	嫻	嫻	嫻	嫻	嫻	嫻	嫻	嫻	嫻	嫻	嫻	嫻
5550	嫻	嫻	嫻	子	孕	孕	李	孛	孩	執	孛	孛	學	孛	孛	孛
5560	它	宦	宸	寃	寇	雀	寃	寐	寃	寃	寃	寃	寃	寃	寃	寃
5570	寶	尅	將	專	對	尔	尅	尅	尅	尸	尹	尼	居	屎	貝	
5620	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐
5630	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬
5640	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑
5650	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺
5660	巫	已	厄	帀	帀	帀	帀	帀	帀	帀	帀	帀	帀	帀	帀	帀
5670	幟	幟	幣	幫	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟
5720	廖	廣	厥	廚	慶	廢	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡
5730	井	弃	弃	弃	弃	弑	弑	弑	弑	弑	弑	弑	弑	弑	弑	弑
5740	互	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖
5750	徒	排	徠	徠	徠	徠	徠	徠	徠	徠	徠	徠	徠	徠	徠	徠
5760	估	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂
5770	協	恆	恍	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂







# 付録J ディスプレイ表示一覧

## NPDモード時

表示の種類		表示		表示の意味
通常表示	給紙方法に関する表示	テサシ	XXX XXX	手差し給紙を選択しています。 オプションのマルチシートフィーダからの給紙を選択しています。
		ホッパ1	XXX XXX	上から1段目のホッパからの給紙を選択しています。
		ホッパ2	XXX XXX	上から2段目のホッパからの給紙を選択しています。
		ホッパ3	XXX XXX	上から3段目のホッパからの給紙を選択しています。
	用紙サイズに関する表示	ホッパ4	XXX XXX	上から4段目のホッパからの給紙を選択しています。
		XXX	A3 XXX	A3サイズの内紙を選択しています。
		XXX	B4 XXX	B4サイズの内紙を選択しています。
		XXX	A4 XXX	A4サイズの内紙を選択しています。
		XXX	B5 XXX	B5サイズの内紙を選択しています。
		XXX	A5 XXX	A5サイズの内紙を選択しています。
	縮小/拡大モードに関する表示	XXX	LT XXX	レターサイズの内紙を選択しています。
		XXX	ハガキ XXX	はがきサイズの内紙を選択しています。
		XXX	A4→A3 XXX	A4サイズのデータをA3サイズの内紙に印刷する拡大モードを選択しています。
		XXX	B4→A3 XXX	B4サイズのデータをA3サイズの内紙に印刷する拡大モードを選択しています。
		XXX	B4→A4 XXX	B4サイズのデータをA4サイズの内紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX	LP→A4 XXX	帳票サイズのデータをA4サイズの内紙に印刷する縮小モードを選択しています。
XXX		A3→A4 XXX	A3サイズのデータをA4サイズの内紙に印刷する縮小モードを選択しています。	
XXX		A4X2 XXX	A4サイズ2ページ分のデータをA4サイズの内紙に印刷する縮小モードを選択しています。	
XXX		B5→A4 XXX	B5サイズのデータをA4サイズの内紙に印刷する拡大モードを選択しています。	
XXX		LP→B4 XXX	帳票サイズのデータをB4サイズの内紙に印刷する縮小モードを選択しています。	
XXX		A3→B4 XXX	A3サイズのデータをB4サイズの内紙に印刷する縮小モードを選択しています。	
XXX		A4→B4 XXX	A4サイズのデータをB4サイズの内紙に印刷する拡大モードを選択しています。	
XXX		B5→B4 XXX	B5サイズのデータをB4サイズの内紙に印刷する拡大モードを選択しています。	
XXX		A4→B5 XXX	A4サイズのデータをB5サイズの内紙に印刷する縮小モードを選択しています。	
印刷方向に関する表示	XXX	XXX ポート	印刷方向にポートレートを選択しています。	
	XXX	XXX ランド	印刷方向にランドスケープを選択しています。	

表示の種類	表示	表示の意味
ステータス表示	コピー XX マイ	コピー枚数がXX枚に設定されています。コピー枚数はメニューモードで最大20枚まで設定できます(127ページ参照)。この表示は、コピー枚数をメニューモードで2枚以上に設定したときに、給紙方法・用紙サイズ・印刷方向(例：“ホッパA4ポート”)の表示と交互に表示されます。コピー枚数が1枚(オリジナルのみ)の場合には表示されません。
	ホッパX XX ホキユウ	用紙がなくなりました。または印刷フォーマットで指定されたサイズの内紙がありません。増設ホッパを取り付けている場合には、「ホッパX」のXの箇所に選択しているホッパ番号が表示されます。
	テサシ XX セット	コンピュータから印刷データを受信しましたが、手差しガイドまたはマルチシートフィーダ(オプション)に用紙がセットされていないので印刷できません。表示されているサイズの内紙を手差しガイドまたはマルチシートフィーダにセットしてください。
	イニシャライズチュウ	電源投入時のイニシャライズを実行中です。
	ウォームアップ	ウォーミングアップ中です。
	シヨリチュウ	データ処理を実行中です。データ処理が終了し、排出可能となるまで表示されます。
	テストインサツチュウ	テスト印刷を実行中です。
	データガノコッテイマス	未印刷データがプリンタ内に残っています。
	16シンダンプチュウ	16進ダンプ印刷を実行中です。
	リセットジッコウ	リセットを実行します。
アラーム表示	ホッパX XX ホキユウ	用紙がなくなりました。または印刷フォーマットで指定されたサイズの内紙がありません。「ホッパX」のXの箇所に選択しているホッパ番号が表示されます。
	72 カバーオープン	上部ユニット、排出カバーまたはプリンタ右側面にあるホッパのペーパーガイドカバーが開いています。
	73 EPカートリッジナシ	EPカートリッジが取り付けられていません。
	74 カミヅマリ XXXXX	紙づまりが発生しています。Xは紙づまりの箇所を示します。
	75 ヨウシサイズエラー X	指定されているサイズと異なる用紙がセットされています。Xの箇所に選択しているホッパ番号が表示されます。
	76 トナーナシ	EPカートリッジの交換時期です。
	77 テイキホシュ	定期保守(定着ユニットなどの交換)の必要な時期です。
	84 フォーム オーバーXXX	フォーム登録に必要なメモリが不足しています。
	18 コール 18	オプションの漢字アウトラインフォントカードに異常があります。
	01 コール 01 ～ 40 コール 40 この他の表示(コール18は除く)	障害が発生しています。
メニュー表示	メニュー表示は、メニューモードを使用しているときに表示されます。メニュー表示については「メニューツリー」(71～74ページ)をご覧ください。	

ESC/Pエミュレーションについては、「ESC/Pエミュレーションの使い方」(115ページ)を参照してください。

# 付録K IBM DOS J5.0/Vでの設定

IBM社製のDOSでWindows 3.1を使用する場合、正常に印刷されないことがあります。その場合、以下の手順でDOS上のプリンタ設定を「なし」にしてください。(Windows上では使用するプリンタを設定します。)

1. PCの電源を入れます。

2. PCを「DOSモード」に設定します。

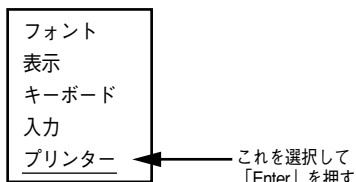
設定の仕方については、PCの取扱説明書を参照してください。

WindowsのDOSプロンプトモードからの設定は操作が複雑となりますのでお勧めできません。

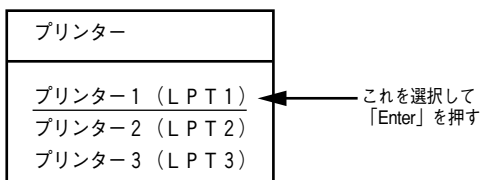
3. 次のコマンドを入力しセットアッププログラムを立ち上げます。

>setupv 

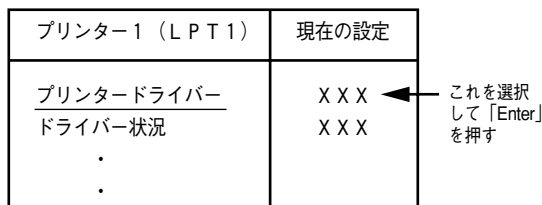
4. 「プリンター」を選択します。



5. 「プリンター 1 (LPT1)」を選択します。

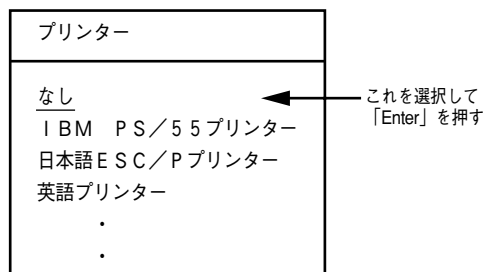


6. 「プリンタードライバー」を選択します。



ここで、現在の設定が「なし」になっている場合には、設定を変える必要はありません。**F3**を押して、操作を終了してください。

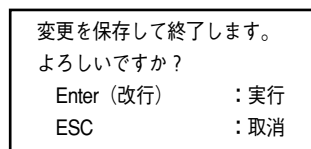
7. 「なし」を選択します。



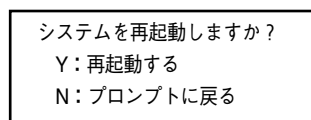
8. 次のような表示が出ますので、プリンタードライバーが「なし」になっていることを確認し、**F10**を押します。

プリンター 1 (LPT1)	現在の設定
プリンタードライバー	なし

9. を押して、変更を保存します。



10. を押して、システムを再起動させます。



これで、設定は終了です。

# 用語解説

## 16進ダンプ印刷

プリンタが受信したデータを処理せず、そのまま16進数で印刷すること。

## DPI

Dots Per Inchの略。プリンタの解像度などを表す単位。1インチ当たりのドット数。(→解像度)

## ESC/P

セイコーエプソン社が開発したプリンタを制御する命令(コマンド)の集まりのこと。

## FF

改ページを行う。

## LPI

Lines Per Inchの略。1インチ当たりの行数。

## NPDL

NECプリンタ記述言語(NEC Printer Description Language)

## OHPフィルム

OHP(オーバーヘッドプロジェクタ)用の透明なシート。プレゼンテーションなどに使用する。印刷するとき、手差し給紙を用いる。

## RS-232C

プリンタと上位装置(プリンタを制御する装置:コンピュータ等)間のインタフェースの一つ。シリアル(直列)伝送で最も一般的なハードウェア上の規格。

## アウトラインフォント

文字の形を直線や曲線で表された輪郭として記憶し、出力時にその文字データを論理的に処理して表現する。  
そのため、文字サイズの自由な設定や文字の変形が可能となり、ドット密度に関係なく美しい文字を表現できる。

## イニシャライズ

初期状態にすること。例えば、メモリの内容を全部ゼロにしたり、プログラム中のカウンタをゼロにしたりすること。

## 印刷範囲

プリンタ用紙に印刷ができる限界のこと。用紙の上下および左右の余白部分を除いた印刷可能領域を指す。

## インタフェース

2つの装置(デバイス)を通信できるように接続するもの。

## ウォームアップ

プリンタの電源をONにした後、定着部などが一定の温度まで上昇して印刷が可能になるまでの状態をいう。

## エミュレーション機能

他の装置(プリンタ)のために開発されたソフトウェアの制御コードが使用できる機能。PC-PR201系シリアルプリンタの制御コードが使用できる場合を201PLEミュレーションと呼ぶ。

## エリート文字

1インチ当たり12文字で印刷する文字のこと。

## 解像度

プリンタが文字や画像を印刷するときの細かさのこと。1インチ当たりのドット数で表す(単位はDPI)。

## 拡張制御コード

制御コードのうち、ESC(1BH)、FS(1CH)、のようにあとに続くコードと組み合わせで機能を表すコードをいう。

## 紙づまり

用紙がつまってプリンタが動作しなくなった状態をいう。

## 基本制御コード

制御コードのうち、CR(0DH)、LF(0AH)のように単独で機能を表すコード。

## 現像ユニット

OPCドラム上に形成された潜像に、負電させたトナーを付着させる役目を持つ。EPカートリッジに内蔵されている。

## コンデンス文字

1インチ当たり約17文字で印刷する文字のこと。

## 自動給紙

カット紙(単票用紙)を連続して自動的に給紙することをいう。

## 自動排出

コンピュータからのデータが一定時間なかったとき、プリンタ内のデータを自動的に印刷して排出する機能。

## シリアルプリンタ

文字単位で印刷を行うプリンタ。

## 制御コード

プリンタの動作を制御するためのコードで、印刷データと異なり印刷されない。

## セントロニクス

プリンタと上位装置(プリンタを制御する装置: コンピュータ等)間のインタフェースの一つ。  
8ビットパラレルデータに制御信号を加えてプリンタ用のインタフェース規格として広く使用されている。

## 定着クリーナ

トナーの定着工程で定着ローラを清掃するためのものでEPカートリッジと一緒に交換する。

## 定着ユニット

用紙上のトナーを熱によって溶かし、圧力を加えて用紙に固定させる働きをする。

## ノンインパクト方式

光、電気、磁気、熱などを用いて印刷する方式。機械的な衝撃によらない印刷方式。

## パイカ文字

1インチ当たり10文字で印刷する文字のこと。

## バッファフル

ページバッファに1ページ分の印刷データがたまることをバッファフルという。バッファフルになると、自動的にそのページの印刷を行う。これをバッファフル印刷という。

## ヒートローラ

定着ユニットにあり、プレッシャローラとともに熱と圧力でトナーを定着させる働きをする。

## フォント

同じ外観、サイズ、スタイルの文字、数時、記号またその他のシンボル等の集合。

## 不揮発性メモリ

プリンタの電源をOFFにしても記憶した内容が残っているメモリ。

## プロポーショナル文字

印刷される文字により、印刷幅を変えて印刷する文字のこと。

## ページ記述言語

1ページ分のテキスト(文字)やグラフィック(図形)のデータ、位置情報などを正確に表すための言語。

## ページプリンタ

ページ単位で印刷を行うプリンタ。

## ポートレート

用紙を縦長にした内容で印刷する印刷フォーマットの一つ。

## メニューモード

プリンタの設定をメニュー形式で行うモード。

## メモリスイッチ

不揮発性メモリを利用して各種プリンタの設定を行うスイッチ。

## ランドスケープ

用紙を横長にした内容で印刷する印刷フォーマットの一つ。

## リブプレート

転写後の用紙を定着ユニットまで正しく送り込むための用紙ガイド。

# 索引

## 英数字

136桁モード	87, 78, 111, 124
201PLエミュレーション	22
7ビット/8ビットデータ	85, 113
A4ポートレート桁数	76, 86, 111, 122
A5アダプタ	35
ACK	88
Apple Macintoshシリーズ	16
CR	85, 112
DC1	85, 112
DC3	85, 112
EPカートリッジ	9, 21
～の交換	147
ESC c1	112
ESC/Pエミュレーション	22, 115
FF	87, 112
FS f	113
FS fコマンド	88
IBM DOS J5.0/V	237
IBM PC/AT100%互換機	16
LANアダプタ(LocalTalk用)	19
LANマネージャ(NetBEUI)	18, 183
Macintosh(AppleTalk)	183
MS-DOS用リモートパネル	98
書式設定用リモートパネル	99
常駐タイプ	99
非常駐タイプ	100
正しく動作しない	152
メモリスイッチ設定用リモートパネル	106
NEC PC-9800シリーズ	15
NetWare (IPX/SPX)	18, 183
NPD (Level 2)	22
OHPフィルム	26
PC-PTOS	23, 117
SET	23, 60, 66, 88, 113, 122
TrueTypeフォント	60, 65
UNIX (TCP/IP(ftp, lpr))	18, 183
Windows 95用リモートパネル	89
正しく動作しない	153
Windows NT (TCP/IP, DLC)	18, 183

## ア

アクノリッジ	88
アラーム	45
印刷位置	80
印刷速度	190
印刷範囲	192
印刷方式	190
印字位置	111

インタフェース信号	202
インタフェースソケットカバー	17
インタフェース用ソケット	16, 17
ウォームアップ	190
エミュレーション	75, 85, 124
お客様登録カード	10
オプション	18, 155
オプションカバー	17

## カ

解像度	59, 62, 65, 112
開閉レバー	16
各国文字の切り替え	85
漢字アウトラインフォントカード	20, 172
管理銘板	10, 17
疑似OCR-Bフォント	60, 61, 62, 65, 66, 220, 222
機能拡張制御コード	209
給紙	29
グラフィックモード	113
クリーニングキット	21
警告ラベル	2
故障かな?	
アラーム表示が出る	128
印刷できない	127
印刷の異常	125
思うように印刷できない	122
紙づまり	130
リモートパネル	152
コネクタカバー	17
コンピュータ	15

## サ

サービス	10
情報サービス	28
保守サービス	11
自動縮小	111
自動排出機能	79, 113, 123
自動復帰改行	85
修理	11
縮小/拡大モード	86, 50
受信バッファ	81
寿命	12, 151, 190
仕様	190
上部ユニット	16
情報サービス	28
消耗品	9, 21
初期状態	49, 198
除電針	143
スイッチ	45



スタッカ	16
ステータス印刷	227
制御コード	205
清掃	140
設定情報取得	111
設定呼び出し	82
節電機能	22, 79, 88
節電モード	113
ゼロの字体	76, 85
ソータ	49
～の設定	43
ソータピン	30
ソータユニット	20, 30
操作パネル	44
増設RAMサブボード	19, 176
増設ホッパ	18, 30, 159

## タ

タイムチャート	203
データストローブ信号	88
定着クリーナ	17, 148
定着ユニット	17, 131, 140, 143
ディザリング	59
ディスプレイ	55, 235
手差し	40, 47
手差しガイド	16, 40, 168
テスト印刷	75, 225
電源コネクタ	17
転写ローラ	17, 143
同期コード	87, 89
動作モード	24, 76, 81, 113
独占給紙	39
トナー節約機能	62, 22, 60, 66, 80, 112, 122, 125, 220
トナーなし検出窓	140, 142

## ナ

内蔵文字	223
内部設定	198
日本語ページプリンタ言語NPDリファレンスマニュアル	20
ネットワークプリンタユーティリティ	19
ネットワーク用ケーブル	183

## ハ

排気口	17
排紙	29
排出	49
排出カバー	16, 131, 138
排紙容量	190
はがき	26

～のセット	36
～のセット方向	42
ハンドルユニット	160, 187
フィードアップローラ	140, 144
フロントカードスロット	16
フォントの置き換え	60, 62, 65
フォントの設定	76, 112
プザー	87, 113
普通紙	26
プリンタケーブル	8, 19
プリンタテーブル	20, 186
プリンタドライバ	25, 57
Windows NT (日本語版)用	63
Windows 3.1(日本語版)用	61
Windows 95(日本語版)用	57
プリンタの設定	67
MS-DOS用リモートパネル	98
Windows 95用リモートパネル	89
メニューモード	69
プロッタエミュレーションボード	18, 179
ペーパーガイド	17, 140
ペーパーガイドカバー	16, 131, 132
ペーパーストップ	16, 34
ペーパーセパレータ	33
ペーパーフィードカバー	131, 137
ヘルプ	96
ポートレート	192
保証	10
ホッパ	16
初期設定	78
増設ホッパ	159
～の選択	39
容量	190
ホッパの指定	111

## マ

マルチシートフィーダ	18, 164
マルチプロトコルLANボード	18, 183
メニューツリー	70
書式設定用リモートパネル	104
メモリスイッチ設定用リモートパネル	109
メニューモード	45, 48, 69
初期設定	200
設定内容	75
入り方/終わり方	69
メモリスイッチ	81, 83
工場設定	114
初期設定	201
メモリ割り当て	81
文字コード表	228
文字構成	224

## ヤ

ユーティリティディスク .....	25, 68
用紙 .....	9, 26
印刷範囲 .....	192
規格 .....	191
セット方法 .....	32
OHPフィルム .....	40
手差しガイドにセットする .....	40
はがき .....	36
ホッパにセットする .....	32
ホッパにセットする向き .....	31
用紙位置 .....	86
用紙残量インジケータ .....	16

## ラ

ラベル紙 .....	26
ランドスケープ .....	87, 193
ランプ .....	44
リセット .....	49, 198
リフプレート .....	17, 140
リモートパネルユーティリティ .....	25
両面印刷 .....	49
～の設定 .....	43
両面印刷ユニット .....	20, 30
リレー給紙 .....	23, 39, 80
レーザー射出窓 .....	17, 126, 140, 142
レフトマージン .....	78, 86, 111

